

ナイ、然ルニ四朱ト花籤ノ一朱五厘ト寄セテ五朱五厘デ、下層ノ日々營々働ク所ノ人民カラ安イ
 利ノモノヲ吸收シテ、サウシテ他ニ之ヲ利用セントスルガ如キ方法ハ、或ル意味カラ言ウタナラ
 バ、下層國民ノ經濟念慮ノ無キヲ利用シテ、サウシテ現在ノ利率ヨリ以上ニ低イ金ヲ取ラウトス
 ル、即チ下層苛メノ法案トモ申サレルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ四朱八厘ノ郵便貯金ヲ引
 出シテ、之ニ應ズル、其結果ハ知ルベシデアリマス、斯様ニシテマデモ一面ニ僅カ四千萬圓ノ金
 額ヲ吸收シナケレバナラヌ必要ガ何處ニ在ルノデアリマスカ、大藏省ガ之ヲ出スノハ私敢テ咎
 メハ致シマセヌガ、二宮宗ノ本家トモ、本山トモ言ハレテ居ル所ノ岡田文相ガ、我モ許シ人モ許
 シテ居ル本山ノ岡田文相ガ閣議ニ於テ此提案ニ贊意ヲ表サレタト云フコトニ向ッテ、私ハ非常ニ
 文相ノ爲ニ憂フル次第デアリマス、人或ハ言ハン、是ハ新シク出タノデハナイ、勸業銀行ガ之ヲ
 ヤッテ居ルノデヤナイカ、ソレヲ今政府ガヤルノデアルカラ、是ハ同一デヤナイカト云フヤウナ
 コトヲ言フカモ知レヌ、然リ勸業銀行ハヤッテ居リマス、併ナガラ今日ノ場合、而シテ首相及閣僚
 ガ風紀、綱紀ノ弛廢、之ヲ防ガントスル此場合ニ於テ、若シ勸業銀行ガヤラント欲スレバ之ヲ撤
 回或ハ縮メル、若クハ中止、此數年間中止セシムルノガ當然デアリマス、然ルニ此勸業銀行ニ五
 年間之ヲスルコトヲ止メテ置イテ、サウシテ政府自ラ代ッテ之ヲ行ハントスルハ、何事ノ行爲デア
 リマセウカ、併ナガラ私ハ此趣旨、目的、即チ零碎ナル資金ヲ吸收スルト云フコトニ向ッテハ贊意
 ヲ表シテ居ルガ故ニ、私ハ此修正ヲ政府ニ問ウタノデアリマス、即チ四朱ノ上ニ花籤一朱五厘ヲ
 加ヘルヨリハ、或ハ勸業銀行ニ拂フ所ノモノヲ加ヘテ五朱五厘、六朱トシ、割引若クハ据置ノコト
 ニシテ此債券ヲ募ル御考ハナイカ、之ニ同意ヲシナイカト言ウタ、所ガ斷ジテ同意シナイト云フ
 コトデアリマシタ爲ニ、已ムヲ得ズ茲ニ否決ノ動議ヲ持出ス所以デアリマス、終ニ臨ンデ諸君ニ
 是ハ申スヨリハ報告致シテ置キタイノデアリマス、委員會ニ於テ三派協調ノ下ニ、委員長ガ讀マ
 レテ、半分ハ地方産業ニ資スル、半分ハ興業銀行ヲ通ジテ復興ニ資スル、斯ウ云フ聲明ノアッタニ
 拘ラズ、必スト云フ字ヲ入レテ、必ズ地方産業ニ半分ハ貸サナケレバナラヌト云フコトヲ入レテ
 協調シタ附帶決議ガアリマスルト共ニ、又政友會ノ東總務ガ更ニ立ッテ此所ニ大臣ニ辯明ヲサレ

タ所ノ、御念ノ入ッタ事ニハ、感服ヲ致シマシタガ、其場合ニ於テ政府ガ斯様ニ言ハレタノデアリマ
 ス、此復興ト云フノハ、決シテ震災ノ復興デナイ、日本帝國經濟ノ復興ト云フ意味デアル、斯様ニ
 申サレタノデアリマス、今又大藏大臣ガ此所ニ立ッテ言ハレタコトハ、ソレト反對シテ居リマス、
 恐ラク大藏大臣ノ言ガ本當デアッテ、他ノ政府委員ガ見得ヲ切ラレタ此言葉ハ、嘘デアラウト思
 フ、又嘘デナケレバナラヌノデアリマス、一年ニ四千萬圓、五年デ一億萬圓、是デ帝國ノ經濟ガ復
 興ガ出來レバ、吾々ハ枕ヲ高ウシテ寢ルノデアリマス、斯カル杜撰ナル、斯ウ云フ無責任ナル事
 ヲ委員會デ見得ヲ切ッテヤラレルト云フヤウナ杜撰ナ案デアリマスカラ、否決ノ動議ヲ出スノデ
 アリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

川崎克君ノ贊成演説

只今上程サレテ居リマスル本案ニ對シテ贊成ノ意見ヲ述ベタイト存ジマス、現内閣ハ成立ノ當
 初ニ於キマシテ、行政財政ノ整理ヲ爲スト云フコトヲ聲明ヲ致シタノミナラズ、大正十三年度ノ
 豫算ヲ協賛スルニ當リマシテ、之ヲ實行スルニ當ッテ年度内ニ於テ必ズ行政財政ノ一大緊縮ヲ行ッ
 テ、一大消費者デアアル所ノ政府自ラ政費ヲ節減スルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、サ
 ウシテ一面ニ於テハ浪費ヲ戒メ、政費ヲ節約ヲ致シ、其結果國民ニ對シテハ、勤儉貯蓄ノコト
 ヲ宣傳ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、今日上程セラレマシタル所ノ貯蓄債券、昨日決定セラレ
 マシタ所ノ輸入税——關稅ノ引上、此兩案ガ姉妹税トナッテ其政策ノ實行ヲ助ケルモノデアアル、
 是ガ我が現下ノ經濟界ニ對シテ新シキ緊張味ヲ齎スノ重大ナル所ノ使命ヲ果ス案トシテ、私共ハ
 贊成ヲ致シタノデアリマス、今回募集セラレル所ノ此貯蓄債券ハ、固ヨリ全國ニ互ッテ募集セラ
 レルモノデアリマスルケレドモ、只今大藏大臣ノ説明セラレマシタ如ク、大正十三年ヨリ大正十
 七年ニ互リマシテ、東京市ノ復興、震災地ノ復興、復舊費ノ爲ニ要シマスル經費十二億七千八百
 萬圓ノ中デ、大體勞働者ニ給付セラルベキ金ハ、其三分ノ一、即チ四億萬圓以上ニ上ルノデアリマ
 ス、五年ノ間ニ東京ヲ中心ト致シテ、此四億萬圓ノ金ガ撒布セラレル結果ハ勞働者ニ與ヘラレル

所ノ金ハ消費力ヲ以テ居ル、消費セラルベキ運命ヲ持ッテ居リマスル金デアリマスカラ、其結果ハ必ズ日用品ノ騰貴ヲ誘致シ、及奢侈ヲ助長スル結果ヲ生ムデアリマスカラ、此事柄ニ對シマシテハ、爲政者トシテ特ニ深甚ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌデアリマシテ、此法案提出ノ趣意ハ當然浪費セラルベキ是等ノ金ヲ吸收シテ、之ヲ生産化シ、之ヲ資本化スルト云フ上ニ於テ、此法案ハ一大使命ガアルト信ズルデアリマス、私ハ斯様ナ意味ニ於テ、此法案ノ精神ニ向ッテ賛成ヲ致スノデアリマスガ、只今八木君ノ御話ヲ承ルト、第一ハ此債券ハ割増附ノ債券デアッテ、或モノニ付キマシテハ五百倍ノ割増ガ附クカラ、其結果ハ射倖心ヲ誘發スルノ憂ガアルト云フコトニ向ッテ重キヲ置カレテ、反對ヲセラレタノデアリマス、成程八木君ノ仰シヤル通り割増附ノ債券デアルコトハ、固ヨリ私共モ認メテ居リマス、併ナガラ此割増附ノ債券ト云フモノハ、八木君モ此壇上デ御述ニナリマシタ如ク、今日改メテ斯様ナ異例ガ開カレタノデアリマス、勸業銀行ニ於テハ今日マデ實際ニ之ヲ行ッテ來テ居ルノデアアル、大正九年、大正十年、大正十一年、大正十二年、最初ノ實例ヲ見マスト平均一年千六百八十萬圓ノ募債額ガアルノデアリマス、此募債ヲ爲スニ當リマシテハ、主務大臣ノ許可ヲ得テ募債スルノデアリマスガ、若シ八木君ノ仰シヤル通り是ハ射倖心ヲ誘フ爲メ弊害アルト御認ニナルナラバ、諸君ノ支持セラレタル内閣ハ、即チ諸君ノ支持セラレテ居ッタ内閣ノ大藏大臣ガ、歴代ノ大藏大臣ガ之ニ認可ヲ與ヘテ來ラレタト云フコトハ、其當時ニ於テ御反對ニナルベキモノデアラウト私ハ思フ、其時ニハ御反對ニナラズシテ、此法案ガ政府案トシテ現レルヤ、之ニ對シテ反對ヲセラレルハ、殆ド理由ヲナサスト思フ、主務大臣ガ許可ヲ與ヘルノデアアル、若シソレガ惡イト云フコトナラバ、アナタ方ノ支持セラレテ居ッタ内閣ニ於テ、大藏大臣ガ之ヲ許可シナカッタナラバ、最近ニ於テモ募集致シテ居ル所ノ勸業債券ノ募集ガナカッタ筈デアアル、吾々ハ現在復興、復舊ノ爲ニ帝都ヲ中心トシテ、一箇年八千萬圓ノ労働者ニ給付セラルベキ金ガアルカラシテ、此給付セラレル金ヲ生産化シ、資本化スル爲ニ此法案ヲ通過サスコトノ必要アリト云フコトヲ力説スル者デアアルノデアアル、而シテ此法案ハ其一部ハ復興資金ニ當テラレ、一部ハ農村振興ニ當テラレルノデアリマス、反對黨ノ諸君ハ屢此壇上

ニ於テ現内閣ハ農村振興ニ付テハ何事モ爲シ得ナイ、又財政方針ノ演說中ニモ此問題ニ觸レナイト言ッテ攻撃ヲセラレタノデアリマスガ、今日此法案ハ農村振興ノ爲ニ資源ヲ呈シテ、五箇年ニ於テ一億萬圓ノ資源ヲ呈スルト云フコトニ對シテハ、反對黨ノ諸君ト雖モ之ヲ賛成セラル、ニ咨カナラザルコトデアアルト私ハ思フノデアアル農村問題ハ屢此議場ニ於テ議論サレマス、此數年間ニ互ッテ農村問題ハ論議サレマシタガ、歴代ノ内閣ニドレダケノ仕事ガ出來テ居リマスカ、吾々又諸君ノ不備ト信ゼラル、所ノ米穀法案、開墾助成法案、或ハ中央金庫ノ問題ノ如キモノ以外ニ、何等其實ヲ見ナイデハアリマセヌカ、現内閣ハ組閣僅々三旬ニシテ、其僅カナル期間ニ於テモ、諸君ガ此間此議場ニ於テ滿場一致ヲ以テ議決セラレタ所ノ小作法ノ調停法案ノ如キ、又農村振興ノ爲ニ年々二千萬圓ヅ、支出スル此法案ノ如キヲ提出致シタト云フコトハ、明ニ現内閣ハアル、唯最後ニ一言致シタイ事ハ、只今東君ノ述ベラレマシタ如ク、此法案實施ノ結果、地方ノ金融ニ壓迫ヲ加ヘルヤウナ募集ノ仕方ハ慎ンデ戴キタイト云フ希望ガアルノデアリマス、又第二ニハ此金ガ預金部ニ流入セラル、結果、吾々ハ多年預金部ノ改正ヲ唱ヘ來リマシタ當然ノ立場ニ於テ、預金部制度ノ改正ヲ要求シナケレバナラヌノデアリマス、現在ノ預金部ハ御承知ノ如ク單獨ナル主務大臣ノ勝手ニ支出スルコトノ出來マス結果ハ、不良貸付ガ多クシテ、其結果償還不能ニ終ルベキ所ノ貸付ノ内容ガ多イト云フコトヲ、吾々ハ甚ダ遺憾ト致シテ居ルノデアアル、何レノ國ヲ見テモ、預金部制度ニ於テ、法律ニ依テ此支出ヲ限定シテ居ルカ、或ハ委員制度ヲ設ケテ是等ノ監督ヲ爲スカ、單獨ナル自由支出ヲ許シテ居ル國ハ無いノデアアル、獨リ日本ハ十四億ノ預金ヲ抱イテ、之ヲ主務大臣ノ自由ニ任ジテ居ルト云フガ如キコトハ、惡例デアリマスカラ、是ハ是非共改正セララルベキモノデアッテ、現内閣ハ是ガ改正ノ爲ニ調査中デアルト云フコトヲ明言致サレマシタガ、吾々共ハ是非トモ此改正案ヲ提出セラレンコトヲ希望シ、又提出セラルベキコトヲ信ジテ本案ニ賛成致ス所以デアリマス

禱苗代君ノ反對演說

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第四項 法律案

私ハ八木君ノ提出セラレタル本案否決ノ意見ニ贊成ヲスルノデアリマス、政府ハ本案提出ノ理由ニ於テ、本案ハ國民ノ勤儉貯蓄ヲ獎勵スル所ノ政策ノ具體案デアツテ、而シテ國民ニ此貯蓄ヲ獎勵シテ、此震災地ノ復興ト、並ニ地方産業ノ振興ニ必要ナル所ノ資金ヲ調達スルノガ目的デアルト云フコトヲ聲明セラレタノデアリマス、私ハ本案ヲ能ク讀ミマシテ、此目的ガ果シテ達セラレ、カ、達セラレナイカト云フコトニ付テ頗ル疑フ有スルノデアリマス、凡ソ債權者ガ債務者ニ對シテ金ヲ貸ス時分、其債務者ノ信用ト回收ガ略同一デアリマシタナラバ、債權者ハ利率ノ低イモノヨリモ、高キモノニ貸スト云フコトハ、是ハ當然ノ事柄デアリマス、而シテ本案ニ依リマスルト本案ノ三條ニハ、此割引料並ニ利子ノ歩合ト云フモノハ、是ハ主務大臣ガ定メタルノデアルト云フコトヲ書イテアリマスケレドモ、政府ノ聲明セラル、所、即チ説明ヲセラル、所ニ依リマスト云フト、此割引料並ニ利子ノ歩合ト云フモノハ、年四分ニ相當スル所ノ複利ニ計算致シマシテ約十七箇年三箇月ニ於テ倍額ノ金額ヲ之ニ還スノデアル、斯ウ云フ説明ヲセラレテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ本案ニ依リマシテハ、先刻來論議セラレテ居リマスマヤウニ、此四分ノ外ニ約二億萬圓ノ一割一分五厘ニ相當スル所ノ割増金ヲ附ケテ、サウシテ之ヲ當籤シマシタ者ニ對シテ、割増金ヲ交付スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、多クノ人ガ此債券ヲ買入レマシムル人ハ、年四分ノ利息ニ満足シテ買入レナケレバナラナイノガ當然デアアル、所ガ一面カラ考ヘテ見マシムルト言フト、政府ノ借入レマシムル金ニハ、或ハ郵便貯金モアリマス、或ハ郵便局デ賣出シマシムル所ノ小額債券モアリマスガ、郵便貯金ノ利子ハ御承知ノ如ク年四分八厘ニ相當スル所ノ利息ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、又郵便局ニ於テ賣出シマシムル所ノ小額債券ハ、年七厘ニ相當スル所ノ金額ヲ支拂ッテ居ルノデアリマス、若シ此割増金附ノ債券デナケレバ、到底是ハ應ズル筈ガナイト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイ事デアラウト思フノデアリマス、然ルニ郵便貯金ニ於テハ、御承知ノ如ク政府ノ今日マデ獎勵ト國民ノ自覺ニ依リマシテ、毎年一億圓内外ノ増額ヲ來シテ居ルノデアアル、斯ク割増金ヲ附ケナクテモ——割増金ヲ附ケズトモ國民ハ既ニ自覺ヲ致シテ居リマシテ、毎年一億圓内外ノ増額ヲ郵便貯金ニ於テ爲シテ居ルノデアリマスカラシテ、政府

ガ若シ一段ノ努力ヲシ、一段ノ獎勵ヲシテ、所謂現政府ノ如ク勤儉力行ヲ獎メラル、ナラバ、消費節約ヲ獎メラル、ナラバ、郵便貯金ト云フモノハ尙ホ一層ノ増額ヲ見ルハ火ヲ觀ルヨリモ明カナル次第デアアル、然ルニモ拘ラズ何ヲ思立ツテカ此割増金附ノ債券ヲ發行シテ、態々ソレニ一年ニ四千萬圓ニ相當スル金額、五年ヲ通ジテ二億萬圓ヲ募集スル爲ニ、其割増金附ノ債券ヲ發行スルト云フニ至リマシテハ、私ハ其眞意ヲ疑フノデアリマス、何トナラバ御承知ノ如ク先刻カラ八木君カラモ御話ガアリマシタガ、此債券ノ發行ニ對シテハ、年々四分ノ利子ヲ拂フノデアリマスカ、尙ホソレニ加フルニ一分五厘ヲ加算シテ、其一分五厘ニ相當スル金額ノ最高額ハ凡ソ五百倍——即チ五百倍ニナル所ノモノヲ、所謂抽籤ニ當ツタ所ノ偶然ノ故ニ依テ、而シテ此多クノ金額ヲ得セシメ、所謂國民ノ射倖心ニ訴ヘ、賭博行爲ヲ獎メルト云フコトニ至リマシテハ、獨リ健全ナル所ノ經濟上ノ發展ヲ阻碍スルバカリデナク、人心ヲシテ浮華輕佻ニ陥ラシメ、所謂實質剛健ニ基ク所ノ勤儉力行ノ美風ヲ破壊セラル、コトニナリハシナイカト云フコトヲ、私ハ慮レルノデアリマス、川崎君ハ先刻割増金附ノ債券ノ發行ハ、既ニ勸業銀行ニ於テモヤツテ居ルデヤナイカ、而シテ是ハ主務大臣ガ許可シテ居ルデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ言ハレルガ、ソレハ勸業銀行ガ或ル必要ナル場合ニ已ムヲ得ナカッタ勸業銀行ノ資金ヲ、國民ノ零碎ナル資金ヲ資本化スルノ已ムヲ得ザリシ過去ニ於テ之ヲ計畫シタ事ニ付テ、御互モ、御互ノ先輩モ皆之ヲ贊成シタノデアリマスガ、此事柄ヲ以テ國家自ラ之ヲ爲サントスルニ至ッテハ、是ハ國家ノ經濟上ノ發展ヲ阻碍スルノミナラズ、其國家ノ淳風美俗ヲ破壊スル事柄デアリマスカラ、國家トシテ容スベカラザル所ノ事柄デアルト私ハ信ズルノデアリマス凡ソ勸業銀行債券ニ於キマシテモ、又競馬券ヲ發行スルコトニ致シマシテモ、斯ノ如キ賭事、博奕ノ行爲ハ將來大ニ禁ジナケレバナラヌ、御互共ニ是ハ漸次禁ジテ、剛健實質ナル思想ヲ涵養シテ行カナケレバナラヌノデアアル、然ルニ政府自ラ今日ニ於テ斯ノ如キ事ヲ爲サントスルニ至ッテハ、言語道斷デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、次ニハ政府ハ此金ヲ以テ一部ハ四千萬圓ヅツ毎年募集ヲ致シマスル其半額即チ二千萬圓ハ、興業銀行ヲシテ復興事業ニ充テ、殘額ノ二千萬圓ハ是ハ勸業銀行ヲシテ總テ之ヲ産業上ノ資金ニ

充テル、斯ウ云フコトヲ申サレテ居リマス、吾々ハ過去ニ於テ勸業銀行、農工銀行ガ産業上ニ貢
 獻ヲ致シテ居ルト云フコトニ付テハ、敢テ異存ハアリマセヌケレドモ、此勸業銀行、農工銀行ノ
 方ハ多クハ今日ハドウナツテ居ルカト申シマスレバ、御承知ノ通り對人擔保ニ依テ貸スノハ極メテ
 少數デアアル、極ク少額デアアル、對物擔保ニ依テ貸シテ居リマスルガ故ニ、此勸業銀行ヲ通ジ、農工
 銀行ヲ通ジテ貸出サレル所ノ金ハ、凡ソ中産階級ノ者ガ其大部分ヲ占メテ居ルノデアアッテ、中産
 以下ノ農民ニ對シテ、殆ド其恩澤ニ均霑シナイト申上ゲテモ宜カラウト思フノデアリマス、斯様
 ニ勸業銀行ニ之ヲ託シテ産業上ノ資金ニスルト云フコトニナリマスレバ、矢張從前ノ如ク大資
 産家ヲ助ケ、大資産者ニ多ク利用セラル、ノデアリマシテ、中産階級以下ノ所謂多數ノ農民ハ、
 其恩澤ヲ受ケナイト云フ結果ニナル、是ハ昨年ノ此議場ニモ現レマシタガ、凡ソ勸業銀行、其他
 大銀行ニ依テ、貸出サレテ居リマスル金ガ百三十億アッテ是ガ中産階級以下ニ貸出サレテ居ル金
 ハ僅ニ三億ニ過ぎナイ、而シテアトノ百二十七億ト云フ金ハ、多クハ大資産家ニ利用セラレテ居
 ルノガ今日ノ現狀デアアル、又一面ニ於キマシテ此地方農民ノ懷ロカラ多ク出テ居リマスル所ノ
 郵便貯金ハ、今日十二億ニ垂ント致シテ居リマスルガ、此金モ此地方農民殊ニ中産階級以下ノ民
 ニ融通セラレテ居ル金ハ至ッテ少額デ一千萬圓ニモ及バナイ額デアアルト云フコトヲ統計ガ示シ
 テ居ルヤウデアアル斯様ニ政府自ラ若クハ中央ニ集ツタ金ト云フモノハ、多クハ大資産家ニ利用セ
 ラレルモノデアリマシテ、中産階級以下ニハ少クトモ利用セラレテ居ナイ、ソレ故ニ昨年ドウシ
 テモ此中産以下ノ農民ヲ救済スルニ於テハ、産業組合ノ發展ヲ促スヨリ外ニナイ、産業組合ノ發
 展ヲ促スニハ、金融ヲシテ裕カナラシメナケレバナラヌ意味ニ於テ、吾々ハ産業組合中央金庫ナ
 ルモノヲ設立シ之ニ依リマシテ其産業組合ノ金融機關タラシメントシタノデアアル、此産業組合
 中央金庫ニ依テ始メテ小資産家詰リ中産階級以下ノ農民モ漸ク其農業上ノ資金ヲ得ラレル途ノ
 端緒ガ開ケルノデアリマス、之ニ依テ將來農民ハ漸ク資本ヲ利用スルコトガ出來テ、追々ト農
 村モ振興スルコトニナツテ來ルデアラウト云フコトヲ吾々ハ信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ突
 如トシテ又斯ノ如キ所ノ此賭博行爲、所謂射倖心ヲ誘發スル所ノ——挑發スル所ノ法案ガ出デ

此旗印ノ下ニ多クノ投機心ヲ煽リマシテ、此少額ノ金額ヲ集メルヤウニナリマシタナラバ、凡ソ
 地方民ノ財源ト云フモノハ之ガ爲ニ枯渴セララル、コトニナリハシナイカト云フコトヲ吾々ハ憂
 フルノデアリマス、而シテ一面ニ於テハ漸ク出來上ツタ所ノ産業組合中央金庫モ追々ト債券ヲ發
 行シテ、是モ亦資金ヲ得ントスルノデアリマスケレドモ、斯様ナ法案ガ出タナラバ、此財源ト云
 フモノガ枯渴シテ居ル爲ニ、其目的ヲ達スルコトハ、頗ル心配ニ堪ヘナイ次第デアアル、心配シナ
 イノハ是ハ國ヲ憂フル者デナイ……斯様ナ意味カラシテ此資金ト云フモノヲ産業資金ニ向ケラ
 レルトハ言フケレドモ、是ハ多クガ大資産家ニ利用セラル、意味ニ於テハ、或ハ其效果ガアルカ
 モ知レヌケレドモ、中産階級以下ハ少クトモ其效果ナルモノガ遲イ、之ニ依テ日本ノ産業ノ發達
 ニ資セントスル如キハ、是ハ蓋シ想ヒモ寄ラナイ無謀ノ計畫デアルト私ハ信ズルノデアリマス、
 本案ハ前ニモ申上ゲマシタル如ク、一面ニ於テハ國民ノ射倖心ヲ挑發スル所ノ、頗ル不健全ナル
 所ノ思想ヲ獎勵スル法案デアッテ一面ニ於キマシテ産業資金ニ對シテハ、中産階級ニ及バザル結
 果、農村ハ益疲弊スルヤウニナツテ來ル結果ヲ生ズル所ノ法案ナリト、私ハ斷言シテ憚ラナイノ
 デゴザイマス、然ルニ尙ホ政府ハ是等ノ事ガ分ラナイ、質問應答ノ際ニ能ク分ツタ管デアルト思
 フ、然ルニ此法案ヲ尙ホ通過サセヤウト云フコトハ、是ハ國民ノ貯蓄心ノ涵養ト、竝ニ地方産
 業ノ發展ト云フ所ノ美名ノ下ニ、現内閣ノ標榜セル所ノ非募債主義ニ基ク財政計畫ノ缺陷ヲ蔽
 ハントスル、不純ナル動機ノ暴露デアルト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、政友會ノ諸君ハ、
 昨年吾々ト共ニ産業組合中央金庫ヲ議定シ、其法案ヲ成立セシメラレタニ對シテ是ト全ク相反
 スル結果ヲ生ズル此法案ニ對シテハ、恐ラク私ハ贊成ハセラレナイダラウト思ツタノデス、ノミ
 ナラズ委員會ニ於キマシテモ、昨年ノ人々ガ委員長始メ委員一人モ居ラレナカッタノハ、蓋シ其
 邊ノ消息ヲ物語ルデハナカラウカト私ハ考ヘタノデアリマス、斯様ニ此法案ハ其自體ニ於テ不
 純ナル所ノ動機ニ基イテ居ル有害無益ノ法案デアリマスガ故ニ、政友會ノ諸君ハ——私ハ諸君
 ガ之ニ贊成セラル、カラ矛盾撞著トハ申シマセヌガ、昨年ノ産業組合中央金庫法ノ精神ニ鑑ミ
 ラレテ、サウシテ吾々ト共ニ本案ヲ否決スルコトニ自覺セラレンコトヲ、政友會諸君ニ切ニ希望

高木正年君ノ賛成演説

此法案ハ時局救済ノ爲メノ一ノ政策ト見ナケレバナラヌ重要ノ問題デアルト思フノデアリマス
 サリナガラ吾々ガ常識ニ訴ヘマスレバ、決シテ反對論ナドノ起ルベキ問題トハ思ハナカッタ、但
 シ私ハ委員デアリマスケレドモ、今日此壇上ニ立ッテ、此法案ノ反對者ニ酬ヒネバナラヌ立場ニ
 在ルトハ考ヘテ居ラナカッタデアリマス、ソレ故ニ何等ノ用意モ致シテ參ラナカッタデアリ
 マスガ、極メテ簡單ニ反對論者ニ對シテ一撃ヲ酬ヒテ、自分ノ責任ヲ終リタイト思フノデアリマ
 ス、十二年度ノ財政計畫ノ極メテ龐大デアリ、之ニ對シテハ何等カノ救済ヲ要セネバナラヌ、其
 結果トシテ經濟上ニモ亦何等カノ對策ガナケレバナラヌデアリマス、政友本黨ノ方ガ此案ニ
 反對セラル、ノ如何ニモ其本ヲ忘レラレテ居ルト私ハ思フノデアリマス、何故左様ニ私ハ申ス
 カト云フト、元來十六億ノ豫算ハ誰ガ其原因ヲ成シタノデアリマス、若シモ清浦内閣ガ成立セズ
 國民本位ノ内閣ガアノ場合成立セラレタナラバ、今日ノヤウナ龐大ナル財政計畫ヲ以テ十三年
 度ヲ迎フベシトハ考ヘラレナカッタデアリマス、追加豫算ハ二億六千餘萬圓デアリマスケレド
 モ、之ニ加フル十三億幾ラト云フ財政計畫ハ、清浦内閣ガ實行豫算ヲ作ルトキニ何等ノ注意モ警
 戒モセズ作ッタ其結果ガ、十六億ニナッタノデアリマセヌカ、而モ追加豫算ノ求メル所ノ各項目
 ヲ調ベテ見ルト、是ハ臨時議會ヲ待タズトモ、此問題ハ早クカラ分ッテ居ル、追加豫算ガ出レバ第一
 復興ノ要求モ出テ來ル、恩給ノ増加モ來ル、國債利子ノ増加モ來ル、ソレ等ノ事ハ當然實行豫算ヲ
 作ルトキニ考ヘナケレバナラヌ、然ルニ實行豫算ノトキニハ何等ノコトモ言ハズ、考ヘズニ居ッ
 政友本黨ノ人ガ、今日ニナッテ枝葉末節ニ絡ンデ、此救済策ニ向ッテ反對ヲ試ミルト云フコトハ、
 如何ニモ大人氣ナイ、謂ハハ常識ニ外レタ反駁デアルト私ハ申サネバナラヌ、是ハ概論デアリマ
 ス、豫算ノトキニ申上ゲヤウト思ッタガ、ツイ自分ハ發言權ヲ得ナカッタカラ茲ニ申上ゲルノデア
 リマス、併シハ無駄ナ事デハナイ、能ク御考ヲ願ヒタイト、政友本黨ノ方ニ申上ゲルノデアリ

マス、斯様ニ考ヘマスレバ、政府ニ向ッテ財政ノ緊縮ト云フコトガ、此十六億ノ豫算ニ對シテハ一
 般緊要ナル事デアル、是ト同時ニ經濟上ニ取ッテハ、ドウシテモ放漫ニ流レ易イ所ノ經濟界ヲ緊
 縮スル爲ニハ、何等カ國民ヲシテ勤儉ニ導クト云フコトノ對策ヲ以テ當ラザレバ、今日ノ財政上
 モ經濟上モ、救済ヲ全ウスルコトガ出來ナイデアリマス、些々タル割増金位ノコトデ論難ヲ試
 ムベキ場合デナイト私ハ信ジテ居ル、諸君、只今禱君ガ類ニ從來ノ勸業銀行ノ處置ニ付テ御論ジ
 ニナッタ、低利資金ガ容易ニ農村ノ資金ニナッテ來ナイ、ソレハ今マデノ政治ノ監督ガ宜シクナイ
 カラデアル、畢竟勸業銀行ノ貸出ニ付テ云爲セラレルノハ、資金ノ缺乏ガ一ツデアリマスカラ此
 方法ニ依テ政府ノ聲明スル如ク、或ハ二億以上ノ金ヲ吸收スル場合ニ至リマシタナラバ、禱君
 ノ所謂勸業銀行ノ貸出ハ、自ラ同君ノ不平ヲ慰シテ尙ホ餘リアル所ノ結果ヲ得ルト私ハ判斷セ
 ザルヲ得ヌノデアリマス、一體今日ハドウ云フ事ガ必要デアルカ、私共如何ニシテモ忘レルコト
 ノ出來ナイノハ、貿易ガ平準ニ歸シナイ事デアリマス、輸入超過ニノミ傾ク今日ノ状態ハ、ドウ
 シテモ恢復シナケレバナラヌ、根本カラ申セバ日本ノ生活費ヲ少クシ、生産ヲ之ニ依テ獎勵シ、而
 モ産業上ニ於テ最モ必要ナル低利資金ノ供給ト云フコトガ、極メテ今日ハ緊急ナル時代デアル、
 東洋貿易ニ於キマシテモ、對手國ノ經濟状態ガ宜シクナイト云フコトモ、確ニ貿易ノ振ハヌ一原
 因デアル、此場合ニ於テ私共ハサウ思ウテ居ル、セメテ清浦内閣ガ外債募集ノ失敗ヲセズニ、ア
 ア云フ高利ナ金ヲ借リズニ居ッタナラバ、工業資金ノ如キ、産業資金ノ如キ更ニ安キ資金ヲ迎ヘ
 テ我國ノ經濟界ヲ賑ハシ、産業界ヲ賑ハスヘキ、結果ガ得ラレタラウト思ッタガ失敗シテ、外債ノ
 結果ハアノ外債ガ發表ニナルト、直グ興業銀行ガ八分ニ上ゲタ結果ハ、諸君ハ考ヘテ貰ハナケレ
 バナラヌ、要スルニ財政ヲ緊縮シテ今日ノ財力ヲ全ウセシムルコト、第二ニハ經濟界ニ於テ之ヲ
 勤儉ニ導イテ、而シテ今日ノ最モ吾々ノ憂フル所ノ貨幣價值ノ回復ト云フコトニ努メネバナラ
 ヌ、如何ニ金利ノ低落ヲ要求シテモ、貨幣ノ價值ガ回復セザル間ハ、金利ノ低落シナイト云フコ
 トハ、今日世界經濟上ノ定論トナッテ居リマス、之ニハ此案ヲ以テ、政府ガ先ヅ緊張ノ氣分ヲ以
 テ自ラ財政ヲ整理シ、自ラ冗費ヲ節約シテ範ヲ天下ニ示スト共ニ、國民ニ向ッテ一大自覺ヲ求ム

ル、此資金ヲ集メサヘスレバ、諸君ガ今日憂ヘラレル農工振興ノ如キハ、必ズ勸業銀行ノヤツテ居ル流ヲ求メテ、十分潤澤ナル金融ヲ得ルコトハ是亦容易ナ事デアルト思フ又目下ノ問題トシテ残サレテ居ル經濟復興問題ノ如キモ、確ニ此資金ノ集リ方ニ依テハ、世間多クノ論者ヲシテ満足セシムル所ノ結論ヲ迎ヘサセル喜ビノ時代ガ來ラヌトモ限ラヌ、要スルニ此法案ノ是非ニ付テハ些々タル反對論ヨリモ、苟モ政局ニ立ツテ之ヲ監視スル任ニ在ル諸君ハ宜シク政府ガ如何ニ行政財政ノ整理ヲスルカラ監督シナケレバナラヌ、如何ニ政府ガ眞劔味ヲ以テ國民ニ對スルヤ否ヤヲ考ヘナケレバナラヌ、其結果トシテ、當然此法案ノ效果ハ現レテ來ル兔ニモ角ニモ今日ノ產業界ヲ賑ハシ、經濟復興ノ途ヲ完ウシテ、昨年大震災以來全國ニ互ッテ不景氣ヲ來シタ所ノ機運ヲ一掃スルト云フコトハ、一ニ財政ノ緊縮ト、國民勤儉ノ美風ノニツニ依テ決定セラルベキモノト考ヘル、其道行トシテハ、此法案ノ如キハ是非共之ニ伴ハネバナラヌ、一ツノ要件デアルトス様ニ考ヘル、私ハ大局カラ申上ゲル、些々タル事ニ付テ反對ヲ爲サレタ所ノ二君ノ御論ニ對シテハ、先ヅ是ハ敬意ヲ拂ッテ細カニ御答ヲシナイ考デアリマス、斯ル意味ニ於キマシテ是非共此案ノ通過スルヤウニ、皆様ノ滿場一致デ賛成下サルコトヲ希望致シマス

院議作間耕逸君提出討論終局ノ動議ヲ可決シ討論ハ茲ニ終局ス次テ採決ニ入り院議異議ナク本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員會報告ノ通可決確定シ即日之ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日可決奏上シ七月二十二日法律第十五號ヲ以テ公布セラル

一五 贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案

關稅定率法別表輸入稅表ニ掲クル物品ニシテ本法ノ別表ニ掲クルモノニハ當分ノ内同輸入稅表

ニ依ラス從價十割ノ輸入稅ヲ課ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

輸入稅表番號	品名
三一	蔬菜、果實及核子(一 甲ノ四ヲ除ク)
三二	茶(紅茶粉ヲ除ク)
三三	マ―テ其ノ他ノ茶代用物
三六	コーヒー(砂糖ヲ加ヘサルモノ)
四四	蜂蜜
四五	菓子
四六	ジャム、フルトゼリー類
四七	ビスケット(砂糖ヲ加ヘサルモノ)
四九	果汁及糖水
五四	チーズ

- 六〇 礦水、曹達水其ノ他砂糖又ハ酒精ヲ含マサル諸飲料
- 六二 支那酒(醸造シタルモノ)
- 六三 麥酒
- 六六 別號ニ掲ケサル酒類
- 六七 別號ニ掲ケサル飲食物
 - 一 砂糖ヲ加ヘタルモノ
- 六九 毛皮(兔毛皮並糝ササル綿羊皮及山羊皮ヲ除ク)
- 七〇 毛皮製品(別號ニ掲ケサルモノ)
- 七二 革類
 - 一 牛革、水牛革、馬革、綿羊革及山羊革
 - 甲 塗リタルモノ
 - 二 羚羊革(模造羚羊革ヲ含ム)
 - 四 鱷魚革
 - 五 リザードレザー
- 七三 革製品(別號ニ掲ケサルモノ)

三 其ノ他

甲 貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノ

乙 其ノ他ノ内 羚羊革、模造羚羊革、鱷魚革及リザードレザーノ製品

七五 羽毛

一 粧飾用ノモノ

七七 羽毛製品及羽毛皮製品(別號ニ掲ケサルモノ)

八一 獸牙製品(別號ニ掲ケサルモノ)

八八 鼈甲製品(別號ニ掲ケサルモノ)

八九 珊瑚

九〇 珊瑚製品(別號ニ掲ケサルモノ)

九一 眞珠

九四 皮毛骨角齒牙甲殼類製品(別號ニ掲ケサルモノ)

九五 植物性揮發油

一 芳香性ノモノ

- 一一七 石鹼
- 一一八 薰香ヲ付シタル油、脂、蠟及其ノ製品
- 一一九 香水
- 一二四 麝香
- 一二五 人造麝香
- 一三六 甘松
- 一二七 丁香
- 一二八 沈香
- 一三九 白檀
- 二 其ノ他
 - 二〇五 龍腦、艾片及人造龍腦
 - 二二一 ヲアニリン、クマリン、ヘリオトロピン其ノ他別號ニ掲ケサル類似ノ薰香性化學藥
 - 二二二 齒磨粉、齒洗藥、化粧粉其ノ他別號ニ掲ケサル調製薰香類
 - 二二三 線香
 - 二二九ノ内 人造香料

二三四

煙火

二九一

別號ニ掲ケサル織絲

二九九

一 絹入、人造絹入又ハ金屬入ノモノ

二九九

亞麻、苧麻、ラミト、大麻又ハ黃麻ノ織物、其ノ交織物及此等ノ纖維ト綿トノ交織物

二九九

五 平織布、綾織布及繡織布(別項ニ掲ケサルモノ)

二九九

丙ノ二 其ノ他ノ内

二九九

百平方メートルニ付四十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミ

二九九

リメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數三十ヲ超エタルモノ

二九九

六 其ノ他

二九九

乙ノ二 其ノ他ノ内

二九九

百平方メートルニ付四十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミ

二九九

リメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數三十ヲ超エタルモノ

三〇一

毛織物、毛綿交織物及毛又ハ毛綿ト絹トノ交織物

三〇一

一 天鵞絨、ブラツシユ其ノ他ノバイル織物(バイルヲ切リタルト否トヲ別タス)

三〇一

二 其ノ他

三〇三

絹織物及別號ニ掲ケサル絹入ノ織物

一 天鵞絨、ブラッシユ其ノ他ノバイル織物(バイルヲ切りタルト否トヲ別タス)

三 其ノ他

三〇五

メリヤス地其ノ他類似ノ編ミタル布帛(起毛シタルト否トヲ別タス)

一 絹製又ハ絹入ノモノ

三〇六

レース地及網地

一 窓掛地

乙 其ノ他

二 蚊帳地

乙 其ノ他

三 ヴェーリング

五 其ノ他

甲 絹製又ハ絹入ノモノ

三〇八

刺繡布

三一九

防水布(護謨ヲ塗り又ハ挿入シタルモノ)

一 絹製又ハ絹入ノモノ

三二〇

護謨入布及護謨紐類

一 幅八センチメートルヲ超エタルモノ

甲 絹入ノモノ

二 其ノ他

甲 織リタルモノ

イ 絹入ノモノ

乙 其ノ他

イ 絹入ノモノ

三二四

手巾(單製ノモノ)

二 亞麻製ノモノ(五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數二十ヲ超エタルモノ)

四 絹製又ハ絹入ノモノ

三二七

旅氈(單製ノモノ)

第二章 議事

第四節、議案

第二款 議案ノ討議

第四項 法律案

三二八

一 絹製又ハ絹入ノモノ
地氈(單製連製ヲ別タス)

一 毛製又ハ毛入ノモノ

三二九

テーブルクロス(單製ノモノ)

二ノ内 亞麻製ノモノ

四 絹製、絹入ノモノ、金屬絲ヲ用キタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三三〇 窓掛

二 絹製、絹入ノモノ、金屬絲ヲ用キタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三 其ノ他

甲 レース製ノモノ

三三一

トリムミング

三三二

エーアクツシヨン

三三三

ベッドクイルト及クツシヨン

三四三

別號ニ掲ケサル布帛製品

一 絹製、絹入及貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙若ハ鼈甲ヲ加ヘタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三四四

雨衣

一 絹製又ハ絹入ノモノ

三四五

シャツ、フロント、カラー及カフス

三四六

肌衣(上下ヲ別タス)

一 メリヤス製ノモノ

丙 絹製又ハ絹入ノモノ

二 其ノ他

甲 絹製又ハ絹入ノモノ

三四七

手袋

三四八

足袋(綿製、毛製又ハ毛綿製ノモノヲ除ク)

三四九

肩掛及襟卷

三五〇

襟飾

三五一

袴鈞

三五二

衣服用ベルト

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第四項 法律案

三五三
三五四

スリーヴサスペンダー及ストッキングサスペンダー類
帽子及帽體

一 貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、羽毛、造花等ヲ
用キタルモノ

二 其ノ他

甲 絹製又ハ絹入ノモノ

丙 バナマストロー其ノ他類似ノ植物纖維製ノモノ

丁 麥稈製、經木製又ハ其ノ混製ノモノ

三五五

靴其ノ他ノ履物(護謨製ノモノヲ除ク)

三五六

靴紐

三五九

身邊粧飾用細貨類

三六〇

別號ニ掲ケサル衣類、同附屬品及其ノ部分品

一 毛皮製、毛皮付、羽毛製、羽毛入、絹製、絹入及貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、
貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙若ハ鼈甲ヲ用キタルモノ又ハ刺繡シタルモノ

三七三

模造羊皮紙、バラフィンペーパー及ワツクスペーパー

三七八

一 金屬ノ箔若ハ紛ヲ用キタルモノ、押形ヲ付シタルモノ又ハ捺染シタルモノ
別號ニ掲ケサル紙(四 乙ヲ除ク)

三七九

ペーパーレース及ペーパーボード

三八四

アルバム

三九〇

骨牌

三九一

寫眞

三九二

書畫

三九三

カードカレンダー及ブロックカレンダー

三九四

繪葉書

三九五

クリスマスカード類

四一二

貴石

四一三

半貴石及別號ニ掲ケサル半貴石製品

四一四

石及石製品

二 其ノ他

乙 其ノ他

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第四項 法律案

三百九十一

- 四一五 琥珀及琥珀製品(別號ニ掲ケサルモノ)
- 四一七 メーアシャウム、人造メーアシャウム及同製品
- 四二四 石膏製品ノ内人物及動物ノ像
- 四三九 別號ニ掲ケサル陶磁器(碍子ヲ除ク)
- 四五三 眼鏡
 - 一 貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ノ縁又ハ柄ヲ有スルモノ
- 四五四 硝子鏡
 - 一 貴金屬又ハ貴金屬ヲ鍍シタル金屬ヲ用キタルモノ
- 四五七 別號ニ掲ケサル硝子製品(一 甲ヲ除ク)
- 四七五 鍍金銀シタル金屬
- 四八九 鍍(別號ニ掲ケサルモノ)
 - 一 貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ
- 四九一 懷中時計用鍍、眼鏡用鍍其ノ他身邊粧飾用鍍
- 四九三 蝶鍍、ハットフツク及戸、窓、家具等ニ用キル金具
 - 一 貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

四九四

鎖及鑰

- 一 貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

四九九

刃物(別號ニ掲ケサルモノ)

- 一 貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

二 其ノ他

甲 ポツケツトナイフ

- イ 柄ニ象牙、眞珠貝若ハ鼈甲ヲ用キタルモノ又ハ珙瑯ヲ施シタルモノ

乙 テーブルナイフ

- イ 柄ニ象牙、眞珠貝若ハ鼈甲ヲ用キタルモノ又ハ珙瑯ヲ施シタルモノ

五〇〇

テーブルフォーク及スプーン

- 一 貴金屬ヲ用キタルモノ又ハ貴金屬ヲ鍍シタルモノ

五二一

貴金屬製品及貴金屬ヲ用キ又ハ貴金屬ヲ鍍シタル金屬製品(別號ニ掲ケサルモノ)

五二六

懷中時計

- 一 金側又ハ白金側ノモノ

五二七

懷中時計部分品

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第四項 法律案 三百九十三

一 側(ウオツチガラスヲ附著シタルモノヲ含ム)

甲 金製又ハ白金製ノモノ

八 其ノ他

甲 金製又ハ白金製ノモノ

五二八ノ内 置時計

五三三 雙眼鏡及隻眼鏡(貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙、

鼈甲又ハ貝殻ヲ用キタルモノ)

五五三

寫真器(焦點距離十七センチメートル未滿ノレンズヲ取付ケタルモノ又ハ撮影
スル感光面ノ長十六センチメートル未滿ノモノ若ハ幅十一センチメートル未滿
ノモノ)

五五四

寫真器部分品

一 レンズ(焦點距離十七センチメートル未滿ノモノ)

二ノ内 カメラ(撮影スル感光面ノ長十六センチメートル未滿ノモノ若ハ幅

一センチメートル未滿ノモノ)

五五五

蓄音器

五五六

蓄音器部分品及附屬品

五六〇

銃砲及同部分品

一 小銃

六一二

木材

一 單ニ切り、挽キ又ハ割リタルモノ

甲 花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀(縞黑檀ヲ除ク)

二 其ノ他

丁ノ内 花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀(縞黑檀ヲ除ク)

六二四

傘柄、杖、鞭及其ノ手

六二五

傘

一 絹製又ハ絹入ノモノ

六二六

木製品(別號ニ掲ケサルモノ)

一 貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ
用キタルモノ

二 其ノ他

六二四 甲 花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀ノ製品
ブラツシユ及箒

六三六 一 貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノ
寫真用フィルム(活動寫真用ノモノヲ除ク)

六三八 造花(模造ノ葉、果實等ヲ含ム)及同部分品

六三九 化粧品匣

六四〇ノ内 ビリヤード、クリツケツト、象棋其ノ他ノ遊戲具及同附屬品(テニス具、野球具、
フットボール具及同附屬品ヲ除ク)

六四一 翫具

六四七 別號ニ掲ケサル物品

二 其ノ他

甲 貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈
甲ヲ用キタルモノ

右ハ十三年七月六日本院ニ之ヲ提出ス七月八日本案ノ第一讀會ヲ開キ濱口大藏大臣ハ左ノ如ク趣
旨ヲ辯明セリ

我國ノ經濟界ハ今日極メテ困難ナル場合ニ遭遇シテ居ルノデゴザイマシテ、官民共ニ一致協力
致シ、異常ノ覺悟ヲ以テ之ニ善處スルニアラズンバ、財界ノ整理安定ハ申スマデモナク、國際貸
借ノ問題ニ至リマシテモ、之ヲ有利ニ解決スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、此ヲ以テ政府
ト致シマシテハ、一大決心ヲ以テ行政財政ノ整理緊縮ヲ行ヒ、民間ニ於テハ政府ノ政策ト相呼應
シテ、全力ヲ舉ゲテ經濟界ノ整理安定ヲ圖リ、一般國民モ亦深ク現下ノ狀態ニ念ヒテ致シ、消費
節約ノ美風ヲ涵養シ以テ我が國民經濟ノ基礎ヲ鞏固ナラシメルコトニ努力致サナケレバナラヌ
所ノ極メテ大切ナル秋デアルト信ズルノデアリマシテ、政府ニ於テハ行政財政ノ整理緊縮ヲ斷
行スル覺悟ヲ致シテ居ル場合デアリマス、然ルニ戰時好況時代ヨリ馴致セラレマシタ所ノ奢侈
安逸ノ氣風ト云フモノガ、深ク國民ノ間ニ浸潤ヲ致シ、昨年大震災ノ慘禍ヲ嘗メタルニモ拘ラ
ズ、今尙ホ之ヲ一掃スルコトガ出來マセヌノハ、諸君ト共ニ國家ノ爲ニ洵ニ痛嘆ニ堪ヘザル所デ
アリマス、元來奢侈ヲ抑制シ、消費節約ノ美風ヲ養成スルコトハ、其根本ニ於キマシテハ、國民各
自ノ精神的覺醒ニ俟タナケレバナラヌコトハ申スマデモナイ所デアリマスガ、其覺醒ヲ促スニ
當ツテハ、徒ニ從來ノ如クニ抽象的ノ言辭ヲ以テ之ヲ唱道スルニ止マラズ、政府ニ於テモ亦之ニ
對シテ相當ナル具體的方策ヲ實行シテ、國民ノ精神ニ向ツテ強烈ナル刺戟ヲ與ヘ其覺醒ヲ促シ、
消費節約ヲ組織的ニ實行致シ、茲ニ初メテ其目的ヲ達スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、此
趣旨ニ鑑ミマシテ、右ニ關スル方策ノ一端ト致シマシテ、政府ハ此際外國ヨリ輸入スル所ノ贅澤
品等ニ對シマシテ、當分ノ間相當ニ高率ノ輸入税ヲ課スルコト、シ、之ニ依テ國民奢侈ノ弊風ヲ
戒メ以テ人心ノ緊張ヲ圖リ、各般ノ施設ト相俟ツテ國民經濟ノ難局ヲ打開致シタイト考ヘルノデ
アリマス、尙ホ是ト同時ニ一面是等ノ物品ノ輸入ノ減退ニ依リマシテ、我が外國貿易逆調ノ現狀
ヲ緩和スル所ノ一助タラシメントスル考デアリマス、諸君ハ我が國民經濟ノ現狀ヲ洞察セラレ、
政府ノ意ノ在ル所ヲ諒トセラレ、何卒本案ニ對シ御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切
ニ希望スル次第デアリマス

右ニ對シ岩切重雄君、武藤山治君、猪野毛利榮君及原惣兵衛君ハ質疑ヲ爲シ濱口大藏大臣之ニ應

答ス
岩切重雄君ノ質疑

只今大藏大臣ヨリ贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案ノ御説明ガアッタノデアリマス、私ハ此問題ハ加藤内閣トシテハ極メテ意味ノアル法律案デアルト考ヘマスルニ依リマシテ、二三ノ質疑ヲ簡單ニ申上ゲタイト思フノデアリマス、現内閣ガ標榜サレマスル所ノ行政財政ノ整理、綱紀ノ肅正、普選ノ斷行ト云フ、此問題ハ最モ現内閣トシテハ重大ナル政策デアアルノデアリマス、併ナガラ本期議會ニ於キマシテハ、行政整理案ト云フモノハ尙ホ現ハレテ居ナイノデアリマス、又綱紀ノ肅正ト云フ問題ハ是ハ將來ニ渉ル全般的ナ問題デアッテ特定ノ法律案ニ依テ之ヲ論ズベキモノデハナイカモ知レナイ、唯普選ノ斷行ニ至リマシテハ、次期通常議會ニ於テ之ヲ斷行サレルト云フコトヲ聲明サレテ居ルノデアリマシテ、只今ノ所現内閣ノ重大ナル政策ト云フモノハ繋ッテ將來ニ屬シテ居ルノデアリマス、唯今期ノ議會ニ於テ提出サレマシタ所ノ問題ニ對シテ、吾ガ實際上ノ議場ノ問題ト今研究スベキモノハ、所謂追加豫算ノ中ニ現ハレテ居ル所ノ政務次官設置ノ問題、及公債政策ノ問題、次ニ此奢侈品ニ對スル問題、此三ツガ重大ナル問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ奢侈品ニ關スル關稅政策ハ、最モ吾々ハ眞面目ニ尊敬シテ此問題ニ對シ、研究シ尙ホソレニ對スル質疑ヲ致シタイト思フノデアリマス、第一私ノ御伺ヒ致シタイト事ハ、私共モ奢侈品ニ對スル關稅政策ハ、其精神ニ於テ大ニ贊成ノ意ヲ表スルノデアリマス、併ナガラ若シモ此政策ヲ採ラレマシテ、之ニ及ボス所ノ幾多ノ影響ニ對シテハ、果シテ如何ナル御對策アリヤト云フコトヲ私ハ茲ニ承リタイ、其第一トシテハ、所謂奢侈品ニ對シテ關稅ヲ掛ケルト云フコトノ結果、其奢侈品ノ物價ノ騰貴ト云フコトハ、吾々モ之ヲ決シテ否ム者デアアリマセヌガ、奢侈品ト類似又ハ然ラザル他ノ物價ニ對シテ、物價騰貴ノ影響ヲ及ボス如キ事ハ無いノデアアルヤ否ヤ、此點ニ對シテ大藏大臣ハ、他ニ防禦スベキ所ノ適當ナ對策ヲ御持チデアアルカドウカト云フコトヲ私ハ茲ニ伺ヒタイトデアリマス、大藏大臣ハ野ニ在ラレル時ニ、

最モ熱心ニ物價問題ニ對シテ論議サレタ方デアッテ、物價問題ニ對スル造詣ニ至ッテハ、最モ權威アル方ト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此關稅問題ガ延イテ他ノ物價問題ニ影響ヲ及ボス虞ガアリハシナイカ、之ニ對シテ今日無シト云フコトヲ言明サレ得ルノデアアルカ、ソレニ對シテ他ニ對策アルト云フコトヲ御主張ニナルノデアアルカ、此點ヲ第一ニ私ハ伺ヒタイトデアリマス、贅澤品ノ騰貴ハ吾々モ贊成デアリマスガ、他ノ物價ノ問題ニ對シテ、私ハ此所デ申上ゲルノデアリマス、第一ニハ關稅問題ハ要スルニ國際間ノ問題デアリマス、若シモ茲ニ關稅政策ノ上カラ奢侈品ニ對スル從價十割ノ課稅ヲ爲シマスル時ニ外國ニ於テ之ニ對スル報復的ノ行爲ガ現ハレルト云フコトナキヤ否ヤ、例ヘバ一例ヲ取ッテ申上ゲマスレバ、日本ノ輸出貿易トシテ最モ大ナル物ハ生絲デアリマス、殊ニ金ノ解禁問題等ニ對シテモ、亦爲替問題ニ對シテモ、藏相ハ此議會ニ於テ輸出獎勵ト云フ事ニ對シテ最モ力ヲ強メテ主張サレテ居ルノデアアル、然ルニ若シモ日本ニシテ外國ニ出ス所ノ輸出貿易品ニ對シテ報復的ノ行爲ガ行ハレルト假ニシタナラバ、萬一一例ヲ取ッテ生絲ノ如キ六億以上ノ、日本ノ農村問題トシテ最モ大切ナ、是等ノ問題ニ對シテ輸出ヲ抑ヘラレルヤウナ結論ニ到達シタナラバ、是ハ我が國民ヲシテ成程奢侈贅澤ヲ抑ヘルト云フコトハ大問題デアリマスケレドモ、經濟上ノ問題トシテ、茲ニ附屬的ノ問題ガ起ッテ來ル、之ニ對シテハ大藏大臣ハ斯ノ如キ事ハ無シト言明サレルノデアアルカ、又之ニ對シテハ相當ノ對策アリト云フコトヲ御主張ニナルノデアアルカ、此點ヲ承リタイト思フノデアリマス、第二ニハ大藏大臣ノ本案ヲ提案サレル最モ其眼目デアリマス所ノ奢侈ノ風ヲ抑壓スルト云フ問題デアリマス、奢侈ノ風ヲ抑壓スルト云フ此道德的ノ問題ニ對シテ、私共滿腔ノ之ニ贊成ノ意思ヲ表スルモノデアリマス、此奢侈ヲ防遏スルト云フ方策、斯ノ如キ事柄ト云フモノハ、極メテ全體的ニ之ヲ計畫シナケレバナラヌ問題デアアル、ソレヲ一部ノ奢侈品ニ對スル所ノ結果ニ於テ此問題ガ解決サレルト御考ヘニナルカ、先程大藏大臣ハ其一端トシテ之ヲ提案シタト仰セラレタノデアアルガ、然ラバ内閣全體トシテ、是ハ單ニ奢侈品贅澤品ノ問題ニ對シテ、大藏大臣ガ經濟上ノ立場カラ之ニ對スル一案ヲ提出シタノミデアッテ、内務大臣デアルトカ、或ハ文部大臣ノ如キハ、之ニ追從シテ何等ノ對策

モ無イト云フノデアアルカ、ソレニ對シテ私ハ聞キタイノデアリマス、尙又日本ノ今日ノ國民性ノ中ニ、吾々モ大藏大臣ト等シク最モ憂フベキ所ノ傾向ガアルノデアリマス、殊ニ是ハ些細ナ問題デアアルカモ知レマセヌガ、又世間デ能ク言フ問題デアリマスガ、三越ノ如キ所ニ參リマスレバ、其品物ハ高イ程買手ガ多イト云フコトヲ吾々ハ聞イテ居ル、若シモ此奢侈品ニ對シテ關稅ヲ課ケテ、價格ガ倍ニナツテ之ヲ買フ所ノ購買力ガ一層増加シタナラバ、却ツテ奢侈ノ状態ヲ誘發スル所ノ結果ニナルノデハナイカ、之ニ對シテハ大藏大臣ハ何等御對策ハ無イノデアアルカ、之ヲ第三ニ伺ヒタイト思ヒマス、更ニ私ハモウ一ツ申上ゲタイト思フノハ、是ハ例ヘバ一例デアリマスガ、此表ヲ見マス、其中ニハ色々ナモノガ入ッテ居ル、ソレハ場合ニ依テハ藥品ニナルモノデハナイカト思フヤウナ物モアル、ソレハ宜シトシテ、例ヘバ「ビール」ノ如キモノモ入ッテ居ル、此「ビール」ニ對スル課稅ハ、如何ナル御意見カ知リマセヌガ、若シモ酒ヲ抑壓シテ、奢侈ノ目的物トシテ、外國ノ酒ハ飲マナイ、或ハ酒ニ對スル問題ハ、奢侈ノ風儀ヲ一掃スル重大ナル問題トセラル、ナラバ、更ニ徹底的ニ亞米利加デヤツテ居ルヤウナ例ノ禁酒法ノ如キ徹底シタモノヲ以テ、此問題ヲ解決シナケレバナラヌト思フ、此「ビール」ト云フ如キモノ、問題ニ對シテハ、既ニ市場ニ於テハ「ビール」ノ株ノ暴騰ヲモ豫想シテ、一面ニハ何等カ之ニ對シテ投機ノ氣風ヲ誘發スルト云フコトガナイデハナイカ、而モ或ル何々「ビール」會社ト云フヤウナ「ビール」ニ對シテ特色ナ事ヲスル一部ノ人ノ利益ヲ擁護スルヤウナ問題ハ起ラヌカ、其他皮ノ如キ、色々ナ問題モ、是等ノ問題ヲ徹底的ニ行キ互ラセテ行クヤウナ御對策ガアルカ否ヤ、此點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

濱口大藏大臣ノ應答

奢侈品ニ對シテ外國カラ入り來ル場合ニ、重稅ヲ課スルト云フ此法案ヲ實行スレバ、内地ニ於ケル他ノ物價ノ騰貴ヲ促ス虞ハナイカ、若シ其虞ガアリトスルナラバ、之ニ對スル對策ハ何デアアルカ、是ガ第一ノ御尋デアッタト思ヒマス、政府ノ考フル所ヲ以テシマスレバ、此法案ガ法律トナリ

テ實行サレマシテモ、ソレガ爲ニ内地ニ於ケル物價ノ騰貴ヲ促ス虞ナシト信ジマス、何トナレバ此度ノ法案ニ列舉致シマシタ所ノ各種ノ品物ト云フモノハ、外國カラ低廉ナル品物ガ入り來ル爲ニ、其廉價ナル輸入品ニ壓倒セラレテ、内地ノ産業ガ起ラヌト云フヤウナ品物デハアリマセヌ、若シ海外カラ入り來ル廉價ナル輸入品ノ爲ニ、内地ノ産業ガ壓倒サレテ居ル場合ニ於テ、輸入品ニ重稅ヲ課シマスレバ、内地ノ産業ハ勃興スルデアリマセウ、隨ツテ物價ハ騰貴スルデアリマセウ、是ハ即チ保護政策ノ實行デアアル、此度ノ政府ノ計畫トシテハ、保護政策ヲ實行スルト云フ考ハ毫頭持ッテ居リマセヌ、サウ云フコトニ基イテ保護政策ニ陥ルヤウナ虞アリト認メタル品物ハ、之ヲ除外シタ積リデアリマス、ソコデ外國カラ入り來ル贅澤品ニ重稅ヲ課シマス結果トシテ、之ニ對スル需要ガ減ジ、消費ガ減ズルト政府ハ見テ居リマス、其減ジタル市場ト云フモノハ、或ル品物ニ依ッテハ減ジキリニナルデアリマセウ、又他ノ品物ニ依テテ、或ハ其代用品ヲ内地製品ニ求メントスルノ絶無トハ申サレマセヌ、是ニ於テ内地ノ商人、若クハ生産業者ハ、或ハ内地品ニ對スル需要ガ増加スルト云フ見込ヲ以テ、内地ノ製品ノ値段ヲ上ゲルト云フ傾向ヲ取ルカモ知レマセヌガ、其計畫ハ蓋シ失敗ニ終ルト思ヒマス、若シソレガ爲ニ内地ノ製品ガ騰貴致シマスレバ、ソレニ對スル消費ガ又減ズルトデアリマス、假令減ジマセヌデモ、此度ノ表ニ掲ゲデアリマスル所ノ品物ハ、内地ニ於ケル所ノ一ツヤニツソ會社デ獨占的ニ製造シテ居ル種類ノモノハ、是ハ無イ積リデアリマス、無數ノ小サイ工業者ノ手ニ依テ造ラレテ居ル品物デアリマスルガ故ニ、少シデモ物價ガ騰貴セントスル傾向ノアル場合ニ於テハ、自ラ其間ニ於テ自由競争ノ行ハル、餘地ガアルノデアリマス、隨ツテ輸入品ニ重稅ヲ課スル結果ト致シマシテ、其代用品ノ物價ガ内地ニ於テ騰貴スルト云フコトハ、政府ハ少シモ考ヘテ居リマセヌ、代用品ノ價格ガ既ニ騰貴シナイ以上ハ、況ヤ一般物價ノ騰貴ニ至ッテハ、私共ハ夢ニモ考ヘテ居ナイノデアリマス、隨ツテ今日ハ之ニ對スル對策ヲ立ツル必要ハアルマイト思ッテ居リマスルガ、而モ是ハ初メテノ試ミデアリマスルガ故ニ、此法律ヲ諸君ノ御協賛ヲ經マシテ實行致シマシテ、其實行ノ結果ニ徴シ、何か他ニ施設ヲスル必要ガ出テ來タ場合ニ於テハ、其時ニ臨ンデ相當ノ對策ヲ講ズル考デアリマ

ス第二ニハ外國ノ輸入品ニ對シテ重稅ヲ課スルト云フト、外國ガ之ニ對シテ報復的ノ手段ヲ執ル虞ハナイカト云フ、是ハ洵ニ御尤ナル御質問デアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ニ於テ立案ノ當時非常ニ研究ヲ致シタ問題デアリマス、若シ此度ノ輸入品ニ重稅ヲ課スルト云フ事柄ガ限地的ニ、即チ地方ヲ限ッテ、例ヘバ亞米利加カラ來ル品物、佛蘭西カラ來ル品物ト云フガ如クニ、輸入品ヲ指定ヲ致シマシテ、限地的ニ重稅ヲ課スルト云フ如キコトヲヤッタトキニ於テハ、是ハ何トモ申サレマセヌガ、此度ノ法律ニ於テハ一般的ノ品物ニ付テ重稅ヲ課シテ居リマシテ、少シモ相手ノ國ヲ指定シテ居リマセヌガ故ニ、報復ヲ受クル虞ハナイト思ヒマス、第二ニハ此法案ハ諸般ノ施設ノ一端デアルト云フ話デアッタガ、然ラバ他ニ何カ是ト同様若クハ同精神ノモノヲ實行スル考ガアルカ、斯ウ云フ意味ノ御質問デアリマスガ、是ハ能ク御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、屢私ガ此演壇ニ於テモ、豫算總會ノ場合ニ於テモ申述ベタ所デアリマス、大體ニ於テ政府ノ考ハ、經濟界ノ今日ノ難局ニ善處セントスルガ爲ニ、其根本ノ方策トスル所ハ、何ト申シテモ行政財政ノ整理緊縮ニ依ルコトハ屢申上ゲテアリマス、ソレト同時ニ民間ノ經濟界ニ於テモ力ヲ極メテ財界ノ整理ヲ圖ッテ貫ヒタイ、又其次ニハ國民全體ガ政府ノ政策ト相呼應致シテ、消費節約ノ英斷ヲヤツテ貫ヒタイト云フコトヲ屢申上ゲテアリマス、政府ガ行ハントスル所ノ行政財政ノ大整理緊縮ガ、即チ總テノ政策ノ流れ出ヅル所ノ根本ノ源デアリマス、唯不幸ニ致シマシテ政府ノ組織ガ最近ニ行ハレ、閣員ノ就任ガ日尙淺イガ爲ニ、當年度ニ於テハ吾ミガ理想トスル如キ行政財政ノ整理緊縮ヲ徹底的ニ斷行スルコトガ出來マセヌト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬デアリマスルガ、是モ屢申シマス通り大體ニ於テハ十四年度ノ豫算ノ編成ヲ待タナケレバナラヌ、ソレハ待ツマデモナク、出來得ル限リ十三年度ノ豫算ニ於テモ經費節約ノ手段ヲ執ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、而モ此整理緊縮タルヤ非常ナル大事業デアリマスルガ故ニ、是ガ完全ナル成功ハ十四年度以降ヲ待タナケレバナラヌ、唯此度ノ特別議會ニ於テ調査ノ間ニ合ヒマシタ分ダケヲ茲ニ提案ヲ致シ、政府ノ組織的ノ政策ノ一端トシテ茲ニ御協賛ヲ求メマシタノガ即チ此法案デアリマス、此法案ハ是ダケヲ引離シテ御觀察ニナリマスルト、或ハ其効果ガ極メテ薄イ

ト云フ御感ジガアルカ知リマセヌガ、又世間ニ於テモ往々左様ナル批評ヲ耳ニ致シマスガ、併シ吾ミノ考ニ依リマスレバ、是ハ政府ガ行ハントスル所ノ新シキ政策ノ組織的ノ中ニ介マレタ所ノ一ツノ分子ニ止ッテ居ル、即チ政策ノ片鱗ヲ示スニ過ギナイノデアリマス、其見地カラ此法案ニ對スル御研究ヲ願ヒ、世間ニ向ッテモ批評ヲ仰ガナケレバナラヌト思ッテ居ル次第デアリマス、而シテ奢侈品ニ對シテ輸入稅ヲ重課致シマシテ、國民ニ消費節約ヲ勸メ、奢侈贅澤ヲ戒メレバ、此法律ノ効果ハ恐クハ各方面ニ及ブデアラウト思フノデアリマス、例ヘバ學校ノ教育ニ於テモ、社會教育ニ於テモ、家庭教育ニ於テモ、總テノ教育ノ方面ニ涉ッテ政府ノ新經濟政策ノ精神ノ在ル所ヲ十分ニ了解サレマシタナラバ、各方面ニ及ボス所ノ善良ナル影響ハ蓋シ測ルベカラザルモノガアルト云フコトヲ私ハ期待ヲシテ居ル次第デアリマス、大體御質問ニ御答申シタ積リデアリマスガ尙ホ御答漏ノ點ガアリマスレバ、重ネテ御質問ヲ願ヒマス

武藤山治君ノ質疑

此法案ハ道德論ト致シマスレバ至極結構ナ法案ト考ヘマスケレドモ、政治經濟ノ上カラ眺メテ見マスレバ、最モ缺陷ノ多イ私ハ一ツノ法律案デアルト思フ者デアリマス、元來政府ハ私ハ此法律案ニ對シテハ、親ト子ヲ間違ヘテ居ラル、ト思フ、親ガ自分ノ道樂ヲ少シモ抑制セズシテ、子供ニ向ッテ漫ニ其道樂ヲ抑制センコトヲ求メラル、ノト同一ノ法律案デアルト思ヒマス、大藏大臣ハ財政行政ノ整理緊縮ヲ爲スト云フコトヲ繰返シ繰返シ吾ミノ前ニ御約束ニナリマスケレドモ、私ハ大藏大臣ガ若シ誠意誠心、我國ノ今日ノ經濟上ノ行詰リ、國民ノ氣風ノ壞敗奢侈ノ根源タルモノガ政府ノ財政方針ニ在ルト云フコトヲ御認ニナッテ、是ガ實現ヲ期サレテ居リマスナラバ、或ハ大藏大臣ノ仰シヤル通り、政府ハ就任日淺クシテ、來ル通常議會ヲ待ッテト云フ御言葉モ至極尤ト存ジマスケレドモ、金解禁ノ問題ノ如キ、政府ガ一片ノ勅令ニ依テ爲シ得ル所ノ問題デアリマシテ、國民ノ上ニ私ハ精神的ノ刺戟ヲ御與ヘニナラントスルナラバ、此金解禁ハ大藏大臣ノ御就任ト同時ニ、翌日直ニ私ハ御實行ニナッテ然ルベキ問題デアルト思フノデアリマス、然

ルニ此最モ國民ノ精神ヲ刺戟スル必要ナル所ノ金解禁ノ問題ニ付テハ、種々ノ理由ヲ設ケテ之ガ斷行ヲ躊躇シ、而シテ僅ニ此二千萬圓前後ノ費澤品ノ輸入ヲ禁止シテ、以テ國民ノ奢侈ヲ抑減シ得ルト思ハレルナラバ、ソレハ其根源ヲ誤ラレタモノデアルト私ハ思フノデアリマス故ニ私ハ茲ニ重ネテ大藏大臣ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス、大藏大臣ハ吾々國民ニ向ッテ奢侈ノ抑制、國民ノ氣風ノ壞類ヲ責メラレルト同時ニ、此國民ノ氣風ノ壞類、經濟界ノ行詰ヲ爲シテ居ル所ニ向ッテ、政府ノ此財政行政ノ整理緊縮ハ、必ズ來ル通常議會ニ案ヲ具ヘテ吾々ニ御提出ニナルカ否ヤト云フコトヲ重ネテ御尋シタイノデアリマス、更ニ私ガ大藏大臣ニ問ハントスル所ハ財政行政ノ整理緊縮ノ一大方策ハ、金ノ解禁ニ在リハセヌカト私ハ思フノデアリマス、若シ大藏大臣ガ誠意誠心先ヅ政府カラ其根本ノ財政行政ヲ整理緊縮スルト云フ御考ガアルナラバ、何故ニ金ノ解禁ヲ斷行ナサラヌノデアルカ、又如何ナル時ニ於テ之ヲ爲サルカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス

濱口大藏大臣ノ應答

第一ニ御答致シマスガ、武藤君ハ此法案ヲ評シテ、親ガ自分デ節約ヲ行ハズ自分ノ子供ニ向ッテノミ消費ノ節約ヲ強ユルト云フノハ、其順序ヲ誤ッタモノデアアル、ソレ故ニ親タル所ノ政府ハ大正十四年度ノ豫算ノ編成ノ時ニ於テ、必ズ行政財政ノ方面ニ涉ッテ整理緊縮ヲ斷行サル、ト云フコトヲ再ビ言明スルヤ否ヤト云フコトデアリマス、固ヨリ言明ヲ致シマス、第二ニ行政財政ノ整理緊縮ノ根本義ハ金ノ輸出解禁ニ在リト云フ御議論デアリマス、何故ニ金ノ解禁ヲ行ハナイカ、若シ今日行ハナイトスルナラバ、何時ニナレバ之ヲ行フ積リデアアルカト云フ意味ノ御質問デアリマシタ、此問題ニ付キマシテハ先日武藤君ガ最モ誠心ヲ籠メテ御質問ニナッタノデアリマス、ソレニ對シマシテ私ハ一應ノ答辯ヲ致シマシタガ、其答辯ノ一節ガ或ル一部ノ誤解ヲ招イタデハナイカト云フ心配ヲ居ル所ヘ、過日ノ豫算總會ニ於テ大口君ノ御質問ガアリマシタカラ、ソレヲ機會ト致シマシテ十分ニ説明ヲ致シテ置イタ積リデアリマス私ガ先年金ノ解禁ヲ主張致シ

マシタ當時ト今日ノ經濟界トハ、内外ノ財界ノ狀況ガ著シク變化ヲシテ居ルト云フコトハ、是ハ世人一般ノ認ムル所デアリマス、若シ此内外ノ市場ノ變化ト云フコトヲ御認ニナラヌト云フ御方ガアツタナラバ、ソレハ即チ昨年ノ震災ヲ御認ニナラヌト同様デアリマス、我國ノ統計ノ現ス所ニ依リマスレバ、屢引用致シマス通り昨年ノ輸入超過ノ金額ハ幾ラデアリマシタカ、本年今日ニ至ルマデノ輸入超過ノ金額ハ幾ラデアツタカ、此稅關ノ統計ニ現レタ所ノ六億圓七億圓ト云フ輸入超過ノ金額ハ、是ハ極メテ嚴肅ナル數字ノ示ス所デアリマス、此嚴肅ナル數字ノ示ス所ヲ承認致シ、又今日ノ對米爲替ノ相場ト云フモノガ、先年吾々ガ、輸出解禁ヲ唱道シタ時ニハ前ニモ申上ゲタ通り四十八弗デアツタモノガ今日ハ四十一弗二分ノ一ニナツテ居ルト云フ此嚴肅ナル數字ト云フモノヲ承認スルトキニ於テハ、私ハ金ノ輸出ノ解禁ヲ即時斷行スルト云フコトハ、國民全體國家全體ノ利益ノ爲ニ斷ジテ之ヲ行フ所ノ勇氣ヲ持タヌノデアリマス、然ラバ何時ニナレバ之ヲ行フカト申セバ、是ハ内外金融狀況ノ變化ニ依リマシテ、爲替相場モ、回復ヲ致シ外國貿易ノ逆調モ、緩和サレ、ソレガ爲ニ國際貸借ノ狀況ガ一變ヲ致シマスレバ、私ハ直ニ其政策ヲ實行スルコトニ毫モ躊躇スル者デハナイノデアリマス、而シテ斯ノ如キ時機ノ到ランコトヲ諸君ト共ニ衷心ヨリ希望致シマス、唯精神的ニ之ヲ希望スルノミナラズ、即チ政府ノ行ハントスル所ノ諸般ノ行政財政ノ整理緊縮ノ政策、竝ニ只今議題ニ上テ居マス所ノ費澤品ニ關スル輸入稅ヲ重課スルト云フ政策ノ如キモ、即チ金ノ輸出解禁ノ時機ノ速ニ來ランコトヲ促ス一ノ政策ノ一端ト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

猪野毛利榮君ノ質疑

只今出サレマシタ所ノ法案ナルモノヲ見マスルト、其説明ニ於キマシテハ、精神ノ作興ニ在ルト云フコトガ大眼目デアアルヤウニ承ツタノデアリマス、此點ニ付テハ本員モ成程ト考ヘルノデアリマス、併ナガラ此全般ニ互ッテ更ニ裏面ヨリ窺ッテ見マスル時ニ於テ、是ハ關稅ノ改正ニ依テ收益ヲ得ントスル心ガアルノデハナイカト云フ疑問ガアルノデアリマス、更ニモウ一ツ疑問トスル

所ハ、此法案ノ實施ニ依テ、内地ニ於ケル奢侈品製造業者ナルモノヲ救済スル所ノ精神ガアルノ
 デハナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、若シ濱口藏相ノ言ハレマシタ如ク、精神ノ作興ノ
 ミニ是ガアルトスルナラバ、此問題ガ大藏省カラ出サレルノガ至當デアルカ知レマセヌケレドモ、
 是ト相俟ツタモノヲ文部當局ノ方カラ加味セナクチャ意味ヲ爲サヌト云フコトヲ信ズルノデア
 リマス、單ニ大藏大臣ガ此法律一ツヲ以テノミ精神ノ作興ヲ圖ルト云フコトハ、私ハ甚ダ處ヲ得
 ナイト云フ感シヲ持ツ者デアリマス、更ニ又之ヨリシテ財源ヲ得ントスルノナラバ、三十二三億
 位ノ日本ノ貿易額ニ於テ、輸入額ガ十九億内外デアリマスガ、此中ニ吾々ガ奢侈品ト看做スベキ
 物ガ約三千五六百萬圓、四千萬圓内外デアルト信ズルノデアリマスガ、之ヨリ得ル所ノ財源ト
 シテハ餘リニ小イ、少クテモ宜シイケレドモ、此目的ノ爲ニ之ヲ出シタト云フ所ノ明言ガ更ニ無
 イノハドウ云フコトデアアルカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、第二ニ於キマシテハ、此法
 案實施ノ爲ニ内地ニ於ケル是等當業者ヲ救済スルヤウノ感シガ、ドウモ濃厚ニ映ジテ仕様ガナ
 イノデアリマス、本員經濟界ニ向ッテハ素人デアリマスケレドモ、即チ此發表サレタ所ノ十二種
 二百五十個ニ互ル所ノ品目ヲ見ルト、此法案ノ爲メ皮革會社、製毛會社、或ハ毛織會社ガ頗ル此爲
 ニ助ッテ來ルヤウナ感シガ致スノデアリマス、シテ見レバ此法案ナルモノハ文部省カラ斯ウ云フ
 最初ノ聲ガ發シタモノデアアルカ、農商務省デ發シタモノデアアルカ、又大藏省自身デ發シタモノデ
 アルカト云フ疑惑モ本員懷クノデアリマス、私想ヒマスルノニ、思想ノ改善ヲ爲サント欲スルナ
 ラバ、斯ノ如キ贅澤品ノ關稅率ヲ上ゲル位デハ、此目的ガ達セラレル、ト云フコトハ頗ル心細イ
 ト感ゼラル、ノデアリマス、徳川ノ時代ニ於テモ御存ジノ通り、水野越前守ノ如キ者ガ盛ニ斯ノ
 如キ法律ヲ出シタモノデアリマシタ、併ナガラ之ヲ出スト社會ハ直ニ大反動ヲ來シテ、却ッテ奢
 侈品ガ大流行ヲ來シテ、購買力ガ殖エタト云フ状態ニナッテ居リマス、現ニ日本ニ於キマシテモ
 銀座ノ如キ其他繁華ナル都會ニ於テハ高キ品物程賣レル贅澤品程賣レル、況ヤ是ガ舶來品デア
 ルト云ヘバ顧客ガ安心シテ買フト云フガ如キ心理状態デアリマセヌカ、私ハ更ニ此二百五十
 個ノ品目ヲ見マシタトキニ於テ、政府ノ說明ニ依レバ何レモ贅澤品デアルト云フコトヲ明言サ

レテ居リマスガ、本員ノ見ル所デハ贅澤品バカリニ止ッテハ居リマセヌ、此中ニハ日用品ガアル
 日用品ノミナラズ、無クテナラヌ其他ノ必需品モ加ハッテアリマス、政府ハ是等ノ區別ヲ如何ニ
 シテ居ルノデアアルカ、本員ハ今其一ツ二ツノ品目ヲ調ベテ見マスルトキニ、頗ル不審ニ堪エヌモ
 ノガアリマス、一例ヲ擧ゲテ見レバ運動器具ノ如キモノデアリマス、即チ今日體育ノ獎勵ニ使用
 サレ居ル所ノ運動器具ナルモノガ、奢侈品ト看做サレテ居ルノハドウ云フコトデアリマスカ、國
 民體育上又健康促進ノ上ニ、頗ル斯ノ如キハ惡影響ヲ來シハセヌカ、又寫眞機ノ如キモノガ這
 入ッテ居リマスケレドモ今日ノ寫眞機ノ如キモノハ決シテ贅澤品ト看做スコトハ出來マセヌ、國
 民ノ趣味ガ向上シテ、即チ從來ノ舊キ人間ノ如クデナク、趣味ト樂ミガ今日ハ段々藝術化シ、美
 術化シテ來タノデアリマス、即チ此趣味ナルモノガ上品ニナッテ來テ、是ガ即チ繪畫トカ寫眞ト
 カニ傾イテ來タノデアリマス、然ルニ是等ニ必要ナル物ヲ直ニ奢侈品ト看做シテ、之ニ高率ノ稅
 ヲ課スルト云フコトハ、本員ノ頗ル解セザル所デアリマス、又「エナメルレザ」ニ對シテモ高率
 ノ稅ヲ課スルコトデアリマシタガ、是ハ御存ジノ通り堅固ナル上等品ハ内地ニ於テハ絶對ニ出
 來ヌ品物デアアル、而シテ小學校生徒ノ帽子ノ廂ト云ヒ、或ハ軍隊ガ使フ所ノ懸掛紐ノ如キ物モ、
 是モ矢張「エナメル」ノ類デアアル、斯ウ云フ物ニ對シテモ政府ハ尙且ツ吾々ガナクテナラヌ所ノ
 即チ必需品ト考ヘルニ拘ハラズ、贅澤品ト看做シテ之ニ課稅スル精神ハ如何ナルモノデアリマ
 スカ、更ニ玩具ニ付テモ矢張高率ナル課稅ヲ致スノハ如何ノ理デアリマスカ、外國カラ這入ッテ
 來ル玩具ナルモノハ、内地ノ玩具トハ玩具ノ性質ガ違フ、日本玩具ハ單ニ人形デアルトカ、其他
 智力ヲ用キヌ普通ノ所謂玩弄物品ニ過ギマセヌガ、外國カラ來ル玩具ナルモノハ機械玩具デア
 ル、例ヘバ發動機ヲ利用シタル汽車ノ如ク汽船ノ如ク、又飛行機ノ眞似ヲシタリ、或ハ水雷艇ノ
 眞似ヲシタリ、即チ科學知識ノ足リヌ日本ノ職人デハ出來ナイ所ノ玩具ナルモノガ、諸外國ヨリ
 入ッテ來ルノデアリマス、是等ハ私共ハ兒童ニ對シテ最モ重要ナル必需品デアッテ、即チ心ヲ支ヘ
 ル糧、目ニハ見エネド兒童ノ發育上日常缺クベカラザルモノタルコトハ、母乳ノ如キ、又他ノ食
 物ト均シキモノデアリマス、斯ウ云フモノハ吾々ハナクチャナラヌ必需品ナルニ、然ルニモ拘ラ

ズ政府ハ尙且ツ之ヲ贅澤品ト看做シテ、高率ニ課税ヲスルト云フ此精神ガ分ラヌノデアリマス、而シテ尙ホ茲ニ一ツノ奇怪ナル例ヲ引キマスレバ、高級自動車ニ向ッテ税ヲ課ケテ居ナイト云フコトデアリマス、御存ジノ通り今日ハ「スタール」デアルトカ、或ハ「フオード」ノ如キ實用ナル自動車ニ向ッテ税ヲ課ケルコトハ出来ヌ、即チ必需品デアルカラデアリマス、然レドモ一例ヲ舉ゲテ見レバ、一臺ニ付テ一萬圓モ二萬圓モスル、例ヘバ加藤高明君ノ乗ッテオイゾニナル自動車ノ如キモノハ、二萬圓以上ノモノデアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、斯ウ云フ高級ナモノニ向ッテハ高率ナル税金ヲ課セズシテ、可憐ナル兒童ノ慰安物タル又心身發育ニ必要ナル玩具類ニ對シテ高率ナル課税ヲ爲スコトハ、殘忍ニ堪ヘザル本末ヲ誤リタル政策ト言ハネバナリマセヌ、假令是ハ當局ノ觀測違テ以テ、贅澤品ト必需品トノ間違トシタ所デ、更ニ茲ニ改メテ間ハナクチャナラヌ事ハ内地製贅澤品ニ向ッテ課税ヲ免レシメタル事デアル、此内地ノ贅澤品ニ向ッテ何故ニ此税ヲ課セナイ所ノ政策ヲ取ッテオキデニナルノデアルカ、外國カラ這入ッテ來ル物ニ向ッテノミハ高イ税ヲ課スル、ソレハ宜シイガ、然ラバ内地ノ贅澤品ニ向ッテ高率ナル税ヲ課スル所ノ法律案ヲ出サナハクテハ片手落デハアリマセヌカ、此狀態ヲ吾々ガ考ヘテ見マスルトキニ於テ、恰モ濱口君ハ右ノ事ニ向ッテ政府ハ更ニ氣付カザリシハ何タル失態デアルカ、成程現内閣ガ此案ヲ出スニ付テハ深ク考慮ヲ致シタイノデハナイ、即チ一夜作リノ案ノ如キ感ガアリマスルガ、一夜作リデモ宜シイ、一夜作リニシテハ稍上出來デアルト考ヘルケレドモ、苟モ之ヲ權威アル國家ノ法律トシテ出スニ付テハ頗ル物足りヌ、ソレ故ニ私ハ斯ノ如キ杜撰ナル法律ヲ出サレル曉ニ於テハ、斯クノ如キ結果ガ來ヌカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、既チ是ガ内地贅澤品製造保護税トナッテ、一面カラ見レバ益此贅澤品ナル物ガ日本ニ出來ヤシナイカ、外國カラ來ル物ニ向ッテハ高イ税ヲ課シテ之ヲ抑壓シテモ、内地ニ於テ是ガドン／＼製造サレルトキニ於テハ、更ニ此効果ガナイト本員ハ考ヘルノデアリマス、而シテ若シ此品物ガ澤山出來ルトキニ於テハ、國民一般ガ頗ル奢侈ニ流レテ、即チ此贅澤品ガ安ク出來ル時ニナッテハ、贅澤品ヲ要求スル所ノ思想ガ國民全般ニ漲ル

ト云フコトヲ虞レルノデアリマス、而シテ只今濱口君ハ一般物價ガ此爲ニ上ラヌト申サレマシタケレドモ、是ハ私ハ水掛論ニナリマスカラ茲ニハ申シマセヌガ、必ズ此結果一般ノ物價ガ上ルト云フコトヲ本員ハ固ク信ジテ疑ハヌ次第デアリマス、更ニ茲ニ御尋申シタイコトハ、此結果舶來品ト云フモノヲ尊重スル氣分ガ益濃厚ニナルコトデアル、元來日本ノ文明ト云フモノハ歐米カラ多ク來タガ故ニ、何デモ舶來品ト云ヘバ直ニ喜ブ傾向ガアルノデアル、内地品ヨリハ舶來品ノ方ガ惡イ物ガアツテモ、是レガ舶來品デアルト云ヘバ、即チ信用シテ之ヲ欲スルト云フ所ノ傾向、即チ外國品ヲ崇拜スル思想ガ今日尙且ツ除カレナイノデアリマス、例ヘバ徳川末期ニ於キマシテモ、彼ノ硝子製品ノ如キモノガ這入ッテ來テ、之ヲ防禦致シタコトガアルノデアル、サウシタ所ガ彼ノ粗惡ナルニ拘ラズ、之ヲ「ギヤマ、ギヤマ」ト言ウテ皆尊重シテ居ッタノデアリマス、且ツ日本人ノ性格トシテ茲ニ注意スベキハ、禁止スレバスル程之ニ反抗シタキ傾向アルコトデアル、即チ斯ウ云フ品物ガ買ヘヌト云フコトニナレバ益欲シイト云フ所ノ心ノ生ジテ來ルコトソレデアル、與ヘナイト云ヘバ欲ガルト云フコトハ動物心理ノ然ラシムルコトカモ知レマセヌケレド、日本人ハ特ニ此心ガ強イ傾ノアルハ疑ノ餘地ガアリマセヌ、而シテ此事ハ良イ事カ惡イ事カハ知リマセヌケレドモ、此強烈ナル一種ノ思想ヲ日本人ガ持ッテ居ルコトハ、爭ハレヌ事實デアリマス、濱口君ニ對シテ是等ノ事ヲ考ヘテ見マスルト、財政學ニ付テハ成程一國ノ「オーソリチー」デアリマスケレドモ、人生ノ實際事ニ付テハ——實ニマダ此三十代ノ本員ヨリモ更ニオ若イト云ハレテモ仕方ガアリマス、更ニ本員ハモウ一ツ伺ヒタイ事ハ、此關稅ノ改正定率ニ依リマシテ、日佛及日伊關稅協約ノ爲ニ、此効力ガ阻碍ヲサレルコトハ無イカト云フコトデアリマス、例ヘバ此葡萄酒ノ如キモノガ除外ヲサレタ點ヲ考ヘテ見ルト、何カ此日佛協約ノ今日進行中デアル所ノモノニ對シテ障礙ガ來ルコトヲ虞レテ、此品物ガ除外ヲサレアルノデハナイカト云フコトヲ尋ネタイノデアリマス、惟フニ本員ハドウシテモ濱口君ノ嚮ニ申サレタ如ク、此國民ノ精神作興ヲ望ンデ、奢侈品等ヲ排除スル剛健實質ノ氣風ヲ養ハントスルニハ、斯ノ如キ末節ナル法律ノ改正ハ第二第三ノ仕事トシテ、其根本策ニ深ク突入セネバ效果ノ著シキモノヲ獲得スル困

難ナリト考ヘルノデアアル、然ラバ其根本策トハ何ナリヤト申セバ、本員ハ矢張第一ハ金ノ解禁、第二ガ物價ノ調節、第二ニハ通貨ノ縮小、此三ツヲ思切ッテ大膽ニ斷行スルニ非ズンバ、斯ノ如キ權威ナキ法律ヲ百萬竝ベテモ、更ニ其効果ガナイコトヲ信ズルノデアリマス。

濱口大藏大臣ノ應答

猪野毛ノ御質問ニ御答致シマス、第一ニ此法案ハ消費節約ノ名ニ隠レテ、収入ヲ目的トシテ居ルモノデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、決シテサウデハアリマセヌ、此法案ハ説明シマシタ通り消費節約デアリマス、輸入品ニ高率ヲ課シマシテ、ソレニ依テ此品物ニ對スル需要ノ減ズルコトヲ期待シテ居リマス、需要ガ減ジマスレバ政府ノ收入ハ減リマス、此收入主義ト消費節約主義トハ全然反對ノ傾向ヲ持ッテ居ルモノデ、決シテ兩立ヲスベキモノデハアリマセヌ、而シテ政府ハ消費節約ノ一本槍ヲ以テ此立案ヲシタモノデアリマシテ、斷ジテ收入増加ノ目的ハ持ッテ居リマセヌ、第二ニ内地ノ産業ヲ保護スルト云フ精神ハナイカ、是モサウデハアリマセヌ、内地ノ産業ノ保護ニ當ル如キ物品ハ總テ省イテアル積デアリマス、第二ニハ贅澤品云々ト言フケレドモ此品目ヲ見ルト云フト中ニハ贅澤品デナイ物ガアル、即チ國民ノ生活ニ必要ナル物モアルト云フコトデアリマシタガ、如何ニモ贅澤品ノミデハアリマセヌ、國民ノ日用品モアリマスガ、ソレハ舶來品ヲ使ヘバ贅澤ニナルガ、内地品ヲ使ヘバ普通ノ日用品ト云フ名ヲ付ケルコトガ出來ルト云フ品物ガアリマス、サウ云フ物ニ對シテハ、此増率ニ依テ舶來品ヲ使フコトヲ成ベク抑制ヲ致シ、内地品ヲ使フコトニ相成ルコトデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ此法律ノ表題ニ於キマシテモ贅澤品等ト書イテアリマシテ、贅澤品ノミトハ書イテナイ譯デアリマス、其他或ハ運動ノ器具デアルトカ、或ハ玩具デアルトカ、自動車デアルトカ、或ハ寫眞器デアルトカ云フ如キ品目ニ付テノ御質問ガアリマシタガ、是ハ委員會ニ於テ詳シク説明致シマス、其次ニ何故ニ内地ノ贅澤品ニモ課税シナイカト云フ御質問デアリマス、左様ナ御質問ノ起ルモ御尤ト思ヒマスガ政府ノ期待スル所ハ、此法律ノ實施ニ依リマシテ、國民全體ノ精神ニ強烈ナル刺戟ヲ與ヘ、ソ

レニ依ッテ消費節約ノ美風ヲ涵養スルト云フ目的デアリマス、ソレ故ニ其目的ガ達成致シマスレバ自ラ内地製ノ贅澤品ニ對スル消費節約ナル結果ニナルノデアリマシテ、今日ニ於テハ内地産ノ贅澤品ニ向ッテ直ニ課税ヲスルト云フ考ヲ持ッテ居リマセヌ、唯前ニモ申シマシタ通り、此法律施行ノ結果トシテ其必要ヲ認メマシタ時ニ於テハ、更メテ相當ノ考慮ヲスル積リデアリマス、其次ニ舶來品ニ重税ヲ課スルト云フト、舶來品ヲ尊重スルト云フ風ヲ養成スル虞ガアルト云フ意味ノ御質問デアリマシタガ、斯ノ如キ考ヲ以テ舶來品ガ高イカラ舶來品ヲ使フ、唯物が高イカラ使フ、ソレ故ニ値段段ガ高クナレバ益之ヲ使フコトヲ誇リトスルト云フガ如キ人、ハ國民ノ中ノ極メテ小部分デアリマセウ、左様ナル常識ヲ以テ律スベカラザル一部ノ人ニ相手ニシテ、政府ノ政策ヲ實行スルコトハ出來ナイノデアリマス。

原惣兵衛君ノ質疑

此奢侈品ニ對スル關稅ト云フモノヲ課スルト云フコトニ依テ今仰セラレルニハ、國民精神ニ刺戟ヲ與ヘルト仰セラレマシタ、併シ諸君、サウ云フコトハ根本ニ於テ私ハ見解ガ違フノデアリマス、ソレハ吾々ノ國民精神ト云フモノハ吾々ノ精神的ノ問題デアリマス、ソレヲ一關稅金ヲ課スルコトニ依テヤルト云フコトハ、唯物史觀ト唯心史觀トヲ混同シテ居ルノデアリマス、吾々ハ國民的國民精神ノ根本ガ何所ニアルカト云フコトヲ考ヘテ見ルトキニ於キマシテ、此内閣ハ國民思想ニ關シテ何等ノ御考ガナイノデアリマス、濱口大藏大臣ハ此點ニ付キマシテ、茲ニ施政方針ニ於キマシテ述ベララレタ點ニ於テハ、國民ニ勤儉力行ヲサシテ節約ヲ爲サシメルノデアアル、ソレデ何所マデモ行クノダト仰セラレルガ、根本ノ國民精神ノコトヲ何等御考ガナクシテ、ドウシテ之ヲオヤリニナリマスカ、私ハ實ニ目的ノミヲ考ヘテ、原因ヲ考ヘナイ所謂本内閣ノ原因ヲ無視シテ先ツ天下ヲ取ッテ考ヘラレル内閣デアラカラ、御尤デアリマスルガ、實ニ私ハ濱口藏相ガ斯ウ云フ點ニ御考ノナイコトヲ見テ驚イタノデアリマス、獨逸ノ經濟學者ガ此頃言ウテ居リマスノハ、一國ノ國民經濟ハ少クトモ國民精神ヲ離レテ吾々ハ論ズルコトハ出來ナイ、即チ塊地利ノ國ノ滅

亡ハ奢侈ニ流レテシマツテ、サウシテ其國民ガ全ク疲弊シタト云フコトハ、國民精神ヲ度外シタカラデアルト云フコトヲ言ウテ居ル、其國民精神ニ付テ此内閣ハ一言モ述ベテ居ナイデ、サウシテ唯勤儉力行ヲヤリマスと言ウテドウシテ出來マスカ、私ハドウゾ我が崇拜スル濱口大藏大臣ガ此點ニ付キマシテ、此關稅ノ目的ガ少クトモ國民精神ヲ刺戟セシムル手段トシテ、此唯物的方面ニ依テヤルト云フコトガ根本的ニ於テ間違デアるか、間違デナイカト云フコトヲ御答ヲ願ヒマス次テ本案ハ議長指名(二十七名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌九日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長加藤政之助君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

本案ニ付テハ重大ナ關係ガアリマスガ故ニ、當該委員ハ昨日ニ於キマシテ、殆ド午前午後引續イテ十數名ノ質問者ガ出タノデアリマス、其質問ノ要領ハ概括致シマスレバ五箇條ニ分レルト思フノデアリマス、其第一ハ本案ノ如ク十割モ輸入稅ヲ引上ゲタトキニハ、其結果トシテ一般的ノ價額ノ暴騰ヲ來ス憂ハナイカ、又同種類ノ内國製品、ソレニ對シテ保護稅ヲ課シタト同一ノ憂ヲ招クコトハナイカ、斯ウ云フコトノ趣旨デアリマシタ、之ニ對シテ當局ノ濱口大藏大臣ハ、斷ジテ此稅ヲ引上ゲテモ一般物價ニ響キ及ボスガ如キコトハナイ、若シ同種類ノ物品ニ對シテ保護稅ヲ掛ケタト同一ナル結果ヲ招クコトガ萬々一アツタナラバ、其時ハ適當ナ措置ヲ執ルノデアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ハ輸入原料ヲ材料トシテ加工スル所ノ物品、是ガ現ニ外國ニ出テ居ル物ガ數千萬圓アル、然ルニ此原料ニ課稅サル、時ニハ、其輸入原料ヲ本トシテ加工スル所ノ工業者ハ、ソレガ爲ニ大打撃ヲ受ケル虞ガアル、斯ウ云フコトデアリマシタ、之ニ對シテハ、

當局者ハソレハ現在ニ假置場ト云フ制度ガ到ル處ニ設ケテアル、故ニ此假置場ヲ利用スルナラバ、關稅ヲ拂フコトナクシテ、サウシテ外國ノ原料ニ加工シテ其品物ヲ輸出スルコトガ出來ルノデアルカラ、其憂ハ確ニナキモノト考ヘル、現在ノ假置場ニシテ若シ尙ホ不十分デアラナラバ、之ニ相當ノ便利ヲ與ヘルヤウニ、尙ホ心配シテモ宜シイ、斯様ナ答辯デアリマシタ、次ハ施行期日ヲ即時實行スルト云フコトニナルト云フト、現在外國ニ於テ買入ヲ約束シテ居ル所ノ物モアル、又現在航海中ノ品物モアルノデアル、是等ガ非常ナル損害ヲ受クルコトニナルカラ、或ル期間ヲ置イテ免稅ヲシタラドウカ、斯様ナ質問モアツタノデアリマス、所ガ若シ期間ヲ置クコトニスルト云フト、見越輸入等種々ノ弊害ヲ生ズルノ虞ガアル、寧ロ是ハ法律施行ノ日ヨリ直ニ斷行スルト云フ方ガ弊害ハ少イノデアル、若シ航海中ノ品物、若クハ契約ノ品物ガ、此法律施行後ニ日本ニ到着スルト云フコトニナルナラバ、其時ニハ此關稅法ガ施行セラレタガ爲ニ、ソレダケ其物品ノ價值ガ高クナツテ居ルノデアルカラ、當事者ハサノミ困難ヲ感ズルコトハナイデアラウ、斯様ナ答辯デアリマシタ、又最後ノモウ一ツノ質問ハ、斯ノ如キ重イ課稅ヲ外國品ニ課スルト云フコトニナツタナラバ、其結果トシテ列國ガ之ニ對シテ報復ノ手段ヲ講ズルト云フガ如キ憂ハナキカ、斯様ナ質問モアリマシタガ、ソレニ對シテハ戰時中ニ於テモ列國既ニ贅澤品ニ關稅ヲ課シタ先例モアル、決シテ此贅澤品ニ關稅ヲ課シタカラト云ツテ報復關稅ノ戰爭ヲ惹起スガ如キ弊ハ萬々ナイ、斯様ナ當局ノ答辯デアッタノデアリマス、斯ノ如キ應答ヲ經タ末、今日ハ午後一時カラ討論ニ這入りマシテ、サウシテ各意見ヲ聽キマシタノデアリマスガ、第一ニ吉植庄一郎君ハ本案ニ反對意思ノ表明ヲセラレタノデアリマス、其吉植庄一郎君ノ議論ハ題目トシテハ奢侈品ニ稅ヲ掛ケテ勤儉力行ヲ奨メルト云フコトハ異存ハナイノデアアル、併ナガラ方法ガ不備デアアル、幾多ノ疑義ガアル、故ニ斯ノ如キ案ハ寧ロ是ハ否決スル方ガ相當デアアル、斯様ナ意見デアリマシタ、何レ後刻吉植君一派ガ代表セラレテ此演壇デ其否決論ヲ述ベラレルデアリマセウカラ、是ハ詳カニ述ベル必要ハナイト思ヒマス、次ニハ賛成ノ者バカリデ、反對ノ者ハ其他ハ一人モアリマセヌノデアリマス、詰リ採決ヲシタ結果、否決論ハ少數ニシテ倒レマシタ、サウシテ賛成論ガ大多數ヲ通

過ヲ致シタノデアリマス、其所ニ附加ヘテ政友會ノ代表者山本条太郎君カラ、警告及條件ヲ提出サレタノデアリマス、是ハ決議デハアリマセヌガ、參考ノ爲ニ讀ンデ諸君ノ御聽ニ達シマス、「修澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案ニ對スル警告、本法案ハ大體ニ於テ今日ノ時勢ニ適應セル必要ノ法律ナリト信ズルヲ以テ之ニ協贊ヲ與フルモ、其細目ニ至リテハ加除修正ヲ要スルモノ少カラズト認ム、依ッテ政府ハ尙ホ一層周密ナル調査ヲ爲シ、相當ノ改正ヲ施サレムコトヲ望ム」此「細目ニ至リテハ」ノ下ニ「將來ノ成績ニ鑑ミ」ト云フ文字ガ這入ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ條件「本法制定ノ精神ヲ徹底セシムル爲ニ、將來ノ成績ニ鑑ミ、本法課税ノ内地産各品目ニ對シ、本法同様ノ課税ヲ爲スコト」以上ガ警告及條件デアリマス、右ノ次第デアリマスカラ本案ハ諸君ハ宜シク御贊成下サルコトヲ望ミマス

討論ニ入り岩切重雄君、加藤鏖五郎君ハ反對、武田作平君、山本条太郎君、大口喜六君ハ贊成ノ演說ヲ爲ス

岩切重雄君ノ反對演說

只今委員長カラ報告ガアリマシタ如ク、私共ハ遺憾ナガラ本案ニ對シマシテ反對ノ意思ヲ表明致シタイト思フノデアリマス、奢侈品ニ對スル課税ノ問題ハ、此精神ニ於キマシテハ私共モ大ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ其精神ニ於テ吾々ハ之ニ贊成致シマスト言ヒマシテモ、其現レル所ノ形式ニ於キマシテ、尙ホ之ニ注意シナケレバナライ點ガ極メテ多イコトヲ私共ハ認メルノデアリマス、故ニ此際私共其精神ニハ贊成ヲ致シナガラ、尙ホ本案全體トシテハ之ヲ否決シナケレバナライナイト云フ理由ニ付キマシテ、是ヨリ簡單ニ説明致シタイト考ヘマス、第一ニハ私共ハ若モ此案ガ通過致シマシタ曉ニハ、吾々ハ本案ノ完全ヲ期スル意味ニ於キマシテ、同一ノ内地ノ製品ニ對シマシテモ、之ニ課税ヲ希望スル者デアアル、併ナガラ大藏大臣ハ同一ノ内地製品ニ對シテハ、課税スルノ意思ナシト云フコトヲ表明サレテ居ルノデアリマス、是レ吾

吾々ハ本案ニ對シテ先ヅ第一ニ意見ヲ異ニスル點デアリマス、第二ト致シマシテハ、吾々ハ奢侈品ガ其價格ガ騰貴スルコトハ敢テ吾々ハ之ヲ反對スル者デハナイ、併ナガ萬一奢侈品ト類似ノ品物デアアル所ノ内地製品ニ對シテモ、其物價ガ騰貴致シマシテ、之ニ依テ一部デアリトハ云ヘ物價騰貴ヲ導クウヤナコトガアリト致シマシテ、之ニ對スル政府ノ對策ガナケレバナライヌト私共ハ考ヘルノデアリマス、即チ奢侈品ト申シマシテモ奢侈品ニアラザル他ノ物品ト申シマテモ、此間ノ區別ニ付キマシテハ極メテ明瞭ヲ缺クモノデアアル、是ハ私ガ委員會ニ於キマシテ政府當局ニ御尋ヲ致シマスルノニ、奢侈品等ト云フ文字ハ何ヲ意味スルカト云フコトヲ申上ゲマシタ時ニ、奢侈品及娛樂品、或ハ嗜好品ト云フガ如キ物デアッテ其品目ニ掲ゲラレタル物ニ於テスラモ、奢侈品ト他ノ品物トノ區別ハ明瞭デナイノデアリマス、然ラバ世間ニアル所ノ物貨ノ上ニ、奢侈品ノ物ト然ラザル物トノ間ハ極メテ其分野ガ不明瞭デアリマス爲ニ、是ガ一般ノ物價ニモ漸次騰貴ヲ促スガ如キ結論ニ到達スル所ノモノデアアルト思フノデアリマス、此點ニ對シテ大藏大臣ニ御尋致シマシタ所ガ、大藏大臣ハ絕對ニサル事ナシト云フコトヲ言明サレテ居ル、是レ私共ガ其見解ヲ異ニスル點デアリマシテ、此點ニ於テ反對スル所以デアリマス、第三ニハ此品目ノ中ニ掲ゲラレマシタ所ニ依ルト、是ニハ原料ニナル物ガ載ッテ居ル、然ラバ原料ニ對シテ課税スルト云フコトハ私共トシテハ聊カ意見ヲ異ニシテ居ル、奢侈ノ風ヲ打破スルト云フ意味ニ於テハ、所謂奢侈税ナルモノガ最モ完全ナルモノデアアル、然ルニ其原料ニ對シテ課税ヲ爲スコト云フコトハ、原料ハ或ハ生レテ奢侈品トナリ或ハ生レテ奢侈品ナラザル物トナルノデアアル、之ヲ一律ニ課税スルト云フコトハ是ハ實ハ完全ナル政策デナイ、況ヤ原料ニ對スル課税ハ一部ノ輸出ヲ防止スルコトニナル、只今大藏大臣トシテ、輸出獎勵ニ對シテハ非常ニ熱心ナル御努力ヲ爲シテ居ラレレニモ拘ラズ、此結果若シ輸出ノ一部ヲ阻止スルト云フヤウナコトニナレバ、是ハ不完全ヲ免レヌ點デアリマス、即チ第三ニ此點ニ於テ吾々ハ意見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、更ニ第四ノ點ニ於キマシテ、是等ノ關稅ニ對シテハ所謂歐洲列國トノ間ニ協定稅率ナルモノガアル、只今奢侈稅ヲ課シタト申シマシテモ、直ニ此稅ノ施行ト云フコトヲ見ルコトハ出來ナイ、然ラバ或ハ三箇月ノ後、或ハ數箇月ノ後ニ於テ始メテ此稅ノ實施ヲ

見ルコト、致シマスナラバ、此間ニ於テ所謂奸商ガ投機其他ノ不正ナル行爲ヲ爲ス所ノ虞ガナ
 イカ、之ニ對スル政府ノ對策ト云フモノハ何モナイノデアリマス、是レ吾々ガ此法案ニ對シテ、
 尙ホ是等ノ點ニ不十分ガアルト思フノデアリマス、第五ニ至リマシテハ此法案ノ中ニ列記サレ
 マシタ品目ヲ具サニ點檢致シマス、是ガ最モ眼目トナル點デアッタ、此品目ノ中ニハ、隨分問題
 トナルベキ物ガ澤山アル、之ニ對シテハ憲政會ノ方モ、或ハ政友會ノ方モ此品目ガ割合ニ杜撰デ
 アルト云フ點ニ對シテハ御異議ハナイト考ヘル、是等ノ問題ニ對シテ然ラバ修正ノ案ヲ出シタ
 ラドウカト云フ御意見モアルカモ知レマセヌガ、此咄嗟ノ間ニ是ダケノ問題ニ對シテ、孰レガ是
 孰レガ然ラズト云フコトハ極メテムヅカシイコトデアアル、從來政府ガ總テ不完全ナル法律案ハ
 之ヲ總テ通常議會ニ廻シテ居ラレル、然ルニ此問題ノミ茲ニ急遽トシテ提出サレテ居ル、吾々ハ
 寧ロ政府ト同ジ意味ニ於テ是等ノ問題ヲ十分審査シテ、尙ホ之ヲ暮ノ議會ニ提出シテ完全ナル
 モノト爲スモ、何等差支ナイデハナイカ、然ラバ政府ニ於カレテハ、普通選舉ノ如キモノニ對シ
 テ、何故ニ此特別議會ニ御出シニナラナイカト云フコトヲ追窮スレバ、是ハ完全ヲ期スル意味ニ
 於テ暮ノ議會ニ廻スト言ハレル、然ルニ此問題ノミハ不完全ト知リナガラ、今期ノ議會ニ突如ト
 シテ提出セラレタ理由ニ對シテ、吾々ハ完全ヲ期セラル、現内閣ノ聊カ片手落ノ矛盾デハナイ
 カト考ヘル、第六ハ先般來問題ニナツテ居ル報復問題デアリマス、若モ今日我國ノ關稅問題ガ、或
 ハ左様ナ事ハ絕對ニナイト大藏大臣ハ主張サレマシタケレドモ、佛蘭西ニ對スル羽二重ノ如キ
 ハ、從來農商務省トシテハ最モ熱心ニ佛蘭西トノ間ニ交渉サレタ事實ガ從來アルノデアアル、若モ
 今日亞米利加トハナイト致シマシテモ、佛蘭西ニ對シテハ少クトモ日本トシテハ一ノ弱點ヲ與
 ヘルコトニナリハシナイカ、況ヤ亞米利加ニ對シテハ生絲ト云フ問題ガアル、事ハ將來ニ屬シマ
 スケレドモ、此問題ヨリシテ生絲ニ對スル報復問題ガ起ルトシタナラバ、是ハ極メテ由々シキ問
 題デアアル、此問題ニ對シテハ從來度々論議サレマシテ、吾々ハ贅澤品ト云フ美名ノ下ニ日本ノ輸
 出貿易ノ最モ重大ナル物ニ對スル大ナル打撃デアアル、是ハ餘程吾々トシテハ考ヲ致サナケレバ
 ナラヌ點デアアルト思フノデアアル、是ガ私共ノ第六トシテ反對スル點デアリマス、最後ニ本問題ノ

最モ眼目トナツテ居リマス所ノ道德的意味ニ於ケル問題デアアル、社會的ノ意味デアリマス、本問
 題ハ大藏大臣ノ仰セラル、如ク收入ノ問題ニアラズシテ、寧ロ道德的問題、社會的問題トシテ國
 民ノ奢侈ヲ撲滅スル點ニ此眼目ガ置カレテアル、併ナガラ吾々ハ寧ロ一片ノ經濟政策ニ依テ道
 德問題ヲ矯正スルコトハ不可能デハナイカト云フ議論ニハ全部賛成デナイケレドモ、勿論是レ
 ト雖モ多少ノ論ハアル、併ナガラ吾々ハ是レト共ニ他ニモウ少シ完全ナル法律案ト云フモノガ
 同時ニ出サレナケレバナラヌト私ハ考ヘマス、例ヘバ一ツノ奢侈品ニ對スル問題ヲ解決スルト
 シテモ、今日吾々ノ最モ大ナル政策デアルト思フモノハ、或ハ金持ノ別莊デアルトカ、東京ノ眞
 中ニ非常ナ大キナ邸宅ヲ構ヘテ居ル、是等ノ如キモ經濟上ノ政策カラ所謂別莊稅デアルトカ、間
 地稅デアルト云フヤウナモノ、之ニ對シテモ、尙ホ政策ヲ施ス途ガアルデハナイカ、斯ノ如キモ
 ノハ之ヲ除イテ急遽トシテ此問題ノミヲ出サレル點ニ於テハ、甚ダ不完全デアルト私ハ考ヘル
 ノデアリマス、尙ホ社會政策ノ問題カラ考ヘマシテモ、此品物ノ中ニハ或ハ娛樂上ノ意味カラシ
 テ、今日ノ荒ンダル所ノ勞働者多數ノ人ノ爲ニハ、或ハ慰安ノモノトナル物モナイデハナイ、娛
 樂トナル物モアルカモ知レヌ、是等ニ對シテハ是ハ一ノ逆法デアルト私ハ考ヘマス、斯ノ如キモ
 ノヲ仔細ニ點檢致シマス、尙ホ此内容ニ於テ極メテ杜撰ナモノガアル、吾々ハ精神ニ於テハ
 此問題ニ對シテ反對スルノデハナイケレドモ、現内閣トシテハ常ニ完全ナルモノヲ提出スル、完
 全ナルモノハ暮ノ議會ニ出スト言ハレナガラ、此問題ノミヲ此處ニ不完全ナガラ、出サレルト云
 フ、此點ニ對シテ私ハ反對スルノデアリマス、私ハ其精神ニ於テハ賛成スル者デアリマスケレド
 モ、此案全體トシテ尙ホ不完全ヲ免レナイガ故ニ、之ヲ暮ノ議會ニ最モ完全ナルモノトシテ、提
 案サレンコトヲ私ハ希望シテ、此問題ヲ殘念ナガラ否決スル所以デアリマス

武内作平君ノ賛成演說

原案賛成ノ意見ト反對論ノ反對ヲ簡單ニ辯明ヲ致シマス、本案ハ戰爭當時ヨリ馴致サレマシタ
 ル此奢侈ヲ抑壓ヲシテ、剛健ナ氣風ヲ養成ヲスルト云フコトヲ目的ト致シ、其副産物ト致シテ現

今非常ナ變調ニナツテ居リマス所ノ輸出入ノ均衡ノ一助ニ致シタイト云フ趣意ヲ以テ提案ヲサ
 レタ法案デアリマス、大正十二年ノ輸入超過ハ六億二千五百萬圓デアリマス、ソレカラ本年ノ五
 月マデノ輸入超過ガ六億七千餘萬圓、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ御承知
 ノ通り對米ノ爲替相場ハ四十一弗二分ノ一ト云フコトニナツテ居リマス、更ニ今回提案ニナツテ
 居リマスル所ノ贅澤品ノ輸入金高ヲ調査ヲ致シテ見マスト、大正八年ニハ一千九百萬圓デア
 リマシタガ大正九年ニハ三千萬圓ニナツテ居ル、大正十年ニハ三千百萬圓、十一年ニハ三千八百
 萬圓ト漸次増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、十二年ニ於キマシテハ大震災ノ結果トシテ二千五
 百萬圓ニナリ、多少減額致シマシタケレドモ、大體ノ趨勢カラ見マスト倍額ノ増加ヲ漸次進メ
 ツ、アルノデアリマス、此數字ヲ私共が見マスル度ニ、今後經濟界ノ狀態ハ如何ニナルノデア
 ルカ、不安ノ念ニ襲ハレルノデアリマス、又此實際ノ狀況ヲ見マスト、連日此農村ノ困憊ニ付テ
 ハ諸君ガ高調サレテ居リマスル通りデアリマス、都市ニ於キマシテモ、各種ノ生産工業等今日安
 心シテ經營ガ出來テ居ル所ノ營業者ハ殆ドナイト思ヒマス、偶ニアレバ一ツカニツカ、指ヲ屈ス
 ル程ノモノハナイト思ヒマス、最近ニ於キマシテ、問屋業ノ營業狀態ヲ調査致シテ見マシタガ、
 五月以來ハ殆ド注文皆無デアルト云フモノガ過半ヲ占メテ居ルノデアアル、帝國ノ經濟界ノ現狀
 ハ右ノヤウニナツテ居ル、此時ニ當リマシテハ大々的決意ヲ以テ此對策ヲ講ジナケレバナラヌ
 ハ當然ノ事デアリマス、現内閣ガ之ニ處スルノ一端トシマシテ、此法案ヲ提出セラレマシタコト
 ハ、殆ド或ル一部ノ人ヲ除キマシテハ國民ノ全體ノ贊成ヲスル所デアルト信ジテ疑ハナイノデ
 アリマス、反對論ヲ唱ヘマスル人ノ中ニハ、本案ノ品目ノ選定ガ甚ダ粗雜デアアル杜撰デアルト云
 フコトデアリマスケレドモ、私共ガ委員ト致シマシテ調査シタ所ニ依リマスルト云フト、用意周
 到ニ十分ナル調査ガ出來テ居ルト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、成程一、二ノ例ヲ舉ゲテ
 非難攻撃ヲスル者ガアリマスケレドモ、是ハ真相ヲ調査シテナイ結果デアリマス、例ヘテ申シマ
 スルト運動具ノ如キ物ヲ贅澤品ト見ルノハ、穩當デハナイ、或ハ寫眞ノ器械、靴ノ護膜ノ如キモノ
 ヲ贅澤品ト云フノハ、穩當デナイト云フヤウナコトヲ置キト論議ヲシテ居ルモノガアリマスガ、

運動ノ器具ト申シマシテモ一般ニ行ハレテ居リマスル所ノ「テニス」トカ「フットボール」ト云フ
 ヤウナ物ニ付テハ是ハ除外サレテ居ルノデアリマス、唯一部ノ人ノ間ニ行ハレテ居リマス所ノ
 近來流行ル「ゴルフ」其他ノモノニ付テ課税サレテアルダケデアリマスカラ、世間ノ申シマスル
 ヤウナ風ニ、保健ノ目的ニ反シテ此品目ヲ選定シタナド、誇ヲ受ケルヤウニハナツテハ居ナイノ
 デアリマス、又寫眞ノ如キモ一般ノ寫眞ニ付テ贅澤品トシテ課税ヲシテ居ルノデアリマセ
 ヌ、此贅澤品トシテ課税ヲ致シテ居リマスルモノハ極ク小型ノモノデアリマシテ、ソレハサウ云
 フ物モ或ハ營業用トシテ使ッテ居ル人ガ中ニハアルカモ知レマセヌケレドモ、一般カラ申シマス
 ルト云フト所謂贅澤ノ爲ニ使ッテ居ル、靴ノ護膜ノ如キモノモサウデアリマス、靴ノ護膜モ絹糸
 ノ入ッテ居ルモノハ贅澤品トシテアリマスルケレドモ、絹糸ノ入ッテナイモノハシテナイノデア
 リマス、デアリマスルカラシテ、斯ウ云フ點ヲ唯靴ノ護膜、或ハ寫眞器械等ノ如キモノヲ贅澤品
 ト見テ居ルノハ甚ダ杜撰デアアルナド、云フコトハ、本案其モノガ杜撰ナルニ非ズシテ、之ヲ研究
 スルコトノ足ラヌ結果デアルト私ハ信ズルノデアリマス、又原料ニ課税スルノガ甚ダ不當デア
 ル、原料ノ中ニハ奢侈品ニナル物モアレバ、奢侈品ニナラナイ物モアル、或ハ輸出ノ是ガ原料ニ
 ナルデアアルカラ之ニ課税スルト云フコトハ輸出ヲ防遏スル關係ニナルノデアルト云フヤウナコ
 トヲ言ハレルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ前ニ委員長カラ報告ガアリマシタ中ニ、此原
 料ニ依リ製造シタ輸出品ニ對シマシテハ假置場ノ制度ヲ最モ巧妙ニ活用致シテ差支ナイヤウニ
 スル、若シカ尙ホソレデモ差支ガアルナラバ、適當ノ方法ヲ講ズルト云フコトガ政府ノ言明デア
 リマス、デアリマスカラ此點ニ對シテ少シモ本案ニ反對スル是ハ理由ニナラナイト思フノデア
 リマス、或人ハ此品物ノ中ニ——或人デハアリマセヌ、現ニ岩切君モ御話ニナツタヤウデアリマ
 スガ、此品物ノ中ニ贅澤品デアアルカ、娛樂品デアアルカ、嗜好品デアアルカ分ラナイ、斯ウ云フコトヲ
 混同シテ居ルノガ甚ダ杜撰デアアルト言ハレタケレドモ、贅澤品ト云フモノハ一定不動決ツタモ
 ノデハナイ、或ル品物モ處ト場所ニ依レバ是ガ贅澤品ニナルノデアリマスカラ、法律學校ナドデ
 法律ノ講義ヲスルト違ヒマシテ、或ル定義ヲ設ケテ必ズ是ガ贅澤品デアアル、是ハ贅澤品デハナイ

ト云フ區別ヲスルノ必要ハナイノデアリマス、縦シ或國ニ於キマシテハ生活ニソレガ必需品デアリマシテモ、我國ニ於キマシテソレガ使用ノ場所、關係ニ於テ、贅澤品ト見ルナラバ、之ヲ贅澤品トシテ本法ノ別表ニ加ヘルト云フコトハ何等差支ハアリマセヌ、又或人ハ法制ニ依テ本法ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、從來ニ於テモ物價ノ調節ヲ法律ノ力ニ依テ目的ヲ達シタコトガナイ、成程從來ノ歴史ヲ調べ見マス、物價ノ調節ヲ法律ノ力ニ依テヤッタ爲ニ失敗シタコトハ澤山アリマス、ケレドモ過去ニ於テ失敗シタ歴史ガアルカラト云ツテ、サウシテ之ヲヤラヌト云フ理窟ニハナラナイノデアアル、之ヲヤツテ失敗スルト云フコトガ分ツテ居ルナラバ——其事ガ言ヒ得ラレルナラバ其事ヲ斷言シテ戴キタイ、吉植君ノ委員會ノ御説明ニ依リマスルト、此輸入品ニ課税ヲシテ、内地ノ品ニ課税ヲセヌケレバ、輸入品ニ對シテソレガ贅澤品デアアル、輸入品ヲ使ツテ居ル者ハ是ガ贅澤品デアアルト思ウテ自覺スルケレドモ、内地品ヲ使ツテ居ル者ハ自覺シナイト云フ御説ガアタツノデアリマスケレドモ、今日ノ場合ニ於テ一人デモ、二人デモ、三人デモ、四人デモ自覺スル人が出來テ來レバ、ソレダケ矢張國家ノ利益ニナルノデアアル、此經濟問題ヲ解決スルニ近ヅク譯デアリマスカラ、全體ノ人が自覺スル方法ヲ採ランケレバ此案ニ反對ヲスルト云フノハ、反對ノ理由ニナラナイト信ズルノデアリマス、本案ヲ施行スル結果トシテ、生絲等ニ對シテ報復ノ増税ヲサレルヤウナ虞ハナイカ、サウ云フ自分等ハ懸念ヲ持ツノデアアルト云フコトヲ政友本黨ノ方ハ高調サレルノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ、先刻本會議ニ於キマシテモ、サウ云フ御意見デアリマシタ、併ナガラ此贅澤品トシテ本法ニ掲ゲテアリマスル所ノ品種ハ、或ル一國ト或ル一國ノ特殊ノ生産品ト云フヤウナモノニ付テハ、用意周到ノ注意ヲシテ除外サレテアリマス、一般的贅澤品ガ規定ヲサレテアルノデアリマスカラ、論者ノ言ハレル如ク此案ガ通過ヲシタカラト云ツテ、ソレガ爲ニ報復ノ重税ヲ課セラル、コトハアリハシナイト見ルノガ當然デアアル、又決シテ無イモノト私ハ確信スルノデアリマス、現ニ二三日前ノ各新聞ニ載ツテ居リマシタ所ノ外國電報ヲ見ルト、斯ウ云フ事ガ書イテアリマス、諸君モ御覽ニナタツト存ジマスガ日本ノ輸出入ノ現狀ニ照シテ、日本ガ此奢侈品ニ重税ヲ課スルト云フコトハ當然ノ事

デアアル、是ハ至當ノ事デアアル、吾々ハ少シモ意ニ介シナイ尤ナ事ト解釋スル、斯ウ云フ電報ガ各新聞ニ載ツテ居ツタ、サモアルベキコト、私ハ信ズルノデアアル、外國ノ市場ニ於テスラモ報復ドコロデハナイ、是ハ現在日本ノ經濟界ノ事情ニ照シテ當然ナル事ト思ウテ居ル際ニ、帝國ノ選良トモアラウ者ガ、殊更ニ報復手段ヲ挑發スル如キ言動ヲ爲スコトハ私ハ慎マナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、甚ダ穩當デナイコトダト信ズルノデアリマス、又反對ノ理由ト致シマシテ、輸入品ニ増税ヲ課シテモ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、輸入品ヲ希望スル如キ人ハ、如何ニ高クテモ矢張輸入品ヲ買フノデアアルカラ本法ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌ、之ヲ以テ反對ノ理由トシテ居ル人がアリマス、併ナガラ私共ハ何レモ等シク日本人デアアル、經濟界ノ狀況ガ今日ノ如クデアツテ、サウシテ政府ニ於キマシテモ御同様御互ニ此點ヲ協調シテ反省ヲ求ムルナラバ、皆之ニ共鳴致シマシテ、消費ノ節約ヲ努メルコトニナルト私ハ確信シテ疑ハヌノデアリマス、諸君モ矢張一國ノ代表者デアリマスカラ、政府ト相共ニ、私共ト相共ニ、矢張協力シテ其自覺宣傳ヲシナケレバナラヌノハ當然ノ事デアアルト思ヒマス、ソレヲ更ニ本法ノ效果ヲ削減スルガ如キ、是等ノ輸入品ノ購入ヲ希望スル連中ヲ挑發誘導シテ、サウ云フ弊害ニ益々陷レシメルコトヲ高調シテ、之ヲ反對ノ理由ニスルノハ、私ハ以テノ外ダト信ズルノデアリマス、要シマスルニ委員會ニ於キマシテノ御説ヲ承リマシテモ、當議場ニ於テノ反對論ノ根據ヲ承リマシテモ、少シモソレガ爲ニ私共ノ説ヲ曲ゲルノ資料トハナラヌ、デ私共ハ雙手ヲ舉ゲテ本案ノ通過センコトヲ希望スル者デアリマス

加藤鏡五郎君ノ反對演説

諸君、濱口大藏大臣ハ先日來屢此壇上ニ立タレマシテ、一世ノ人心ガ奢侈遊惰ニ流レテ居ルコトヲ歎カレマシタ、此人心ニ向ツテ一大強烈ナル刺戟ヲ與ヘテ以テ、茲ニ勤儉力行ノ氣風ヲ高ウスルニアラズンバ、我が帝國ノ將來寒心ニ堪ヘザル旨ノ御演説ガアッタノデゴザイマス、洵ニ私共ト致シマシテモ共鳴同感ニ堪ヘザル所デゴザイマシテ、必ズヤ濱口大藏大臣ハ之ニ對シテ何等

カ適當ナル所ノ對策ヲ出サレルコトヲ信ジテ居ッタノデアリマス、濱口大藏大臣モ此問題ニ對シテ、茲ニ何等カノ對策ヲ出スベキコトヲ聲明サレタノデアリマス、仍テ私共ハ大ナル期待、大ナル希望ヲ此對策ニ向ッテ注ギツ、アッタノデアリマス、然ルニ示サレタル所ノ對策ハ何デアリマシタカ、只今討議シツ、アル所ノ本案デアアルノデアリマス、希望スル所極メテ大デゴザイマシテ見テ甚ダ其小ナルニ私共ハ大ニ失望落膽セザルヲ得ナイノデアリマス、私共ハ濱口大藏大臣ガ此新内閣ノ新經綸ノ一トシテ、初メテ茲ニ此案ヲ出サレタルコトデアリマスガ故ニ、大臣ハ之ニ對シテ片鱗デアルト申サレルノデアリマスガ、私共ハ之ヲ片鱗ト見ナイノデアアル、今期議會中ニ於ケル所ノ最大ナル問題ノ是ガ一ツデアアル、然ルニ是ガ現内閣トシテハ生命ヲ打込シタル問題デアアル、然ルニ是レノ内容ヲ點檢スル時ニ於テ、其貧弱ナルニ私共ハ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、私共ハ勿論勤儉力行ノ氣風ヲ作興スルニ於テ人後ニ落チザル者デアアル、是ハ公然天下何人モ異議者ガナイノデアアル、而モ此案ヲ見ル時ニ於キマシテハ、何等之ニ依テ刺戟ヲ受クルコトヲ見出サナイノデアアル、何等吾々ハ之ニ依テ利益ヲ得ル所ヲ見出サナイノデアアル、私共ハ此案ニ對シマシテ利益ガアル位デアナイ、却テ有害ナル奢侈ヲ誘發スル所ノ動機ヲ作ルモノデアルト信ズル、仍テ趣意ニ於テハ賛成ヲ致スベキデアリマスガ、案其モノトシテハ、政策トシテハ極メテ愚劣ナルモノトシテ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、諸君、私共ハ先ヅ第一ニ本案ノ眞ノ生命ガ何所ニ在ルカヲ疑フノデアリマス、勤儉力行ヲ言ハレ、精神的デアアルト言ハレルカト思ヘバ、多年貿易ノ逆調ヲ緩和スルト言ハレル、或ハ保護政策ノヤウナコトヲ言ハレルカト思ヘバ、收入ノヤウナコトモ言ハレル、一體何所ニ本案ノ趣意ガアルカ、不徹底デアリ不明瞭デアアルノデアアルハ強烈ナル刺戟ヲ與ヘントスルナラバ、何等カ味ガナケレバナラヌ、不明瞭、不徹底、辛クモナケレバ苦クモナイ、甘クモナイ、白湯ノ如キモノデアアル、左様ナルモノヲ飲マシテ、弛緩セル人心ニ向ッテ強烈ナル刺戟ヲ與ヘル——何ノ強烈ナル刺戟ヲ與フルカ、是ハ私共ハ此不徹底ナル本案ニ對シテ反對セザルヲ得ナイ點デアリマス、次ニ私共ハ本案ハ極メテ杜撰ナルコトニ於テ反對スル、奢侈品ニ對シテ重稅ヲ課スルノデアアルカ、生活必需品ニ對シテ課スルノデアアルカ、何所ガ

奢侈品デ、何所ガ生活必需品デアアルカ、甚ダ曖昧デ、其程度ガ分ラナイ、是ハ政府當局ノ奢侈品ト見ルノト生活必需品ト見ルノト大ニ違ッテ居ル、其品目ニ於テハ寧ロ制限ヲシナケレバナラヌモノガ多々アルノデアアル、然ルニ之ニハ却テ課稅ヲスル、課稅ヲシナケレバナラヌ物ニ向ッテ却テ之ヲ削除シテ居ル、例ヘバ「ビヤノ」ノ如キ、其他ノ樂器ノ如キ幾ラモアル、明白ニ分ルノデアアル、斯様ニ實ニ杜撰極マッタルモノデアアル、而シテ例ヘバ十割ヲ課稅スルト云フコトハ、何ヲ根據トシテヤルモノデアリマスカ、何モ根據ハナイノデアアル、委員會ニ於テ私共ガ之ヲ聽ク時ニ於テハ唯十割位デ宜カラウト云フ意見ニ過ギナカッタノデアアル、是ガ爲ニ或物ハ今回ノ十割ノ課稅ニ依リマシテ倍トナリ、或ハ三倍トナリ、或物ハ五倍トナッテ居ルノデアアル、從來ノ課稅ハソレ相當ノ根據ガアツテ、課稅ノ割合ガ違ッテ居ッタノデアアル、然ルヲ何デモ一擱ミニ漠然トシテ十割ヲ課スルガ如キ、如何ニ杜撰デアアルカ分ラナイ、斯様ニ杜撰ナル、斯様ニ曖昧ナル案ニ向ッテ、私共反對セザルヲ得ナイノデアリマス、次ニ私共ガ此案ニ反對セザルヲ得ザル所以ハ、一面ニ於テ海外カラ來ル所ノ奢侈品ニ課稅ヲシテ、内國ノ物ニハ課稅ヲシナイ、其結果ハドウナルカト申シマスレバ、内國ノ奢侈品ガ暴騰スル、内國ノ奢侈品ガ暴騰スルコトハ勝手デアルト大藏大臣ハ仰ッシヤルガ、或ハサウカモ知レヌ、併シ此結果延イテ私共ノ恐ル、所ハ、一般ノ物價ノ暴騰ヲ來スコトデアアルノデアアル、次ニ私共ノ恐ル、コトハ、先刻モ御話ノアリマシタ如ク、絹ノ如キ物ニ向ッテ外國カラ報復的ニ課稅セラル、嫌ガアルカモ知レヌノデアアル、先刻武内君ハ好ンデ課稅スベキト云フ奇怪ナル事ヲ言ハレタガ、誰ガ左様ナル事ヲ好ンデ掛ケルベク議會ニ叫ブノデアアルカ、斯ノ如キ課稅ヲシテ報復ヲスルヤウニナラバ、若シサウ云フ機會ガアリマシタラバ、ソレハ大藏大臣ノ責任デアルト言ハナケレバナラヌ、若シ斯様ナル場合ニ遭遇致シマシタル場合ハ如何デアリマスカ、我ガ貿易ハ之ガ爲ニ如何ナル状態ニナルノデゴザイマセウカ、此點ニ於テ私共ハ本案ニ飽マデ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ此本案ガ實行セラレマシタラバ、内地ノ奢侈品ガ——人心ノ奢侈ニ向フコトハ決シテ止マルモノデアナイ、ソレガ爲ニ内地ノ奢侈品ノ生産業ガ、私ハ活氣ヲ呈スルコトデアルト思フノデアアル、此活氣ヲ呈シテ多クノ資本金ガ此奢侈品ノ生産ニ

投資スル、其事ハ如何ナルコトデアルカ、又之ガ爲ニ無益ニ勞役ガ、此生活ノ必需品デナイ奢侈
品ノ爲ニ勞役ヲ徒費スルト云フコトハ如何ナコトデアルカ、奢ヲ防遏抑制スルガ爲ニ此法案
ヲ出シテ、此法律ヲ施行シテ、其結果却テ奢侈ヲ助長獎勵スルコトニナルデアアル、私共ハ本案
ニ此點ニ於テモ反對ヲセザルヲ得ナイデアリマス、諸君、從來ヨリモ爲政治家、政治家ガ道德上
ノ斯様な問題ニ對シテ色々ナル政策ヲ加ヘテ、決シテ效果ヲ奏シタル場合ハナイデアリマ
ス、多クハ失敗ノ場合デアアル、濱口大藏大臣自ラ進ンデ此大任ニ當ラントスルデアリマス、
其勇氣ハ誠ニ多トスルデアリマスガ、此歴史上ニ於ケル動カスベカラザル事實ヲ如何センデ
アリマス、私共ガ此問題ニ付テ根本ニ於テ大藏大臣及與黨ノ諸君ニ言ハナケレバナラヌコトハ、
斯様な問題ハ躬自ラ天下ニ其範ヲ示サナケレバナラヌデアアル、自ラ其範ヲ示サズシテ、他ニ向
テ之ヲ強ユルガ如キコトハ、何ノ權威ガアルノデゴザイマスカ、思フニ個人ト致シマシテ濱口
大藏大臣ハ謹嚴ニシテ質素ナル、勤儉力行ノ御生活ヲ營マレテ居ラレルコトハ之ヲ信ズル、併ナ
ガラ是ハ大藏大臣トシテ、其長官トシテハ如何デゴザイマスカ、我國ニ於テ最モ贅澤ナルモノハ
何デアアルカト云ヘバ、私ハ中央及地方ニ於ケル官省デアルト思フ、是ガ一番贅澤ノモノデア
ルデアアル、多クノ人ヲ使ヒ、多クノ役人ヲ置イテ、多クノ無用ナル官省ヲ設ケテ居ル、是ガ一番贅澤
デアアル、政府自ラ國民中最モ贅澤ナコトヲシテ、國民ニ向ッテ勤儉力行ヲ叫バレマシテモ、何ノ權
威ガアリマスカ、何デ國民ニ向ッテ強力ナル刺戟ヲ與ヘルデアリマセウカ、無權威極マツタモノデ
アル、政府ガ若シ眞ニ奢侈ヲ抑制セントシタナラバ、根本ニ行政財政ノ一大整理ヲ行ハナケレバ
ナラヌデアアル、此大整理ヲ行ヒマシテ、然ル後ニ天下ニ向ッテ勤儉力行ヲ叫バレマシタナラバ、
ソレハ權威ガアルデアリマス、自ラハ何等ノ事モセズ、口ニ行政財政ノ整理ヲ叫ブノミデア
ル何事モセズシテ國民ニ向ッテ奢侈ヲ抑壓セヨ、勤儉力行ナレ、何ノ事デゴザイマスカ、之ヲ極メテ
卑近ナル例ヲ以テ譬ヘテ申シマスレバ、甚ダ贅澤ナル主人公ガ、別荘ヲ持チ多クノ召使ヲ持チ、
妾ヲ持ッテ居ル此人ガ、俄ニ思付イテ勤儉力行ヲシナケレバナラヌト申シマシテ、妾ノ化粧料ノ
節約ヲサセル、奢侈デアルトシテ節約ヲ言ヒマシタナラバ、天下是程不徹底ナル事ガアルデアリ

マセウカ、今回ノ奢侈法案、此輸入稅法案ハ藝者ノ化粧品ノ節約デアアルノデアアル、斯様な滑稽千
萬ノ事デアアルデアアル、諸君、私ハ中央及地方ノ行政財政ノ一大整理ヲ斷行シテ、然ル後ニ斯ウ
云フ法案ヲ出シテ貫ヒタイノデアアル、之ヲ少シモセズニ、之ヲ拋棄シテ置イテ、斯様な法案ヲ
出シテ國民ヲ強ントスルトハ何事デアアル、諸君、濱口大藏大臣ハ在野當時ニ屢財政行政ノ整理ヲ
力説セラレタ、然ルニ此壇ノ上ニ立チ、委員會ニ於テモ、貴族院ニ於キマシテモ、斯様な問題ノ質
問ヲ受ケルト、誠心誠意通常議會マデニハ何トカ行政ノ整理ヲシテ見セルト言ハレル、在野十年
何ヲ考ヘラレタ、成立日尙ホ淺シ、此言葉ノ裡ニ隱レテ居ル、而シテ漸ク編出サレタ所ノモノハ
此案位ノモノデアアル、大藏大臣ハ之ヲ片鱗ト言ハレルデアリマセウガ、私ハ恐ラク是ガ全體デハ
ナカラウト思フ、諸君、私共ハ斯様な立場ニ於テ本案ハ却テ奢侈ヲ誘發スルト思フ、私ハ奢侈
ヲ抑制シ、眞ニ勤儉力行ヲ叫バンガ爲ニ此案ニ反對ヲ致ス者デアリマス、諸君、此問題ニ關シマ
シテ只今委員長ガ報告サレタノデアリマスガ、政友會ノ修正意見ト云フモノハ、是ハ想フニ政友
會ノ諸君ガ、衷心ハ恐ラクハ反對デアラウト思フ、非常ニ苦シイ立場ヨリシテ斯様な動議ヲ提出
シ、意見希望ヲ出サレタノデアアル、其希望ハ何デアルカ、只今此處デ讀ンデ見マスレバ、本案ハ時
代ニ適應シタル所ノ法案デアアルガ故ニ之ニ賛成ヲスルデアアルケレドモ、個々ノ品目ニ付テハ
尙ホ改訂改修スベキモノガアルカラ、政府ニ於テ然ルベク取捨シテ貫ヒタイト、是ハ何デアアル、
是ハ一ノ法律案デアリマセウカ、何處ヲ改訂スルデアアルカ、自ラ之ニ修正ノ權利ヲ持チナガ
ラ之ヲ拋棄シテ、政府ニ然ルベク鹽梅セヨトハ何事デアアル、不見識極マツテ居ル寧ロ諸君ノ與黨
ノ悲哀ヲ感ズル、本案ニ對シテハ進ンデ良心ノ命ズル所ニ從ッテ反對ナサルガ宜イ、特ニ一言セ
ザルベカラザルコトハ、最後ニ何ヲ言ハレタ、本案ニ關シテ内國ノ奢侈品ニ對シテモ之ニ消費稅
ヲ課スベシト言ハレタ、是ガ山本条太郎君及委員長ノ報告ニアッタデアリマス、想フニ政友會
ノ諸君ハ委員會ノ席ニ於テ、大臣ガ内國ノ奢侈品ニ對シテハ、斷ジテ消費稅ヲ掛ケナイト言ハレ
タ、ソレニ向ッテ掛ケルト云フ希望何タル不見識ノコトデアアル、私ハ想フニ諸君ノ良心ハ必ズ本
案ニ反對セラレルト思フ、與黨ノ悲シサニ本案ニ賛成ヲセラレルデアッテ洵ニ御同情ニ堪ヘナ

イ、又大藏大臣ガ斯様ナル貧弱ナル案ヲ出シテ、是ガ政府ノ經綸デアルトシテ國民ニ示サレタルコトハ、誠ニ私ハ御氣ノ毒、轉々同情ニ堪ヘナイノデアル

右終ルヤ岩崎勳君ハ休憩ノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ午後四時九分休憩ヲ爲ス

同五時五十二分開會議長ハ會議時間ノ延長ヲ宣告シ同五時五十三分再ヒ休憩ヲ爲ス

同六時五十二分開會山本条太郎君ハ本案ニ對シ賛成ノ演說ヲ爲シ且本案ニ對スル附帶動議トシテ

決議案ヲ提出ス

山本条太郎君ノ賛成演說

私ハ此奢侈品ニ對スル輸入關稅引上ニ關スル案ニ對シテハ賛成スル者デアリマス、關稅引上ノコトハ既ニ委員會ニ於テ十分ニ論議サレテ居リマスガ、我國ノ現狀ハ改メテ私ガ述ベルマデモナク、大正四年歐洲ノ大亂以來、偶然我國ノ經濟界ガ利益ヲ獲得シタ結果、放漫且ツ奢侈ノ生活ニ移リマシテ、或ル論者ノ中ニハ徳川時代ニ於ケル前例ヲ説イテ、奢侈ニ對スル禁止ハ其結果甚ダ不良ナリト云フ説モアリマス、併ナガラ現代ノ日本ニ於ケル狀況ハ、洵ニ開關以來ノ狀況デアリマス、斯様ナ場合ニ處シテハ緊急最モ適切ナル、或ル政策ヲ要求シテ居ルノデアリマス、地震當時ニ於ケル東京及横濱地方ノ狀況ヲ見マシテモ、當時ハ玄米ノ握飯ト漬物ニ満足シタ時代デアリマシタ、爾來御詔勅ヲ二度拜シ、國民ノ人心ノ緊張ヲ促サレ勤儉力行ヲ説カレタノデアリマス、山本内閣、清浦内閣、共ニ此御詔勅ニ對シテハ何等之ヲ政治化シテ居ナカッタ、又現内閣ガ組織以來日ノ短イニ拘ラズ、此人心ヲ緊張スル趣旨ニ於テ、此適切ナル案ノ提出サレタコトヲ其趣旨ニ於テ賛成ヲシ、且ツ敬意ヲ表スルノデアリマス、案其モノニ付テノ實行ノ結果カラ見マスルト、種々考慮セネバナラヌコトガ無論アリマス、即チ奢侈品ノ輸入稅ヲ著シク一時ニ引上ゲタ爲ニ、内地ノ奢侈品ノ製造ヲ促シ、所謂ソレガ延イテ物價ノ暴騰ノ原因ニナリハセヌカト云フ議

論モアルノデアリマス、併ナガラ私共ハ左様ニ觀測ヲシナイ、此關稅ノ引上ノ結果奢侈品ノ製造ガ増加シ、獎勵セラレ、コトハ自然ノ結果デアリマスルガ、此製造ガ増加セラレタ結果ハ物價ハ自然ニ調節スルノデス、故ニ奢侈品ノ價格ハ恐ラク暫ク經ツ中ニ自然ニ消化サレマスガ、唯一ツノ問題ハ奢侈品ノ値段ガ上ラヌ爲ニ、消化節約ノ目的ヲ達スルコトニ却テ疑ヲ持タネバナラヌダラウト思フノデアリマス、物價ガ騰貴スルト云フ風ノ議論ハ、私ハソレハ自然ノ道理ニ反シテ居ル觀測ダラウト考ヘル、ソレ故ニ此點ニ關シテハ餘程政府トシテハ深キ考慮ヲ要セナケレバナラヌ事デアラウト思フノデス、又我國ノ輸出品中ニ化粧品類ノ如キ、或ハ菓子類ノ如キ、是等ノ原料ニ對スル重大ナル課稅ハ、折角發展シツアル我國ノ輸出入貿易ノ一端ヲ阻害スルト云フコトモアリマス、是亦大ニ考慮シナケレバナラヌ、斯様ナ問題ガ此關稅ノ實施ニ伴フ直接間接ノ結果トシテハ、今ヨリ深ク考フ及ボサナケレバナラヌ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ先刻申途ベル通り大體ノ趣旨ニ於テ此現代ノ時弊ニ對シテ、之ヲ矯正スルト云フ精神ト趣旨ニ於テ吾々ハ此案ニ賛成シタノデアリマス、大體私ノ賛成シマス趣旨ハソレデアリ、且ツ此實施ニ伴フコトニ付テ深ク考慮ヲ要セナケレバナラヌコトニ付テモ、只今簡單ニ指摘致シタヤウナ次第デアリマス、ソコデ私ハ之ニ附帶シテ一箇ノ動議ヲ提出シ、是デ此政策ニ伴フ完成ヲ期シタイト云フ考ヘデアリマス、私ノ動議ヲ此處デ朗讀致シマス「政府提出奢侈品等ノ輸入稅ニ關スル法律案ハ大體ニ於テ今日ノ時勢ニ適應スル必要ノ法律ナリト信ズルヲ以テ其ノ細目ニ關シ加除修正ヲ爲サシテ之ニ協賛ヲ與フルモ政府ハ實施ノ成績ニ鑑ミ、將來相當ナル改正ヲ施サレンコトヲ望ム」二、本法制定ノ精神ヲ徹底セシムル爲、實施ノ成績ニ鑑ミ本法課稅品目中内地産ノモノニ對シテモ將來適當ノ課稅ヲ爲サレンコトヲ望ム」是ガ私ノ動議デアリマス、ドウゾ御賛成ノ上院議ヲ以テ御決定アラント希望致シマス

議長ハ唯今本案ノ第一讀會中ナルニ依リ山本君提出ノ附帶動議タル決議案ハ暫ク保留スル旨ヲ告ク大口喜六君ノ賛成演說

私ハ只今議題ト相成ッテ居リマス政府提出、贅澤品等ニ關シマスル關稅引上ノ案ニ贊成ヲ致ス所ノ者デアリマス、同時ニ只今保留ハ致サレテ居リマスルガ附帶サレタモノデアリマスガ故ニ、山本条太郎君ヨリ出サレマシタ此決議ニモ贊成ヲ致ス所ノ者デアリマス、隨テ此原案贊成ノ意見ヲ述ベマスト同時ニ、其山本君ノ提案ニモ贊成ノ意ヲ及ボシタイト存ズルデアリマス、我が日本帝國ノ現在ノ經濟狀態ハ私ガ申シマスモナク、既ニ屢諸君カラ申述ベラレテ居ル通りデアリマスシ、又多クノ人ガ認ムル如クデアリマス、貿易カラ申シマシテモ遺憾ナガラ現在ハ極メテ逆調デアルデアリマス、之ヲ段々考ヘテ見マスト、世界ノ大亂前ニ當リマシテハ、我が日本帝國ノ所有シテ居リマス正貨ハ、約三億七八千萬圓デアッタト記憶致シテ居ルデアリマスガ、是ガ世界ノ大亂中ニ貿易ガ非常ニ順調デアリマシタ結果ト致シマシテ、殆ド一時ニ我國ハ二十億ノ正貨ヲ得タ狀態ニ相成ッテ居ルデアリマス、隨テ頗ル大ナル通貨ノ膨脹ヲ來シマシタノデアリマスルガ、世界ノ大亂ノ熄ンダ結果如何様ニ相成ッタカト言ヘバ、諸君モ御承知ノ如ク忽チ輸入超過ニ相成ッテ貿易ハ逆調ニ相成ッテ參リ昨年ノ如キモ五億四千餘萬圓ノ輸入超過ヲ見テ居ルデアリマスガ、本年ノ如キハ頗ル既ニ多額ヲ輸入超過ヲ見テ居ル、其結果ト致シテ我國ノ正貨ハ次第々々ニ減ッテ參ラザルヲ得ザル狀況ニナッタデアリマスルガ、現在在外正貨ガ如何程アルカト研究ヲ致シテ見マスト、凡ソ四億四五千萬圓デハナカラウカト吾々ハ思フノデアリマス、勿論此中ニハ曾テ清浦内閣ニ依ッテ募集サレタル所ノ五億五千萬圓ト云フ外債モアリハシナイカト吾々ハ思ッテ居ルデアリマス、果シテサウシマスルト、此英債公債ノ十月一日ニ支拂ヒマスル分ガ、向フト借換ヲ致ス分ヲ差引キマシテモ——肩替ヲ致ス分ヲ差引キマシテモ、尙且ツ一億二三千萬圓ノ金ハ、此在外正貨カラ拂ハナクテハナラナイデアラウト吾々ハ思ッテ居ル、果シテ然リトシマスレバ、在外正貨ノ高モ今ノ儘デ行ッテモ三億少シ餘シカナイ譯ニ相成ルノデアリマスガ故ニ、現在ノ儘ノ貿易ノ狀態デ參リマスレバ、頗ル在外正貨ナルモノニ對シテ吾々ハ悲觀セザルヲ得ザル狀態ニ在ル、ソコデ一時二十億ニ達シタ所ノ我國ノ正貨ハ、現在ドレダケアルカト云ヘバ、私共ノ勸定デハ、約十六億位ノ正貨ヲ只今有シテ居ルト思フノデアリマスガ、是ガ

將來ドウナルカト考ヘマス時ニ、現在ノ狀況カラ行ケバ頗ル私共ハ憂フベキ狀態デアル、誰ガ考ヘマシテモ今ノ日本ノ經濟狀態ガ惡イ悲觀スベキモノデアルト云フコトハ思フノデアリマスガ其思ヒマス程度ニ付テハ色々違ヒガアルヤウデアリマス、私共ハ甚ダ此壇上デ申スノハ遺憾デアリマスガ、頗ル我が日本帝國財政上ノ一ツノ大難ガ來ッテ居ルノデハナイカト染々感ズル所ノ狀況ニ相成ッテ居ルデアリマス、然ラバ之ヲ救済スルニハドウスレバ宜イカ、是ハ勿論色々ナ方法モアリマセウガ、根本的ニ申セバ言フマデモナク貿易ノ振興力、即チ産業ノ發達ヲ圖ルコトガ必要デアリマスガ、一面ニ於テハ又成タケ出ナサイコト、節約スルコト、是ハ諸君モ言ハレル通り消費節約ヲ致シテ、成ベク吾々ハ儉約ヲシテ、一面ニ使ハナイヤウニシテ、一面ニ産業ノ振興ヲ圖ッテ、貿易ノ伸張ヲ圖ルコトヨリ外絶對ニナイ道理ニ相成ルノデアリマス、然ラバ此應急ノ手段トシテハ如何ナル事ヲ爲スカ、先日來カラ武藤君ナドモ屢御質問旁御意見ガ出テ居ッタヤウデアリマスガ、先ヅ之ニハ金ノ輸出ノ禁止ヲシテ居ルノヲ解イタラドウデアルカ、解禁ガ必要デアアル、是ハ一面誠ニ御尤ナ論デアリマシテ、私共ハ頗ル眞理ノアル議論ト常々拜聽致シテ居ル、勿論此爲替相場ノ下落ト云フコトハ、我國ノ實業ニハ容易ナラス影響デアアル、而シテ爲替相場ノ下ツタ所以ハ、申スマデモナク其根本ノ原因ハ大部分貿易ノ逆調、在外正貨ノ減少ニ在ルト吾々モ信ジテ居リマスガ故ニ、茲ニ爲替相場ヲ引戻スト云フコトハ、一ツノ應急手段トシテハ勿論金ノ輸出ヲ解禁ヲスルト云フコトガ、當面ノ手段トシテ極メテ適切ナル手段デアルト私共ハ思ッテ居ル、或ハ吾々ノ見ル所ガ誤ッテ居ルカモ存ジマセウガ、金ノ輸出解禁ヲ致セバ、割合ニ速ニ此爲替相場ハ戻ル、此戻ル結果トシテ矢張日本帝國ノ全體ノ國民ヲ利益ヲ與ヘルニ違ヒナイト吾々ハ思フ、然ラバ直グサウヤッテ宜イカト、云フト此所ハ餘程考物デアルト吾々ハ思ッテ居ル勿論金輸出解禁ト云フコトハ、是ハ正シキ道ニ就ク——正シキ道ニ就クト申スト語弊ガアリマスカラ、常道ニ復スル、早ク常道ニ復スルノデアリマシテ、政府モ之ヲ認メテ居ル、吾々モ一日モ早ク常道ニ復センコトヲ望ムノデアリマスガ、併シ療治デ申セバ稍々荒療治デアッテ、身體ノ疲勞シテ居ル病人ニ一時ニ劇劑ヲ投ズルト云フコトガ果シテ宜イモノデアラウカ、惡イモノデア

ラウカ、是ハ頗ル私共ハ考フベキ問題デアルト思フテ居ル、勿論金ノ輸出禁止ヲ致シマシテ居ルノヲ解禁スレバ、今申ス通り爲替相場ハ比較的早ク戻ルデアリマセウガ、同時ニ我國ノ正貨ハ比較的早ク海外ニ流出スル、是ト同時ニ忽チ我國ノ通貨ハ縮少サレナクテハナラス、通貨ノ縮小ニ結構デアル、物價調節ノ上ニ誠ニ宜イノデアルガ、今日ノ我國ノ實業狀態、貿易狀態ノ不健全ナル時代ニ當ッテ、一時ニ大々的ニ通貨縮小ヲ爲シ、一時ニ我國ノ金貨ガ海外ニ流出スルト云フコトニナツタナラバ、果シテ我國ノ經濟ハドウデアルカ、此處ガ吾ミガ顧慮スベキ所デアッテ、是ハ根本ノ療治デアルニ相違ナイ、今日此療治ヲ行フベキ時期ナリヤ否ヤト云フコトハ、吾ミハ何處マデモ考ヘナケレバナラス、然ラバ是ヲドウスルカ、吾ミハ常ニ産業政策ノ確立ヲ唱ヘテ居ル一口ニ言ヘバ産業政策デアルガ、凡ソ産業政策ヲ研究スルニハ大摺ミニヤッテハナラナイ、大摺ミノ研究主張ハナクテハナラヌガ、悉クノ産業ニ對シテ研究ヲ爲シ、工業ニ對シテハ曹達工業ハドウスル「アルカリ」工業ハドウスル「タール」工業ハドウスル、其「タール」工業ノ中ニ付テモ細カニ研究ヲ致シ、一々我國ノ政策ヲ樹テナケレバナラヌト思フノデアル、ソコデ第一ニ我國ハ如何ナルモノニ依ッテ我國ノ富ヲ維持スルカ、ソレカラ、先ヅ決メナケレバナラヌ、ソレカラ細カニ問題ニ付テモ研究ヲシテ之ヲ決メナケレバナラヌ、是ハ吾ミハ常ニ要望シテ居ルコトデアアルガ、應急手段トシテハ一朝一夕ニ行ケルコトデナイ、然ラバ茲ニ應急手段トシテ兎モ角此病體ヲ救フニハドウスルカト云ヘバ、吾ミノミナラズ諸君ハ悉ク熱心ニ御考ニナッテ居ルコトデアラウト思フ、是モ概括シテ言ヘバ、一言ニシテ言ヘルコトデ、ドナタモ御贊成デアアル、先ヅ第一ニ行政財政ノ整理ヲ思切ッテヤッテ、國民ニ範ヲ示スコトヲサレナクテハナラヌ、殊ニ大消費者デアアル政府ハ、大ニ之ヲ約メテ、己ノ支出ヲ減ラシテ國民ノ負擔ヲ出來ルダケ減ジテ掛ル、一面ニ於テ整理シタ金ヲ産業ノ振興ニ之ヲ投ジテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ當然ノ事デアアルガ、今ノ政府ハ之ヲヤルト云フコトヲ明言ヲ致シテ居ル、是ハ私共豫算會議ニ於テモ總理大臣ノ言明ヲ求メ、總理大臣ハ徹底的ニヤルカラ御助ケヲ願ヒタイト言ハレル、吾ミハ實ハ今ノ内閣ヲ固ク信用シテ居ル、今ノ内閣ヲ信用シナイ御方カラ見レバ、ソソコトヲ言ッテモソレハ嘘ダラウト

仰ッシヤルダラウガ、吾ミハ固ク之ヲ信用シテ居ル、吾ミハ之ヲ信ズルヨリ外今ノ所ハ仕方ガナイソコデドウシテモ今ノ政府ト云フモノハ、未ダ政府ヲ組織シテカラ日尙ホ淺イモノデアアルカラシテ、如何ナル事デモ二十日ヤ四十日デハヤレルモノデハナイ、況ヤ此行政財政ノ整理ノ如キ根本的ニヤラウト云フコトデアアルナラバ、ドウシテモ之ハ假スニ時日ヲ以テシナクテハナラナイ、吾ミハ今日ノ日本デハ之ヲヤラネバナラヌト思フ、然ラバドウ云フ内閣ニヤラセルカト云ヘバ、ドウ云フ内閣デモ自分ノ思フヤウニハ行カナイ、吾ミハ今ノ内閣ヲ全然謳歌スルカト云ヘバ、實ハサウデハナイ、中ニハ惡イ事モアル、アルケレドモ、自分ノ氣ニ入ラナイカラ、アレハイカヌ之モイカヌト云ヘバ、自分一人デ内閣ヲ組織スルヨリ外ニ遣力ガナイ、サウ云フコトハ出來ルモノデハナイカラ、吾ミハ比較的此困難ナル時代ニ當ッテ比較的鞏固ナル基礎ヲ持ッテ居ル所ノ内閣ニ信賴シテ、吾ミノ主義主張ヲ行フ以上ハ、何處マデモ吾ミモ犠牲トナッテ助ケテヤル積リデアアル、吾ミハ眞ニ是ガ國家國民ヲ救フ所以デアルト考ヘル、吾ミハ此演壇デ申スノハ甚ダ失禮デアアルケレドモ、決シテ吾ミナドハ獵官ナドヲヤルモノデハナイ、ナラウトシテモシテ吳レナイデアラウガ、ソソコトヲ思フナラ何時カ大多數黨ニ這入ッテ居ルノデアアルガ、吾ミハ飽クマデモ天下國家ノ爲ニ及バズナガラ盡シタイト思ッテ居ル所ノ者デアアル、今日ノ内閣程、吾ミハ兎ニ角政治界ニ立ッテカラ基礎ガ比較的鞏固ナ内閣ハナイト私ハ信ジテ居ル、三派ガゴトトスルトカ、三派ガドウダトカ言ハレルカ知レナイガ、ソレハアナタ方ト意見ガ違フノデアアル……、兎ニ角今ノ内閣ト云フモノハ、固ク信ズルモノデアアル國民ニ基礎ヲ置イテ居ルモノデアアル、國民ニ基礎ヲ置イテ居ルモノデアアルガ、故ニ何處マデモ之ニヤラシテ見タイト吾ミハ考ヘテ居ル所ノモノデアアル、所ガ此處ニ考ヘナケレバナラヌコトガアル、凡ソ斯ノ如キ大事業ヲシヤウトスルニハ、宜シク内閣諸公ガ己ノ身ヲ慎マナケレバナラヌ、徳川時代ノ政治家ノコトヲ考ヘテ見ルト、斯ウ云フコトヲ失敗シタト言ハレル、今モ山本君カラ其御説ガ出タノデアアルガ、成程徳川時代ニ於テ最モ奢侈ヲ禁ジテ——法令ヲ以テ奢侈ヲ禁ジテ大失敗ニ終ッタノハ御承知ノ通り水野越前守デアアル、然ルニ徳川時代、天明ノ時代ニ於テ水野越前守ヨリ一代前ニ於テ、此奢侈ヲ禁ジテ大ニ勤儉尙武

ノ氣象ヲ發揮セシメントシテ、比較的の成功シタノハ、御承知ノ通り白河樂翁公デアアル、是ハ天明ノ饑饉カラ十一代ノ將軍ノ時代ニ互ッテ、明瞭ナル歴史上ノ事實デアアル、之ヲ能ク考ヘテ見ルト水野越前守ノ失敗ト云フモノハ、徳川時代ノ既ニ末世デアッテ、彼ノ徳川時代ニ於テ天保、弘化、嘉永——天保、弘化、嘉永ト云ヘバ、最モ墮落シタ時代デアッタコトハ、今日其時代ノ建築物ヲ見テモ明瞭デアアル、其如ク官僚ト云フモノハ、腐敗、墮落シテ居ッタ、有ユル政治ガ墮落シ、水野越前守己レ自ラガ墮落シ居リ、其者ガ天下ニ向ッテ勤儉貯蓄ヲ唱ヘテモ國民ハ肯カナイ、是ガ水野越前守ノ失敗ノ原因デアアル、然ルニ白河樂翁公ハ如何デアアルカト云ヘバ、己レ自ラ先ヅ自分ノ身ヲ約メテ、御承知ノ如ク靈岸島ノ靈岸寺カラ其願文ガ出タ、其樂翁公ノ願文ト云フモノニ依ッテ見ルモ己レ自ラ身ヲ殺シテ民ヲ救ヒタイ、ソレデ足リナケレバ妻子ノ命モ御取リ下サイト云フコトヲ認メタ願文ガ發見サレタ、此位ノ決心ヲ持ッテ立ッタカラ、白河樂翁公ハ之ヲヤリ遂ゲタノデアアル故ニ内閣諸公ニ向ッテ之ヲ要求シタイ、今ノ内閣諸公ガ腹ノ底カラソレヲ御考ニナラナカッタラ失敗ニ終ルノデアアル、何處マデモ今ノ内閣ガソレダケノ事ヲヤラレル以上、ソレヲ腹ノ底カラヤラレテ、吾々國民ニ首肯スルヤウニヤッテ戴キタイコトヲ吾々ハ希望スル、出來ルトカ出來ナイト云フノハ、是ハ意見ノ相違デアアル、即チ今日マデハドウデアアルカト云ヘバ、多クノ内閣、多クノ人ハ黨利黨略、或ハ利權ヲ以テ人ヲ誘ッタリ色々ノ事ヲシテ天下ヲ取レバ宜イト云フノデアアル、ソナ遣方デハドウシテモ此大改革ハ出來ナイ、ソレデ今ノ財政經濟ノ膨脹誠ニ不都合デアアル、何故之ヲ整理シナイ、先ヅ之ヲ整理シテ掛レト、或ル一派ノ人ハ只今此處デ公言ナサルガ、サウ云フ風ニ膨脹致シタノハ一體誰ニ依ッテ——誰ノ内閣デサウ云フコトヲヤッタノデアアルカ、サウ云フヤウナコトヲ致ス人マデハ到底此整理ハ出來ナイと思ッテ居ルノデアアル、ソコデ斯ノ如ク主義ニ於テ今回政府ガ出シタ所ノ案ト云フモノハ、申スマデモナク是ハ重大ノ案デアリマス、主義カラ云ヘバ極メテ重大ナル案デアアルガ、金額カラ云ヘバ大シタ大キイモノデハナイ、三千四百萬圓ト云フ比較的小サイモノデアアル、十五億幾ラト云フ輸入ニ對シテ、僅ニ三千四百萬圓ハ金額カラ云ヘバ小サイ、國家天下ニ影響スル金額デアアルガ如ク言ハレタ者ガアルガ、是ハ誤デアルト思フ

主義ニ於テハ大ナルモノデアッテ、其及ボス所ノモノハ少カラザルモノデアルト吾々ハ考ヘテ居ル、ソコデ或ル論者ハ、何故内閣ガ行政財政整理ヲヤラナイカ、何故是ト一緒ニヤラナイカ、先ヅ國民ニ要求スルコトハ不都合デアルト言ハレルガ、政府ハヤルコトヲ既ニ言明シテ居ル、一方ニ行政整理ヲヤルコトヲ言明シ、吾々ハ之ヲ期待シテ居ル、ソレデアアルカラ一面ニ於テハ假令一寸デモ五分デモ、少シデモ此良イ方ニ向フ仕事ヲスルノニ、吾々ハ速ニ之ヲ賛成スルノハ當然デアアル之ヲヤラナイカラ、ヤラセテイカナイト云フコトハ甚ダ之ハ當ラ得ナイモノデアアル、一步デモ半歩デモ我が帝國ノ財政經濟ニ付テ良イ影響ヲ與ヘルモノハ、吾々ハ五分デモ一寸デモ之ヲヤラセルニ吝カナラヌ者デアアル、ソレデ今回ノ奢侈ヲ禁ズル爲ニ此案ヲ出サレタコトニ付テハ、其精神ニ於テハ諸君滿場一致デ大賛成デアアルガ、唯其方法如何ト云フコトハ多少ノ問題デアアルヤウデアリマス、主義ニ於テハ皆大賛成デアアル、主義ハ吾々モ之ヲ認メナクチャナラヌ、而シテ之ヲ少シデモ早ク實行ノ出來ルダケ實行セシムルト云フコトハ、正ニ吾々ノ爲スベキコトデアアルト私ハ思フノデアアル、ソコデ之ヲ譬ヘテ言ヘバ、矢張注射療法デアアル、病人ニ對スル注射療法デアアル本當ノ療法デアアリマセヌ、是ハ私モ認メル、然ラバ本當ノ療法ヲヤッテ行ッタラドウデアアルカト云フト、中々暇ガ掛ル、或ハ論者ノ言フ所ニ依レバ、今ノヤウナ精神上ニ及ボスコトハ文部省デヤレ、學校デヤレ、其通りデアアル、之ニ吾々ハ同意スル、併ナガラ此思想ヲ文部省デヤラセ、小學校カラヤラセテ居ッタラ、何年掛ルカ、中々之ハエライコトデアアル、ソレデアアルカラ醫者ガヤル通り矢張或ル場合ニハ注射療法ヲシナクチャナラヌ、食鹽水ガドレダケ、鹽水ガドレダケ「モルヒネ」ガドレダケ、注射療法——應急手段ト云フモノハ極メテ必要デアアル、吾々ハ今日ノ時代ニ於テ此注射療法ガ極メテ適切ナル方法デアアルト私ハ思フ、勿論吾々ハ萬能ノモノト思ハナイ、是ハ其一端デアルト思フ、此主義カラ云ヘバ根本思想、根本主義ガ大切デアアル、實際カラ云ヘバ一端タルニ過ギナイケレドモ、是ハ何處マデモ吾々ハ注射療法トシテ、今日ノ時代ニ於テ之ヲ賛成スルコトハ當然デアアル、即チ國民ヲシテ斯ノ如キモノデナクチャナラヌ、眞ニ勤儉尙武ノ心ニナラナクテハナラヌト、形ノ上ニ於テ一ツノ「ヒント」ヲ與ヘルモノデアルト吾々ハ信ジテ疑ハヌ

ノデア、ソコテ今日ノ吾々ハ、此第一ガ是ハ總體ノ議論デア、更ニ吾々ハ進ンデ本案其モ
 ノニ付テ少シク批評ヲ致シテ見タイト思フデス、勿論只今申ス通り本案ノ總額ト云フモノハ三
 千八百四十萬圓バカリノ輸入ニ過ギナイノデアリマスルガ、吾々ハ之ニ對シテ少シク見様ガ違
 フノデス、是ハ吾々ハ比較的少數ノ人ノ使フ所ノ、眞ノ是ハ不要ナル物デア、大體ニ於テ認メ
 テ居ル、勿論此中ノ二種類、三種類ノモノニ對シテハ、吾々ニモ不滿ニ思フ所ノ代物モアリマスガ、
 大體ニ於テ之ヲ細カク調べテ見ルト、或ハ嗜好品ト名ヲ附ケ、或ハ贅澤品ト名ヅケ、或ハ何ト名ヲ
 附ケルニシテモ、比較的我が日本ノ人ガ使ハナクトモ行ケル代物デア、斯様ナ物ハ舶來品デ日
 本ニ入ッテ來ル以上、之ヲ防ガシムルト云フコトハ、比較的少數ナル——心ナク知ラズニ使ッテ居
 ル人ニ對シテ、斯ノ如キ物デア、其範ヲ示スコトニ相成ルノデアリマスルガ故ニ、極メテ
 此案ハ私ハ見ルベキモノデア、大體ニ於テ信ジテ居ルノデア、ソコデ先刻申シタ通り關稅
 其モノニ付テ一々研究ヲ致シテ見ナケレバナリマセヌ、何故ナラバ此百幾種類ノモノハ、大體ニ
 付テ私ハ研究シテ見タ所ガ、今申ス三四種類ニ付テ私モ稍不滿ニ感ズル、然ラバ之ニ修正ヲシ
 イカ、實ハ出來ルナラバ修正ヲシヤウトモ考ヘテ見タ、所ガ是ハ斯ウ云フ事ニ相成ル、此關稅ト
 云フモノハ長イ間吾々モ根本的改正ノ必要ヲ論ジ、政府モ之ヲ容レテ長イ間財政經濟調査會ニ
 掛ッテ居リマス、財政經濟調査會ニ於テ二箇年掛ッテ殆ト本ガ出來テ居ル、其ノ本ガ果シテ善イカ
 惡イカハ別問題デア、中々長ク掛ッタモノデア、所ガ此材料ト云フモノガ殆ト燒ケテシマッ
 テ居ル、私ハ自分ガ燒ケナカッタカラ一部分ハ所有シテ居リマスガ、全部ハ所有シテ居ナイ、政府
 ニ於テモ矢張吾々ガ知ッテ居ル所ノ材料ノ大部分ハ燒ケテ居ル、ソコデ之ヲ眞ニ修正ヲシテ其影
 響ガドウ行クカ、研究ヲシテ見ルト或ハ七分ノ利益ハアッテモ三分ノ害ガアル、五分ノ利益ハアッ
 テモ五分ノ害ガアル、四分ノ利益ガアッテモ六分ノ害ガアルト云フコトガ發見サレルノデアリマ
 ス、ソレ故ニ吾々ハ斯ノ如キ急激ナル場合、大切ナル場合ニ於テ國民ニ對シテ注射療法ノ手段ニ
 依テ勤儉貯蓄ノ一ノ「ヒント」ヲ與ヘル、今日ニ於テ此二種類、四種類ノモノハ、餘程是ハ研究ヲ
 シナイト下手ナ修正ヲシナケレバナラヌノデア、ソコデ吾々ハ政府ノ意見ヲ信ジテ、之ヲスッ

カリ行ハシテ見ル、所デ實際行ッテ見テ惡イ場合ガアレバ、是ハ改正スルハ勿論ノ話、此趣意ニ於
 テ吾々ハ之ヲ賛成シ、之ヲ實際行セシムルト云フコトハ、極メテ今日ニ於テ適切ナルモノデア
 ル、要スルニ私ノ見ル所ハ、或ハ或ル一部ノ諸君ガ御覽ニナルヨリモ、我が日本帝國ノ經濟狀態
 ヲ遺憾ナガラ餘程惡ク見テ居ル、餘程悲觀シテ居ル、ソコデ此場合ドウシテモ吾々ハ一大決心ヲ
 以テ、政府ハ警鐘ヲ國民ニ對シテ亂打シ、又自ラモ儉約ヲシテ政府モ亦行政財政ノ根本整理ヲ進
 メナケレバナラヌ、之ヲ吾々ハ出來ルダケ援ケテヤルニアラズンバ、我が日本帝國現在ノ經濟狀
 態ヲ救フコトハ出來ナイ、此見地ノ上カラシテ、吾々ハ區々タル感情、區々タル問題ハソッチニ措
 イテ、何處マデモ之ヲ政府ヲシテ國民ニヤラシメタイ、詰ラナイ、寔ニ些末ニ涉ル所ノモノニ對シ
 非難ヲシテ、而シテ折角進メタイト云フモノニ對シテ、國民ニ一種ノ惡シキ影響ヲ與ヘルコトハ
 吾々ハ好マナイノデア、此根本ノ主義ニ依リマシテ、吾々ハ本案ニ賛成スル者デア、同時ニ
 山本君ノ動議ヲ賛成スル、是ト同時ニ内閣諸公ニ向ヒマシテモ、一大決心、一大根本ノ組立ニ依
 テ大改革ヲサレ、自ラモ何處マデモ之ニ向ッテ行カレルコトヲ此席ヨリ熱心ニ希望シテ置
 ク所ノ者デアリマス

他ニ通告者ナク討論ハ茲ニ終局ス上埜安太郎君外四名ヨリ成規ノ賛成ヲ得テ本案ノ第二讀會ヲ開
 クヤ否ノ採決ハ記名投票ニ依ルヘシトノ要求アリ依テ記名投票ニテ表決ノ結果九十三ニ對スルニ
 百四十五ノ多數ヲ以テ第二讀會ヲ開クニ決シタリ

次テ議長ハ院議ニ諮ヒ此ノ際曩ニ保留シタル山本条太郎君提出ノ決議案ヲ議題ト爲ス旨ヲ宣告シ
 之カ議事ニ移ル(決議案ノ議事ノ經過及結果ハ第六項(二)參看)

右決議案ノ議事終ルヤ作間耕逸君ハ此ノ際直ニ贅澤品等ノ輸入稅ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開

クヘシトノ動議ヲ提出シ院議異議ナク之ニ決ス

浦山助太郎君及前野芳造君ハ各々修正案ヲ提出シ之カ趣旨辯明ヲ爲ス

(浦山助太郎君提出修正案)

贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案中左ノ通修正ス

本文ノ末尾ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ工業用及學術用ノ必要品ニシテ之カ代用品ナキカ又ハ代用品ヲ用キルコトヲ不利ト認ム

ル物品ハ此ノ限ニ在ラス

(前野芳造君提出修正案)

贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案中左ノ通修正ス

附則ヲ左ノ如ク改ム

本法施行期日及本法ノ施行ニ關スル細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法別表中左ノ各號ヲ削ル

三六 コーコー(砂糖ヲ加ヘサルモノ)

九五 植物性揮發油

一 芳香性ノモノ

浦山助太郎君ノ修正案趣旨辯明

諸君、私ハ一ツノ修正案ヲ提出致シマス、此提出ノ條項ヲ朗讀致シマス、此本案ニ但書ヲ加ヘマス「但シ工業用及學術用ノ必要品ニシテ是カ代用品ナキカ又ハ代用品ヲ用フルコトヲ不利ト認ムル物品ハ此限ニアラス」此但書ヲ加ヘマスル理由ヲ聊カ述べマシテ諸君ノ贊成ヲ求メマセウ、本案ハ嘗テ提出セラレマシタ大藏大臣ノ辯明ニハ、固ヨリ保護政策ノ下ニ之ヲ出スノデハナイ、即チ消費節約、勤儉力行ノ爲ニ制定セントスル所ノモノデアルト云フコトノ御明言デアアル、然ラバ之ヲ單リ外國輸入品ノミニ限ルト云フコトハ徹底セヌノデアラウ、即チ内地ノ贅澤品ノ生産ニ對シテモ、十分ナル所ノ消費税ヲ高メナケレバ徹底セヌノデゴザイマセウ、併ナガラ諸君、此消費税ヲ高メルト云フコトハ、半年ナリ一年ノ後ニ於テ徐ロニ其實況ヲ見タ上ニ、其實際ヲヤラウト云フノデアアル、大藏大臣ハ私ノ常ニ尊敬ヲ拂ッテ居ル所ノ御方デアアル、而モ賢明ナル所ノ大藏大臣デアアル、而シテ此内地ノ贅澤品ノ消費税ヲ直ニ實行シ得ラレナイト云フコトノ理由ハ、甚ダ不似合ト謂ハナケレバナラヌト思フノデアアル、併シ私ハ此議場ノ大勢ヲ視マスレバ、モウ政府提出案ハ通過シテ行クモノト認メナケレバナリマセヌ、是ニ於テカ我輩ノ提出致シマシタ此修正案ヲ能ク玩味セラレテ、我輩ノ此修正ニ贊成ヲ求メタイノデアアル、ソレハ此別表中中ニ於テ贅澤品ト云ヒナガラ、工業用學術用ニ最モ必要缺クベカラザル所ノ品ハ澤山ゴザイマセウ然ルニモ拘ラズ此大切ナル工業ナリ學術ナリニ缺クベカラザル品ニ對シテモ、贅澤品ト云フ名目ノ下ニ一律ニ重税ヲ課セントスルト云フコトニ、我國ノ工業、我國ノ學術ノ進歩ヲ阻止スルモノデアラウト思フノデアアル、然ラバ此除外例ヲ設ケテ工業家學術家ヲ保護スルト云フコトハ、諸君ノ最モ努メテ之ヲ行ハナケレバナラヌモノト思フノデアアル、然ルニモ拘ラズ唯單ニ此案ノ下ニ於テ、ソレ等ニ對シテモ尙且ツ十割ノ重税ヲ課セナケレバナラヌト云フ理由ハ何所ニアル仍テ我輩ハ此法律ヲ可決セラレマスト同時ニ、此但書ヲ以テ工業家學術家ノ爲ニ、是等ノ必要品ニ對シテ此

除外例ヲ設ケラレンコトヲ望ムノデゴザイマス、何卒諸君賛成アッテ、此案ノ通過アランコトヲ偏ニ御願致シマス

前野芳造君ノ修正案趣旨辯明

本案ニ付キマシテハ、既ニ山本君ノ動議ガ成立致シマシテ、之ニ依テ政府ハ將來此實施ノ上ニ於テ政府ノ豫期ニ裏切ルコトガアリマシタナラバ、改メルトカ、或ハ追補スベキ事ガアルナラバ之ヲ追補致ストカ云フコトニ相成ルコト、ナツテ居リマス、故ニ私共ガ茲ニ修正案ヲ提出致シマシテモ、或ハ諸君ノ御賛同ヲ得難イカトモ懸念ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ先キノ動議ニシテ可ナリトスルガ故ニ、必ズシモ後ノ動議ガ否ナリト云フコトハナイノデアアル、随ッテ私ハ茲ニ修正意見ヲ提出スル譯デアリマス、私ノ修正ノ要旨ハ内國製品ノ原料トナツテ居リマシテ、現ニ其原料ガ奢侈ト云フ位置ヲ脱シテ、全ク必要ノ程度ニナツテ居リマス上ニ、更ニ又是ガ製品トナツテ獨リ本邦人ノ需要ニ供スルノミナラズ、外國へ輸出ヲ致シテ居ル物ガアルト云フ、此二ツノ廉ニ依テ修正ヲ欲スル譯デアリマス、其修正ヲ茲ニ更メテ申上ゲマス別表ノ第三十六ノ「コー」砂糖ヲ加ヘザルモノ、次ノ九十五ノ植物性ノ揮發油、一、芳香性ノモノ百二十七ノ丁香、此三ツノモノハ正ニ私共ガ只今申上ゲマスル如キ條件ニ於テ、本案ヨリ削除サルベキ性質ノモノト信ジテ居ルノデアリマス、簡單ニ其實狀ヲ申上ゲマスレバ此「コー」ニ付テハ、諸君モ御承知ノ如ク現ニ汎ク行ハレテ居リマス所「チヨコレート」トカ乳果トカ云フモノ、菓子ノ材料トシテ極メテ必要ノモノトナツテ居リマス、是ハ決シテ必要以外ノ單ナル嗜好ト云フコトニ依テ奢侈品ト看做スコトハ出來ナイノデアリマス、次ニ植物性ノ揮發油、其芳香性ナルモノハ、芳香性ナルガ故ニ必要デナイト云フコトニ考ヘルナラバ、大ナル誤デアリマス、之ヲ實例ニ見マスレバ、現ニ我國ニ於テ造ッテ居リマス所ノ石鹼ノ如キハ、其材料ハ牛蠟ト云ヒ、或ハ椰子油ト云ヒ是等品物ハ何レモ若干吾々ノ忌ムベキ所ノ臭ヲ持テ居ルモノデアリマス、若シ是等ノ材料ノミヲ以テ製造ヲ致シマスナラバ、必ズ吾々ハ之ヲ嫌ハナケレバナラヌ惡イ臭ヲ持ッテ居ル等ノモノ

デアアル、是ガ強烈ナル植物性ノ揮發油ノ芳香性ノモノニ依テ、其惡イ臭ヲ打消サレルト同時ニ、若干芳香ヲ保タセルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、此點ニ於テハ決シテ芳香ヲ保タセル云トフ奢侈ノ目的ニ依テノミ用キラレルニ非ズシテ、寧ロ製品ノ材料ノ性質上、其惡イ所ヲ打消ス爲ニ用キラレテ居ルモノデアリマス、隨テ此材料ニ依テ幸ニ我ガ石鹼業其他化粧品業ガ、近來化學製造ノ發達ト各營業者ノ研究トニ依ッテ著シキ進展ヲ遂ゲタ譯デアリマス、其結果大ニ外來品ヲ防ギ得マシタノミナラズ、更ニ進ンデ支那南洋、尙ホ更ニ近頃ハ南米方面ニマデ是等ノ商品ガ販路ヲ擴ゲツ、アルノデアリマス、之ヲ勘定致シマスルト、私共ノ推算ト致シテ約五六百萬圓ニハ達シテ居ルト考ヘラレマス、此五六百萬圓ノ輸出ハ是等ノ芳香性ノ物ノ材料ニ依テ、殆ド其品質ヲ保タレテ居ルモノデアリマシテ、若シ之ニ對シテ揮發油ヲ用キマセヌコトニナリマスナラバ、當然輸出ト云フフモノハ杜絶スベキ筈ノモノデアリマス、而シテ茲ニ斯ノ如キ重稅ヲ課セラレルト致シマシタナラバ、私共ノ推算ニ於テハ、其製品ノ價ニ於テ正シク一割餘ノ値上ヲ見ナケレバナラヌト云フコトハ事實デアリマス、今日貿易ノ逆勢ニ對シテ政府ガ種々苦慮セラレテ居リマスル折柄、斯ノ如キ事ヲ敢テスルト云フコトハ、果シテ貿易上ノ得策デアリマセウカ、甚ダ疑ハナケレバナラヌノデアリマス、隨ッテ私共ハ此植物性揮發油ニ付テハ、熱心ニ無稅ヲ主張スル者デアリマス、此無稅ナルモノハ政府本來ノ方針トシテ、其初ヨリ無稅トシテ長ク續ケラレタ所ノモノヲ維持スルト云フニ過ギナイノデアリマス、故ニ是非トモ此部分ヲ除クコトニ致シタイト思ヒマス、丁香ニ致シマシテモ亦其如キモノデアリマシテ、此三ツノモノハ著シク此法案ニ依テ國策上不利ヲ來スベキモノト考ヘマスガ故ニ、假令山本君ノ動議ガアリマストモ、況ヤ山本君ノ動議ナルモノハ已ニ不備デアアル、斯様ノ事モアルベキ筈デアルト云フコトヲ豫期サレタ爲ニ出テ居リマス動議デアリマス故ニ、願クハ此小部分ニ付テ著シク事理ノ明白ナル物ニ付テハ枉ゲテ此修正案ヲ御採用アランコトヲ希望スル者デアリマス

他ニ發言ノ通告者ナク直ニ採決ニ入り兩修正案ハ起立表決ノ結果孰レモ起立者少數ヲ以テ否決シ

本案ハ委員長報告ノ通可決セリ次テ作間耕逸君ノ動議ニ依リ引續キ第三讀會ヲ開キ委員長報告ノ通可決確定シ即日之ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日可決奏上シ七月三十一日法律第二十四號ヲ以テ公布セラル

一六 借地借家臨時處理法案

借地借家臨時處理法

第一條 本法ニ於テ借地借家ト稱スルハ借地法及借家法ニ於ケル借地借家ヲ謂フ

第二條 地代、家賃、敷金其ノ他借地借家ノ條件カ著シク不當ナルトキハ當事者ノ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ借地借家關係ヲ衡平ナラシムル爲其ノ條件ノ變更ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ裁判所ハ敷金其ノ他ノ財産上ノ給付ノ返還ヲ命シ又ハ其ノ給付ヲ地代若ハ家賃ノ前拂ト看做シ其ノ他相當ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第三條 大正十二年九月ノ震災ニ因リテ滅失シタル建物ノ借主ハ其ノ建物ノ敷地又ハ其ノ換地ノ上ニ新ニ築造セラレタル建物ニ付其ノ完成前賃借ノ申出ヲ爲シタルトキハ他ノ者ニ優先シテ之ヲ賃借スルコトヲ得滅失シタル建物ノ敷地又ハ其ノ換地ノ上ニ築造セラレタル假設建築物ノ借主亦同シ

前項ノ申出ヲ受ケタル者申出ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ拒絶ノ意思ヲ表示セサルトキハ申出ヲ承諾シタルモノト看做ス

第一項ノ申出ハ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒絶スルコトヲ得ス

第四條 前條ノ場合ニ於テ借家ニ付當事者間ニ協議調ハサルトキハ申立ニ因リ裁判所ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キ從前ノ賃借ノ條件、建物ノ狀況其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ借家關係ヲ定ムルコトヲ得

第五條 新ニ築造セラレタル建物ニ付第三條第一項ノ規定ニ依リ賃借ノ申出ヲ爲シタル者數人アル場合ニ於テ賃借スヘキ建物ノ割當ニ付當事者間ニ協議調ハサルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ從前ノ建物又ハ假設建築物ノ狀況、借主ノ職業其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ其ノ割當ヲ爲スル前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ裁判所ハ抽籤ノ方法ヲ用キテ割當ヲ爲スコトヲ得
裁判所ハ當事者間ノ衡平ヲ維持スル爲必要アリト認ムルトキハ割當ヲ受ケサル借主又ハ著シク不利益ナル割當ヲ受ケタル借主ノ爲割當ニ因リ著シク利益ヲ受ケタル他ノ借主ニ對シ相當ナル出捐ヲ命スルコトヲ得

第六條 大正十二年九月ノ震災ニ因リテ滅失シタル建物ニ居住シタル者カ其ノ建物ノ敷地ノ上ニ假設建築物ヲ築造シタル場合ニ於テ敷地ノ借主カ之ニ同意シタルトキハ其ノ同意ニ付地主

ノ承諾ヲ得サリシ場合ト雖地主ハ之ヲ理由トシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス但シ裁判所ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條 借地ノ上ニ存スル借地人ノ建物カ大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ借地權ハ借地權ノ登記及其ノ土地ノ上ニ存スル建物ノ登記ナキモ之ヲ以テ大正十三年七月一日以後其ノ土地ニ付權利ヲ取得シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得

第八條 第二條及第四條乃至第六條ノ規定ニ因ル裁判ハ借地又ハ借家ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第九條 鑑定委員會ハ五人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條 鑑定委員ハ特別ノ知識經驗アル者其ノ他適當ナル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付裁判所之ヲ指定ス

第十一條 鑑定委員會ノ決議ハ委員ノ過半數ノ意見ニ依ル

第十二條 鑑定委員會ノ評議ハ祕密トス

第十三條 鑑定委員ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 借地借家調停法第四條ノ二及第五條ノ規定ハ第二條、第四條及第五條ノ規定ニ依ル申立並第六條ノ規定ニ依ル許可ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ調停ニ付ス

ル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十五條 第二條及第四條乃至第六條ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十六條 本法ニ依ル裁判ニシテ財産上ノ給付ヲ命スルモノハ執行力ヲ有スル債務名義タルノ效力ヲ有ス

第十七條 本法ニ依ル裁判ノ費用ニ付テハ民事訴訟費用法第十六條及民事訴訟用印紙法第十六條ノ規定ニ依ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ大正十八年四月三十日迄其ノ效力ヲ有ス

本法失効ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一七 借地借家調停法中改正法律案

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第四項 法律案

借地借家調停法中左ノ通改正ス

第四條ノ二 借地借家關係ノ爭議ニ付訴訟カ繫屬スルトキハ受訴裁判所ハ職權ヲ以テ事件ヲ調停ニ付スルコトヲ得

第五條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ事件カ調停ニ付セラレタルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス

第三十二條 調停委員會ノ呼出ヲ受ケタル當事者カ正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ調停委員會ノ意見ヲ聽キ五十圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得
非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右兩案ハ孰レモ十三年七月七日日本院ニ之ヲ提出ス七月八日兩案ヲ一括シテ其ノ第一讀會ヲ開キ横田司法大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

昨年ノ大震火災ニ因リマシテ、幾多ノ家屋ガ一時ニ滅失シタノハ諸君御承知ノ通りデアリマス、罹災地ニ於ケル多數ノ住民ハ俄ニ居住營業ノ安定ヲ失ツタノデアリマス、之ガ爲ニ借地借家ノ關係ニ急激ナル動搖ヲ來シマシテ、地主家主借地人借家人間ノ紛争ハマダ今日デモ激甚デアリマス、仍テ政府ハ此際借地借家調停法ヲ改正スルト同時ニ、借地借家臨時處理法ヲ制定シテ、是等

ノ關係ヲ敏速圓滿ニ按排シヤウト思フノデアリマス、地主家主借地人相互間ノ融和ヲ圖ル爲ニハ借地借家調停法ノ改正ト本法ノ成立ヲ喫緊ノ必要ト致スノデアリマス、借地借家臨時處理法ト云フモノハ其要點ヲ摘メバ三ツ四ツアリマスガ、ソレヲ簡單ニ申上ゲマス、第一ハ著シク不當ナル借地借家ノ條件ヲ變更シテ之ヲ衡平ニ定ムルコト、第二ハ新築セラレタル建物ニ對シテ從來ノ借家人ノ先借權ヲ認ムルコト、第三ハ震災ニ因リ滅失シタル建物ノ敷地ニ從來ノ借家人ガ築造シタル假設建築物ヲ保護スルコト、第四ハ震災ニ因リ借地上ニ於ケル建物ガ滅失シタル場合ニ於ケル借地權ヲ保護スルコト、以上ノ四點ガ兩案提出ノ要點トナツテ居ルノデアリマスカラ、何卒御審議ノ上御可決ヲ希望スル次第デアリマス

右ニ對シ高木益太郎君ハ質疑ヲ爲シ横田司法大臣之ニ應答ス

高木益太郎君ノ質疑

此案ハ時機ノ上ニ於テ至極適切ナル御提案ト信ジマスガ、二ツ伺ヒタイ點ガアル、一ツハ此案ハ大臣ノ説明ノ如ク、相互ノ調和ヲ圖ルト云フ御趣意カラ御立案ニナツタト云フコトデアリマスカ、一面此案主側カラ觀察ヲ致シマスルト云フト、惡意アル所ノ借家人ガ長ク家賃ヲ延滞ヲシマシテ、其遲滞ニ基イテ明渡シノ確定判決ヲ受ケテ、執達吏ヲ派遣シ愈執行ニ參リマスルト云フト、破落漢ナドヲ使用シマシテ居住者ノ入口ノ札ダケヲ換ヘテ、サウシテ執達吏ノ執行ノ術ガナイト云フヤウナコトガ頻々トシテアル、洵ニ是ハ困ル、長イ間家賃ヲ延滞ラシタ上ニ、之ヲ明渡ラスルト云フノニ、又幾多ノ涙金ヲ拂ハナケレバ明渡ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ヌト云フヤウナ結果ハ、結局資本ヲ建物ノ建築ニ使フト云フヤウナ事ヲ嫌フ結果ヲ生ジテ、大ニ民間ノ建物建築ヲ獎勵スルト云フ必要ニ差支ヲ生ズルト云フヤウナ事實ガ顯著デアアル、デアルカラ、何所マデモ借地人借家人ヲ保護スルト云フコトハ必要デアルガ、斯ウ云フヤウナ惡意ノアル不都合ナ借家人ニ對シテハ、迅速ニ之ヲ明渡ラスル、斯ウ云フコトヲ國家ガ矢張保護ヲシナケレバナラヌ事實

ガアルデハナイカ、ソコデ獨逸ノ如キニ於テハ直ニサウ云フ家賃延滞ノ常習ノアル者ニ對シテハ、警察官ヲ以テ引張り出ス、斯様ナ事ヲ現ニヤッテ居ルノデアリマスカラ、我國ニ於テモサウ云フヤウナ者ニ付テハ、直ニ警察官ヲヤルト云フコトハ弊害ガアルカラ、サウ云フ常習ナ事實ト、ソレカラ借地借家調停委員ノ認可ト云フヤウナモノニ依テ、ソレヲ引張り出スト云フヤウナ事柄、及其間ニ立ッテ媒介ヲスル破落漢ノヤウナ者ノ跋扈ト云フモノヲ抑制スルト云フヤウナ何カ御政策ヲ御執リニナラヌト云フト、所謂相互ノ調和ト云フモノガ貫徹セヌヤウナコトニナリハセヌカト云フコトヲ伺ヒタイ、モウ一ツ伺フノハ借地借家臨時處理法ノ第七條デアリマスガ、「借地ノ上ニ存スル借地人ノ建物が大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失シタル場合ニ於テハ其ノ借地人ハ借地權ノ登記及其ノ土地ノ上ニ存スル建物ノ登記ナキモ之ヲ以テ大正十三年七月一日以後其ノ土地ニ付權利ヲ取得シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得」是ハ至極結構ナ案デアリマスガ、此中特ニ大正十二年七月以後ト云フ御制限ヲ御設ケニナッタノハドウ云フ譯デアアルカ、本案ハ七月ノ七日ニ御提出ニナッタノデアアル、若シ既往ニ遡ルト云フ論デアラバ、七月ノ七日ニ御提出ニナッテ七月ノ一日カラノモノハ保護スルト云フコトニナレバ、幾ラニシテモ既往ニ遡ル、假令七日間ト雖モ既往ニ遡ルコトニナル、ソレヨリハイソソ登記主義ヲ御棄テニナッテ、震災以前ニ現實土地ヲ使用シタル事實ト、震災以後ニ於テ現實使用シタル事實ト、前後繼續シタト云フ事實ニ依テ、所謂占用ノ事實ニ依テ保護ヲスルト云フコトデアレバ、登記ノ主義ヲ全部御棄テニナッテハドウデアアルカ、即チ此法文中「大正十三年七月一日以後」ト云フ十一文字ヲ御削リニナッテ占用ノ事實ガ即チ保護ノ事實ニナル、斯ウ云フヤウナ主義ニ御改メヲ願フコトハ出來ナイデアラウカドウデアラウカ、此點ノ御説明ヲ仰ギマス

横田司法大臣ノ應答

第一ノ御質問ニ付テ御答致シマスガ、御尤ノ御質問デアリマス、或者ヲ保護スル法制ガ出來ルト、此保護ノ制度ヲ誤解シ惡用スル方面ガ出來ルト云フコトハ政府ハ注意ヲシテ居リマス、ソレ

故ニ此點ニ付キマシテハ、此法案ノ兩院ヲ通過シテ實施スル前後ニ於テ、政府ハ命令ヲ以テ今高木君ガ掲ゲラレマシタヤウナ之ヲ惡用スル所ノ人ニ對シテハ、相當ノ制裁規定ヲ設クル豫定ニナッテ居リマス、第二ノ御質問ニ對シテハ、此法案ノ出來ルコトヲ豫見シテ、不當ノ利益ヲ爲ス者ヲ防グ意味ニ於テ、日限ニ付テ制限ヲ附ケタノデアリマス

次テ兩案ハ一括シテ議長指名(九名)ノ同一委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌九日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十一日報告ヲ議長ニ提出セリ

七月十二日兩案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長磯部尙君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

昨年ノ九月一日ノ大震災災ニ於キマシテ、一朝ニシテ烏有ニ歸シマシタ建物ノ數ハ、我が東京市ノミデモ實ニ三十萬戸餘ヲ數ヘルノデアリマス、斯ノ如キ多クノ建物ノ亡失ハ、一般罹災者ノ住居營業ノ上ニ急激ナル變化ヲ與ヘマシテ、地主ト家主、借地人、借家人トノ間ニ於テ、洵ニ面白カラザル感情ノ疎隔ヲ來シマシテ、多クノ紛糾セル法律問題ヲ醸シ、サラデダニ險惡ヲ極メマシタ人心ハ、一層寒心ニ堪ヘザルモノヲ現シタノデアリマス、此際ニ當リマシテ、政府ハ只今懸案トナッテ居リマスル借地借家臨時處理法案、並ニ借地借家調停法中改正法律案ノ二ツノ法律案ヲ提出セラレマシテ、此地主、家主、借地人、借家人トノ間ノ感情ノ融和ニ努メ、人心ノ變動ニ備ヘントセラル、ガ爲ニ此二法案ヲ提出セラレタノデアリマス、借地借家調停法中改正法律案ニ付テハ別ニ申立ツル程ノ事ハゴザイマセヌ、借地借家臨時處理法案ノ骨子ト致シマスル所ハ、第一ニハ借地借家ノ契約中ニ、頗ル不當ナル條件ガアリマシタ場合ニハ、相當ノ機關ヲシテ此不當ヲ矯正セシメル、即チ權利金ト云フガ如キ、或ハ雜作金ト云フガ如キ名目ノ下ニ、著シキ不當ナル利

得ヲ圖リマシタ地主、家主ニ對シマシテハ、或ル機關ヲシテ之ヲ返サシムルト云フ手段ヲ執ル是ガ第一デアリマス、第二ニハ燒跡ノ上ニ建テマシタ家屋ニ付テ、震災前ニ其家ヲ借リテ居リマシタ人ヲシテ、借家ノ先取權ヲ得セシメルト云フコトガ第二ニ數フベキ點デアリマス、第三ニハ借家人ガ燒ケマシタ跡ニ、借地人ノ承諾ヲ得マシテ家ヲ建テマシタ場合ニハ、其所ニ一種ノ借地權ヲ得セシムル、即チ今日ノ多クノ「バラック」ノ類例ヲ見マスルト、本來カラ申シマシタナラバ、借地權ノアルマジキ住居人ニ對シテ一種ノ借地權ヲ認メルト云フコトガ、第三ニ特ニ申上グベキ點デアリマス、第四ニハ大震災以前ニ借地權ヲ有シテ居リマシタ者ハ、大震災後ニ於キマシテモ、借地權若クハ建物ノ登記ナクトモ、一種ノ借地權ヲ得セシムルト云フ此四ツガ骨子ト相成ツテ居ルノデアリマス、只今最初ニ申上ゲマシタ點、即チ遡及法ヲ認ムルニ付キマシテハ、本年ノ七月一日ヲ堺ト致シマスノデアリマスガ、其以前ニ取得シタル第三者タルト其後ニ取得シタル第三者タルト分ケ隔テラスベキ理由ハ無イト云フ議論モアツタノデゴザイマスケレドモ、左様ニ遠ク一年有餘モ遡ラシムルト云フコトニ致シマス、法律關係ヲシテ益々紛淆セシムルト云フ弊害ガアリマスノデ、是ハ矢張政府ノ原案ニ從フト云フコトニ相成リマシテゴザイマス、此二法案ハ若シ大震災直後ニ於キマシテ緊急勅令ノ形デ御公布下サイマシタナラバ、罹災民中中産階級以下ノ人ニ取ツテハ、洵ニ一大福音デアッタラウト思フノデアリマス、善キ智慧ハ後カラ出ルノデアリマスガ、時機稍逸シタルノ憾ナキデハゴザイマセヌケレドモ、善キ法律ヲ民衆化シ、現代化シ、現時苦シテ居リマスル借地人、借家人ニ取ツテハ依然トシテ福音ヲ與ヘマシテ、善キ法律善キ法タルノ閃キノ一トシテ、吾々委員ハ全會一致ヲ以テ二法案ヲ可決致シマシタ

右ニ對シ横山勝太郎君ハ贊成ノ演說ヲ爲ス

本案ニ付テ委員長報告ノ通り贊成ヲ致ス者デアリマスガ、少シク意見ヲ述ベテ置キタイ點ガアリマス、只今御報告ノ通り東京、横濱ヲ始メトシテ、霧災地ニ於ケル住宅問題ハ帝都復興事業ノ一ト致シマシテモ、最モ重大ナル問題デアリマス、御互ニ生存ノ中デ最モ必要ナル條件ハ、衣食

住三者ノ條件ヲ充タスコトガ出來ルカ、出來ナイカト云フコトガ其主タルモノタルコトハ申スマデモアリマセヌ、而シテ昨年ノ震災ニ依リマシテ、俄然數十萬戸ノ家屋ヲ烏有ニ歸セシメタノデアリマス、災震地ニ於テハ此事ナシト雖モ、非常ニ困難ヲ致シテ居リマスル中産階級以下ノ者ハ、震災ニ依テ俄然急激ナル住宅ノ困難ニ陥ッタト云フコトハ申スマデモナイ事デアリマス、此重大ナル社會問題ヲ解決スルニ付テ、政府、東京府、東京市、共ニ力ヲ協セテ之ガ解決ニ努力致シテ居リマスルケレドモ、御承知ノ如ク今日尙ホ此問題ヲ圓滿ニ解決スルコトガ出來ヌト云フコトハ、洵ニ國家ノ一大不幸デアルト吾々ハ考ヘテ居リマス、而シテ只今委員長報告ノ通り、本案ノ如キモノハ震災直後ニ於テ直ニ相當ナル方法ニ依テ解決セラルベキ必要ガアツタノデアリマルガ、其事無カリシコトハ洵ニ遺憾ノ事デアリマスガ、遅レタリト雖モベキ必要ガアツタノデアリマシテ中産階級以下ノ者ノ實際生活ニ著目ヲセラレテ、本案ヲ當期ノ議會ニ御提出ニナッタト云フ其努力ト誠意ニ對シテハ、吾々罹災民ノ多數ヲ代表シテ感謝スルコトヲ決シテ各マスモノデアリマス、其内容ニ付テハ委員長報告ノ通り、地主家主ガ不當ナル敷金、不當ナル權利金ヲ徵收致シテ居ル場合ニ於テハ、其全部若クハ一部ノ返還ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ條項ハ、確ニ現下ノ時弊ニ的中スル適當ナル立法デアルトシテ、吾々ハ贊成スルノデアリマス、今日借地借家ノ問題ニ付テ罹災者ノ最モ脅威ヲ感ジテ居ルモノハ、此二ツノ事項デアリマス、吾々同志ハ曩ノ議會ニ於キマシテ此問題ヲ提唱致シマシタケレドモ、當時司法當局ハ吾々ノ意見ニ耳ヲ藉サナカッタノデアリマス、今日吾々ノ主張ト、又震災後ノ事情ニ著目ヲ致シテ、或ル程度ノ返還ヲ命ズルト云フ原則ヲ認メタト云フコトハ、洵ニ罹災民ニ取リマシテ非常ナル幸福デアルト吾々ハ考ヘマス、其他新築セラレタル家屋ニ對シテ、前ノ賃借人ガ一種ノ優先權ヲ持ツト云フ事柄ト、又借地人ノ同意ヲ得テ假設建築物ヲ築造致シタル者ガ一種ノ權利ヲ得ルト云フコトヲ此法案ガ認メタト云フコトハ、是亦現下ノ時局ニ處スル最モ適當ナル方法デアルト吾々ハ考ヘテ居リマス、此三點ニ付テハ委員會ニ於テモ滿場一致ヲ以テ可決致シテ、一人ノ異議モ無カッタノデアリマス、唯最後ノ借地權ヲ持ツテ居ルモノガ家屋ヲ失ツタ爲ニ、其借地權ヲ第三者ニ對シテ對抗スルノ權利ヲ失フ場

合ニ當リマシテ、本年ノ七月以後ニ於テハ、假令登記ガ無クテモ、其權利ヲ第三者ニ對抗スルコトガ出來ルト云フ意味ノ立法ヲ爲シタト云フコトハ、其精神ニ於テハ毫モ間然スル所ハアリマセヌガ、之ヲ七月一日以後ト限定シタト云フコトニ至リマシテハ、此法案ノ一ノ瑕瑾トシテ吾々ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘザル者デアリマス、然レドモ此點ニ於キマシテモ、吾々ハ冒頭ニ於テ申上ゲマス通り、本案ノ如キハ震災直後ニ於テ、直ニ相當ナル立法的ノ手段ヲ執ルノ必要ガアツタモノデスガ、第四十七議會ノ如キハ臨時議會デアリマシテ、極メテ會期ハ短キモノデアリマスルシ、第四十八議會ハマダ何事モ爲サズシテ解散ノ運命ニ陥ッテ居リマスルシ、政府ガ立法的ノ手段ヲ執ルニ付テ非常ニ困難ヲ感ゼラレタト云フ事情モアリマス、而シテ多少ノ不備ヲ包含致シテ居ルトハ申セ、兎ニ角震災地ノ罹災民ニ取リマシテ甚ダ必要ナル法律デアリマスルカラシテ、此場合ニ於テ吾々ガ議論ヲ逞シウシテ、假令一日デモ半日デモ此審議ノ進行ヲ阻止スルヤウナコトガアリマシテハ、却ッテ吾々ノ豫期セザル所ノ害ヲ招キ、却ッテ罹災地住民ノ不幸ヲ招クガ如キ事アリテハ不可ナリト思料致シマスカラシテ、此點ニ付テハ吾々ハ忍ンデ此法案ニ對シテ一點ノ修正ヲ加ヘズ、其運用ニ關シ司法當局ノ誠意ト手腕ニ信賴シテ、之ニ贊成致シマシタノデアリマス、而シテ此機會ニ於テ一言司法當局ノ參考ニ供シテ置キタイト思ヒマスル點ハ、借地問題ト借家問題トハ、共ニ吾々ノ實際生活ニ至大ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ、之ガ解決ノ衝ニ當ル裁判官並ニ調停委員會ノ諸氏ガ、非常ナル勞苦ヲ感ゼラレテ居ルト云フコトハ吾々ハ經驗上能ク之ヲ了解シテ居ル所デアリマス、此問題ハ如何ニ細密ニ立法ヲ爲シテモ、又如何ニ裁判ヲ開キマシテモ、如何ニ調停委員會ヲ開キマシテモ、地主ト借地人トノ間、家主ト借家人トノ間ニ異存ノ無キ程度ニマデ了解ヲ與ヘテ之ヲ解決スルト云フコトハ、洵ニ困難ナ問題デアリマス、何レノ問題デモ之ヲ裁判ニ付シテ、最後ノ決定ヲ與ヘマシテモ、原被兩告ハ之ニ向ッテ非常ナ不滿ヲ抱クノデアリマス、況ヤ前段申上ゲマスル通り本案ノ第七條ニ於キマシテ、借地權ノ對抗ノ時期ヲ七月一日以後ト云フコトニ限定シタト云フ點ノ如キハ、今後益困難ナル借地問題ヲ惹起スモノデアルト云

フコトハ殆ド言説ヲ要シナイト考ヘテ居リマス、此故ニ委員會ニ於テモ極メテ簡單ニ吾々ノ意見ヲ表白致シテ置キマシタガ、此立法ノ精神ヲ何所マデモ尊重致シマシテ、震災地罹災民ノ實際生活ト云フモノヲ圓滿ニ解決セントスルナラバ、法律ノ明文ニ拘泥スルヨリモ、事實裁判官ガ原被兩告ノ間ニ立ッテ、深切ナル和解ヲ試ミ、調停委員會モ亦本案ノ如キ法律ノ精神ヲ尊重致シマシテ、丁寧深切ニ調停ノ勞ヲ執ルト云フ事柄ガ、此問題解決ノ良策デアルト吾々ハ考ヘテ居ル者デアリマス、此故ニ從來ニ於テモ裁判官、或ハ調停委員會等ハ非常ナル努力ヲ致シテ居ルコトハ、或ル程度マデ吾々ハ之ヲ了解致シテ居リマスルガ、此法律ガ現實ノ法制トナッテ、吾々ノ實生活ヲ規律致スト云フコトニ相成リマスル以上ハ、裁判官、調停委員會ノ如キモノハ一層ノ努力ヲ致サレテ、此問題ノ解決ニ盡力ヲセラル、ト云フコトノ必要ガアルト吾々ハ考フル者デアリマス、此故ニ司法當局ハ個々ノ借地問題借家問題ニ對シテ干涉ヲ爲スガ如キハ、今日ノ制度ノ許サザル所デアリマスルガ、一般的ニ相當ナル手段ヲ以テ裁判官並ニ調停委員ニ成ル程度マデ社會的ノ智識ヲ與ヘテ、社會ノ實狀ト云フモノヲ了解セシメテ、丁寧深切ニ事件ノ解決ヲ爲サシムルノ必要ガアルト吾々ハ考ヘテ居ル者デアリマス、此故ニ司法當局ハ此提案ヲ爲サレタル趣旨ニ基キマシテ、何所マデモ此法律ノ効果ヲシテ十全ナル結果ヲ現サシメル爲ニ、裁判所並ニ調停委員會ニ對シテ、法律ノ許ス範圍内ニ於テ、相當ナル行政的ノ手段ヲ執ラレテ、サウシテ罹災地ニ於ケル此複雑紛糾セル問題ヲ解決致シマシテ、帝都復興ノ一二資セラレンコトヲ切ニ希望スル者デアリマス

院議異議ナク兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ各原案ノ通可決確定シ即日兩案全部ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日執レモ可決奏上シ七月二十二日法律第十六號(一六)、法律第十七號(一七)ヲ以テ公布セラレ

一八 大正九年法律第五十六號中改正法律案

大正九年法律第五十六號中左ノ通改正ス

「五年」ヲ「十年」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ從前ノ規定ニ依リ補助ヲ爲シタル地方鐵道ニシテ本法施行前補助期間滿了シタルモノニ付テハ其ノ滿了ノ日ノ翌日ヨリ之ヲ適用ス

右ハ十三年七月七日本院ニ之ヲ提出ス七月八日本案ノ第一讀會ヲ開キ土岐政府委員ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

北海道ノ拓殖事業ヲ促進スル上ニ於キマシテ、交通機關ヲ速成スルト云フコトハ極メテ急務デアルト信ジマシテ、曩ニ大正九年ニ於キマシテ、北海道拓殖鐵道並ニ軌道補助ニ關スル法律ガ制定セラレタノデゴザイマス、爾來其法律ニ基キマシテ拓殖費ヨリ、補助致シテ居リマスモノハ鐵道ニ三ツ軌道ニ四ツゴザイマス、併ナガラ今日ノ所デハ僅許リデモ利益ノ上ツテ居ルモノハ、二ツノ鐵道ト一ツノ軌道ガアルバカリデアリマシテ、其他ハ全部年々缺損ヲ重ネテ居ルヤウナ状態デアリマス、ソレデ若シ此法律ノ儘デゴザイマシタナラバ、或ハ此補助年限ノ滿了ト共ニ、鐵道軌道ノ會社ガ事業ヲ廢メナケレバナライカト云フ悲境ニ陥ルコトヲ虞レルノデゴザイマス、ソレデ此年限ヲ五箇年延長致シマシテ、十箇年ニ致シタイト云フノデゴザイマス、ドウカ御審議ノ上速ニ御協賛アランコトヲ望ミマス

次テ本案ハ山本厚三君外六名提出小樽港鐵道省第二期工事速成ニ關スル建議案(第五項第二(一))

外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スルヘキモノト決シ七月十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

七月十一日本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長山本厚三君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

本案ハ北海道拓殖鐵道並ニ軌道ニ對スル補助ノ五箇年ノ年限ヲ十箇年ニ延長セントスルモノデアリマスガ、二日間ニ互ツテ委員會ヲ開キマシテ、其間慎重ニ審議ヲ遂ゲマシタガ、就中委員係孫一君ヨリ、北海道ノ開發ハ交通機關ノ完備ト云フコトガ最モ大切デアル、之ニ就テハ國有鐵道ノ延長モ最モ必要デアルガ、是ハ國費ノ關係等ニ依ツテ急速其實現ヲ見ルコトガ困難デアル、一面ニ此國有鐵道ノ延長ヲ圖ルト共ニ、私設鐵道並ニ私設軌道ノ促進ヲ獎勵ヲ致シテ、政府ニ於テ是レノ益ミ盛ニナルコトヲ圖ラナケレバナラヌト云フ意見ガアリマシテ、單ニ此期限ヲ延長スルノミニ止マラズ、進ンデ其獎勵ヲセンケレバナラヌト云フ御希望ヲ以テ、政府ノ意見ヲ聽キマシタガ、之ニ對スル政府ノ御意見ハ、既ニ政府モ其方針デアル、尙ホ將來モ此方針ヲ以テ進ム考ダト云フ明答ヲ得タ次第デアリマス、其他質疑應答ヲ重ネマシタガ、結局本案ハ北海道ノ拓殖進展ノ上ニ於テ最モ必要ナル改正案デアルト致シマシテ、委員一致ヲ以テ之ヲ可決致シタ次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス

院議異議ナク本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員會報告ノ通可決確定シ即日之ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日可決奏上シ七月二十二日法律第二十三號ヲ以テ公布セラル

一九 藥品營業並藥品取扱規則第四十六條第一項ノ適用ニ關スル法律案

德島高等工業學校應用化學科製藥化學部ハ藥品營業並藥品取扱規則第四十六條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ官立藥學專門學校ト看做ス

右ハ十三年七月五日貴族院ニ之ヲ提出ス同院ハ七月九日本案ヲ可決シ即日之ヲ本院ニ送付ス本院ハ七月十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ若槻內務大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

德島高等工業學校應用化學科製藥化學部ハ、藥學專門學校ノ學科課程ニ準ジマシテ授業ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、是ガ卒業生ハ藥劑師タル十分ノ資格ガアルモノト認メテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ本法案ニ依ツテ同學部ノ卒業者ニハ無試験ニテ藥劑師免狀ヲ授與スルコトニ致シタイノデアリマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、御審議ノ上ニ御協賛アランコトヲ望ミマス

右ニ對シ大口喜六君ハ質疑ヲ爲シ若槻內務大臣之ニ應答ス

大口喜六君ノ質疑

私ハ此際政府ニ一言質問ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、只今議題ニ供セラレマシタ所ノ藥品營業並藥品取扱規則ナルモノハ、名前ハ規則ト相成ツテ居リマスルガ、御承知ノ如ク明治二十二年ニ出來マシタ所ノ法律第十號デアアルノデアリマス、是ハ大分舊イモノデアリマシテ、殆ド今日ノ時勢カラ申セバ適合シナイ、箇條ガ非常ニ多イ、ソコデ四十六議會ニ於キマシテ、衆議院ハ滿場一致ヲ以テ藥劑師法制定ヲ政府ニ要求ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ委員會モ滿場一致ヲ以テ議決シ、衆議院モ滿場一致ヲ以テ議決サレテ居ルノデアリマス、即チ此藥劑師法制定ナルモノ

ハ、只今議會トナツテ居リマスル所ノ明治二十二年法律第十號ヲ改正スベシトノ意見デアアルノデアリマス、即チ此藥劑師ニ關スル法律ハ只今議題トナツテ居ル所ノ法律第十號ノ中ニ含マレテ居ルノデアリマスガ故ニ、之ヲ相當ニ區分ヲ致シテ、一面ニハ藥劑師法ヲ作り、一面ニハ藥品ノ販賣等ニ關スル所ノ規定ヲ制定スベシト云フノガ、其當時衆議院ガ政府ニ要求シタ所デアリマス、ソレ故ニ政府ハ輿論ヲ容レラレマスレバ、全體本年ノ春ノ議會ニ於テ此藥劑師法ト云フモノガ提出サレナケレバナラナイ譯デアアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、即チ明治二十二年法律第十號全般ノ改正ガ、此議會ニ現レテ然ルベキモノデアルト、吾々ハ信ジテ居ル、然ルニ事此ニ及バレズシテ、只今此一小部分ノ改正案ヲ臨時議會ニ出サレタト云フコトハ、頗ル私ハ疑問ニ思フノデアリマス、勿論今ノ内閣ハ御承知ノ如ク、更リマシテカラ日ガ淺イノデアアルカラ、之ニ對シテ十分ノ御研究ハ出來テ居ナイノデアリマセウガ、ソレナラバ一少部分ノ改正ヲ此臨時議會ニ急イデ出サレタト云フコトハ、頗ル私ニハ疑問ニナルノデアリマス、即チ現政府ニ於カレマシテハ明治二十二年法律第十號ニ對シテ相當ニ改正ヲシ、藥劑師ニ對シマシテモ身分法等モ相當御研究ニ相成ツテ居ルノデアラウト思ヒマスガ、是ハ如何ナル行程ニ進ンデ居ルモノデアアルカ、ソレ等ニ對スル現政府ノ御見解ガ如何ヤウニ相成ツテ居ルカ、之ヲ此際確メテ置キタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ是ダケデアリマス

若槻內務大臣ノ應答

只今御尋ニナリマシタ所ノ法律案ノ調査ハ、是マデノ内閣ニ於テモ實行シテ居ラレタノデアリマスガ、マダ其法案ノ編成ヲ完ウスルマデニ至ツテ居ナカッタノデアリマス、現内閣モ亦是ガ調査ヲ繼續シテ成案ヲ得テ、茲ニ諸君ノ御協賛ヲ得タイト思ヒマシタガ、何分込入ツテ居ル法律デアリマシテ、早急ニ出來ニクイノデ、今回ノ議會ニ提出シテ御協賛ヲ仰グコトガ出來ナカッタノデアリマス、尙十分攻究致シマシテ、成案ヲ得タナラバ、必ズ改正ノ法律案ヲ提出スル積リデアリマス、本案ハ是ハ其時マデ待テナイト申上グルノハ、現在入校シテ居ル生徒ガ斯様ナ資格ガ得ラ

レルヤ否ヤト云フコトニ付テ、誠ニ心配ヲシテ居リマス、今後入學スル者モ亦是ガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テ、餘程考慮ヲシナケレバナラヌ事柄デアリマスカラ、成ベク速ニ此問題ヲ解決シテ置キタイト云フノデ、今回此法律ヲ提出シタノデアリマス、一般ノ法制ハ是非大口君ノ御希望ニナルヤウニ、成案ヲ得テ成ベク速ニ御協賛ヲ得ルヤウニ致シタイト思ウテ居リマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十二日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

二〇 高等諸學校震災復舊費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案

大正十二年九月ノ震災ニ基ク復舊諸費ニシテ東京帝國大學、東京商科大學及千葉醫科大學ニ關スルモノハ大學特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラス之ヲ一般會計ノ所屬トス

東京帝國大學特別會計ノ資金中東京帝國大學農學部及航空研究所ノ用ニ供スル土地及建造物並ニ學校及圖書館特別會計ノ資金中東京女子高等師範校及東京高等蠶絲學校ノ用ニ供スル土地及建造物ニシテ此等學校ノ震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ノ結果不用ニ歸スキヘキモノハ當該資金ヨリ之ヲ拂出スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右ハ大正十三年七月九日本院ニ之ヲ提出ス即日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ岡田文部大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

昨年九月ノ大震災ニ因リマシテ、東京帝國大學始メ震災地ニ在ル高等教育機關ハ、悉ク多大ノ損害ヲ被ッタノデアリマス、而シテ是等ノ諸學校ノ復舊ハ、之ヲ一日モ忽ニスルコトノ出來ナイ狀態ニ在リマス、之ニ要スル豫算ハ既ニ本院ニ提出セラレテ居ルノデアリマス、是等ノ豫算ハ文部本省ニ於キマシテ、統一シテ施行スルコトガ便利デアリマシ、又經濟上有利デアリマス故ニ大學特別會計法ニ對シマシテ、特例ヲ設ケントスルノデアリマス、又是等諸學校ハ都市計畫施行ノ結果ト致シマシテ、舊位置ニ復舊スルコトノ出來ナイノデアリマシ、又從前カラ移轉改築ノ機運ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、爲ニ、他ノ場所ヘ之ヲ移轉シテ改築致スノモアルノデアリマス、其結果不用ニナル土地ガ出テ參ルノデアリマシテ、是等ノ不用ニナッタ土地ハ之ヲ處分スルヤウニ致サナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在ノ規定ニ依リマシテハ、之ヲ處分スルノ途ガナイノデアリマスカラ、大學特別會計並ニ學校及圖書館特別會計法ニ特例ヲ設ケントスルノデゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名(九名)ニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ七月十二日本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長荒川五郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

高等學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案委員會ハ一日ニ互ツテ種々熱心ナル審議質問應答ガゴザリマシタ、本案ハ帝國大學ノ農科大學商科大學、千葉醫科大學等ガ震災ノ爲

メ燒失致シマシタニ付テハ是ハ不時ノ事業デアリマスルカラ、是等特別會計ノ普通經營ニ屬セ
ナイモノデアアル故ニ、之ヲ特別會計ヨリ切離シテ、一般會計ニ於テ行フコトヲ經費ノ上ニモ事業
進捗ノ上ニモ便利トスルト云フノデ、其特例ヲ設ケタイト云フノガ一ツデアリマス、又其大學ノ
一部航空研究所、並ニ東京女子高等師範學校、東京高等蠶絲學校等ノ震災燒失ニ付キマシテ移轉
ヲ要スルモノハ、其爲ニ不用ノ土地ヲ生ズル場合ニ、之ヲ其儘特別會計ニ置クト云フコトモ必要
ガ無イ場合ニ於テハ、之ヲ一般會計ニ移スコトガ出來ルヤウニシタイト云フ、震災ノ結果ニ伴フ
便宜ノ例外法ヲ設ケタイト云ラノデアリマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ本案ニ協賛スルコト
ニナリマシタ、此段御報告申シマス

院議異議ナク本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員會報告
ノ通可決確定シ即日之ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日可決奏上シ七月二十二日法律第十號ヲ
以テ公布セラル

二一 震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案

第一條 大正十二年九月ノ震災ニ因リ滅失又ハ紛失シタル無記名國債證券ニ對シテハ本法ニ依
リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第二條 震災ノ當時前條ノ證券ヲ所有シ又ハ占有シタル者ハ本法施行後三月内ニ限り喪失國債
證券審査會ニ其ノ所有シ又ハ占有シタル證券ノ滅失又ハ紛失ニ付査定ヲ求ムルコトヲ得但シ
證券ノ名稱不明ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本法施行ノ際外國ニ居住スル者ニ付テハ前項ノ期間ハ之ヲ六月トス

第三條 證券滅失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ滅失ヲ査定シタル證券ニ相當スル新證
券ヲ交付スルコトヲ得

證券紛失ノ査定ヲ受ケタル者ニ對シテハ政府ハ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リテ生ス
ルコトアルヘキ損失ヲ填補スル爲確實ナル擔保ヲ提供セシメ又ハ保證人ヲ立テシメ紛失ヲ查
定シタル證券ニ相當スル新證券ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ擔保及保證人ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一項及第二項ノ場合ニ於テ證券ノ記號不明ナルモノニ付テハ同一名稱ノ證券中適宜ノ記號
ノモノヲ交付スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ新證券ノ交付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ滅失又ハ紛失シタル證券ノ償還
期到來シタルトキハ政府ハ新證券ノ交付ニ代ヘ元利金ノ支拂ヲ爲ス

第五條 紛失ノ査定ヲ受ケタル證券ノ記號又ハ番號不明ナル場合ニ於テ新證券ノ交付又ハ元利
金ノ支拂ニ因リ政府ニ損失ヲ生シタルトキハ同一名稱ノ新證券ノ交付ヲ受ケ又ハ之ニ代ヘ元
利金ノ支拂ヲ受ケタル者ニシテ記號又ハ番號不明ナル舊證券ニ付紛失ノ査定ヲ受ケタルモノ
新證券ノ額面金額又ハ元金額ニ按分シテ其ノ損失ヲ負擔ス

第六條 滅失又ハ紛失シタル同一證券ニ付第二條ノ規定ニ依ル査定ノ請求ニ以上アリタル場合

ニ於テハ新證券ノ交付ハ請求者中震災ノ當時舊證券ヲ占有スヘキ權利アリタル者ニ之ヲ爲ス

滅失又ハ紛失シタル證券ニ付存シタル權利ハ新證券ニ付亦之ヲ行フコトヲ得

前二項ノ規定ハ第四條ノ元利金ニ付之ヲ準用ス

第七條 喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

第八條 喪失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ宣誓ヲ爲サシメタル上當事者ヲ訊問スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ受クル前喪失國債證券審査會ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九條 喪失國債證券審査會ハ第七條及前條第一項ノ規定ニ依ル證據調ヲ裁判所其ノ他ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得

第十條 喪失國債證券審査會ノ組織及證據調其ノ他審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ

定ム

第十一條 第一條ノ證券ニシテ震災ノ當時政府ノ保管シタモノニ付テハ第二條乃至前條ノ規定

ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

右ハ十三年七月九日本院ニ之ヲ提出ス即日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ小野政府委員ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ノ救済ニ關スル法律案ニ付キマシテ其趣旨ヲ辯明致シマス、現行國債ニ關スル法律案ニ依リマスト云フト、無記名國債證券ニ付キマシテハ、之ヲ滅失若クハ紛失致シタル場合ニハ、擔保ヲ提供セシメ若クハ保證人ヲ立テシメテ、元金若クハ利子ノ支拂ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ代リ證券ハ——新證券ハ一切交付シナイト云フ定メニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ震災ニ依リマシテ滅失若クハ紛失シタル無記名國債證券ハ、頗ル巨額ニ達シテ居ルノト認メラレノデアリマス、之ヲ其儘救済ヲセズニ置キマスト云フコトハ所有者ニ對シマシテ甚シク苦痛ヲ與ヘルコト、ナルノミナラズ、又一面震災地ノ經濟復興ヲ助成スルト云フ上ニ於テモ遺憾ナシトシナイノデアリマス、故ニ政府ハ今般此震災ニ因リマシテ滅失紛失シタル國債ニ對シテ、特別ノ救済方法ヲ講ズル、斯ウ云フ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ラレンコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名(九名)ニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十日委員會ヲ開キ委員長及

理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ
即日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長高草美代藏君ハ委員會ノ經過及結果
ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今議題トナリマシタル震災ニ因ル喪失無記名公債證券ニ關スル法律案デアリマス、是ハ聞キ
マス、所ニ依リマスルト、震災後歴代ノ内閣ガ研究サレマシテ漸ク發案ニナッタ重要ナル案ト云
フコトデアリマシテ、其第一條ニアリマスルヤウニ、此案ノ目的ハ即チ昨年ノ九月ノ震災ニ因リ
マシテ滅失若クハ紛失致シマシタ所ノ無記名國債證券ニ對シマシテハ、新ニ新證券ヲ交付シ、若
クハ元利金ノ支拂ヲスルコトヲ得ト云フ目的デアリマシテ、其運用ノ方法ト致シマシテハ、大藏
省竝ニ司法省ノ管理ヲ以テ、是ガ審査會ヲ設ケテ、サウシテ其運用ヲスルト云フ案ニナッテ居リ
マス、色々委員會ニ於キマシテ調査ヲ致シマシタガ、最モ緊要ナル案ト致シマシテ、全部可決ヲ
致シタノデアリマス、而シテ可決ヲスルト同時ニ被害者ノ申請ニ對シマシテ取捨ノ權ハ固ヨリ
只今申上ゲマシタヤウニ此審査會ニ在ルノデアリマスカラ、此審査ヲ運用スルニ付キマシテハ、
十分ナル注意ヲ以テ審査セラレンコトヲ希望スルト云フ、此希望條件ヲ附ケマシテ、全部原案ノ
通り委員會ニ於テハ決定シタノデアリマス、ドウカ滿場ノ諸君モ此委員會ノ決定通り御贊成ア
ランコトヲ希望致シマス

院議異議ナク本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員會報告
ノ通可決確定シ即日之ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日可決奏上シ七月二十二日法律第十四號
ヲ以テ公布セララル

二二 朝鮮銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中左ノ通改正ス

第二條、第九條、第十條、第十七條、第十八條、第二十條乃至第二十二條、第二十五條及第二十九
條乃至第三十三條中「朝鮮總督」ヲ「大藏大臣」ニ改ム

第三十四條中「朝鮮總督」ヲ「政府」ニ改ム

第三十七條ノ二 本法中大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ヲシテ
之ヲ行ハシムルコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

右ハ十三年七月九日本院ニ之ヲ提出ス即日議事日程ニ追加シテ本案ノ第一讀會ヲ開キ濱口大藏大
臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

朝鮮銀行ハ元朝鮮ニ於ケル中央銀行トシテ特設セラレタモノデアリマスガ、同行ノ業務ハ取引
關係又ハ國運ノ進展ニ伴ヒマシテ、漸次朝鮮總督府ノ管轄以外ノ地域ニ發展致シマシテ今日ニ
於テハ是等ノ地方ニ於キマシテハ、店舗ノ數ニ於テモ、取引ノ量ニ於テモ、遙ニ朝鮮内ニ於ケル
モノヲ凌駕スルヤウニ相成ツタノデアリマス、而シテ朝鮮銀行券ハ關東洲及南滿洲鐵道附屬地ニ
於テ強制通用力ヲ有シテ居リマシテ、且ツ滿蒙及西伯利亞地方ニ於テ事實上巨額ノ流通ヲ爲シ
テ居ルコト、朝鮮銀行ノ重要ナル業務ニシテ、内地ニ於テ行ハレテ居ルモノガ益増加シツ、アル

コト、及朝鮮銀行ハ兌換券發行ノ銀行デアリマスガ故ニ、一般金融上極要ナル位置ヲ占メテ居ルコト等ヨリ見マシテ、現行ノ監督制度ハ其當ヲ得ナイト思ヒマス、加之銀行ノ業務及財産ノ現狀ハ大ニ改善シナケレバナラナイ状態ニ在リマスノデ、旁々同行ノ一般監督ハ、之ヲ大藏大臣ノ權限ニ屬セシムルノガ妥當且ツ必要ト考ヘルノデアリマス、現ニ朝鮮銀行ノ監督ヲ中央ニ移スベシトノ議ガ議會ニ於テモ屢問題トナリマシタコトデアリマシテ、今日ハ適當ノ時機ト存ジ、臺灣銀行ニ對スル取扱ニモ鑑ミマシテ、此際朝鮮銀行ヲ改正シテ、之ガ監督ヲ大藏大臣ノ管掌ニ移スコトノ法案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、速ニ御協贊アラシムコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名(九名)ニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ即日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長山道襄一君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

此案ハ案自體ト致シマシテハ頗ル簡單ナモノデゴザイマシテ、御承知ノ如ク朝鮮銀行ノ監督ヲ朝鮮總督府ヨリ大藏省ニ移スト云フ單、純ナ案デアリマス、案其モノニ對シマシテハ別ニ委員ノ御方ニ反對ノ意思ヲ有セラレタ方ハナイヤウデアリマス、併シ朝鮮銀行ノ過去ニ於ケル營業又不良貸付ニ對シマスル責任ノ所在、朝鮮銀行ノ整理ニ對シマシテ要スル貸付等ニ付キマシテハ、熱烈ナル御質問ガアリマシテ、關係諸政府委員ヨリモ深切ナル答辯ガアッタノデアリマス、二回委員會ヲ開會致シマシテ、滿場一致デ本案ニ贊成ヲセラレマシテ通過致シマシタ、此段御報告致シマス

院議異議ナク本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員會報告

ノ通可決確定シ即日之ヲ貴族院ニ送付ス同院ハ七月十七日可決奏上シ七月二十二日法律第二十號ヲ以テ公布セラル

二三 國籍法中改正法律案

國籍法中左ノ通改正ス

第二十條ノ二 勅令ヲ以テ指定スル外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本ノ國籍ヲ留保スルノ意思ヲ表示スルニ非サレハ其出生ノ時ニ遡リテ日本ノ國籍ヲ失フ

前項ノ規定ニ依リ日本ノ國籍ヲ留保シタル者又ハ前項ノ規定ニ依ル指定前其指定セラレタル外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人當該外國ノ國籍ヲ有シ且其國ニ住所ヲ有スルトキハ其志望ニ依リ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十條ノ三 前條第一項ノ外國以外ノ外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人カ其國ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十四條中「前六條」ヲ「第十九條、第二十條及前三條」ニ、「前七條」ヲ「前八條」ニ改ム

第二十六條中「第二十條、第二十條ノ二又ハ第二十一條」ヲ「第二十條乃至第二十一條」ニ改メ同

條第二項ヲ削ル

第二十七條ノ二 國籍ノ離脱及回復ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二四 戶籍法中改正法律案

戶籍法中左ノ通改正ス

第五十一條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ國籍法第二十條ノ二又ハ第二十條ノ三ノ規定ニ依ル國籍喪失者ニ付テハ此限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

右兩案ハ孰レモ十三年七月九日本院ニ之ヲ提出ス即日議事日程ヲ變更シテ兩案ノ第一讀會ヲ開キ

若槻內務大臣ハ兩案ニ付左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今問題ニナリマシタ法律案ハ所謂二重國籍問題ヲ解決シヤウト云フ案デアリマス、外國ニ於テ、生レタト云フ故ヲ以テ、其國ノ國籍ヲ取得致シマシタ日本人ガ、日本ノ國籍ヲ離脱スルコトニ關シタ現行法ノ規定ハ、時代ノ進運ニ適セナイ所ノモノガアリマス、過日植原君ガ法律案ヲ提出サレマシタノモ亦此趣意ニ係ルコト、思フノデアリマス、本案ハ趣意ニ於テハ植原君ノ提出案ト同一ノ趣旨カラ出テ居リマスケレドモ、規定ハ只今問題ニナリマシタヤウニ規定スルノガ相當デアルト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シタノデアリマス、尙ホ戶籍法中ノ改正案ハ、國籍法ノ改正ニ伴ツタ當然ノ結果デアアルノデアリマスカラ、兩案トモ御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ切望致シマス

次テ兩案ハ植原悅二郎君外二名提出國籍法中改正法律案(本項第二(一))委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

同日議事日程ヲ變更シテ兩案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長植原悅二郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

國籍法中改正案ノ委員會ニ付託サレマシタ國籍法中改正案ハ二案ゴザイマシタ、一ツハ議員提出ニ依ルモノ、一ツハ政府提出ニ係ルモノデゴザイマス、議員提出ノ國籍法中改正案ト、政府提出ノ同案ニ付キマシテ相違ノ點ハ此點デゴザイマス、議員提出ノモノニ依リマスルト外國ニ生レタ者、若クハ歸化シタ者、何レニ拘ラズ外國ノ國籍ヲ取得シタル者ハ何時ニテモ日本ノ國籍ヲ離脱スルコトヲ得ル、斯様ナ規定ヲ有スルモノデアリマス、政府提出ノ國籍法中改正法律案ハ是ト異リマシテ、外國ニ於テ生レタル者ニシテ日本ノ國籍ヲ離脱シヤウトスル者ハ、其國籍ヲ離脱スルコトガ出來ル、併ナガラ歸化ニ依テ外國ノ國籍ヲ取得シ、日本ノ國籍ヲ離脱シヤウトシ

第二章 議事

第四款 議案

第二款 議案ノ討議

第四項 法律案

テモ、出來ナイ規程ガアルノデアリマス、此兩案ニ付キマシテ、委員中ニ色々政府ニ對スル所ノ質問ガゴザイマシタ、元來日本ノ人口ハ極メテ多數デアアル、而シテ今日政府ニ於テモ海外發展ヲ獎勵シテ居ル場合、進ンデ海外ニ出デ、其國ノ國籍ヲ取得シテ日本ノ國籍ヲ離脱シヤウトスル者ニハ、之ヲ自由ニセシムルコトニシタガ宜シイデハナイカ、然ラザレバ海外發展ノ十分ナ效果ヲ收メルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ主張ニ對シマシテ、政府デハ、斯様ニ辯明シテ居リマス、海外發展ノ一方面カラ考ヘレバ其說ハ御尤ダケレドモ、日本ニ於テハ、強制的徵兵制度ヲ用ヒテ居ルンレ故兵役ノ義務ニ服スベキ者、即チ滿十七歲以上三十七歲ニ達スル所ノ男子ハ、當然兵役ノ義務ニ服スルノデアアルカラ、若シソレ等ノ者マデモ外國ニ歸化シ、若クハ其他ノ方法ニ依テ外國ノ國籍ヲ取得シタ場合ニ、日本ノ國籍ヲ離脱セシムルコトニ定メレバ、自然徵兵ヲ忌避セントスルガ爲ニ、日本ノ國籍ヲ一時的ニ離脱シヤウトスルヤウナ者ノ生ズル虞ガアル、ソレハ現在ノ強制的徵兵制度ヲ採ッテ居ル日本トシテハ、爲シ得難イ事デアルト云フ、主張デゴザイマシタ、ソレニ就キマシテ委員ノ間カラ色々ノ質問ガゴザイマシタ、海外ニ發展シヤウトスル者ニハ自由ニ國籍ヲ離脱セシメルコトニスル方ガ、徵兵ヲ忌避スルト云フヤウナ考ヲ起サシメナイヤウニスルバカリデナク、大和民族ノ發展ノ爲ニモ宜シイ、又海外ニ多數大和民族ガ出テ日本ノ國籍ヲ離脱シタ所ガ、其者ハ決シテ日本ノ故國ヲ忘レルモノデナイ、強テ國籍ヲ離脱スルコトノ出來ナイヤウナ規定ヲ設ケテ置ケバ、却テ徵兵ヲ忌避スル者ガ多クナルデハナカラウカト云フヤウナ意見ヲ述ベマシタケレドモ、政府當局ハ之ニ對シマシテ、ソレト異ル意見ヲ有シテ居ル、斯ウ云フコトデ議員提出ノ國籍法中改正案ニ贊成ヲ表スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタ、更ニ政府ハ政府提出ノ國籍法中改正法律案ニ對シテ説明ヲ加ヘテ、斯様ニ申シテ居リマス、議員提出ノ國籍法中改正法律案ノ方ガ或ル意味カラ云ヘバ徹底シテ居ルカモ知レヌ、併ナガラ一重國籍ガ問題トナッテ居ル所ノ加奈陀、米國、南米諸邦等ニ關スル者ニ對シテハ、議員提出ノ國籍法ニ依レバ日本ノ國籍ヲ離脱シヤウトスル場合ニ内務大臣ノ許可ヲ得ナケレバナラヌコトニナッテ居ル、然ルニ政府提出ノモノニ依レバ、内務大臣ノ許可ガナクモ日本ノ國籍ヲ留保スル本人ガ、意思サ

ヘアレバ外國ニ生レタ者ハ自由ニ日本ノ國籍ヲ離脱シ得ルコトノ規定ヲ設ケテ居ルガ故ニ、其點ハ議員提出ノ國籍法中改正法律案ヨリハ、政府提出ノモノ、方ガ手續上ニ於テ更ニ進歩シ優タ所ガアル、斯様ナル主張ヲ述ベラレマシタ、其他色々ノ質疑ガアリマシタケレドモ、最後ニ採決ニ入りマシテ、政府提出ノ國籍法中改正法律案ガ委員會ニ於テ多數ヲ以テ可決サレマシタ、ソレ故ニ同一ノ性質ヲ帶ビルモノナルガ故ニ、議員提出ノ國籍法中改正法律案ニ對シテハ採決スル必要ナシト認メテ、之ヲ自然消滅ノコトニ致シマシタ、是ガ國籍法中改正法律案ニ對スル大體ノ委員會ノ經過結果デゴザイマス、更ニ戶籍法中改正法律案ニ付キマシテハ、國籍法中改正法律案ガ通過致シマシテ、是ガ實施サレル曉ニハ當然起ッテ來ル所ノ戶籍法ノ改正デアリマスガ故ニ之ニ對シテハ質問モ無ク、國籍法中改正法律案ガ可決サレタモノトスレバ、當然起ル結果デアルト云フノデ、戶籍法中改正法律案ハ多數ヲ以テ委員會ニ於テ可決サレマシタ、此段御報告申上ゲマス

右ニ對シ牧山耕藏君ハ政府委員長ニ對シ質疑ヲ爲シ湯淺政府委員及植原委員長之ニ應答ス

牧山耕藏君ノ質疑

只今委員長ノ報告デ、改正ノ要旨ハ能ク了解致シマシタ、此國籍法ハ内地ハ勿論臺灣ニモ施行サレテ居ルノデアリマスルガ、朝鮮ニハ尙ホ施行サレテ居ラヌノデアアル、朝鮮人ハ朝鮮内ニ於テ千七百餘萬人、在外ノ鮮人ヲ合セマスレバ、二千何百萬人多キニ達スルノデアリマス、殊ニ在外ノ朝鮮人ノ中ニハ立派ナ人モ居リマスルガ、中ニハ併合ノ本旨ヲ誤解致シテ色々ノ陰謀ヲ企テ或ハ上海ヲ中心トシ、其他米國內ニ於テモ種々ノ畫策ヲ致シテ、外交上重大ナル面倒ヲ惹起シテ居ルコトハ諸君御承知ノ通りデアリマス、而シテ是等在外朝鮮人ノ多クハ國籍法ガ行ハレテ居ラヌノデアリマスカラ、或者ハ支那人トナッテ居リ、或者ハ米國人トナッテ居リ、露西亞人トナッテ居ル、即チ露西亞、支那、亞米利加等ニ歸化シ其國ノ國籍ヲ取得シ、事實ニ於テ二里ノ國籍ヲ持

テ居ルノデアリマス、將來ニ於テモ在外鮮人ノ問題ト云フモノハ外交上幾多ノ難問題ヲ惹起スルコトデアラウト思ヒマスガ、唯單リ新附ノ同胞デアアル朝鮮人ノミニ限ツテ國籍法ヲ行ハザル理由何處ニ在ルカ、臺灣ニモ施行サレテ居ルガ、朝鮮人ニハ施行サレテ居リマセヌカラ、外國ニ居住ヲ致シテ外國ニ歸化ヲ致シテ居ル者、又其子供等モ日本ノ國籍ヲ脱スルコトハ出來ヌノデアル、政府ハ今回ノ改正ニ當リマシテモ、此點ニ觸レテ居ラヌノデアアル、植原君ノ御提案ニ付テモ此事ニハ觸レテ居ラヌノデアリマスルガ、政府ハ何ガ故ニ朝鮮人ノミニ國籍法ヲ施行シナイノデアアルカ、御承知ノ通り朝鮮ニハ差別待遇ト云フ問題ガ起ツテ居ッテ、始終此問題ニ付テ朝鮮人ハ不快ノ感ヲ持ツテ居ルノデアリマスルカラ、特ニ朝鮮ニ國籍法ヲ施行セザル理由ニ付テ、政府ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、内務大臣ガ御出席ニナツテ居リマセヌガ、内務次官ガ御出席ト云フコトデゴザイマスガ、此問題ノ御審議ニハ定メテ犬養遞信大臣モ國務大臣トシテ、閣議ニ於テ御議論ガアッタコトデハナカラウカト思ヒマスルカラ、犬養國務大臣ヨリ御説明ヲ伺フコトガ出來レバ仕合セデアリマス、其委員會ニ於テモ此問題ニ付テ質問應答ガアリマシタナラバ委員長ヨリ其經過ヲ伺ヒタイノデアリマス

湯淺政府委員ノ應答

只今ノ牧山君ノ御質問ニ對シマシテハ、内務省所管ノ政府委員カラ御答致スコトハ出來マセヌノデアリマス只今朝鮮總督府ノ政府委員ヲ呼ビニヤツテ居リマスルカラ、暫ク御待ヲ願ヒタイ
牧山耕藏君ハ更ニ外務關係ニ付政府ノ答辯ヲ要求シタルモ政府委員ノ出席ナキ爲答辯ナカリキ次テ委員長植原悦二郎君ハ左ノ如ク應答ヲ爲ス

牧山君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、今回委員ニ付託ニナリマシタ國籍法ノ問題ハ主トシテ日本領土以外ニ關シテ二重國籍ニ付テノ問題デアリマシタ、故ニ牧山君ノ御尋ニナリマシタヤ

ウナ朝鮮ノ問題ニ付テハ、何等ノ問題モ此委員會中ニナカッタコトダケヲ御答シテ置キマス

牧山耕藏君ハ適當ノ機會ニ於テ答辯ヲ得タキ旨ヲ述ヘ次テ討論ニ入り中村嘉壽君及石川安次郎君ハ孰レモ贊成ノ演説ヲ爲ス

中村嘉壽君ノ贊成演説

私ハ此國籍法中改正法律案竝ニ戶籍法中改正法律案ニ付キマシテ、只今委員長カラ御報告ガゴザイマシタ通りニ政府案ニ贊成スル者デゴザイマスルガ、唯茲ニ一ツノ希望ガアルノデゴザイマス、其希望ハ、先程委員長カラ御報告ノ通り、政府案ト議員案トノ相違ハ十七歳未満ノ者ハ、内外ニ生レタ所ニ何等ノ差別ヲ設ケズシテ、サウシテ此國籍離脱ヲ許スト云フノガ議員案ノ趣旨デゴザイマス、然ルニ政府案ハ之ヲ外國デ生レタ者ダケニ認メルト云フ點ニ於テ相違ガアルノデゴザイマスガ、其趣旨ヲ伺テ見マスルト云フト、外國デ生レタ者ハ已ムヲ得ナイガ、日本デ生レタ十七歳未満ノ者ガ段々大キクナツテ徵兵忌避ヲスルヤウナ憂ガアルト云フ御話デアリマスガ、徵兵忌避ノ憂ノアルト云フトハ、本當ノ杞憂デハナイカ、杞憂デアルト云フトハ、政府委員ノ御説明ニ依リマシテ、昨年徵兵忌避ヲシタノハ僅ニ四百八十名デアルト云フト承ツタルデアリマス斯ウ云フヤウナ數デゴザイマスナラバ、若シ毎年一、六十萬人ノ徵兵應募者ノアル中カラ十萬人ヲ採ルノデアリマスカラ、五十萬人ト云フモノハ過剩ガアルノデアアル、ソレニモ拘ラズ僅カノ數ヲ除ク爲ニ之ヲ避ケル爲ニ、各國ニ頗ル面白クナイ印象ヲ遺ス所ノ法律ヲ殘シテ置クコトハ、頗ル遺憾デアルト云フト私ハ信ズル者デアリマスガ故ニ、私共ハ全然此政府案ヲ完璧ノモノトシテ同意ヲスル者デハゴザイマセヌケレドモ、議員カラ提出シタ所ノ案ニ御贊成ナサル方ガ少イ爲ニ、第二ノ案トシテ、次善トシテ政府案ニ贊成スル者デゴザイマスガ、今後適當ノ時期ニ於テ、而モ速ニ是ガ全然撤廢サレルヤウナ時機ヲ拵ヘテ戴キタイト云フ希望ヲ申述ベテ置キタイトデアリマス

石川安次郎君ノ贊成演説

本員モ本案ノ委員ノ一人トシテ委員會ニ列席致シマシタガ、植原君ガ自ラ同志ノ方ニト共ニ本院ニ御提出ニナツタ國籍法改正案ニ付テハ、餘程熱心ニ固執セラレ政府提出ノ此國籍法改正案ニ付テハ、頗ル反對ノ語氣ヲ以テ政府當局者ニ盛ナル激烈ナル質問ヲ御試ニナツタ事實ガアル、又此政府提出ノ國籍法中改正法律案ノ決ヲ採ル時ニハ、先刻此處ノ演壇ニ立ッテ贊成ナリト言ハレタ中村君ハ、明ニ反對ノ意思ヲ表明シテ起立ヲ爲サラナカッタ御方デアアル、而シテ植原君ノ御演説中ニモ、委員長ノ報告ノ中ニモ、願クバ此政府提出ノ國籍法中改正法律案ニ諸君ノ御贊成ヲ願フナドト云フ常例ノ委員長ノ言葉ガナイ所ヲ見ルト、私共委員ノ一人トシテ熱心ニ政府提出ノ案ニ贊成シタル者ガ一言セザルヲ得ナイノデアリマヌ、本案ハ申スマデモナクニ重國籍法ノ問題ヲ解決スルコトデアッテ、米國ニ於ケル日本人ノ子ニ生レタ者ガ、十七歳以上ニナツテ徵兵ノ關係ヲ生ズルコトニ困ツテ居タコトハ、吾々ニ在米中度々懇ヘラレタ所ノコトデアッテ、之ヲ救ヒタイト云フ精神ハ皆持テ居タ、然ルニ徵兵ノ關係カラ久シイ間此問題ガ解決セラレナカッタノガ、今回此政府提出ノ案ニ依テ、又一步進メバ植原君ナドノ案モアルケレドモ、政府提出ノ案ニ依テ、多年ノ米國ニ於ケルニ重國籍問題ガ解決サレルコトニ相成ッタコトハ、吾々ノ喜ブ所デアリマヌ、唯私自身トシテ滿堂ノ諸君ニ向ッテ言フノミナラズ、一言此案ニ關スル世界ノ誤解ヲ解イテ置ク必要ガアル、少クモ此壇上カラ太平洋ノ彼岸ニ在ル米國ノ排日黨等ニ對シテ、一言致シテ置カナケレバナラヌ事ガアルト考ヘル何トナレバ本案ノ如キモノヲ政府ガ出シタ、是ハ餘リ多ク外交上ニ關係ノアルモノデハナクシテ、日本ノ内務大臣ガ出シタノデ、日本人ノ外國ニ在ル——指定シタル外國ニ於テ生レタル子供ノ困ル所ヲ救フト云フ案ニ違ヒナイ、從來米國ニ於テ排日問題ガ起ル毎ニ、歴代ノ政府當局者ハ彼等ニ媚ンガ爲ニ、排日黨ノ要求スル所ヲ段々讓歩シテ、彼未ダ求メザルニ早クモ寫眞結婚ヲ禁止スルト云フガ如キ軟弱ナル方針ヲ執リ、或ハ紳士協約ヲ結ンデ、米國ノミナラズ墨西哥或ハ英領加奈陀ニマデモ我が移民ヲ遣ラナイト云フヤウナ都合ナ、私共カラ見レバ不當極マル屈辱的紳士協約ヲ爲シテ、恬然トシテ恥ヂザルガ爲ニ、却テ米國ノ排

日黨ノ氣焰ヲ高メシメタト云フ、此外交軟弱ノ弊ハ、吾々平生痛歎シテ居タ所デアリマヌ、今日新植民法ガ現レテ、我が駐劄米國大使ハ之ニ抗議ヲ申込ミ、今將ニ歸リ來ラントシテ居テ、我が政府モ米國政府ノ回答ニ對シテ、恐ラクハ十分國民ノ意思ヲ代表スル所ノ、強硬ナル抗議ヲモ申込ム此事態ノ際ニ、彼等排日黨ガ列舉スル所ノ或ル一ツノ要求案ト雖モ、是ハ假令如何ナル案ガ來ヤウトモ是ハ一步モ讓歩シナイ、日本國民ノ腹ハ全ク強硬デアルト云フコトヲ示ス必要アル時ニ當テ、彼等ガ或ハ排日黨ニ媚ル從來ノ政府ノ態度デアラザルカトノ誤解ヲ催ス如キ此案ヲ可決セラル、ト云フコトハ、少シ其點ガ時機宜シキヲ得ナイト云フヤウナ感ジガ私ニハ致シマスケレドモ、併ナガラ然トシテ之ヲ區別シテ、此問題ハ在米同胞中ニ困難ヲ生ジタルニ重國籍問題ヲ解決スル所ノモノデアッテ、決シテ彼等排日黨ノ要求ヲ容レタルモノニ非ズ、抑世界ノ排日黨ノ要求ヲ容ル、トキハ、一步ヲ退ケバ彼一步ヲ進ムコトハ、山東問題ヲ讓歩シテ遂ニ旅順、大連ノ要求ヲ支那人側カラシテ更ニ排日ニ進メタルガ如ク、米國ト雖モ決シテ排日黨ガ激シクナル時ニ、我レ一步モ退クベキモノデナイ、本案ノ如キハ外交上ノ助ケヲ爲スベキ案ニ非ス、吾々ガ此ニ重國籍問題、我が在外同胞ノ難問題ヲ解決シタルモノデアッテ、過テ排日黨ノ——亞米利加ニ於ケル排日黨等ハ之ヲ日本ノ外交當局者ノ傳統の方針ニ依テ、我ニ媚ビタリト誤解スル如キコトアル時ハ、日米國交ノ上ニ更ニ一大障礙ヲ來スモノデアルト云フコトヲ、太平洋ノ彼岸ノ者ニ我が壇上カラ叫ンデ置ク必要ガアルト私ハ考ヘルノデアリマヌ此意味ニ於テ本案ニ私ハ贊成シタノデ植原君ダノ、或ハ中村君等ガ言フ歸化權ノ問題マデ含ンダ所ノ海外ノ同胞ニ媚ル殊ニ或ル政治家ガ此壇上デ、排日黨ノ巨魁タル「マクラッチー」ガニ重國籍問題ヲ論ジテ居ルカラ、斯ウニ云フモノハ速ニ改メナケレバナラヌト言フガ、彼ノ「マクラッチー」ナドト云フ奴ハ、假令ニ重國籍問題ガ解決シテモ決シテ排日ヲヤメルヤウナ奴デハアリマセヌ私共「サクラメント」ニ於テ彼等ノ新聞ヲ見、彼等ノ人間ニモ會ッテ居リマスガ、太平洋沿岸ニ於ケル實ニ良クナイ奴共デアッテ吾々ハ彼等排日黨ノ要求ニ應ジタルモノデナイ、國民自覺ノ問題、是ハ政府ガ自ラ致シタルモノデナイト云フ意味ヲ明カニシテ茲ニ贊成ノ意ヲ表スル、諸君ドウゾ其意味ニ於テ御協贊

ヲ願ヒタイ

他ニ通告者ナク討論ハ茲ニ終局ス次テ採決ニ入り院議異議ナク兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續
キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ各原案ノ通可決確定シ即日兩案全部ヲ貴族院ニ送付ス同院
ハ七月十七日可決奏上シ孰レモ七月二十二日法律第十九號(二三)、法律第二十號(二四)ヲ以テ公
布セラル

二五 鑛業法中改正法律案

鑛業法中左ノ通改正ス

第八十條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鑛夫カ業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル
場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助
スヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

右ハ十三年七月七日貴族院ニ之ヲ提出ス同院ハ七月十三日日本案ヲ可決シ即日之ヲ本院ニ送付ス本
院ハ七月十五日日本案ノ第一讀會ヲ開キ池田政府委員ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ鑛業法中坑夫ノ業務上負傷致シマシタリ、或ハ疾病ニ罹リ、若クハ死亡致シマシタ場合ニ
於キマシテ、鑛業權者ガ坑夫ニ對スル扶助ニ關スル規定ヲ改正致サウト云フノデアリマス、鑛業
權者ガ坑夫ヲ扶助致シマスル規定ニ於キマシテハ、丁度現行法ト同ジヤウナ規定ガ工場法ノ中
ニモアツタノデアリマスルガ、昨年ノ議會ニ御協贊ヲ經マシテ、丁度今回改正ヲ致サウトシテ提
案ヲ致シテ居リマスルガ如クニ、工場法ノトキト同ジ規定ガ改正ヲ致サレテ居リマスルノデ、是
ト權衡ヲ取リマシテ、全ク工場労働者ト同ジ關係ニ在リマスル坑夫ニ對スル扶助ノ事デアリマ
スルカラ、工場ノ労働者ト鑛業ノ労働者トノ間ノ權衡ヲ保チマシテ、同ジヤウニ改正ノ致シタイ
ト云フノ趣旨デアリマス、又扶助ノ原因ニ關シマスル現行ノ制限ニ改正ヲ致シ、又扶助ヲ受クベ
キ者ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、労働者保護ノ實ヲ舉グルニ努メタイト云フ趣旨デアリマス、何卒
御審議ノ上速ニ御協贊ヲ給ハラントヲ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名(九名)ニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十六日委員會ヲ開キ委員長
及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ
七月十八日日本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長佐々木文一君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告
ヲ爲ス

本案ノ法文ハ頗ル簡單デゴザイマシテ、工場法ノ第十五條ト同様ノ規定ヲ鑛業労働者ニモ適用
スルト云フ意味ニ於テ、本案ガ提出セラレテ居リマス、其重ナル要點ハ、現在ノ鑛業法ノ八十條
ニハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテト云フ、即チ過失除外ノ規定ガアリマスガ、之ヲ除カレマ
シタノガ今度ノ本案デアアルノデアリマス、是ハ此重大ナル過失ト云フコトヲ除イタナラバ、鑛業者
即チ鑛山業ヲヤル者ガ非常ニ困難ヲ受ケハシナイカ、斯ウ云フ質疑ガ委員會ニ於テ起リマシタ

ノデアリマス、所ガ是ハ政府ヲ答辯セラレル所ニ依リマスレバ、健康保險法ノ六十一條ニモ規定シテアルヤウナ趣意ニ依テ、故意ニ危險ニ關シマスル業務ニ當ル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハナイ爲ニ生ジタル疾病、傷害等ニ付テハ之ニ休業手當ヲ支給シナイデモ宜シイ、斯ウ云フ意味ハ命令ニ於テ規定ヲスルト云フ趣意デアリマシタ、大體ニ於テ本案ハ工場労働者ト礦業ニ従事スル礦業労働者トノ間ニ權衡ヲ保ツ爲ニ本案ヲ提出セラレタモノデアリマシテ、貴族院ニ於テモ既ニ可決ヲ致シテ本院ニ廻ッテ居リマスル次第デアリマスカラ、委員會ハ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決スベキモノト決定致シマシタ、右御報告致シマス

院議異議ナク第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ原案ノ通可決確定シ即日裁可ヲ奉請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス七月二十二日法律第二十二號ヲ以テ公布セラル

第二 議員提出法律案

一 國籍法中改正法律案

國籍法中左ノ通改正ス

第二十四條第一項ヲ削ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右ハ大正十三年六月二十八日植原悦二郎君外二名之ヲ提出ス七月五日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者(植原悦二郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今議題トナッテ居リマスル國籍法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、此案ハ第四十六議會ニ私提案ヲ致シテ、委員會ニ付託サレテ、議事未了デ終ッタ案デゴザイマス、其當時ニ於キマシテモ此問題ハ米國ノ排日問題ニ極メテ重大ナル關係ヲ有スルモノナルガ故ニ、一日モ早ク此改正法律案ノ成立スルコトヲ希望スル旨ヲ述べ、此問題ヲ解決シナケレバ、應テハ排日者ニ對シテ日本人排斥ノ最モ有力ナル口實ヲ與ヘルモノデアルト云フコトヲ當時私ハ主張致シマシタ、今年米國ニ於テ通過サレマシタ所ノ新移民法排日條項ヲ制定スルニ付キマシテ、米國ノ議會ニ於テハ議員以外ノ者ヲ全國ヨリ集メマシテ、移民ニ關スル、特ニ日本人移民ノ排斥ニ關スル賛成不賛成ノ有力者ヲ集メテ、四日間米國ノ議會ヲ特別審査會ヲ開イタノデアリマス、其報告書ノ中ニモ日本人ノ排斥ニ對シテ最モ有力ナル理由、而モ何人モ之ニ對シテ辯護ヲスルコトノ出來ナカッタ條項ハ、二重國籍ノ問題デアリマス、法律案其モノハ極メテ簡單デアリマス、現在ノ國籍法ノ第二十四條ノ規定ヲ削除スルト云フ案デアリマス、第二十條ニ於キマシテ斯様ナ規定デアリマス、本人ノ志望ニ依リマシテ外國ノ國籍ヲ取得シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ、斯ウ云フ規定ガ設ケラレテ居リマス、此國籍法ノ規定ハ大正四年ニ國籍法ガ改正サレマシタ時ニ定メラレタルモノデアリマシタ、此二十條ノ規定ニ依リマス、日本帝國ノ臣民ハ自己ノ志望ニ依リマシテ外國ニ歸化若クハ其他ノ方法ニ依テ、國籍ヲ取得シタル場合ニハ、日本ノ國籍ヲ失フトアルガ故ニ、當然日本ノ國民ニ對シテ國籍離脱ヲ許シテ居ルガ如キ規定ニ思ハレマスケレドモ、是ガ第二十四條ニ於キマシテ、滿十七歲以上ノ者ハ絶對ニ日本ノ國籍ヲ離脱スルコトノ出來ナイト云フ規定ガ設ケラレテ居リマス、自己ノ意思ニ依テ國籍ヲ離脱スルコトガ出來ルト云フナラバ、少ク

モ、丁年ヲ越エタ者ノコトヲ考慮致サナケレバナラナイ、米國及布哇ニ於テ生レマシタ所ノ日本ノ國籍ヲ有スル者約九萬人アラウト思ヒマス、其中二三萬ハ米國ノ大陸ニ居住スル者デアリマス、申スマデモナク日本ニ於テハ血族主義ノ國籍法ヲ採リ、英米等ニ於テハ屬地主義ノ國籍法ヲ採ッテ居リマス、ソレ故ニ日本ノ臣民デアリマスレバ、世界ノ何處ニ於テ子供ヲ儲ケマシテモ、其子供ハ當然日本ノ臣民、米國ニ於キマシテハ其兩親ガ何處ノ者デアリマシテモ、米國ノ領土内ニ生レタル者ハ當然米國ノ市民トシテ取扱フノデアリマス、ソレ故ニ現在ニ於テ米國ニ於キマシテ二重國籍ヲ有スル所ノ日本人ガ約九萬人アラウト思ヒマス、而シテ其九萬ノ中デ親ガ十七歳未滿ノ子供ノ爲ニ國籍ヲ離脱シタ者ハ極メテ少數デ、十七歳以上ニナリマスレバ絶對ニ國籍ヲ離脱スルコトガ出來ナイノデアアルカラ、米國ニ生レ、米國ニ居住シ、米國ニ於テ生命財産ノ保護ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、其米國ニ自己ノ自由意思デ市民タルコトノ出來ナイ規定ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ就キマシテ新排日移民法ノ制定サレル時ニ、委員會ニ於テ排日黨ノ巨頭「マクラチー」ガ申述ベタ一節ガアリマス、此一節ニハ斯様ナ事ガアリマス、日本ハ徹頭徹尾軍國主義デアアル、米國ニ澤山ノ日本人ヲ入レテ、米國デ育テ米國デ教育シ、米國ノ一部ニ於テ市民權ヲ有シテ、其生命財産ヲ米國ノ保護ヲ受ケテ居リナガラ、日本デハ此國籍ノ離脱ヲ許サズ、永久ニ日本ノ國民トシテ徵兵ノ義務ニ服サシメテ居ル、布哇ニ於ケル福田某ト云フガ如キ者ハ二重國籍ヲ有シテ、自分ガ日本ノ國籍ヲ離脱シヤウトシテ、徵兵猶豫ノ届出ヲ出サナンダガ爲ニ、岡山縣ニ於テ其親ハ之ガ爲メニ罰金ヲ拂ッテ居ル、サウ云フ手續サヘモシテ、日本ノ國民ハ米國ニ於テ生レ、米國ニ於テ育チ、米國ノ法律ノ保護ヲ受ケテ居ル者スラモ國籍離脱ヲ許サナイト云フ證言ヲ致シテ居リマス、是等ノ事ヲ考ヘマスルト、排日ノ問題ニ對シテ私共米國ノ誤レル態度ニ對シテモ、十分其非違ヲ糾ス決心ヲ致サナケレバナラナイ、ソレト同時ニ我ガ國民ヲシテ海外ニ發展セシムル上ニハ、海外ニ於テ生レ、海外ニ於テ教育サレ、海外ニ於テ居住スル者ハ、自己ノ自由意思ニ依テ其國籍ヲ定ムル法式ヲ執リマセスケレバ、嘗ニ我ガ國民ノ海外發展ヲ阻止スルバカリデナク、遂ニハ米國ニ於テ現在排斥セラレツ、アルニモ拘ラズ、十五萬内外ノ日本人ガ居リマスガ、此人ミハ永久ニ亞米

利加ニ於テ根據ヲ撲滅サレル、二重國籍ヲ有スル所ノ國民ハ何處ノ國民ト雖モ米國ノ市民權ヲ與ヘナイト云フヤウナ法律ガ定メラレナイトモ申サレナイノデアリマス、實ニ日本ノ國家ノ海外發展ト排日ノ問題ヲ考慮致シマスレバ、迅速ニ此問題ヲ解決シナケレバナラヌ、法案ハ極メテ單純ナモノデアリマスガ、其影響スル所ハ極メテ重大ナルモノデアリマス、政府ニ於テモ多分此趣意目的ニ對シテハ反對セラレナイコトデアラウト承知致シテ居リマス、議員諸君ニ於カレマシテモ、慎重審議御協贊ヲ賜ハラント切望スル者デゴザイマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名(九名)ニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月七日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

二 特別都市計畫法中實施期ニ關スル法律案

特別都市計畫法中區劃整理ニ依ル換地又ハ工作物ノ移動處分ハ東京及横濱ニ於ケル大正十二年九月ノ震火災ニ罹リタル地區ニ限リ大正十七年八月末日迄其ノ實施ヲ延期ス

右ハ十三年七月一日高木益太郎君之ヲ提出ス七月五日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

罹災民ノ現狀見ルニ忍ビズシテ、茲ニ謹ンデ各位ニ對シテ本案ノ協贊ヲ求ムル次第デアリマス、此議會ハ殆ド復興ノ議會ト申ス位デアリマシテ、現ニ此震災善後ノ公債發行額ガ從來四億六千八百五十萬圓ガ十億九千六百七十四萬四千六百九十三圓——十億以上ノ公債ヲ發行スルト云フヤウナコトデ諸君ガ御苦心ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ是マデノ都市計畫ト云フモノガ、

今日マデマダ實行セラレテ居ラナイ、繪圖モマダ諸君ニ御配付ニナツテ居ラナイ、漸ク昨日カ一昨日アタリ民間デ發賣スル所ノ多少ノ異同ガアル繪圖ガ復興局ノ方カラシテ御手許へ配付ニナツタノデアリマスガ、復興局ノ繪圖トシテハマダ作製ガ出來テ居ラナイ、故ニ如何ナル復興計畫ヲ實行スルノデアルカト云フコトハ、マダ公ノ繪圖ノ上ニ於テハ確認スルコトハ出來ナイ、ソコデ此復興計畫ト云フモノハ、如何ナルモノデアるかト申シマス云フコト、畢竟是ハ後藤サンノ一夜作りノ案デアアル、慎重審議シタ所ノ案デナイト云フ事柄ハ、元ガ二十億ノ案ト云フモノガ十億ニ減ジ、十億ノ案ガ七億ニ減ジ、七億ノ案ガ四億九千萬圓ニ減ジタ、其四億九千萬圓ノ案ノ根柢ハ何デアるかト云フト、山田ト云フ技師ヲ頼ンデ一晚カ二晩ノ内ニ拵ヘタモノガ即チ後藤サンノ案デアアル、ソコデ此計畫ト云フモノハ都市全體ニ互ル所ノモノデアるかト云ヘバ、所謂半身不隨ノ都市計畫デアアル、單ニ震災地ダケニ關スルモノデアッテ、約半分カニ當ル、其他ノ部分ニ付テハ何等ノ計畫ト云フモノガナイ、燒殘リノ部分ニ付テハ何等指ヲ染メテ居ラナイ、又ソレノミナラズ接續ノ町村ト云フモノニ付テノ關係ト云フモノハ何等調査ヲシテ居ラナイ、諸君ガ屢内務省ノ豫算ノ分科會ニ於テ永イ間政府ニ鞭撻ヲ加ヘテ、ドウシテモ此都市ノ將來ハ段々接續町村ノ發達ヲ俟ツ、然ルニソコニ特別ナル計畫ト云フモノヲ定メテ置カヌト云フト、家ハ建ツタ、又其所ニ向ツテ市區改正ヲスルト云フヤウナコトデ、住民モ迷惑デアレバ國モ亦餘計ナ失費ヲシナケレバナラヌコトニナル、デアるかカラ大體計畫ノ繪圖ダケハ之ヲ定メテ置イテ、其繪圖ニ準據シテ家屋ナリ其他ノ建設ヲスルト云フコトノ準備ヲシナケレバナラヌト云フ事柄ハ、屢議員諸君カラ政府ニ警告シテ居ル所デアリマス、ケレドモ、東京市ノ接續町村ノ關係ニ付テモ、政府ハ何等確定シタルモノハナイ、故ニ今度ノ都市計畫ト云フモノハ全ク半身不隨ノ計畫デアアル、本當ノ根本的ノ計畫デモ何デアリハシナイ、又第二ニ若シ地震ニ對シテ震災地ダケニ特別ニヤルト云フコトデアレバ、先以テ地震ニ付テノ研究ト云フモノヲシナケレバナラヌ、今日モ議長ノ御手許へ地震研究ニ關スル提案ガ、各派ノ諸君カラ出テ居ルノデアリマスガ、若シ是ガ神奈川縣地方ノ非常ニ激烈ナル所ノ地震ガアッタ場所デアッタナラバ、今日ノ所謂區劃整理ヤ何カデ以テ學者

ガ机ノ上ニ考ヘテ居ル事柄ト云フモノハ、根本カラ破レテシマフ、ソレ故ニ地震國ニ於テ都市計畫ヲスルト云フニハ、先ツ地震ノ研究ヲシナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ次第デアアル、紐育ノヤウニ一ツノ岩磐ノ上ニ都市ガ在ルト云フノデナクシテ、日本ノ東京ニ於ケル所ノ地震ノ地帶ト云フモノハ、ドウ云フ方向ガ最モ激烈デアるかト云フコトヲ地震學ノ上カラ研究ヲシナケレバ基礎ヲナサヌ次第デアアル、之ニ就テハ地震學ノ學者ガ屢新聞其他ノ方法ニ於テ意見ヲ公ニシテ居ルノデアルガ、此都市計畫ノ上ニ於テ少シモ地震ノ研究ト云フモノハ考慮シテ居ラナイ、ソレハ後藤サンノ演說ノ上ニ於テモ其點ハ研究シナイト云フコトハ明白デアアル、是ガ國家百年ノ大計デアルト云フコトヲ唱ヘルナラバ、地震學ノ上カラシテドウ云フ工合デアアル、地震ノ地帶ノ上ニ於テ果シテドウ云フ方面ヲ避ケナケレバナラヌ次第デアるかト云フコトニ付テ研究シナケレバナラヌノニ、土臺其道ノ學者モ委員ノ中ニ這入ッテ居ラヌ位デアるかカラ、隨テ研究モ出來テ居ラヌノデアアル、甚ダドウモ輕卒極マッタ計畫ト云ハナケレバナラヌ、又第三ニ此計畫ガ根本カラ間違ッテ居ルト云フコトハ、運河港灣ノ計畫ト伴ッテ居ラナイ、東京トシテハ或ハ諸君ノ御使ヒニナル品物ハ一噸毎ニ二圓宛、水運ノ便利ガ少イ爲ニ高イ物ヲ御拂ヒニナツテ居ル、市民生活ノ上ニ於テハ一刻モ早ク東京灣ノ築港ヲ爲シ、羽田カラシテ芝ニ至ル所ノ運河ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ三十四年來ノ定論デアアル、果シテ都市計畫ヲヤルト云フコトデアレバ、陸バカリノ計畫ヲ立テ、水ノ計畫ヲ立テヌト云フコトノ理窟ハナイ、ドウシテモ水陸相俟ッテ港灣運河ノ計畫ト云フモノヲ立テナケレバ、之ヲ大阪ノ状態之ヲ京都ノ實況ニ照シテモ甚ダ恥カシイ次第デアアル、然ルニ此後藤サンノ都市計畫ト云フモノハ港灣運河ニ付テノ計畫ノ實行ト云フモノガ伴ッテ居ラヌ、單ニ道路若クハ區劃整理ニ付テノミ即行シヤウト云フヤウナ、甚ダ不備ナル所ノ案ト云ハナケレバナラヌ、故ニ第三ニ此點カラシテ、此都市計畫ハ根本カラ偏頗ナル不具ナル計畫デアルト云フコトヲ言ヘル、況ヤ今日國防上ノ關係若クハ防火ノ關係カラ、水ヲ利用シナケレバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌノデアアル、唯道路ヲ直シ、區劃ヲ整理スレバソレデ宜イナドト云フコトハ大ナル誤リデアアル、又第四ノ誤リハ都ノ中心ト云フモノハ東京驛ニ置イテ、サウ

シテ東西南北ニ二十哩ノ圓形ヲ描イテ、之ヲ大東京市ノ計畫ニスルト云フコトデアアル、然ルニ其東京驛ハ一面ハ宮城、宮城ノ先ハ山ノ手デアアル、又南ノ方ハ京橋、芝ノ方ハ海ノ中デ、二十哩ノ圓形ヲ描イタ所ガ唯水面ニ描クダケノ話デアアル都ハ多ク南ニ發展スルト云フコトハ一般ノ趨勢デアアルノデアリマスカラ、ドウシテモ計畫ヲ立テルト云フコトデアレバ、東京灣ノ築港——羽田カラ運河トスルト共ニ此邊ヲ大工業ノ工業地帯ニシナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアアル、深川、本所方面ハ小工業、若クハ家庭工業ニ使ッテサウシテ芝カラ荏原郡ノ方面ニ向ッテハ、兎ニ角横濱ガ十八哩シカナイノデアリマスカラ、二十哩ノ圓形ヲ描イタナラバ横濱モ勿論這入ルデアリマスカラシテ、ドウシテモ横濱ト云フモノヲ一ツノ實質上ノ市トシテ、此間ト云フモノハ工業地ナリ、住宅地ニシナケレバナラヌト云フコトハ固ヨリデアアル、況ヤ之ヲ東京市トシテ設計スルト云フコトニナレバ、何百萬坪ト云フ、此ニ新ラシイ、地面ガ出來ルコトハ疑ナイ、サウシマスト都ノ中心ト云フモノガ動クト云フコトハ又争フベカラザル次第デアアル、然ルニ後藤式ノ計畫ト云フモノハ、唯道路バカリ非常ニ拵ヘルト云フコトヲ急イデ、アトデ此道路ガドウ云フ方面ニ連絡スルカト云フコトノ研究ハ全然閑却ヲシテ居ルヤウナ傾キヲ見ル、今日都ノ中心ト云フモノハ段々移動シテ、昔ハ日本橋ハ繁榮デアッタケレドモ、今日ハ神樂坂若クハ道玄坂、或ハ三田ガ中心ニナッテ居ル、決シテ日本橋ガ中心デハナイ、誠ニ人間ノ數モ少ク、夜ナド寥々タルモノデアアル、此經濟生活ノ中心ガ移動スル時ニデス、濫リニ道路ヲ勝手ニ決メルト云フコトハ、果シテ國家百年ノ大計デアアルカト云フコトガ言ヘル次第デアアルカドウカ、又經濟上生活上ノ中心ハ何デアアルカト云ヘバ、人ノ密集スル所ノ場所ト云フモノガ一番大切デアアル、内務省ノ役人ノ中ニハ往々公園ヲ第一著ニ拵ヘナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ルケレドモ、果シテ公園ト云フモノガ——日本ノ公園ハ西洋ノ公園ト同様ナ考ヲ以テ見ルベキモノデアアルカドウデアアルカ、又公園ト云フモノデ日夜ドウ云フ事ガ行ハレテ居ルカドウデアアルカ、良家ノ子女ヲ夜中公園ナドニヤルコトガ出來ルカドウデアアルカト云フコトハ論ヲ俟タヌ狀況デアアル、其公園ト云フヤウナモノヲ急イデ拵ヘルヨリハ、先ヅ以テ經濟復興ニ付テハ市場ト云フ問題ニ付テ研究シナケレバナラ

ヌ、食品ノ市場ヲ何處ニスルカ、例ヘバ日本橋ノ魚市場ヲ芝ニ移シ、芝カト思フト築地ニ移ス、朝令暮改、此關係人ト云フモノハ非常ニ困難ヲ極メテ、結局騷擾事件ガ起ッテ居ルト云フコトハ諸君御承知ノ次第デアアル、又區劃整理ノ爲ニ株式取引所ヲ移轉スル、株式取引所ガ移轉スレバ米穀取引所モ移轉スル、株式取引所ニ例ヘバ一日三萬人ノ人ガ來ル、米穀取引所ニ例ヘバ一萬五千人ノ人ガ來ルト云ヘバ、是ハ往來スル所ノ道路、此人間ヲ運ブ所ノ交通機關ガ總テ動クコトニナルソレ故ニ道路ヲ決メルニハ、先ヅ市場ヲ何所ニ置クカ隨テ食品ノ三市場ヲ何所ニ置ク、株式取引所ヲ何所ニ置ク、米穀取引所ヲ何處ニ置クト云フコトガ決ッテ、之ヲ連絡スル所ノ道路ト、之ヲ運搬スル所ノ交通機關ガ決マル、ソレヲ全然閑却シテ置イテ、道路バカリ決メルノハ事ノ本末ヲ顛倒シタル誤リタル政策ト思フ、ソレ故ニ今度ノ後藤式案ト云フモノハ、此點ノ研究ヲ怠ッテ居ル次ニ國防上ノ調査ト云ウコトモ少シモシテ居ナイ、今日諸君及吾ミガ日夜心配ヲシテ居ルノハ何デアアルカト云フト、議會ニ於ケル所ノ豫算ノ大部分ハ國防ニ關スルモノデアアル、而シテ舊式ノ總テノモノヲ捨テ、新シイ飛行機ノ襲來、其外地下ニ於ケル所ノ防禦ノ事物、例ヘバ地下室デアルトカ、穴藏ノ設備デアルトカ、或ハ井戸ノ開鑿デアルトカ地下電車デアルト云フヤウナ問題ニ付テ、諸君ガ御苦心ヲ煩ハサナケレバナラヌヤウナ次第デアアル、然ルニ此國防ノ關係ト云フモノハ都市計畫ノ委員ノ中ニ於テ偶長岡君ナドガ發言スルト、殆ド問題ニシナイヤウナ狀況ヲ見ル、是故ニ長岡サンカラ諸君ノ御手許ニ建議案ガ出テ居リマスガ、如何ニモ之ヲ見マスト云フト尤モナ次第ニ存ジマス、倫敦、巴里「ブラッセル」伯林、桑港ノ例ヲ舉ゲマシテ、ソウシテ總テ都市ニハ公園ト同時ニ飛行場ヲ備ヘナケレバナラヌ、サウシテ東京市ニ於テハ國際飛行場ト云フモノヲ隅田川ニ置クヨリ外ハナイト云フコトニ付テ詳細ナル意見書、又ハ建議書ガ諸君ノ御手許ニ配付ニナッテ居ル、是ハ單ニ軍事上ノ關係バカリデナイ、平時ノ文化事業ノ上カラ云ッテモ、ドウシテモ面積二三十萬坪ヲ有スル所ノ飛行場ト云フモノヲ設ケナケレバイカヌト云フコトノ懇々具體的ニ交通ニ關スル意見、通信ニ關スル意見、就中市中ニハ電信、電話、皆全部地下線トシナケレバナラヌ、建築物ハ爆彈ニ對シテ考慮ヲ要スル、水道、瓦斯、電氣ニ付テモ之ニ注意ヲ要スト云フノデ、第一カラ

第五マデ色々深切ナル御注意ノ事項ガ書イテアル、然ルニ是等ノ肝要ナル事柄ト云フモノハ、少シモ内務省ノ起案ニ係ル、所謂後藤案ナルモノニハ現レテ居ラヌ、何モ今日マデ都市計畫市區改正ヲシタ人デモ、決シテボンヤリシテ居ッタノデハナイ、時代ニ相應シタ計畫ヲシタノデアリマズガ、時ノ進化ニ依ッテ新シイモノガ出來タ後ニナルト云フト、不足ノヤウナ感ジヲ持ツ、現ニ長岡氏カラ斯ノ如キ御注意ガアルニ拘ハラズ、此都市計畫ノ上ニ於テ國防上ノ研究ト云フモノハ全ク遺脱シテ居ル、是ハドウモ非常ナ誤リデアラウト考ヘマス、又モウ一ツ甚ダ間違ッテ居ル事柄ハ地下埋設物ニ關スル整理ヲシテ居ラズ、御手許ノ書類ニ依リ昨日ノ委員會ノ問答ノ結果ニ依ルト、新聞デハ千六百萬圓ト云フコトデアリマシタガ、段々聞イテ見ルト上下水道、電信、電話デ二千萬圓ノ豫算ヲ計上シテ居ルト云フコトデアリマス、所ガ東京市ノ經營ニ係ル電氣ノ關係ダケデモ六千萬圓掛ル、其他警視廳、遞信省、東京瓦斯會社、東京電燈ト云フヤウナ分ヲ合セルト地下ノ埋設物ハ二億以上ヲ要スル、此二億ハ何モ改善ノ爲ニ要スルノデハナイ、移動スル爲ニ從來ノ計畫ヲ無駄ニシテ、ソレト同様ノ設備ヲスル爲ニ二億ヲ要スル、所ガ諸君ノ御手許ニ廻ッテ居ル豫算案ヲ見ルト、僅カニ二千萬圓シカ計上シテ居ナイ、其二千萬圓モ方々ニ首ヲ出シテ、地下ノ埋設物ノ整理トシテ二千萬圓現ハレテ居ルガ、此方ニ何百萬圓、彼方ニ何百萬圓、綜合スルト二千萬圓ニナル、其二千萬圓モ實地ドウカト云フト、一億ノ金ヲ要スルト云フ次第ナンデ、區劃整理ハヤツタ水ハ來ナイ、電燈ハ點カナイ、電話ハ利用スルコトガ出來ナイト云ツタナラバ、ドウシテ國民ハ生活スルコトガ出來ルノデアルカ、實ニ不深切極ッタモノト言ハナケレバナラヌ、ドウシテモ色々ノ都市計畫ヲスルニ付テ、第一ニ入用ナモノハ資金デアル、然ルニ御承知ノ通り山本内閣ハ一億八千萬圓ノ保險金ノ支拂ハ近ク御承知ノヤウナ次第デ、僅カニ一割弱ノ支拂ニ止ツタ、又建築會社ノ計畫ト云フモノモマダ實行サレテ居ラヌ、其他低利資金ノ貸付ニ關スルモノデ、或ハ營業、或ハ建築ノ資金ニシヤウト云フヤウナモノモ現在マダ政府カラ一錢一厘モ來テ居ラナイノデアアル、サウシテ見ルト云フト此帝都復興ノ計畫ハ、矢張他ノ案ト共ニ相違ビ立ッテ、轡ガ並ブガ如ク揃ッテ初メテヤルコトガ出來ル、一ツノ計畫ダケヲ先ヅ先キニヤルト云フコトハ到底想

像スルコトガ出來ナイ次第デアアルノニ、現在ノ狀況ハドウデアアルカト云フト、都市計畫中區劃整理ノミヲ非常ニ進行シヤウ、五月カ六月、少クトモ八月マデニドンドンノヤラウ、斯ウ云フコトニナツテ居ルト云フコトハ甚ダ不都合千萬ナ事デアラウト考ヘル、又之ヲヤリマスノハ長イ間ノ懸案デアツテ、屢諸君ガ建議案トシテ御決議ニナリマシタ大都市ノ制度ト云フモノヲ共ニ行ハナケレバ運用ノ出來ルモノデナイト云フコトモ論ヲ俟タヌ、何時モ東京市長ガ内務省ノ手ヲ經ル内務省ノ手ヲ經ルノニモ其間ニ東京府知事ガ這入ルト云フノデ、色々繁文縟禮ノ手續ヲ要スルト云フコトデ、今度ノ復興計畫ヲ迅速ニヤルコトハ論ヲ俟タヌ譯デアリマスカラ、此運用ト云フモノハ、矢張大都市制度ト相俟ツベキ次第デアアルノニ、政府ハマダ何等ノ提案ガナイ、ドウシテ都市復興ガ諸君ノ御審議遊バサレル十億ノ公債ヲ發行スルニハ、之ヲ活シテ使ハナケレバナラヌ、其局ニ當ルモノガ中間ニ色々ノ隔所ガアツテ其活動ヲ妨ゲルト云フコトデ、御協贊ノ趣意ヲ完ウスルコトガ出來ルデアラウカ、甚ダ憂慮ニ堪ヘヌ次第デアリマス、又他ノ方面カラ考ヘマスト云フト、總テノ事業ト云フモノハ法ニアラスシテ人ニアル、然ルニ復興計畫ニ關スル委員組織ヲ見ルト云フト、一昨日ノ官報カデ中央都市計畫ノ委員諸君ガ、前内閣ニ關係アル諸君ガ止メラレテ、現内閣ニ關係ノアル諸君ガ御就職ニナツテ洵ニ是ハ結構ナ事デアアルガ、其他ノ方々ハドウ云フ人々デアアルカト云フト、兎ニ角東京ノ問題ヲ決メルノニハ、東京ノ事情ニ精通シタル者ヲ以テ之ニ充テルト云フコトハ當然ナ譯デアアル、然ルニ東京市會ノ議員中此委員ニナツタ者ハ衆議院議員ノ資格ヲ持ッテ居ル者ヲ除キマシテ、八十五人ノ市會議員中、僅カニ五名デアアル、後ハ復興審議會デアルトカ、復興參與トカ云フモノガ大分出來マシタケレドモ、其評議員ニナツタ者ハ僅ニ五人、ソコデ東京市會ハ後藤子ガ東京市會ヲ侮辱スルモノトシテ、東京市會カラ委員ヲ申出タ者ハ一人モナイ、皆申合せテ委員ノ候補者ト云フモノヲ擧ゲナカッタ、ソレデアアルカラ後藤サンハ所謂後藤系ノ市會議員、若クハ後藤子ニ同情ヲ持ッテ居ル市會議員五人ヲ擧ゲタノデアアル、本當ノ八十五人ノ東京市會ハ此度ノ委員ハ何人デアルト云フコトヲ決メタノデモ何デモナイ、ソレガ僅ニ五人アルダケデアリマス、所ガ復興審議會、復興參與ハ勿論、後藤子ハ退キ、其委員ガ内務省ノ特別都市計畫局ノ委員ニ

引繼ギニナツテ居ルダケデアリマシテ、是ガ必ズシモ東京ノ復興事業ヲスルニ付テ適材ヲ適所ニ置イタト云フコトハ出來ヌ、物ト云フモノハ色々ノ方面カラ人物ヲ集メテ十分互ニ切磋琢磨シテ研究シテ、其所ニ適當ナ案ガ出來ルノニ、後藤系ノ市會議員、若クハ後藤子ニ同情ヲ持ッテ居ル市會議員ガ僅カ五人殘ッテ、ソレダケテ果シテ是ダケ諸君ガ御心配ニナル大キナ仕事ヲ爲サウト云フノハ、ドウ云フモノカ、憂慮ニ堪ヘヌ、然ルニ諸君ノ御手許ニ土木建築協會カラ斯ウ云フ請願書ガ來テ居ル、之ヲ讀デ見ルト如何ニモ理由ガアル「帝都復興ノ要旨ハ堅實且ツ經濟的ニ土木建築ノ事業ヲ遂行スルニ在リ、然ルニ從來組織サレタル委員中ニ土木建築業者ヲ除外シタルハ遺憾ナリ」ト云フコトヲ書イテアリマス、如何ニモドウモ建築事業家若クハ材料家ト云フモノヲ委員中ニ入レヌト云フコトハ全クソレハ手落デアアル、其手落ノ證據ハドウ云フコトデアアルカト云フト、昨日ノ委員會ニ現レル事實ニ依レバ、後藤内務大臣ノ時ニ亞米利加ヘ持ッテ行ッテ鐵ト材木ト炭ヲ註文シタ、ドノ位註文シタカト云フト二千五六百萬圓ノ註文ヲシタ、所ガ素人ノ註文デアアルカラ向フヘ一度ニ註文ガ行クト、亞米利加ニ於ケル材木ノ値段ガ一時ニ高クナツテシマツテ、ソコデ此二千五六百萬圓買ッテモ今日ハ暴落シテシマツテ、其材木ハ深川近邊デ今朝ノ新聞ヲ見ルト三百萬圓値引キヲスルカラ深川ノ材木商ニ引取ッテ呉レト云ツテモ誰モ取合フ者ガナイト云フ状態デアアル、洵ニ困ッタ次第デアアリマセヌカ、是ハ畢竟スルニ素人バカリ集ッテ、國費ヲ以テサウ云フ多大ノ註文ヲシタ、註文ヲシタ結果ハ誰モ買人ガナク背負込ニナル、之ヲ材木屋ニ賣却ヲシヤウトスレバ材木屋ガ鼻ヲ摘ンデ買ハヌト云フ工合デ、今日其材木ガ持腐レニナツテ居ル状態デアアル、如何ナル事デアリマスカ畢竟是ハ局ニ當ル者ガ其人ヲ得ザル結果デアアル、殊ニ憲政會ノ中原代議士カラノ質問ニ依ルト、此頃カラ復興局ガ土地ノ買入ヲシタ、然ルニ賣主ノ方デハ百六十圓ノ値段デアアルガ、復興局ハ二百二十圓金ヲ拂ッテ居ル、此事實ハドウデアアルカト云ウテ中原代議士ガ質問ヲシタ所ガ、復興局ニ於テ明白ナル答辯ガ出來ナカッタ、畢竟スルニ役人ガ物ヲ賣買スルコトハ事々物々斯ノ如キ間違ヲ生ズルコトハ、民間ノ事情ヲ知ラヌカラデアリマス、殊ニ今日ノ復興計畫ハ其人ヲ得ヌノデ、其遂行ノ上ニ於テハ憂慮スベキコトデアアルト吾々ハ信ス

ルノデアリマス、ソコデアリマスカラシテ是ハ大體ノ根本問題トシテ、都市計畫ト云フモノニ諸君ガ十分ナル一ツ研究ヲ要スルノデアアツテ決シテ彼等ニ一任スルト云フコトガ出來ナイ、ソレ故ニ吾々ハ今日ハマダ幸ヒニ何等國民ニ對シテ此區劃整理其外ノ事柄ヲ實行シテ居ラヌノデアリマスカラ、茲ニ延期ニ關スル法案ヲ提出ヲシテ、御手許ノ書類ニゴザイマスル通り「今ヤ罹災地ニ對シ急激ニ實施セムトスル土地區劃整理ノ爲其ノ區域内建物全部ノ移動ヲ生ズル處分ハ曩ニ大正十二年勅令第四百十四號ヲ以テ假建築物ヲ大正十七年八月末日迄存續セシムルノ趣旨ニ牴觸スルコト明白ナリ罹災民カ右勅令ノ爲生活居住ノ保障ヲ得、辛ウシテ假建築ヲ爲シ漸ク復興ノ緒ニ付カントスル者ニトリテハ正ニ第二ノ地震襲來ノ思ヒアルヘク其生活ハ著シキ脅威ヲ受ケカ爲却テ都市復興ヲ阻害スルノ虞アリ歐米ニ於テモ既設市街ニ右等區劃整理ヲ斷行シタル先例ナク況ヤ小地主多キ東京、横濱、兩市ニ於テハ元地及換地ノ境界査定甚タ困難ニシテ地主借地借家人間ノ紛議百出スルノミナラズ、數十萬ノ借家人ニ對シ全然區劃整理委員ノ選舉權ヲ付與セズ其ノ營業權居住權ノ補償トシテ僅ニ動產移轉料坪七圓五十錢ノ豫算アルニ止マリ該計畫ノ不備不當ナルコト論ヲ俟タズ況ヤ憲法第二十七條ノ規定ニ背キ數億ノ財産ヲ地主ヨリ無償ニ沒收スルガ如キハ違憲ノ措置ナルヲ以テ適當ニ之ガ改正ヲ爲ス爲大正十七年八月末日迄其實施ヲ延期スルノ必要アリト認ム」斯ウ云フ理由デ諸君ニ御審議ヲ煩ス次第デアリマス、尙此點ニ付テハ犬養毅先生ガ大正十二年十月七日ノ新聞ニ於テ、此趣意ニ共鳴スル所ノ論ヲ吐カレテ居ル、犬養氏曰ク帝都ノ復興ニハ商工業者ノ實力恢復ニ待タネバナラヌ「バラック」建ノ假建築デ取敢ヘズ營業ヲ開キシ者ハ財産ノ大部分ヲ失ッテ居ルノデアアルカラ、其「バラック」建デ以テ失ッテ財產ヲ稼ギ出サヌ中ハ、到底内容外觀共ニ帝都ノ復興ヲ實施スルコトハ不可能ト云フベキデアアツテ二三十年ノ歲月ヲ要スルコトト思フ」斯ウ云フコトヲ犬養サンガ各新聞記者ニ話シテ居ルノデアリマスカラ、本案ハ洵ニ東京市民ノ死活ニ關スル重大ナル問題デアリマスカラ、十分御同情ヲ以テ御協賛アラシコトヲ懇願スル次第デアリマス

右ニ對シ若槻内務大臣ハ左ノ如ク政府ノ所見ヲ述フ

罹災民ノ一人ニシテ且ツ罹災地ヲ代表シテ居ラル、高木君カラシテ、此法律案ヲ御提出ニナッテ政府ト所見ヲ異ニセラル、ト云フコトハ洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、罹災地ノ復興ニ付テ唯主ナル街路ダケヲ整頓シテ、區劃整理ヲ爲サヌデ置クト云フモノツノ方法デアリマス、又區劃ヲ整理シテ街路ヲ整頓スルノミナラズ、此間ニ於ケル區劃モ亦之ヲ整理スルト云フモノツノ方法デアリマス、當初ニ於テ何レノ方法ヲ擇ンデ帝都ノ復興ヲスルカト云フコトハ、時ノ當局ガ自由ニ考ヘテ、適當ニ處理セラル、コトノ出來タ問題デアリマス、併シ何レニシテモ一旦之ニ著手ヲシテ、ドチカラカノ方法ヲ決定シテ、之ヲ進マウト云フコトニナリマシタ以上ハ、斯様ナ大事業ニ付テ中途テ意見ヲ變更シ、方針ヲ變ヘルト云フコトガアッタノデハ、決シテ罹災民ノ窮境ヲ速ニ救済スル所以デハナイト思フノデアリマス、然ルニ時ノ當局者ハ街路ヲ整頓スルノミナラズ、區劃モ整理シテ帝都百年ドコロデハナク、千年ノ計ヲ爲サウト云フノデ方針ヲ立テ、復興ノ計畫ニ從事セラレタノデアリマス、而シテ今日ハ殆ド一年ニ垂ントスル間、是ガ實行ニ努メテ來ッテ居ルノデアリマス、市民モ殊ニ罹災民モ亦地區劃ニ基イテ復興ガ行ハル、モノトシテ、諸般ノ事柄ハ總テ此期待ノ下ニ於テ計畫ヲシテ居ルノデアリマス、ソレガ若シ今ニ至ッテ方針ガ變ルヤウナコトデアリマシタナラバ、是ハ罹災民全體ノ期待ニ大ニ反スルモノト謂ハナケレバナリマセヌ、茲ニ提出セラレタル議案ハ區劃ヲ變更スルト云フノデアリマセヌ、唯區劃整理ヲ五年間延期スルト云フノデアリマス、併ナガラ速ニ帝都ヲ復興シヤウト云フテ區劃ノ整理ニ著手シテ居ル場合ニ、其區劃ノ整理ヲ五年間延期スルト云フコトハ、結果ニ於テ區劃整理實行ノ方針ヲ變ヘルト大ニ異ル所ナキ結果ニ到ルノデアリマス、是ハ罹災地ノ復興ニ付テハ大ナル問題デアッテ、中、輕卒ニ此事ヲ考ヘテ極メルト云フ譯ニハ參リマセヌ、私共ハ若シ是ガ當初白紙デアリマシタナラバ、自由ニ或ハ案ヲ立テタカモ知レマセヌ、併シ一旦區劃ノ整理ヲ土臺ニシテ、東京市ノ復興ヲシヤウト云フ大方針ヲ立テ、此所ニ至ッテ居リマス以上ハ、今ハ此方針ニ從ッテ此計畫ヲ遂行スルノ外ナイ、此一年ニ垂トスル間準備シタ事ヲ無ニシテ、又本ニ立戻ッテ計畫ヲスルト云フヤウナコトハ、是ハ帝都復興ノ事ヲ深切ニ考ヘル上ニ於テ私ハ出來ナイト思フノデアリマ

ス、此意味ニ於テ現内閣ハ此問題ガ白紙デアナイト云フコトニ顧ミテ、今日極メラレタ此計畫ニ從ッテ之ヲ追ウテ、成ルベク速ニ是ガ完成ニ努メテ、罹災民ノ窮境ヲ救ハナケレバナラヌト決心ヲシテ居ル次第デアリマス、斯ノ如ク區劃整理ヲ延期スルト云フコトニナリマスレバ、道路ヲ附ケヤウト云ッテモ、公園ヲ拵ヘヤウト云ッテモ、運河ヲ造ラウト云ッテモ、其敷地ヲ定メルコトガ出ヌ、又永久ノ建物、耐火ノ建物ヲ建テヤウト云ッテモ五年間ハ與ヘラレタル土地ニ向ッテ之ヲヤルコトガ出來ヌコトニナリマス、而シテ其間ハ現今ノ如キ「バラック」ノ住居ノヤウナモノニ住ハナケレバナラヌカラ、保安ノ上カラ申シテモ、衛生狀態カラ申シテモ、五年間ハ洵ニ憂慮スベキ狀態ハ殘ルト考ヘマス、斯ノ如キ事ヲ考ヘマス、區劃整理ヲ五年間延期スルナドト云フ事柄ハ、私ハ帝都復興ヲ速ニ完成スル上カラ極メテ宜クナイ事ト信ズルノデアリマス、罹災地ヲ代表シテ居ラレル高木君ノ意見デアリマス故ニ、私ハ何所マデモ此意見ハ尊重シタイト考ヘマスケレドモ、帝都復興ノ大問題ノ爲ニハ此法律ニ反對セザルヲ得ナイノデアリマス

高木益太郎君ハ之ニ對シ左ノ如ク質疑ヲ爲ス

大臣ハ本員ガ罹災民ノ一人デアアル、斯ウ云フ點カラシテ大分重キヲ置カレテ御話デアリマシタガ、私ハ調査研究ヲスル上ニ於テハ、ドノ問題デモ十分ニ研究ヲシマスルガ、此議會ノ壇上ニ起ッタ以上ハ、全ク議員トシテ公平冷靜ニ總テノ問題ト云フモノヲ見ル、特ニ罹災民デアルカラト云ウテ偏頗ナル觀察ヲスルヤウナ事ハ、私ハ斷ジテ致サヌノデアリマス、而シテ何レノ國ノ復興計畫デモ、官僚内閣デナイ以上ハ、先ヅ其計畫ト云フモノヲ世間ニ示シテ、計畫ノ繪圖ト云フモノヲ公ニシテ、ソレカラシテ一般カラ懸賞募集ヲシテ意見ヲ聽イテ、コウシテ此計畫ガ誤リガナイカドウカト云フコトヲ確メル、亞米利加ノ如キハ一般投票マデモスル、併シ現ニ大臣ハ一昨日ヲ以テ、公園ノ計畫ニ屬スル事柄ダケデモ東京市會議員カラシテ十五名ノ委員ヲ選ンデ、參事會カラシテ四名ノ委員ヲ選ンデ大ニ民論ト云フモノヲ顧ミルト云フコトノ政策ヲ御執リニナッテ居ル、公園一局部ノ問題ニ於テモサウデアアル、然ルニ後藤子ノ案ト云フモノハ、此案ヲ拵ヘル場合ニハ

市會議員が五人デアッタ、公園一局部デ十五名ノ委員ヲ選ンデ、參事會カラシテ四名ノ委員ヲ選
ブノニ此大事業ガ後藤子ノ時代ニ於テハ市會議員ガ僅ニ五名、其五名ガ今度ズツ踏襲シテ居ル
ノデアルカラ、此案ト云フモノハ大臣ガ重シレレヤウナ確乎不拔ナモノデ有ルカ無イカト
云フコトハ自ラ分ル、況ヤ從來ノ案ト云フモノハ、例ヘバ秋葉ヶ原ノ市場ヘ行ッテ見ルト、鐵道省
トノ協調モ付イテナイ、鐵道省トノ協調ガ付イテナイカラ漸ク市ハ十萬圓ノ金ヲ投ジテ市場ヲ
拵ヘタケレドモ、ソレヘ這ルコトガ出來ナイ、ソコデ神田ノ市場ト云フモノハ矢張舊來ノ場所デ
營業シテ居ル、是ガ爲ニ十萬圓ト云フ復興ニ關スル金ヲ無駄ニ拂ッテ居ル、總テノ協調ト云フモ
ノガ出來テ居ラヌ、殊ニ大臣ノ就職前ニ一旦決マツタル線路ヲ、多勢ノ民衆ガ内務大臣ノ官邸ヘ
押掛ケテ、ソレガ爲ニ朝令暮改ヲヤツテ、午前ニ決マツタル線路ヲ午後ニ變更シタト云フ事實ガア
ル、其線路ハマダ公ニシテ居ラヌデハナイカ、何人モ東京ノ都市計畫ノ官廳ガ出シテ居ル公ノ繪
圖ト云フモノヲ見タ者ハナイ、ドウシテソノ政府ガ實行出來ルト云フノデアリマセウ
カ、私ハ甚ダ遺憾千萬デアアル、ヤルナラバヤルダケノモノヲチヤント人民ニ得心ヲ與ヘテ、オ前
ノ方ハ何坪掛カル、何時カラ是ハ著手ヲスル、例ヘバ日本橋ハ來年カラ掛カル、神田ハ再來年、深
川、本所ハ又其翌年ト云フヤウナ順序ヲ決メナケレバナラヌノニ、其順序ガ今日マデ決マツテ居
ラヌ、ソノ不深切ナ市區改正事業ト云フモノガ世界中何處ニ在ルカ、吾々ハ今日現内閣ヲ信任
スルコトハ厚イノデアリマスカラ、ドウゾサウ云フヤウナ無理ナ事ヲナサラヌデ、聰明ナル大臣
ニモウ一遍御考ヘ直シテ願ッテ、私ガ壇上ニ陳情ノ趣意ヲ述ベルト、直グ反對スルト云フヤウナ
事ヲ爲サラナイデ今晚御歸リニナツテ、能ク胸ノ上ニ手ヲ當テ、御研究ヲシテ戴キタイ、先ヅ之
ニ對シテノ御意見ハ如何デアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月七日委員會ヲ
開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

三 營業税法廢止法律案

營業税法ハ大正十三年分營業税限リ之ヲ廢止ス

右ハ十三年七月三日森田金藏君之ヲ提出ス七月十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者ハ左ノ如ク趣
旨ヲ辯明リ

本案ハ既ニ數回本議場ニ提出サレタ大切ナ案デアリマシテ、既ニ本議場ノ多數ノ皆様が御承知
ノ事デアリマスガ、抑々此法律案ガ出來マシタコトハズツ舊ク日清戰爭ノ後ニ非常特別税トシ
テ起ッテ、其變態ガ今日ノ營業税法トナツテ年々歳々之ニ就テ多額ノ税ヲ納メルコトニナリ、又其
營業税ノ爲ニ實ニ多クノ商工業者ノ苦シデ居ルコト、云フモノハ名狀スベカラザル所ノ事實ガ
アルノデゴザイマス、大體此法律案ヲ何故廢止シナケレバナラヌカト申シマスナラバ、是ハ營業
收得税ニアラズシテ營業行爲税デ、法律トシテ最モ不完全ナル所ノモノデアルト私共ハ考ヘルノ
デアリマス、如何ナル場合デモ營業者ノ損得ヲ顧ミズ、營業行爲ヲシタ者カラ税ヲ取ルト云フヤ
ウナ税法ハ世界廣シト雖モ今日殘ッテ居ルノハ我國ダケデアアルヤウニ思ハレルノデアリマストウ
シテモ是ハ改善デナクシテ、全ク廢止シナケレバナラヌ所ノ運命ニ在ルノデアリマス、此營業税
ハ獨リ商工業者其者ダケノ困難デアアルノミナラズ、又此營業税ガ廢サレタ爲ニ商工業者ダケノ
利益ニナルモノニ非ズシテ、全國民ニ大ナル關係ノアルコトデアリマス、サウシテ是ガ廢止サレ
マスナラバ、多クノ全國ニアル需要者、總テノ物品ヲ需要スル所ノ人ハ等シク均霑ヲ受ケル所ノ
公平ナル處置デアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、第三ニハ是ハ思想問題ニモ非常ナ關係ガア
ルト思フノデアリマス、今日思想ガ段々惡化シテ來ツ、アルコトハ、皆サン御承知ノ通りデアリ
マス、殊ニ此營業税ガ、明治四十年以前マデハ色々ナ國情ニ依テ已ムヲ得ズ國民ハ之ニ應ジテ參
リマシタ、同時ニ苛斂誅求モ四十年頃マデハサウ酷クハナカッタ、所ガ四十二年カラ後段、此
營業税ハ苛斂誅求サレルコトニナツテ、遂ニ其額ガ上ルコト三十一年ニ四百萬圓デアッタモノガ

八千萬圓、二十倍ニモ上ツタト云フ事實カラ見テモ此營業稅ガ如何ニ苛斂誅求ヲサレタカト云フコトガ分ルノデアリマス、殊ニ最モ私ガ思想問題ニ關係ノアルト申ス所以ハ我國ノ中産階級ハ、此經濟上ノ脊髓トモナリ、サウシテ我國ノ經濟上ノ按排ヲスル所ニ大ナル責任ヲ持チ、又自ラ實踐躬行シテ居ル所ノ者ハ申スマデモナク商工業者デアアル、然ルニ此商工業者ニ對シテハ此稅法ガ殘ツテ居ル爲ニ一月初メヨリ四月ノ中頃マデハ、年々歳々下級ノ稅務官吏ト其間ニ種々ナル葛藤ヲ生ジ實ニ此一年ノ間四箇月間、一年ノ三分ノ一ヲ不愉快ナル間ニ之ヲ經過セシメテ此國民ヲシテ苦シメテ居ルト云フコトハ、思想問題ニモ大ナル關係ガアルト云フコトヲ申上ゲネバナラヌト私ハ思フノデアリマス、私共ハ全國民ニ對シテ同ジ考ヲ以テ農業者ニ對シテモ即チ之ヲ救濟スルベキ方法ヲ考ヘツ、良法ノアランコトヲ研究シテ居ルノデアリマス、此法律ハ既ニ大正十一年一月二十七日、四十六議會ニ於テ林田龜太郎君外七名ガ廢止案ヲ出サレテ居リマス、是ハ二十八名ノ贊成者ガアル、又憲政會ニ於テモ安達謙藏君外四名ノ提出者ガアツテ、是ハ九十二名ノ贊成者ガアツタノデアリマス、ソレカラシテ上田君モ是ハ提出サレテ、之ニモ多數ノ贊成者ガアツテ、斯ノ如ク四十六議會カラ業ニ既ニ定評ノアル所ノ法律デアリマスカラ、諄ク申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、併ナガラ現大藏大臣ハ、其四十六議會ニ於テ明ニ是ハ廢止シナケレバナラヌ所ノモノデアアルト云フコトヲ明言サレテ居リマスカラ私ハ之ニ信賴スル所ノ者デアリマス、大藏大臣ノ人格ト云ヒ、大藏大臣ノ卒直ト云ヒ、眞面目ナ方デアリマスカラ、此問題ハ深ク御考ニナツテ居ルト思フ、御參考マデニ此處ニ速記ヲ讀ミマス、第四十六議會一月二十六日、濱口大藏大臣ノ演說ノ要旨「今日ハ國民ハ重稅ノ爲ニ苦シメラレ、活潑ナル運動ヲスルコトモ出來ナイノデアリマス、今日ノ經濟界ハ政府ノ財政計畫ニ壓退サレテ自由ナル發展ヲスルコトモ出來ナイト云フ状態デアリマス」又其次ノ說ニ「此節全國ニ澎濤タル所ノ減稅要求ノ國論ガ明ニ出テ居ルコトガ證明シテ居ルノデアリマス、凡ソ減稅論ガ斯ノ如クナルコトハ未ダ曾テ今日ノ如キハナイト私ハ考ヘル、而シテ此減稅ノ議論ト云フモノハ、殆ド重ニ苦ンデ居ル所ノ國民ノ衷心ヨリ發スル所ノ叫デアアルト斷ジテ居ラレマス、而シテ商工業ノ振ハナイ貿易ノ振ハナイ、原因ノ一ハ、營業

稅ノ組織ガ宜シクナイ爲デアルト斷ジテ居ラレマス、而シテ「我國ノ財界ヲ安定セシメ、産業ノ恢復ヲ圖リ、貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトハ、一月モ緩ウスベカラザル秋ニ當テ、國家ハ宜シク英斷ヲ以テ營業稅ノ組織ヲ根本的ニ改メ、根本的ニ改メテ手段トシテ、先ヅ以テ現行營業稅法ハ之ヲ全廢致シ」斯ノ如ク論ゼラレテ居リマス、又其後ノ御演說ノ一部ニ、今後中央及地方ニ於ケル財政ノ整理緊縮ヲ斷行致シ、以テ民間經濟ニ對スル壓迫ヲ緩和スルコトガ、極メテ緊要ナリト信ズルト明言サレテ居ルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ私共ハ此案ヲ皆様ノ協贊ヲ得テ、是非トモ本年限り之ヲ廢止サレンコトニ、皆様ノ御援助ナサレンコトヲ、切ニ希望シテ止マナイノデアリマス

右ニ對シ清瀨一郎君ハ提出者ニ、高見之通君ハ政府ニ質疑ヲ爲シ、提出者及濱口大藏大臣之ニ
 應答ス

清瀨一郎君ノ質疑

只今御說明ニ相成リマシタ營業稅廢止法律案ニ付キ二三ノ質問ヲ致シマス、質問ニ這入リマス前ニ、誤解ナキ爲ニ前提ト致シテ申シテ置キマス、私ハ營業稅廢止論者デアアル、營業稅廢止ト云フコトニハ異存ガナイノデアリマス、營業稅廢止ノ速ニ成立センコトヲ希望スルガ故ニ、此案ニ付テ卒直ナル御答辯アランコトヲ希望スル次第デアリマス、反對デハナイノデアリマスカラ、善意ヲ以テ御答辯アランコトヲ希望致シマス、質問ノ要項ハ箇條ヲ以テ簡單ニ申上ゲマス、第一ニ今營業稅廢止ノミヲ單獨ニ出サレタ理由ハドウデアアルカ、我國ノ稅制ハ營業稅ト言ハズ總テ今日改革ノ時期ニ遭遇致シテ居リマス故ラニ體系ヲ作ツタ稅制デアリマセヌガ、國稅ノ體系ハ自然ニ所得稅方中樞トナリ、一方ニ於テハ營業稅、一方ニ於テハ地租、營業稅ハ商工業者ノ負擔ニ係リ、地租ハ農村ノ負擔ニ係テ居ルノデアリマス、ソコデ我國ノ稅制ノ改革ヲシヤウト思ヘバ、地租ダケヲ撤廢シテモ營業稅者ニ不滿アル如ク、營業稅ノミヲ此處デ撤廢スルト云フコトハ

國ノ大局カラ甚ダ行ハレ難キ議論ノヤウニ相考ヘルノデアリマス此點ヲドウ御考ニナツテ居ルカ此營業稅ノミヲ廢シテ、地租ヲ其儘ニシテ置クト云フト、營業稅負擔者ハ輕減ヲ感ズルガ、地租ノ負擔ハ然ラバ現狀維持デアルカト云フノニ、サウデハナイ、地租ノ負擔者ハ營業稅ヲ撤廢ノ爲ニ多額ノ負擔ヲ蒙ル結果ヲ生ズルノデアリマス、之ヲ御考ニナツテ居ルカ、今日ノ我國ノ地方稅制ヲ一瞥致シマス、營業稅ニ對スル附加稅ト地租割及戶數割ト云フモノガ大體主ナル稅源デアアル、此三ツノモノガ持チ合ヒ、持タレ合ヒテ、地方財政ヲ維持シテ居ルノデアアルガ、一方此處ニ國稅、營業稅ヲ廢止セバ、營業稅附加稅トシテ負擔シテ居タ金額ハ、凭レテ來ツテ地租割或ハ戶數割ト云フ方ニ重荷ガ掛ルコトニ相成ルノデアリマス、片一方ノ營業者ハ負擔ノ輕減ヲ得ルガ、一方ニ於テ農村ノ人々ハ負擔ノ過重ヲ蒙ル結果ヲ生ズルガ、ソレデモ宜シイト云フ御考デアアルカドウカ、吾々ハ營業稅ノ廢止ヲ實際問題トシ提案スルノニハ、同時ニ農村ノ經濟狀態ニ著眼シテ、國稅ト同時ニ地方稅ノ體系モ整理シテ、國家全體ニ著眼シテ之ヲ整理スル必要ガアラウト思フノデアリマス、此特別議會ニ早急ノ間ニ、大正十三年分ダケハ取ツテ、其次カラ營業稅ヲ廢止スルト云フ簡單ナ唯一箇條カラ成ル法律デ、日本ノ國ノ財政ガ變理セラル、ヤウナレバ、モット早ク外ノ者ガ考ヘテ居ル、實際政治ノ舞臺ニ立テ見ルトソコトハサレヌ、又能ク一是等ノ點ヲ御研究ナサツテハ、提案デアアルカ、即チ營業稅廢止ノミヲ單獨ニ出サレタ根本的理由ヲ卒直ニ茲ニ御告白ヲ願ヒタイノデアリマス、第二ニ此營業稅提案者ハ、普通選舉問題ヲ如何ニ御考ニナルカ、今日ノ我國ノ大キナ制度タル選舉法ハ、國稅ヲ納メタル者ニ選舉權ヲヤルト云フノデ三百萬ノ有權者ガ出テ居ル、一方ニ於テ營業稅ヲ國稅ヨリ除イテシマウテ、而シテ普通選舉權ヲ與ヘナイト云フコトニナレバ、營業稅負擔ヲ以テ選舉權ヲ得テ居ル人々ハ、政治圈外ヘ抛リ出サレルト云フコトニナル、此議會デモ普通選舉案ヲ提出スルコトガ出來ナイノデアリナイ、現ニ又提案者モアルノデアアル、デ實業同志會ノ人々ガ以前選舉區或ハ其他ニ於テ聲明サレタ所ハ區々デアリマス、或ハ普通選舉反對デアアルト云フ議論モアリ、又時期ヲ定メテ普通選舉ヲ實行スル、而モ其說明トシテ、憲法ヲ施行シタノハ十年間ノ時期ヲ定メテ、明治十四年ニ之ヲ約束シテ、憲法ヲ定

メタ普通選舉モ亦今時期ヲ定メテ之ヲ實行スベキモノデアルト云フ御演說モアツテ、私ハ直接ニ聽カナイガ、印刷物デ承知シテ居ル、今コ、デ營業稅ノ撤廢ハ直ニ爲サルガ、選舉權ハ、是カラ時期ヲ定メテ普通選舉ニスルト云フコトニ爲サルト云フト、全國多數ノ營業稅負擔者ハ、政治圈外ニ抛リ出サル、ト云フ結果ニ相成リマス、其結果モ御認ナサツテハ、提案デアアルカドウカ、私ハ過去ニ於ケル諸君ノ色々ナ御演說ヲ爲サレタノハ、色々ナ御事情モアラウト思ヒマス、今ノ普通選舉問題モ國家ノ急務デアリマス、國家ノ活キタ問題デアリマス、之ニ對シテモ政治家トシテカッキリトシタ答辯ヲ茲ニ承リタイ、本當ニ普通選舉ハ、納稅資格無條件撤廢デ、普通選舉ヲ次ノ總選舉ヨリ實行スルニ異存ノナイ肚デ、之ヲ御出シニナツタカ、吾々ハ本案ニ於ケル贊否ヲ決スルニハ非常ナ影響ガアル、故ニ此點ヲ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラシテ第三ニ財源ヲドウスルカト云フコトデアアル、營業稅撤廢ニ付テハ私少シモ異存ハナイガ、今ノ說明者ガ堂々ト雄辯ヲ振ハレタルニ拘ハラズ、財政ノ計畫此財源ニ向ツテハ片鱗モ之ヲ認ムルコトノ出テナカッタノハ、極メテ遺憾デアリマス、國民トシテ誰ガ稅金ヲ出シタイ者ガアリマセウカ、實業同志會ヲ問ハズシテ明カデアアル、唯一ツノ問題ハ財源デアアル、殊ニ今日震災ノ後ヲ承ケテ、此經濟社會ノ現下ニ取ツテ此財源ヲドウスルカト云フコトヲ此處デ御發表ニナルト云フコトガ、是ハ有益ナ點デアリマス、財源ナシニ通ルカ通ラヌカハ別トシテ、コ、デ營業稅廢止ノ演說ヲシヤウト云フダケデアハ是ハ三文ノ價值モナイデ是モ唯數字ヲ舉ゲルコトハ御困難デアアラレマセウケレドモ、國費ヲ一割天引スルノ地方費ヲ節約スルノト云フコトデアハ、吾々ハ承知ハ出來ナイ、一割天引論ノ議論ナラバ承ラヌデモ宜イ、二割天引スルモ天引ハ十割デモ同ジコトデアアル、口ダケノ話、サウ云フコトヲ聽クノデアアリマセヌガ故ニ、眞實ノ財政計畫ヲ此處デ御發表ヲ願ヒタイ、是ガ即チ第三ノ質問デアリマス、第四、終リニ大正十三年分限リ廢止スル、即チ大正十四年ヨリ廢止スルト云フ法律案ヲ、此議會デ今提案ナサツタ精神ハ何處ニ在ルカト云フコトデアリマス、今申ス通りニ財政ノ計畫ト伴ハナケレバ實行ノ出來ナイ案デアアルガ故ニ、大正十四年ノ財政計畫ヲ論議スル議會ニ於テ、是ト同時ニ此提案ヲナサツテモ少シモ遅クハナイ、ソレガ又法律トシテ至當ナル事デ

アリマス、今作ッテ公布シテ置イテ暫ク寝カシテ置イテ、サウシテ大正十四年カラ之ヲ實行シヤウ
ト云フコトハ一寸オカシイ、ソレカラ又他ノ財政計畫ニモ影響スル、今申シタ通りニ普通選舉ノ
法案ノ成否ニモ影響ヲスル是等ヲ顧ミズシテ出シ抜ケニ今漸ク此議會モ半ヲ過ギタ此際ニ、之ヲ
提案サレタ精神ハ何處ニアルカト云フコトヲ、是ハ包ミ藏シタク率直ニ御陳述ヲ願ヒタイ、

森田金藏君ノ應答

只今清瀨君カラ深切ナ御贊成演説デアルカ、或ハ反對デアルカ、嘗テハ自分ガ出シタ案ニ付テ明
白ナル判斷ガ出來ナイト云フ意味ニ於テ、サウシテ質問ヲサレタコトニ付テ御返事ヲ申上ゲル
次第デアリマス、私共ハ眞面目ニ考ヘテ眞面目ニ御答辯ヲスルデアリマス、決シテ要ラザル言
葉ヲ以テ酬ユル者デアアリマセヌ、清瀨君ハ第一ニ單獨ノ理由ヲ御尋ニナツテ、單獨デ何故之ヲ
出シタカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、是ハ單獨デ出スベキ當然ノ理由ヲ先ニモ申上ゲタ、併シ此
國家ノ財政ヲ立テルノニ即チ體系ガアルト云フ、ソレガ故ニ此財源ガ起ツタ本ヲ先キニ申上ゲテ
置イタノデアリマス、ソレデハ今日私ガ之ヲ何故十三年度限リト申シタカト云ヘバ、多年ノ問
題トナツテ緊ツテ居ルコトデアルカラ、殊ニ大藏大臣ハ來ラントスル此秋ノ議會マデニハ、即チ此
次ノ議會マデニハ大ナル緊縮ヲシテ見セルト云フコトヲ明ニ言ウテ居ラレルデアリマス、故
ニ之ニ信賴ヲスル、之ニ信賴ヲシテ此四千八百萬圓カ五千萬圓ニ足ラザル所ノモノデアルカラ、
之ヲ當然廢止スルト云フコトハ、曩ニ野ニ居ラレタ時ト何ゾ變リハナイト信ジテ提出シテ居ル
デアアル、ソレカラ地方稅ヲ緊縮シナケレバナラス、是亦私共ノ考慮ニモ明ニ現ハレテ居ル、地
方稅ヲ減額ヲスベキ其方法ニ付テ提案センガ爲ニ、皆様ノ手許ニ是レノ贊成ヲ求メツ、アルコ
トデアリマス、決シテ私共ハ他ヲ顧ミナイ、片手落ナ考ヲ持ッテハ居ナイ、公平ナル考カラ出發點
ガアルト云フコトヲ御考ニナレバ明カデアアル、第二ニ此普通選舉ノコトヲ御話ニナツタ、是ハ清
瀨君ハ何處デドウ云フ風ニ御間違ニナツタカ知リマセヌガ、我が實業同志會ハ是ハ贊成デアッテ、
斷行スベキモノデアアルト云フ見地カラ、之ヲ何時マデモ期限ヲ定メズシテ置クコトガイケナイ、

ドウカ議會ガ協贊ヲサレテ、是ガ通ルナラバ此期限ヲ明カニシテ、國民ノ精神上ニ安心ヲ與ヘル
ト云フコトニ吝ナラヌ者デアリマス、ソレカラ第三ノ財源、此財源ト云フコトニ付テハ、清瀨君
モ既ニ此四十六議會ニ御出シニナツタ時ノコトヲ御記憶ナサルナラバ直グ分ルト思フ、今日與黨
デアルカラト云ウテ、此體系ヲ明カニセヨト云フヤウナコトヲ仰シタル必要ハナイト思フ、若シ
大藏大臣ニシテ、眞ニ緊縮問題ヲシテ提出ナサルナラバ、此位ナ事ハ易々タルモノデアルト云フ
コトハ明カデナケレバナラス、之ヲ御考ニナラヌト云フコトハ如何ニモオカシイ考デアアリマ
セヌカ、ソレカラ第四ニ十三年度カラ之ヲ出シタ精神、是ニ對スル質問ガ又實ニ私ニハ分ラヌ、
十三年度ト限ラナイナラバ、法律ヲ定メテ貫フノニ期限ナクシテ提出スルコトガ如何ニシテ出
來ルカ、吾々ハ之ヲ忍ンデ來テ居ル、此惡稅ハ本年度ヲ限ッテサウシテ十四年度カラ廢止スル、是
ハ營業行爲稅デアアル、若シ營業行爲稅デナクシテ所得稅ニ代ッタナラバ國民ハ安心スル、國民ヲ
シテ政府ヲ信賴セシムル所ノ法案ヲ定メルコトハ、爲政者ノ爲スベキ仕事デハナイカ、各緊縮シ
來ツタ所ノ財源ヲ以テ之ニ充テレバ宜イデアリマセヌカ、斯ノ如キ意味デアリマスカラ清瀨君ノ
御尋ニ對シテ、此四項ノ御返事ヲシタ次第デアリマス

清瀨一郎君ノ再質疑

議論ハ避ケマスル、只今ノ御答辯ヲ聽イテ益疑惑ヲ深ク致シタノデアリマス、洵ニ遺憾ナ事デア
リマス、此第一ノ質問ニ對シテ政府ニ信賴スルト云フノデ是ハ御出シニナツタ、信賴ヲナサルナ
レバ引込メテ政府ノ出スノヲ御待ニナルベキデアアル、唯今日地方稅制ニ付テドウ爲サルカト云
フ一點ニ付テハ、殆ド答辯ガナイノデアリマス、今日ハ地方稅制ノ中デ營業稅ノ附加稅ハ五千四
百萬圓デアアル、地租割ハ一億千七百萬圓デアアル、ソレデ若シ此デ以テ地方稅制ノ考ガナクシテ、
營業稅ノ國稅ダケヲ撤廢サセ、隨テ營業稅附加稅ト云フモノヲ御除キニナルト、五千百萬圓ト
云フ商工業者ノ負擔タル地方稅ガ、轉ガッテ、一億一千萬圓ノ地租附加稅ノ上ニ掛カル、又細民ヲ
最モ苦シメテ居ル所ノ戶數割二億圓ノ上ニ掛カル、今日農村ノ疲弊ト云フコトハ事實デアアル、此

準備ヲセズシテ之ヲ御出シニナッタノハドウデアアルカト云フ質問デアアル、之ニ向ッテハ片言ヲ以テ答ヘラレナイ、私ハ聲ヲ勵マシテ叱咤スルノデハナイケレドモ、是レ又國家ノ重大事デアアル、能ク御考ニナッテ實行スベキ案ヲ御出シニナランコトヲ希望スル、私ハ從前實業同志會ニ向ッテ幾分敬意ヲ表シテ居ッタ、是ハ實際家デアアル、實際家ハ實際家ラシク眞面目ナ出來ルモノヲ御出ニナラムコトヲ希望スル、第二ニ普選ニ付テハ出來ル期限ヲ定メロト云フノデヤト——デハ期限ガ來ルマデニハ從前ノ營業稅納稅者ハ權利ガ失クナッテモ宜イノデアアルカ、選舉權ガ無クテモ營業稅サヘ無クナレバ宜イ、斯ウ云フノデアアルカ、ソレナラバ議論ニナラナイ、今日營業稅ノ納付ダケデ以テ選舉權ヲ持ッテ居ル者ハ二十一萬五千人、是等ノ者ノ首ヲ馘ッテシマフト云フ案ナラバ、吾々斷々乎トシテ反對シナケレバナラヌ、或ハ又或席デ、或ル印刷物デ、私ノ承ッテ居ルノニハ、營業稅ハ廢止サレテモ所得稅ガ殘ッテ居ル、ボツ／＼日本國民ガ働イテ所得稅ヲ納メサヘスレバ、又選舉資格モ得ラレルト云フ斯ウ云フ豫告ガアル、明ニ實業同志會ノ名ヲ以テ公表サレタル論デアアル、今日日本國民誰カ貧賤ナランコトヲ欲スルカ、皆汝々營々トシテ働クケレドモ安樂椅子ニ腰ヲ掛ケテ七割ノ配當ヲ收メルト云フコトハ一寸何人ニモ出來ルコトデハナイ、現行所得稅ハ課稅ノ最底限度ハ一箇年八百圓デアアル、同志會ノ他ノ政綱政策ヲ見レバ、此最低限ヲ千圓ナリ千二百圓ニ切詰メルト言ハレテ居ル、一箇年ノ收入千圓ノ所得稅ヲ納メル者ハ、日本全國ニ幾何アリマスカ、今日所得稅納付者ハ九十萬人、之ヲ千圓ニ切詰メルト恐クハ七八十萬人ニ過ギナイデアアラウ、我國ノ如キ大國ノ政治ヲ所得稅納付者八十萬人ニ委ネルト云フコトノ大膽ナル決心ニ付テハ、吾々甚ダ吃驚セザルヲ得ナイノデアアル、此點ニ付テ再應御答辯ヲ願ヒタイ、尙ホ財源ニ付テ、第二ニ第四十六議會ニ於テ提案シタカラシテ、財源ハ知ッテルダラウト云フ、吾々ハサウデハナイ、諸君ノ考ヘテ居ル財政政策ハドウダト聽クノデアアル、吾々ノ政策ノミヲ採用サレ、バソレモ亦一ノ答辯デアアルガ、サウハ仰シヤラナイデ、反問ヲシテ君ノ考ヘテ居ル通りダト仰シヤルナラ肯カウケレドモ、別ニ案ヲ出シテ喋々ト茲ニ説明サル、以上ハ、實業同志會ノ考ヘテ居ラレル財源ヲ此處デ續説ナサッテ宜イノデアアル、時間ハ掛ッテモ聽イテ上ゲマス、

此四十六議會ノ時トハ今日ハ世ノ中ガ變ッテ居ル、大震災ニ遭ッタコトヲ御記憶ナイカ、此世界ノ大問題タル東京、横濱ノ大震災ニ因ッテ、我國ノ國庫ノ歲計ニモ相當ノ變化ノアルト云フコトハ、常識ノアル人ナラバ是ハ分カルノデアアル、終リニ大正十三年度分限リ廢スルコトヲ今出シタト云フノハ、其中ニ政府デ以テ色々モノヲ出サレルニ便宜デアラウト仰シヤル、之ヲ能ク聽イテ見ルト、此案ハ諸君、之ヲ法律ニスル積リヂヤナクテ、コ、デ宣傳ヲシテ政府ノ參考ニシヤウト云フコトノ結論ニ相成ル、ソレナラバ建議デモナサルト云フト參考ニ致シマスガ、法律案トシテ責任ヲ以テ提案シタル以上ハ、政府ノ計畫ニ參考ニシヤウト云フノデ、此議場ヲ煩ハサル、ト云フコトハ甚ダ私其意ヲ得ヌ、サウ云フ決心ナレバ寧ロ委員會ニ付託サレタ時分ニ、吾々ハ參考氣分デ以テ審査スル外ハナイ、眞面目ナ氣分ヲ以テ出シタノデアアルカナイカ、之ヲモウ一度言ッテ御覽テサイト云フノデアアリマス

森田金藏君ノ應答

清瀨君ハ第二ノ御尋ニ於テ地方稅ヲドウスル、斯ウ云フ御尋デアリマス、大體此緊縮ト云フコトハ中央ダケニ止メテ、地方ニハ緊縮セヌト云フ御考デアアルカノ如ク思ハレル、此緊縮方針ハ政府自ら範ヲ開キ、是ガ各地方ニ及ボシ、又各地方ノ國民ハ之ヲ考ヘテ、サウシテ地方ノ縣會、市會、到ル所之ヲ緊縮スル必要ガアルノデアリマス、——斯ノ如クシテ是ガ併行シテ行ク時ニ、始メテ國民ガ生活ノ安定ヲスルト云フコトニ歸著スル、斯ノ如ク御考ニナラナイト云フコトハ、如何ニモ良キ頭ノアル代議士ニシテ之ヲ思考ニナラヌト云フコトハ、私共オカシク考ヘル、ソレカラ普通選舉ノ事ニ付テモ、先程申上ゲマシタ如ク、普通選舉ハ吾々ハ斷行ヲ宣言シテ居ル、唯是ガ期日ヲ定メズシテ、是マデ幾度モ議會ニ出テモ法案ガ通ラナイ、是ハ一日モ早ク之ヲ定メテ、國民ニ安心ヲサセナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ル、斯ノ如ク實業同志會ノ政綱ニ間違ッタ事ハ言ッテハ居ラナイノデアアル、ソレカラ又年限ノ問題ニ付テ何故之ヲ十三年度カラト定メタカトカ、是ハ建議案デ出セバ宜イトカ、色々御註文ガアリマシタガ、之ヲ十三年度ト切レバ明カナル

境が出来テ、サウシテ之ヲ此議會ガ容レラレルナラバ立派ナ法律案トナルデアリマセヌカ、サウシテ曩ニ權利ノ問題、即チ選舉權ノ問題ニ付テ色々御話ガアリマシタガ、是ハ當然納税ノ義務ガ無クナレバ、權利ハ當然無クナル、又隨テ色々所得税ニ依テモ必要ナモノヲ課スル方法ハ幾ラモアル、斯ノ如ク致セバ必ズ權利ヲ保全スルコトが出来ル、第一我國ノ此營業税ノ取方ノ惡イト云フ一ツノ例ヲ私ガ言ッテ見マセウ、彼ノ植民地デアアル濠太利ノ如キハ、單税法デアアル、總テノモノガ所得税一本デアアル、然ルニ其所得税ヲ課スルニシテモ、當局者ガ如何ナル場合デモ損失ヲ免ガレサセル爲ニ、政府ガ之ヲ保護シテ居ル、例ヘバ本年一千萬圓ノ商賣ヲシタトスルナラバ、其商賣カラ懸賣シタモノガ四百萬圓アッタトスレバ、其四百萬圓ヲ控除シテ賣上ノ六百萬圓ニ所得税ヲ課スルト云フコトニナッテ居ル、斯ノ如クシテ治政者ト人民ガ一致相協力シテ國ノ法律ヲ定メテ、満足スレバコソ茲ニ違反者ガ起ラナクナル、今日ノヤウナ苛斂誅求ヲスル所ノ惡イ法律ヲ保護シテ置カナケレバナラヌト云フ理由ハ何處ニモ無イト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ御考ニナルナラバ、必ズ是ハ爲スベキモノデアッテ、爲サナケレバナラヌト云フコトヲ御考ニナッテラ之ガ分ルト思ヒマス

高見之通君ノ質疑

私ノ質問ハ至極簡單デアリマス、政府當局特ニ濱口大藏大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、濱口君ハ昨年ノ第四十六議會ニ於テ營業税廢止法律案ノ説明ヲナサレタノデアリマシタ、而シテ其説明ノ内容ハ營業税廢止ノ最モ必要ナル事ヲ御方説ニナッタルデアリマス、一度政府當局トナラレタル今日ニ於テ、昨年ノ第四十六議會ニ於テ、アレ程必要ナルコトヲ御方説ニナッタル今日ニ於テ、何故此臨時議會ニ御提出ニナラナカッタノデアアルカ、其理由ヲ承リタイノデアアル、又若シ此臨時議會ニ提出スルコトが出来ナイ理由ガアッタト致シマシタナラバ、來ル通常議會ニ於テ必ズ御提出ニナルト云フコトヲ御聲明ヲ請フコトが出来ルヤ否ヤ、若シ又通常議會ニ於テモ提出が出来ナイト云フコトデアリマシタナラバ、其理由ハ如何デアアルカト云フコトヲ單純直

濱口大藏大臣ノ應答

截明快ニ御答辯アラント望ムノデアリマス

只今ノ御質問ニ御答致シマス、國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ事柄ハ獨リ營業税ニ限りマセヌ、總テノ事柄ニ付テ政府ハ其希望ヲ持ッテ居リマス、私個人ト致シテモ無論其希望ヲ持ッテ居リマス、然ルニ御承知ノ通り昨年九月ノ震災ノ結果ト致シマシテ、我國ノ歳入ハ非常ニ減少ヲ致シ、歳出ハ帝都ノ復興、並ニ震災ノ復舊ノ爲ニ非常ニ激増ヲ致シタノデアリマス、斯ノ如クニ歳入ハ減少シ、歳出ハ激増シタル今日ノ我が財政状態ニ於テ、營業税ノ廢止ト云フコトハ甚ダ困難デアアルデアリマス、隨テ只今御質問ノ如クニ此議會ニ於テ廢止案ヲ提出ノ出来マセヌコトハ申マデモアリマセヌ、然ラバ暮ノ通常議會ニ於テ營業税ノ廢止案ヲ提出スルカ否ヤト云フ御質問ニ對シマシテハ、今日ニ於テ言明スル限リデアリマセヌ

高見之通君ノ再質疑

只今大臣ハ營業税法廢止案ノ今期議會ニ提出不可能ナル理由及本年ノ通常議會ニモ、果シテ出シ得ルコトが出来ルカ否ヤサヘモ言明出来ヌト云フ御言葉デアリマシタガ、其理由ハ昨年九月ノ震災ト云フコトヲ以テ、財政計畫ニ相當ノ變更ヲシナクチャナラヌト云フコトノ御議論ガアリマシタガ、ヤリナガラ濱口大藏大臣ハ昨年憲政會ノ代表者トシテ、如何ナル御演説ヲナサレタカ、單リ營業税法ヲ廢止スル理由ハ、國民ノ負擔輕減ト云フコトノミニハ限ラナイノデアアル、特ニ營業税法ヲ廢止スルコトハ、營業税法ノ組織ガ宜シクナイト仰ッシャルノデアリマス、而シテ此組織ノ不完全ナル營業税法ヲ廢止シテ、更ニ適當ナル負擔スベキ別箇ノ法案ガアルガ、是ハ政府ノ相當ノ考慮ヲ煩シテ宜カラウト云フコトデアリマシテ、要スルニ營業税法廢止ノ理由ハ、國民ノ負擔ト云フコトモアリマシタラウケレドモ、營業税其モノ、組織ガイケンイト云フノデアリマス、此組織ガイケンイト云フ非難ハ、震災ニ因ッテ如何ナル影響ヲ受ケタノデアリマスガ、ソレ故

震災ニ因ツテ何等組織ノ不完備ト云フモノニ影響ヲ受クルコトハアラズシテ、營業稅其モノガ非常ニ不公平デアリ、非常ニ組織ガ不完備デアル、而テ其代リノ法案ヲ提出スルニ於テハ、政府當局トシテ、是モ適當ノ位置ニ居ラレルノデアリマスカラ、輕減ノ負擔、震災ノ爲メノ影響、ソレハ別箇ノ意味ニ於テ營業稅廢止ヲ御提案ニナリ、而シテ其最モ組織ノ完備セル國民ノ負擔法ト云フモノヲ何故ニ御提案ニナラナイノデアルカ、若シ御提案ニナラナイノデアルト致シマスナラバ、昨年ノ堂々タル御演說ハ總テ皆一時ヲ糊塗スル御議論デアッタト云フコトヲ聽キタイノデアリマス

濱口大藏大臣ノ應答

高見君ノ再應ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、營業稅法ノ組織ハ私ハ決シテ完全トハ思フテ居リマセヌ、其點ニ付キマシテハ其當時ト今日トニ於テ少シモ意見ハ變リマセヌ、是ハ完全デナイト思フテ居リマス、併ナガラ組織ガ完全デナイト云フ理由ヲ以テ、之ニ代ルベキ所ノ財源ヲ提供セズシテ、直ニ現行法ノ廢止ノミヲ行フト云フコトハ是ハ出來ナイ相談デアリマス、而シテ其之ニ代ルベキ所ノ營業稅法ノ改正ノ案ニ付キマシテハ、無論調査ハ致シマス、其調査ノ結果トシテ適當ナル案ヲ得マシタナラバ、議會ニ提案致シマスガ、案ヲ得ナカッタナラバ提案スル譯ニハ行キマセヌ、ソレ故ニ此幕ノ議會ニ於テ提案スルヤ否ヤト云フコトハ、今日ニ於テ言明スルコトハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其調査ヲ致サナイト云フコトハ申シテハ居ナイノデアリマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十二日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ否決スヘキモノト決シ七月十八日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラザリキ

四 衆議院議員選舉法中改正法律案

衆議院議員選舉法中左ノ通改正ス

第八條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿二十五年以上ノ者ハ選舉權被選舉權ヲ有ス

第九條 選舉人名簿調製ノ期日迄引續キ滿六箇月以上同一選舉區内ニ住居スル者ニ非サレバ選舉權ヲ行フコトヲ得ス

前項ノ期間ハ行政區畫變更ノ爲中斷セララルコトナシ

第十條 削除

第十二條第二項中「又ハ官立公立私立學校ノ學生、生徒」ヲ削ル

第十三條 削除

第十四條中「三箇月」ヲ「二十日」ニ改ム

第十五條中「宮内官」ノ上ニ「在職ノ」ヲ、「判事」ノ下ニ「朝鮮總督府判事、臺灣總督府法院判官、

關東廳法院判官、南洋廳判事、」ヲ、「檢事」ノ下ニ「朝鮮總督府檢事、臺灣總督府法院檢察官、關

東廳法院檢察官、南洋廳檢事、陸軍法務官、海軍法務官、」ヲ加フ

第十八條第四項中「納稅額及納稅地」ヲ削ル

第十九條 削除

第五十四
第二十二條 削除

第二十三條中「前二條」ヲ「第二十一條」ニ改ム

第二十四條第一項中「第二十二條」ヲ削ル

第二十八條 總選舉ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ議員任期終了ノ二十二日以前ニ於テ之ヲ公布シ議員任期終了ノ日若ハ其ノ後二日間ニ於テ總選舉ヲ行フ

衆議院解散アリタルトキハ解散ノ日ヨリ二日以内ニ總選舉ノ期日ヲ公布シ二十日以内ニ總選舉ヲ行フヘシ

總選舉ノ期日ハ休日トス

第二十九條ノ二 議員候補者タラムトスル者ハ保證金二千圓又ハ之ニ相當スル額面ノ公債證書ヲ添ヘ其ノ選舉區内ノ選舉權者五十人以上百人以下ノ連署ヲ以テ選舉期日前十日迄ニ選舉長ニ届出ツヘシ

前項ノ保證金ハ選舉終了ノ日ヨリ一週間内ニ各選舉事務長ニ還付ス但シ候補者ノ得票數カ第七十條但書ノ得票數ニ達セサルトキ又ハ議員候補者選舉期日前十日以内ニ候補者タルコトヲ辭シタルトキハ之ヲ國庫ニ沒收ス

議員候補者ハ其ノ選舉區ノ選舉長ニ届出ヲ爲スニ非サレハ議員候補者タルコトヲ辭スルコト

ヲ得ス

前項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者死亡シタルトキハ選舉長ハ直ニ其旨ヲ告示スヘシ

第二十九條ノ三 議員候補者タラムトスル者ハ前條ノ届出ト同時ニ選舉事務長一名ヲ選定シ選舉長ニ届出ツヘシ

第二十九條ノ四 選舉ノ期日十年前迄ニ第二十九條ノ二第一項ノ届出ヲ爲シタル者其ノ選舉區ニ於ケル議員定數ヲ超過セサルトキハ選舉長ハ選舉ノ手續ヲ省略シテ各候補者ヲ當選者トシ第七十一條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ五日間前ニ其ノ區内ニ於ケル確定候補者並投票所ヲ其ノ投票區内ニ告示スヘシ

第三十二條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ議員候補者ノ數五名ヨリ多キトキハ其ノ數ニ滿ツル迄ノ數ノ投票立會人ヲ選任スヘシ候補者ハ選舉期日ノ五日前迄ニ各一名宛ノ投票立會人ヲ選舉長ニ對シ推薦スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ選舉長ハ之ヲ投票立會人ニ選任スヘシ

第三十五條 投票用紙ニハ第三十一條ニ依リ告示シタル候補者ノ氏名ヲ印刷シ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ

第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ印刷セラレタル被選舉人一名ノ氏名ノ上ニ自ラ
×ノ記號ヲ附シテ投函スヘシ但シ盲者ニ限リ×ノ記號ヲ用ユルコトナクシテ點字投票ヲ爲ス
コトヲ得此ノ場合ニハ別ハ投票用紙ヲ交付スヘシ

第三十八條第二項ヲ削ル

第十章 選舉運動

第七十九條ノ二 議員候補者ハ選舉運動ニ要スル一切ノ費用ヲ豫算シ之ヲ選舉事務長ニ寄託ス
ヘシ

前項ノ費用ハ市部ニ在リテハ有權者一人ニ付二十錢郡部ニ在リテハ有權者一人ニ付二十五錢
ヲ超ユルコトヲ得ス

第七十九條ノ三 選舉運動ニ要スル費用ハ總テ選舉事務長ヲ經テ之ヲ支辨ス

第七十九條ノ四 議員候補者ハ第七十九條ノ二ノ豫算以外ニ候補者自身ノ費用トシテ金一千圓
以內ヲ使用スルコトヲ得

第七十九條ノ五 議員候補者ノ爲ニ印刷物ノ配布廣告ヲ爲シ集會ヲ催シ其ノ他議員候補者ヲ應
援セムトスル者ハ豫メ選舉事務長ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス之ニ要スル費用ハ第七十九條ノ
二ニ規定シタル費用中ニ包含セシムヘシ

第七十九條ノ六 選舉事務長ハ選舉運動ノ爲要シタル費用ノ明細書ヲ作り選舉終了後十五日以
內ニ選舉長ニ提出スヘシ

第七十九條ノ七 議員候補者ハ選舉期日公布後其ノ選舉區ニ於テ選舉本部一箇所ヲ設置スヘシ
但シ必要アル場合ニハ選舉有權者數五千人毎ニ選舉事務所一箇所ヲ設置スルコトヲ得
議員候補者選舉事務所ヲ設置シタルトキハ二日以内ニ之ヲ所轄警察官署ニ届出ツヘシ
所轄警察官署前項ノ届出ニ接シタルトキハ直ニ之ヲ選舉長ニ通知スヘシ

第七十九條ノ八 議員候補者又ハ選舉事務長ハ選舉本部設置ノ後ニ非サレハ選舉事務ヲ開始ス
ルコトヲ得ス

選舉本部ニ於テハ選舉事務長ノ外五名選舉事務所ニ於テハ一箇所ニ付三名以上ノ事務員ヲ使
用スルコトヲ得ス

選舉本部及選舉事務所費用並事務員ノ給料ハ第七十九條ノ二第二項中ニ規定シタル費用中ニ
包含セシムヘシ

第七十九條ノ九 議員候補者選舉事務長及選舉事務員其ノ他何人ト雖公開ノ演說若ハ文書ニ依
ルノ外投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ議員ノ任期終了ノ日ノ三箇月以前ヨリ、解散ノ場合ニ於テハ解
散ノ日ヨリ選舉人ヲ訪問シ其ノ他選舉人ヲ勸誘スルコトヲ得ス

第七十九條ノ十 議員候補者選舉事務長及選舉事務員其ノ他何人ヨリスルヲ問ハス選舉ニ關シ選舉人ニ對シテ配布スル文書ハ二回以上ナルコトヲ得ス但シ名刺モ亦文書ト看做ス前記ノ文書配布ニ要スル郵税ハ之ヲ免除ス

第七十九條ノ十一 議員候補者選舉ニ關スル公開ノ演説ノ爲其ノ選舉區内ノ營造物並官公有ノ空地ヲ使用セシムルトキハ管理者ハ管理上支障ナキ限り之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ其ノ使用ニ必要ナル實費ハ候補者ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

第七十九條ノ十二 議員候補者ハ選舉ノ當日其ノ選舉區内ニ於テ休憩所其ノ他之ニ類似ノ設備ヲ設クルコトヲ得ス

「第十章」ヲ「第十一章」ヲ「第十二章」ニ改ム

第八十六條中「虚偽ノ宣言ヲ爲シタル者」ノ下ニ「若ハ第二十九條ノ二第一項、第二十九條ノ三、七十九條ノ七第二項ニ違反シタル者」ヲ加フ

第八十七條第一項第九號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

十 第七十九條ノ七第一項又ハ第七十九條ノ九ニ違反シタルトキ

第一百一條ノ二 當選人第七十九條ノ二乃至第七十九條ノ四、第七十九條ノ八、第七十九條ノ十、第七十九條ノ十二ニ違反シタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

「第十二章」ヲ「第十三章」ニ改ム

第一百四條 削除

第一百九條 削除

「第十三章」ヲ「第十四章」ニ改ム

附則

本法中選選運動者ヲ選舉事務員ニ改ム

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ爲必要ナル手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十八條第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

右ハ十三年七月三日西岡竹次郎君外一名之ヲ提出ス同月十二日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者(西岡竹次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ヲ説明致シマス前ニ、私ノ立場ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス、私ハ只今中正俱樂部ニ屬シテ居ルノデアリマスガ、總選舉ノ時ニ於キマシテハ、護憲ノ旗幟ノ下ニ、政友本黨並ニ清浦内

閣反對ノ下ニ私ハ戰ヲヤッタノデアリマス、故ニ加藤現内閣ノ成立ニハ、私ハ滿腔ノ喜ビヲ持ッテ居ル、護憲ノ精神ニ反セザル以上ハ、現内閣ニ好意ヲ有スルコトヲ私ハ一言附加ヘテ置キマス、世界ノ強國ハ勿論ニ等國、三等國ヲ見マシテモ、普通選舉ノ如キハ疾クノ昔ニ解決致シマシテ、何レモ「デモクラシー」ノ基調ノ下ニ新シイ政治、新文明ノ建設ニ努力ヲ致シテ居リマス場合ニ、世界ノ三大強國ノ一ト誇ッテ居ル私共ガ、未ダ改造ノ第一歩デアアル普通選舉サヘモ解決スルコトガ出來ズシテ、今日壇上デ其説明ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、亞細亞民族ノ盟主ヲ以テ自任シテ居ル吾ト致シマシテハ、恥カシイ次第デアルト思フノデアリマス、中正會ノ中デモ總テガ普選ニ賛成デハナク、先般此壇上カラ現内閣ニ普通選舉ノ即行ヲ熱心ニ迫ラレタル所ノ井上孝哉君ノ如キハ、此所デハ普選ノ即行ヲ述ベラレマシタケレドモ、中正俱樂部ニ於キマシテハ普通選舉反對ノ急先鋒デアアルノデアリマス、故ニ此案ニハ賛成デハナイノデアリマス、普通選舉ノ可否、普通選舉ノ理論ニ付キマシテハ、院ノ内外ニ於キマシテ諸先輩ニ於テ十分審議シ盡サレテアツテ、加藤若槻兩相カラモ護憲三派ニ於テモ、眼目ニ於テハ一致シタル成案ヲ持ッテ居ルト仰シヤッタ如ク、又多年普通選舉ニ反對致シテ居ッタ所ノ松田源治君デモガ政友本黨ヲ代表シテ、此壇上カラ現内閣ニ普通選舉ヲ即行セヨト言ッテ居ラレル程、普通選舉ノ問題ハ即チ一般ニ行渡リ、了解ガ出來テ居ルノデアアル、故ニ私ハ普通選舉ノ可否ノ議論ニ付テハ、省略致シマシテ、此本案ノ内容ノ要點ノ説明ダケニ止メテ置キタイト思フノデアリマス、本案ノ眼目ハ滿二十五歳以上ノ男子ニ選舉權被選舉權ヲ與ヘル、納稅資格ヲ無條件ニ撤廢スルト云フコトデアリマス、是ハ憲政革新兩黨ノ案ト同ジデアリマス、納稅資格ヲ無條件ニ撤廢致シマスレバ、ドノ位ノ有權者ノ數ニナルカト申シマスルト、只今ノ所デハ三百三十四萬三千七百八十人デアリマスルガ、是ガ改正案ニ依リマスレバ、一千三百四十六萬三千七百九十八人ニナルノデアリマス、世界ノ有權者ノ數ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、年齢ノ方カラ申シマスレバ、亞米利加ハ男女二十一歳以上ノ者ニ與ヘ、獨逸ハ二十歳以上ノ男女ニ與ヘテ居リマス、英吉利ハ男子二十一歳、最近マデハ女子ハ三十歳以上ニ與ヘテ居リマシタガ、ツイ一箇月程前ニ、労働黨内閣ハ婦人ニモ男子同様二十一歳以上ノ者

ニ與ヘテ居テ、今日世界ノ何レヲ見テモ、二十五歳ノ如キ制限ヲ置イテ居ルモノハ唯日本アルノミデアツテ、單リ丁抹ガ男女二十五歳以上ニ與ヘテ居ルダケデアリマス、又有權者ノ數カラ申シマシテモ、百人ノ中ニ選舉權ヲ持ッテ居ル者ハ、亞米利加デハ四十三名デアリ、英國デハ四十七名、獨逸デハ百名ノ中六十名デアリマスルガ、日本ハ百名ノ中ニ僅ニ五名デアリマス、此選舉法案ガ通過致シマシテモ、百人ノ中ニ選舉有權者ノ數ハ僅ニ二十一名ニナルニ過ギナイノデアリマス、本當ノ普通選舉ニ達シマスルニハ前途遠遠デ吾々ハ大ニ努力ヲシナケレバナラナイノデアリマス、加藤總理大臣ノ施政方針ノ演說ノ中ニモアリマシタヤウニ、選舉ニ非常ニ費用ガ嵩ム、サウシテ綱紀ガ頹廢シタト言ハレタコトハ、所謂選舉界ガ腐敗シタト云フ意味デアッタラウト思ヒマス、今日ノヤウニ選舉費用ガ嵩ミマシテハ、其結果即チ政黨ノ墮落トナリ、議會ノ品位ヲ墜スト云フコトニナリマシテ、倫敦「タイムズ」ノ東京通信員ガ日本ノ總選舉ニ於キマシテハ、選舉費用ガ嵩ム爲ニ、新シキ者殊ニ有爲ノ青年ノ蹶起スルコトハ少クシテ、日本ノ政界ハ依然トシテ舊人物ニ依テ支配サレテ居ルト云フコトヲ、選舉當時打電致シテ居ルノデアリマス、僅ニ日本ニ一年位居タ外人ノ眼ニサヘモ、斯ノ通りニ映ズル程、日本ノ選舉界ニハ莫大ナル費用ヲ要スル、此結果各政黨共ニ或ハ利權ヲ漁リ、色々ノ事ヲシナケレバナラヌコトニナル、故ニ選舉界ヲ廓清シヤウトスルニハ、ドウ致シマシテモ選舉費用ヲ根本的ニ節約スル、根本的ニ制限ヲスルト云フコトデアアル、本案ニ依リマスレバ、代議士ノ候補者ニナラウトシマスレバ、先ヅ保證金二千圓、其選舉區内ニ於ケル有權者五十人以上百人以下ノ連署ヲ以テ、選舉期日十日前マデニ選舉長ニ届出デルコトニナツテ居リマス、而シテ其保證金ハ、選舉終了後一定ノ期間ニハ、之ヲ本人ニ還スコトニナツテ居リマスルガ、其候補者ノ得票數ガ法定數ニ達シナケレバ、是ハ國庫ニ沒收スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ能ク有ル所ノ彌次馬ノ候補者ヲ防グ爲デアアル、此度ノ選舉ニ於キマシテモ、一萬ノ得票ノアル所ニ、僅ニ百票カ二百票ヨリ取ラナイ候補者ガアリ、甚シキハ二十票、五十票ヲ取ッタト云フ如キ、所謂泡沫候補者ノ數ガ百以上ニ達シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ泡沫候補者ヲ防グ意味ニ於キマシテ、此制度ヲ設ケタイノデアリマス、而シテ若シモ途中ニシテ其立候

補ヲ止メタ者ハ、同ジク其豫納金ヲ沒收スルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ或程度マデ運動ヲ爲シテ、而シテソレヲ反對ノ候補者ニ賣付ケルガ如キ、サウ云フ人ミヲ防グ爲ニ此制度ヲ設ケテ置キマシテ、之ト同時ニ選舉事務長ト云フモノヲ指名シテ、選舉長ニ届ケルコトニナッテ居リマス、選舉事務長ハ候補者ニ代ッテ總テノ選舉事務ヲ爲スコトニナッテ居リマス、ソレト又選舉期日ガ餘リニ長過ギルノデアリマス、從來ノ十五回ノ總選舉ニ於キマシテ、解散ノ日カラ總選舉マデ一番短カッタ日ガ五十二日ヲ要シテ居リマス、長イ日ガ百十日目ニ總選舉ガ行ハレテ居リマシテ、先般ノ選舉ハ百日目ニ行ハレテ居タ、斯ノ如ク長時日ヲ要シマスレバ、精神勞力ニ於テ非常ナル疲勞ヲ來シ、費用ニ於キマシテモ自然ニ嵩ムノデアリマスルガ故ニ、期間ヲ極メテ短クスル、本案ニ於キマシテハ期間ハ解散ガアツテカラ二十日目ニ選舉ヲ行フト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、即チ解散ガアツタナラバ、二日以内ニ選舉期日ヲ勅令ヲ以テ發布シテ、二十日以内ニ總選舉ヲ行フ又其任期終了ノ場合ニモ同様デアアルノデアリマス、投票用紙モ從來ハ選舉人自ラ記名致シテ居リマシタガ、豫メ候補者ノ名前ヲ印刷致シテ、投票用紙ニ自分ノ投票スル候補者ノ名前ノ上ニ「エッキス」ノ記號ヲ記ス、極ク簡單ニ、文字ヲ書キ得ナイ人ニモ投票ノ出來ルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、更ニ十數萬居リマスル所ノ盲人ノ點字投票モ即チ認メタノデアリマス、是ハ今日ハ點字ノ新聞雜誌モ發行致シテ居リマシテ、宮内省ノ詠歌モ點字ヲ認メテ居ル場合デアリマシテ、盲人ノ投票ヲ認メルコトハ當然ナ事デアルト思フノデアリマス、一番選舉ニ困ル事ハ、御承知ノ通り運動員ノ數ガ非常ニ多イ、事務所ノ數ガ多イト云フコトデアリマス、事務所ハ選舉本部ヲ一箇所ダケ設ケルコトガ出來ル、サウシテ必要ガアツタナラバ、有權者ノ數五千人ヲ増ス毎ニ一ツノ事務所ヲ設ケルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、運動員ハ一切置カナイ、其代リ選舉事務員ト云フモノヲ置キマシテ、選舉本部ニハ選舉事務長ノ外ニ五名、選舉事務所ニハ三名以下ノ事務員ヲ置クコトニナッテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ人々ニハ給料ヲ支拂フノデアリマス、戶別訪問ハ一切之ヲ禁止致シマス、選舉ノ運動ハ總テ言論文章ニ依ルノ外ハ出來ナイ、候補者モ、或ハ選舉事務長モ、總テ何人ヲ問ハズ、投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ、戶別訪問ヲスル

コトモ禁ジテ居リマス、文書モ一回以上ハ之ヲ出スコトハ出來ナイコトニシテ居リマス、而シテ名刺モ亦文書ト認メテ居ル、其二回ノ費用ハ之ヲ免除スルコトニナッテ居リマス、選舉ノ時ハ劇場デモ御寺デモ非常ニ費用ヲ高ク致シマスガ、小學校或ハ公會堂、官有ノ空地公園ハ、無料デ使用スルコトガ出來ル、投票當日ニハ其選舉區内ニ於キマシテ、休憩所又ハ之ニ類似シタモノヲ設ケテハイケナイ、所謂區役所ノ前ニ立テ、候補者ヲ初メ細君マデモガ、米搗キバタノヤウニスルノハ、候補者ノ人格ヲ侮辱シタモノデアルカラ、絕對ニ禁ズルト云フ精神デアリマス、而シテ選舉ノ費用ハ、市内ニ於キマシテハ有權者一人ニ付テ二十錢デ、郡部ハ二十五錢ト云フコトニ致シテアリマス、友人ガ其候補者ノ爲ニ選舉演說ヲシ、或ハ「ピラ」ヲ撒ク、ソレ等ノ費用モ此費用ノ中ニ包含サレルノデアリマス、候補者ガ是ダケノ費用ヲ以テシマスレバ、ドレダケアレバソレデハヤレルカ、即チ今ノ選舉法ニ於キマシテ、市部ノ有權者數ハ四十五萬九千四百八十六人デアリマス、之ヲ一區割ニ致シマスレバ、一區平均有權者數ハ四千九百九十九人ニナルノデアリマス、ダカラ今ノ此金デ以テヤリマスレバ、九百九十八圓八十錢アレバ、選舉ガヤレルト云フコトニナル、郡部ニ於キマシテハ二千五百五十六圓餘リデヤレル、二十五歲以上ニ擴張致シマスレバ、ドノ位デヤレルカ、市部ニ於キマシテハ約六千四百五百圓程度デアリ、郡部ニ於キマシテハ九千五百圓前後ノ費用デヤレルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是等ノ規定ニ違反スル者ハ、其當選ヲ總テ無効トスルト云フヤウニ規定致シテ居ルノデアリマス、是ガ果シテ實行出來ルモノデアアルカドウカ、英吉利ガ今日選舉ノ母國ト稱サレ、世界ニ誇テ居リマスルガ、其英吉利ト雖モ、百年昔或ハ六七十年前ニ於キマシテハ、今日ノ日本ニ於ケルガ如ク腐敗シテ居タノデアリマス、故ニ千八百五十四年ニ腐敗防止法律案ヲ作り、千八百八十年ノ選舉ノ時ニ、其腐敗ニ鑑ミマシテ勅命選舉法調査委員會ヲ設ケマシテ、千八百八十三年ニ腐敗防止及不正行爲防止ノ今ノ選舉案ガ現レマシタ、ソレ以來今日ノ英吉利ノアノ立派ナル所ノ選舉ガ行ハレルヤウニナッタノデアリマス、英吉利ニハソレデハ一ツノ選舉違反ガ無イカト申シマスルト、ソレハ時々アリマス、最近諸君モ一朝日新聞ニモ載テ居タ、アレニ依テモ御承知デアリマセウガ、英吉利ノ自由黨ノ院內幹事デ

アル所「グレー」ト云フ人ガ「オックスフォード」選舉區ニ於キマシテ、此規定以上ノ金ヲ使用シ
 タト云フ理由ノ下ニ、其代議士ノ資格ヲ失ハレマシテ七年間選舉區ニ於テ立候補スルコトガ出
 來ナイト云フ判決ガ、二箇月程前ニ裁判所ニテ判決サレタノデアリマス、下ノ位費用ヲ澤山使
 カト申シマスレバ「オックスフォード」ノ人口ハ五萬七千人デアアル、其中有權者ノ數ガ二萬六千二
 百七十デアリマシテ、一人ノ費用五片デアリマスガ、故ニ此人ガ使テ宜イ所ノ費用ハ五千四百七
 十圓デアリマシタガ、ソレガ約六千圓程ノ費用ヲ使タ、僅ニ四百五十圓使ヒ越シタト云フコトデア
 リマス、是ハ「グレー」ト云フ人ガ選ビマシタ所ノ選舉事務長ガ、選舉ニ何等ノ經驗ヲ持テ居ラナ
 イ所ノ僅カ二十九歳ノ青年デアツテ、是ガ選舉ガ終テカラ、金ヲ使ヒ過ギタト云フコトヲ發見致
 シマシテ、之ヲ彌縫スル、所謂帳尻ヲ合ハスル爲ニ、有ラユル苦心ヲ致シマシタ、瞞着シ了ヘタト
 思テ居リマシタ、ソレガ發見サレマシテ、裁判所ハ即チ斯ウ云フ理由ノ下ニ、其代議士ノ資格ヲ
 取消シタノデアリマス、日本ニ於キマシテハ、一度ノ選舉ニ少クモ一萬四五千圓、多クハ十萬二
 十萬ト云フガ如キ澤山ノ費用ヲ使フノニ、僅ニ五六百圓ノ金ヲ超過シタ爲ニ、其人ノ代議士ノ資
 格ヲ無効トシテ、七年間其選舉區ニ於テ立ツ能ハザルト云フ程ノ嚴格ナル此取締ハ、ドウ云フ理
 由ノ下ニ其判決ヲ下シタカト云フコトハ、私ハ聽クベキ價値ガアラウト思フ、判官ハ曰ク、或商
 會ニ託シテ貼タル所ノ其「ビラ」ヲ二割引シタト云フコトハ、二割引スベキモノデハナノ、又其印刷
 所ニ拂タ勘定ガ一割引ニナツテ居ルノハ、ソレハ割引ヲスベキデナイ、或ハ「オックスフォード」、ク
 ロニクル」ニ拂タ新聞廣告代ガ安過ギル「グレー」ノ祕書ガ祕書ノ名前デ有權者ニ配タ一萬ノ葉
 書代ハ當然候補者ノ費用ニ屬スベキモノデアアルニ拘ラズ、ソレヲシナカッタカラ、即チ此選舉代
 理人ノ不正行爲ノ爲ニ「グレー」氏ハ其議員タル資格ヲ失フト云フ判決デアアルデアリマス、以
 上ノ精神ヲ本案ノ條文ノ中ニ織リ込シテアル積リデアリマス、私ハ數年ノ間議會政治研究ノ爲
 ニ歐羅巴ニ居リマス間ニ、幸ニ英吉利ノ總選舉ヲ一回、愛蘭ノ總選舉ヲ一回見聞致シマシタ、或
 ハ選舉本部ニ、或ハ事務所ニ、政黨本部ニ、投票ハ投票所ニ行テ見學致シタノデアリマス、又過去
 ニ度々友人ノ應援ヲシタコトモアリ、其經過ト私ノ今般ノ選舉ニ於ケル體驗ヲ土臺ト致シマシ

テ、此案ヲ起草致シマシタノヲ更ニ中正俱樂部ノ同僚諸君ノ修正、御研究ノ結果此案ハ即チ成タ
 ノデゴザイマス、不備ノ點ガ若シアリマシタナラバ、ソレハ委員會ニ於キマシテ、ドウゾ御修正
 ヲ願ヒタイト思ヒマス、選舉區制ノ問題デアリマス、區制ハ此案ニハ小選舉區制ヲ採テ居ルノデ
 アリマス、私ノ理想ト致シマシテハ大選舉區論者デアリマスガ、何ガ故ニ然ラバ小選舉區ノ制度
 ヲ執タカト申シマス、過去ニ於キマシテ吾々ハ大選舉區ト小選舉區ノ經驗ヲ持テ居ルノデア
 リマス、第一次カラ第六カマデノ選舉ハ即チ小選舉區デアツテ、其後七回ガ大選舉區デ、大正九年
 度ト今ノ二回ガ更ニ小選舉區行ハレテ居リマスガ、此大選舉區ト小選舉區トノ利害得失ハ、ハ
 キリト統計ニ現ハレテ居ルノデアリマス、其犯罪ノ數カラ申シマシテモ、小選舉時分ノ平均ノ犯罪
 ハ、運動者ノ數ガ八十八名デ、選舉人ノ數ガ百二十八名デアアルガ、大選舉區ノ時ニハ千九百七十
 八人ノ運動者ノ犯罪者、選舉人ニ於テハ三千二十三名ト云フ多數ノ犯罪者ヲ現ハシテ居ル、大選
 舉區デアアル時ノ利益ト、小選舉區デアアル時ノ利益トノ相違ヲ一ニ申上ゲマス、大選舉區デア
 レバ、即チ一般的人物ヲ出スコトガ出來ルケレドモ、小選舉區ニ於キマシテハ、所謂地方的小人
 物ヲ出ス、其代リ大選舉區デアレバ、煽動的政治家ヲ出ス惧ガアルガ、小選舉區デアツテハ、地方
 的名望家ヲ選舉スルト云フ弊害モ伴テ來ル、色々ノ利益得失ハアルデアリマスケレドモ、今ノ選
 舉法ヲ改正シマスレバ、約四倍ニ有權者ノ數ガ殖エルノデアリマス、私ハ此四倍殖エル新シイ有
 權者ヲ、將來ニハ大選舉區デア宜シイガ、少クトモ一回ニ二位小選舉區ニ於テ經驗ヲ爲シ、然ル後
 ニ大選舉區行クノガ穩當ノ遣方デアアルマイカト私ハ思テ居リマス、即チ將來英吉利モ、必ズ
 大選舉區ニナルニ相違ナイト思ヒマスガ、現在千九百十八年ニ普通選舉ヲ行タガ、彼等ハ即チ小
 選舉區デ今日遣テ居ル點カラ見マシテモ、小選舉區デアアルコトガ、選舉權擴張ニ伴テ諸君ノ御贊
 成ヲ得ルノニ容易デアラウト思テ、私ハ小選舉區ノ制度ヲ採テ居ルノデアリマス、併ナガラ若シ
 モ委員會ニ於キマシテ、大選舉區又ハ中選舉區デア宜イト云フコトデアリマシタナラバ、私ハ其修
 正意見ニ直グ贊成スルノデアリマス、若シモデス、諸君、獨リ私ハ區制バカリデハナイ——若シ
 モ諸君ガ此議會ニ於テ通過セシメルト云フ條件ノ下デアアルナラバ、昨年憲政會革新俱樂部ガ御

出シニナツタ普通選挙ヲ其儘ニデモ、私ハ修正意見ニ賛成スルノデアリマス、何トナラバ其案ヲ通過セシメマシテモ、現行法ニ優ルコト萬々ナリト私ハ信ジマスカラ、即チ第一義ガイカナカッタ場合ニハ第二義ヲ取ル、決シテ自分ノ拵エタ案ヲ固執スルモノデハナイト云フコトヲ明ニ申上ゲテ置キマス、私ハ此デ眼目ニ於キマシテハ、即チ憲政會革新俱樂部護憲、三派ト私共ノ案ハ一致シテ居ル、而シテ其罰則方法ニ付キマシテハ、足ラナイ點ガアッタナラバ、委員會ニ於テ如何様デモ私ハ修正ハ出來ル、區制ノ問題ハ前ニ申上ゲマシタ通り、是ハ研究ノ餘地ハ無イ、大選舉區ガ良イカ、小選挙區ガ良イカト云フコトハ、簡單明瞭デアアルノデアリマス、カルガ故ニ是ガ審議ガ出來ナイカラト言テ、或ハ期間ガ短イカラト云フ理由ノ下ニ、今議會ニ之ヲ提案シナイト云フ理由ニハナラナイト思フノデアリマス、若シモ期間ガ短カッタナラバ、會期ヲ延長シテデモ此普通選挙ヲ通過セシメナケレバナラナイ問題デアアルト私ハ思フ、特ニ憲政會ノ諸君ハ、普通選挙法案ノ歴史ヲ考ヘテ御覽ナサイ吾等ハ此普通選挙ノ名ノ下ニ、原内閣ノ時ニハ解散ノ憂目ニマデ遭テ居ルノデアアル、ソレ程此普通選挙ハ重大問題デアアル、現内閣ノ強味ト云フモノハ、決シテ護憲三派ノ協調ガ強イト云フコトヲ、或ハ人物ヲ揃ヘテキラシヤルト云フ點ヨリモ、私ハ今マデノ内閣ニ比較致シマシテ、民衆ノ上ニ基礎ヲ置イテ居ルト云フコトガ、現内閣ノ強味デアラウト思フノデアリマス、ソレハ過グル總選挙ノ時ニ清浦内閣ノ裏面ニ於ケル壓迫ガアッタニモ拘ラズ、民衆ハ護憲三派ヲ表ニ押上ゲタト云フ所以ノモノハ、是レ即チ民衆ノ自覺デアリマスルガ、單ニ三萬ノ有權者ノミナラズ、其背後ニ居ル所謂選挙權ヲ持タザル多數ノ民衆ガ、有權者ヲシテ、護憲ノ勝利ニ歸セシメタル所以デアルト思ヒマス、此民衆ガ護憲派ノ應援ヲ致シタ所以ト云フモノハ、諸君ノ手ニ依テ選挙權ヲ擴張シテ貫ヒタイ、即チ普通選挙ニ諸君ガ努力シテ呉レルデアラウト云フコトヲ信ジテ、民衆ガ諸君ヲ援護致シタノデアアル、諸君、吾々民衆ハ是マデ度々政府ヤ議會ニ囁サレテ來テ居ルノデアアル、此上諸君マデモガ吾等民衆ヲ囁サウトスルノデアアルカ、私ハ即チ此議會ニ於テ普通選挙法案ヲ通過致シ、而シテ來ル十一月カ或ハ十月ノ終リニ、此議會ヲ解散致シテ、新シイ選挙法ノ下ニ民意ヲ問ハナケレバナラヌ、僅カ三百萬人ヲ代表致シテ居リマス

吾々ハ、新シイ有權者千二百萬ノ有權者ニ吾々ノ信任ヲ問フベキ態度ニ出ルノガ、立憲政治家ノ執ルベキ途デアラウト信ズルノデアリマス、諸君ハ此重大ナル所ノ普通選挙法案ヲ、斯ノ如キ不真面目ナル所ノ態度ヲ持テ居ルノデアリマス、諸君、考ヘテ御覽ナサイ、サウ云フ態度ヲ致シテ居ルナラバ、國民ハ今諸君——議會ハ吾々國民ノ議會ニアラズ、是ハ一部特權階級ノ代辯者ノ集會所デアルト云フ呪ノ聲ヲ揚ゲルト信ズルノデアリマス、諸君ガ一タビ議會ノ門ヲ出デ、見ヨ、アノ日比谷公園ニ於テサヘモ、五千三百人ト云フ多數ノ者ハ、今日住フニ家無クシテ、豚小屋ノヤウナ所ニ住テ居ルノデアアル、澤山ノ失業者ガ今日出デツ、アル、多クノ者ハ食ハントスルニ食無ク、住ハントスルニ其家無キ状態ニ置カレテアルガ、併ナガラ此壇上ニ於テ是等ニ關スル所ノ生活問題、社會問題ヲ、何人ノ口ニ依テ叫バレタノデアリマスカ、諸君、此問題ハ真面目ナル所ノ普通選挙ノ問題デアリマスルガ故ニ、諸君ハ慎重審議サレテ、此法案ヲ此議會ニ通過セシメ、而シテ此議會ヲ解散致シ、十一月ニハ總選挙ヲ舉行サレルヤウニ私ハ望ミ、私ノ説明演說ヲ終リマス、餘ハ委員會ニ於テ説明致シマス

次テ本案ハ議長指名(十八名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月十四日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

五 議院法中改正法律案

議院法中左ノ通改正ス

第十九條第三項ヲ左ノ如ク改ム

第二十五條ノ場合ニ於テハ第一項歳費ノ外議院ノ定ムル所ニ依リ一日二十圓以上三十圓以下

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第四項 法律案

ノ手當ヲ受ク

第二十五條 各議院ハ議會閉會ノ間立法事項又ハ議院ノ職務權限ニ關スル事項ヲ審査セシムル爲繼續委員ヲ設クルコトヲ得之ニ關スル細則ハ各議院ニ於テ之ヲ定ム

右ハ十三年七月三日武藤山治君之ヲ提出ス同月十二日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君、私ハ茲ニ提出致シマシタ議院法中改正法律案ノ理由ヲ説明致シマス、近時我國ニ於キマシテハ、能率ヲ増進スルノ必要ナルコトハ一般ニ唱ヘラレマシテ、近クハ我が政界ニ於テモ、能率増進ノコトガ問題トナツテ居リマシテ、先頃大藏大臣ノ御演說中ニモ、行政整理ハニニ費用ヲ減スノミナラズ、能率ヲ増進スルコトヲシナケレバ、效果ガ無イト云フヤウナ御言葉ガアッタヤウナ次第デアリマス、然ルニ我國ノ政界ニ於キマシテ、最モ能率ノ惡イ私ハ政治機關ハ何デアるかト問ハレタナラバ遺憾ナガラ我が帝國議會ト答ヘザルヲ得ナイノデアリマス、諸君、若シ私ガ申上ゲマシタコトノ上ニ、若シ不穩ノコトガ、或ハ諸君ニ對シテ不敬ノ言葉ガアリマシタナラバ、

右發言ニ關シ議場騷擾シ副議長ハ休憩ヲ宣告ス再開後副議長ハ樋口秀雄君ヨリ議員武藤山治君ヲ懲罰委員ニ付スヘシトノ動議出テタル旨ヲ告ケ採決ノ結果同君ヲ懲罰委員ニ付シタリ次テ武藤君ノ發言ヲ繼續セシム

是ヨリ私ノ提出致シマシタ議院法中改正法律案ニ對スル説明ヲ繼續致シマス、我が帝國議會ハ

明治二十三年ニハ、一箇年ノ歲入ガ特別會計ト一般會計ヲ合セテ一億五千萬圓ニ滿タズ、當時一國ノ輸出入ノ貿易額ヲ合セテモ尙ホ二億圓ニ達シナイ、其當時ヨリ今日一國ノ歲計ガ十倍ノ多キニ達シ、今日ノ輸出入ノ貿易額ガ十數倍ニ達スル今日ニ至ルマデ、我が帝國議會ハ會期ヲ三箇月ト定メラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ、是レ我が憲法ノ命ズル所ニシテ、政府ヨリ緊急必要已ムヲ得ザル理由ニ依テ延會ノ勅命ヲ請フ場合ノ外ハ、議會自ラハ何等此會期ヲ延長スル權能ヲ有シテ居ラヌノデアリマス、故ニ此我が帝國議會ノ能率ノ不十分ナル點ヲ補ハントスレバ、私ハ議院法ヲ改正スル外途ハナイト思フノデアリマシテ、茲ニ議院法中改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、私ノ提出致シマシタ議院法中改正案ハ二箇條ニ互リマスケレドモ、其一ツハソレニ附帶シタル事項ニ止マルモノデアリマシテ、其主タルモノハ議院法中ノ第二十五條ニ關スルモノデアリマス、議院法ノ第二十五條ハ「各議院ハ政府ノ要求ニ依リ又ハ其ノ同意ヲ經テ議會開會ノ間委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシムルコトヲ得」トアルノデアリマス、「議會閉會ノ間デアリマス、是ハ間違ヒマシタ——諸君此議院法ノ第二十五條ニ依リマスルト云フト、議會ハ繼續委員ヲ設クルコトガ出來マスルケレドモ、茲ニ二ツノ條件ガアルノデアリマス、其一ツハ政府ノ要求ニ依リ、又ハ其同意ヲ得ナケレバナラナイノデアリマス、又一ツハ茲ニ議案ガ無ケネバ繼續委員ヲ設ケルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ遺憾ナガラ政府ナルモノハ、議會ノ能率ノ最モ惡イコトヲ望ンデ居ルノデアリマシテ、政府ノ側カラ申セバ議會ガ餘リ多クノ能率ヲ發揮セヌコトヲ望ムモノト私ハ思フノデアリマス、故ニ私ハ茲ニ之ニ對シテ改正案ヲ提出スル者デアリマス、私ノ提出スル第二十五條ノ改正案ハ「各議院ハ議會閉會ノ間立法事項又ハ議院ノ職務權限ニ關スル事項ヲ審査セシムル爲繼續委員ヲ設クルコトヲ得、之ニ關スル細則ハ各議院ニ於テ之ヲ定ム」是ガ即チ我が議院法ノ第二十五條ノ政府ノ要求、若クハ同意ヲ得ナクテモ、又茲ニ一ツノ議案ガ無クテモ、議會閉會中ニ此繼續委員ヲ常置シテ、サウシテ百般ノ事項ヲ審査セシメントスル爲ニ此改正案ヲ提出スル所以デアリマス、諸君、議會ノ仕事ナルモノハ私ノ見ル所デハ單

ニ法律ヲ制定スルトカ、或ハ政府ヨリ提出スル豫算ニ對シ協贊ヲ與フルノミガ、私ハ議會ノ仕事
 デハナイト思フノデアリマス、議會ノ仕事ナルモノハ、議會ガ制定シタル法律ナルモノガ如何ニ
 行ハレ、議會ノ協贊ヲ與ヘタル所ノ豫算ナルモノガ如何ニ執行サレテ居ルカト云フ、其成績ヲ常
 ニ究メルト云フコトガ此議會ノ職務ノ中ノ一ツデアルト思フノデアリマス、殊ニ我國ノ如ク政
 府ガ種々ナル仕事ヲ爲スヤウナ國ニ於テハ、政府ノ爲ス所ノ此營業ノ状態ニ就テモ、議會タルモ
 ノハ常ニ之ニ對シテ調査研究シ、之ヲ究ムル必要ガアルノデアリマス、是レ即チ私ガ茲ニ議案ガ
 無クトモ政府ガ要求又ハ同意シナクテモ、議會自ラ其職務ヲ盡サンガ爲ニ、此議院法ノ二十五條
 ヲ改正シテ常置委員ヲ設ケテ、議會閉會中ト雖モ、種々ノ問題ニ付テ調査研究ニ當ラシメントス
 ル所以デアリマス、諸君、今日我國ノ議會ナルモノハ、之ヲ世界ノ憲法ノ上ニ比較シテ見マシテ、
 英米ニ此點ニ於テ劣ルハ勿論デアリマスルケレドモ、更ニ獨逸ナドノ新ニ制定シタル所ノ憲法
 ノ上カラ見マシテモ、我が帝國議會ハ方ニ私ハ一ノ改正ヲ行フ必要ヲ認メザルヲ得ナイノデア
 ル、獨逸ノ新憲法ノ第二十五條ノ第二項ニ依リマスルト云フト「前項ノ委員ノ外議會ハ其閉會中
 及任期滿了後ニ於テ政府ニ對スル議會ノ權利ヲ保護スル爲ニ常任委員ヲ置ク」トシテアリマス、
 又普魯西ノ新憲法ノ第二十六條ニモ「議會ハ其閉會中又ハ其任期滿了ノ時若クハ議會解散ノ時
 ヨリ新議會開會ノ時ニ至ルマデノ間、内閣ニ對スル議會ノ權利ヲ防護スル爲ニ常任委員ヲ設ク、
 其組織ハ議事規則ヲ以テ之ヲ定ム」ト修正シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク世界何レノ國ニ於テ
 モ、議會ナルモノハ、我國ノ帝國議會ノ如ク一箇年三百六十五日ノ中九十日間働イテ、残りノ二百
 七十五日間ハ休止シテ居ルト云フヤウナ國ハ、何處ノ國ニモ無イノデアアル、若シ是ガ明治二十三
 年ノ如キ一國ノ歲計ガ一般會計ト特別會計ヲ合セテモ、尙ホ一億五千萬ニ滿タズ、當時ノ貿易額
 ガ輸出入ヲ合セテモ尙ホ二億圓ニ滿タナイ時代デアッタラ、私ハ一箇年ノ間四分ノ一議會ガ開會
 サレテモ尙ホ職務ヲ盡シ得タト思フノデアリマス、然ルニ今日ノ如ク一國ノ歲計ガ膨大シ、一國
 ノ經濟界ガ非常ニ大キクナツテ居ルト云フ今日ノ世ノ中ニ於テ、國民ヲ代表スル議會ガ僅ニ一箇
 年ノ間ニ四分ノ一開會シテ、閉會中何等其職務ヲ盡ス繼續委員ヲ常置シテ置カナイト云フコト

ハ、私ハ我が帝國議會ニ於ケル能率ノ發揮ヲ妨グル所ノ大ナル缺陷デアルト信ズル者デアリマ
 ス、諸君、茲ニ一例ヲ擧ゲテ申シマスレバ、若シ我が帝國議會ニ於テ繼續委員カ常置サレテ居リ
 マシタナラバ、今日問題ニナツテ居リマスル普通選舉ノ問題ノ如キモ、宜シク之ヲ繼續委員ニ託
 シテ十分ニ調査セシメテ、次ノ通常議會ニ提出サレ得ルモノデアリマシテ、濫ニ此提案ヲ政府ノ
 ミニ委任シテ、議員タル者ガ安心シテ居ルベキモノデナイト私ハ思フノデアリマス、然ルニ我が
 帝國議會ニ於テハ斯ノ如キ設備ガ無イ爲ニ、我國ハ全ク此來ル通常議會マデ、此大切ナル議會ト
 云フ機關ガ運轉休止トナルノデアリマス、故ニ私ハ普通選舉ノ如キ問題ニ對シマシテモ、私ハ諸
 君ト此繼續委員ノ常置ノ必要ヲ認メルノデアリマス、更ニ諸君ガ今日唱ヘラレル所ノ貴族院制
 度ノ改正ナドニ對シマシテモ、私ハ諸君ガ近ク建議案ヲ提出セラレルコト、承知シテ居リマス
 ガ、此議會ガ貴族院制度改正ノ建議案ヲ決議シタノミデ、諸君ガソレヲ政府ニ放任スルト云フコ
 トハ、私ハ諸君ガ議會トシテノ職務ヲ盡サレヌモノト思フノデアリマス、若シ我が貴族院ノ制度
 ニシテ改正スベキ理由ガアリマスレバ、サウシテ貴族院ニ於テモ、此衆議院ニ於テモ、常置委員
 ヲ設置サレテアリマスナラ、相互ニ審議シテ協調シテ、ソコニ改善ヲ見出し得ルト思フノデアリ
 マス、濫ニ反感シテ其間ニ爭ヲ企テタ所デ、何等益スル事ノナイト云フコトヲ信ズル者デアリマ
 ス、併ナガラ我國ノ如ク今日議會ナル機關ガ、一箇年ノ間ニ四分ノ一ダケ働イテ、アトハ運轉ガ
 出來ナイト云フ状態ニ於キマシテハ、斯ノ如キ事モ思フニ委セナイノデアリマス、若シ茲ニ常置
 委員ガ設ケラレテアリマシタナラバ、諸君ガ貴族院制度改正ニ對スル建議案ヲ御提出ニナツタ後
 ニ、其繼續委員ニ託シ、貴族院ニ於ケル所ノ繼續委員ト合議シテ、圓滑ニ其目的ヲ達シ得ラレル
 モノデナイカト私ハ思フノデアリマス、更ニ諸君、今日私共ハ此議會ニ於テ多クノ諸君ヨリ、我
 國ガ今日經濟上ノ一大國難ニ陥ッテ居ルト云フコトヲ何タノデアリマス、然ルニ諸君、此經濟上
 一大國難ノ時ニ於テ、國民ヲ代表スル議會ナル機關ガ一箇年ノ僅カ四分ノ一ダケ運轉シテ、アト
 四分ノ三ダケ運轉ヲ休止スルヤウナ状態ニ於テ、諸君ハ果シテ我が帝國議會ガ能率ヲ十分ニ發
 揮シテ居ルモノデアルト、斯ウ信ジラレルカドウカ伺ヒタイノデアリマス、諸君、若シ是ガ英國

ノ議會デアリマシタナラバ、金解禁ノ如キ財政經濟ニ關スル大問題ハ少クモ此議會ニ於テ之ガ討議ノ爲ニハ數時間ヲ費スト思フデアリマス、然ルニ諸君ハ此重大ナル問題ニ對シテモ、僅ニ二十分カ三十分ノ時間シカ御與ヘニナラヌト云フコトハ、會期ノ少イ爲デ、寔ニ此國ノ經濟ニ對シテ深切ナルモノト思フコトガ出來ヌノデアリマス、若シ諸君ガ今日我國ノ國民經濟ノ行詰ッタ原因ハ、我國ガ世界ニ於ケル最高物價國トナッタカラデアルト云フコトヲ御考ニナツテ而シテ其原因ハ藏相ガ明言サレタ通り、我が國費ガ重イ爲メデアルト云フコトデアリマスレバ、私ハ宜シク此繼續委員ヲ常置シテ置イテ、其繼續委員ガ政府ト協力シテ、我が國民ノ方ニ困ツテ居ル所ノ此經濟國難ヲ轉換スル爲ニ、議會ハ宜シク協力スベキ義務ガアルト私ハ思フデアリマス、故ニ私ハ此意味ニ於キマシテ、議院法第二十五條ノ修正案ヲ提出シタ次第デアリマス、而シテ之ニ附帶スル所ノ第十九條ノ第三項ニ於キマスル繼續委員ノ手當一日五圓ト云フコトヲ、一日二十圓以上三十圓ト斯ウ改メマシタノハ、此一日五圓ト云フコトハ明治二十三年ノ其當時ノ議院法ニ於テ定メラレタル所ノ金額デアリマシテ、而シテ議員ノ歳費ノ手當ハ儘カニ一回カ三回修正サレテ居ルヤウデアリマス、然ルニ議員諸君ガ議員ノ歳費ヲ二三回御修正ナスツテ、此繼續委員ノ手當ヲ御忘レニナツタト云フコトハ、賢明ナル議員諸君ノ千慮ノ一失デアルト思フデアリマス、デ私ハ茲ニ此改正案ヲ提出シテ、サウシテ賢明ナル諸君ノ十分ナル冷靜ナル御判斷ニ訴ヘルノデアリマス

右ニ對シ板野友造君ハ質疑ヲ爲シ武藤山治君之ニ應答ス

板野友造君ノ質疑

實ハ議院法ノ改正ト致シマスレバ、私共多少根本的ニ改正スベキ所ノ意見ヲ持ツテ居ル、本案ノ如キハ極メテ其一部分ニ涉ルモノデアリマスガ、案トシテハ小サナモノデアアル、唯本案ト憲法ノ問題ニ至リテハ重大ナル關係ガアル、武藤君ハ英國ノ憲法、米國ノ憲法、殊ニ英獨ノ憲法ニ至ツテハ

條文ヲ擧ゲテ茲ニ御談議ニナツタノデアアル、私ガ武藤君ニ聽カントスルノハ、英國憲法及獨逸憲法ト本案トノ關係デアリマセヌ、日本憲法ト本案ノ關係デアアル、我が憲法ノ規定ニ依レバ兩院ノ權限、貴族院及衆議院ノ權限ハ、政府ガ提出シタル議案、政府ノ提出スル法律案ヲ議決シ、豫算ノ事ハ勿論デアリマスガ、法律案ダケニ付テ言ヘバ政府ノ提出シタル法律案ヲ審議スル權能ガアルガ、法律案ヲ提出スルマデニ兩院へ提出スル爲メノ準備行爲ヲ議院デ爲スコトハ認メテ居ナイノデアアル、本案ノ理由書ヲ見ルト、閉會ノ期間ヲ利用シテ、各般ノ法律案ヲ改正スルノ必要ガ有ルカ無イカ、或ル立法ヲスルノ必要ガ有ルカ無イカト云フヤウナコトニ付テ調査ヲシ、立法事項ニ付テノ調査ヲスル、ソレカラ其外ニ付テモ議院ノ職務權限ニ關スル——議院ノ職務權限ニ屬スルト云フ意味デアラウト思ヒマスガ、職務權限ニ屬スル事項ニ付テ、政府ニ建議スルコトガ有ルカ無イカ、是モ審查ヲスル、ソレカラ政府ニ建議質問ヲスルモノナキヤ否ヤヲ調査スル、何カ質問ヲスル事ガ有ルカ無イカト云フコトモ調査スル、斯ウ云フヤウナコトデアツテ、議會ニ對シテ兩院ニ對シテ或ル法律ヲ提出スルカ否カ、或ハ建議ヲスルカ否カ、質問ヲスルカ否カ、斯ウ云フヤウナ謂ハハ準備行爲ヲ議院トシテシヤウト云フノデアアル、議院ニ繼續委員會ヲ置イテ是等ノ準備行爲ヲシヤウト云フノデアアルガ、既ニ言ヘル如ク我が帝國憲法ガ認メタル、日本ノ憲法ガ認メタル議院ノ職權ナルモノハ、政府ノ提出シタル——既ニ提出シタル議案若クハ議員ノ提出シタル議案、提出サレナケレバ駄目ダ、提出サレテカラ始メテ此方ノ働ガ出來ルノデアツテ、ソレ以前ノ行爲ニ付テハ何モ權能ガ無イ、質問ノ趣旨ガ能ク御分リニナルヤウニト思ツテ繰返シテ置ク、然ルニ本案ハ斯ノ如キ意味ヲ以テ成サレテ居ルノデアリマス、日本憲法ト本案トハ抵觸スルヤ否ヤ、即チ本案ハ我が憲法ノ違反デアルト確信致シマスガ、此點ニ對スル提出者ノ明晰ニシテ十分ナル御説明ヲ求メマス、ソレカラモウ一ツ或ル法律ヲ議會ニ出スノ必要ガ有ルカ無イカ、ソレカラ法律ヲ改メル必要ガ有ルカ無イカ、色々ノ施設ニ付テ議會ノ協賛ヲ經ルモノアルヤ否ヤト云フコトヲ調査スルト云フ本案ノ目的ニ含マレル事項ノ如キハ、政府ノ當然シナケレバナラヌ仕事デアアル、其政府ノ當然爲スベキモノヲ立法府ガヤルト云フコトハ、立法ト行政ヲ混淆

スルモノデアッテ、是亦憲法ノ精神ニ違反スルモノデアアル、此點ニ關シマシテ提案者ノ説明ヲ求メマス、ソレカラ今マデハ實ハ憲法論法律論テ少シ何デスカ、今度ハ一ツ實際——武藤君ノ常ニ重キヲ置カレル實際問題カラ言ヒマセウ、法律論ヲ拔キマシテ實際論カラ申シマス、武藤君ノ常ニ行政整理ノ必要アルコトヲ述ベラレル方デアッテ、此點ニ對シテハ吾々ハ全然同感デアアル、然ルニ本件ノ如キ法律案ガ通ッテ、斯ノ如ク繼續委員ヲ置クト云フ法律ガ出來タトシタナラバ、結果ヲドウ御考ニナリマスカ、實際ハ蓋シ、若シ此法律ガ出來タナラバ、繼續委員ト云フモノガ幾ツモ出來ルコトニナル、金輸出解禁ニ熱心ナル論者ハ、金輸出解禁ノ委員會ヲ開クト云フノデアラウ、紡績業ニ熱心ナル人ハ、紡績業ニ關スル委員會ヲ開クト云フデアラウ、文政ニ關スル委員會ヲ開ク法律制度取調委員會ヲ開カウト云フノデ、我國從來ノ例カラ見マシテモ、若シ此法律ガ通過スルナラバ、幾十ノ委員會ガ出來ルト云フコトヲ斷言致シテ置キマス、從來ノ例ヲ御覽ナサイ、既ニ色々ノ調查會ヲ設ケテ、政府ニ於テ色々ヤツテ居リマスガ、議會ニ於テ出來ルト云フコトニナレバ、恐ロシイ事ニナツテ來ル、行政整理ヲ高唱シ、政費節減ヲ高唱サレル武藤君ト雖モ、甚ダ此點ニ於テ矛盾ガアルト思フ、武藤君ハ常ニ揚言シテ、我國ノ政費ガ驚クベキ擴大ラシテ居ル、宜シク此政費ノ中カラ三億圓ヲ減ジテ、民衆ヲ救ナケレハ、バナラヌト云フ武藤君ノ議論ガ是デアアル、三億圓ノ政費節減論ヲ持ッテ居ル武藤君ガ、コンナモノヲ澤山拵ヘルト云フコトヲ仰セニナルコトハ、實際論トテ甚ダ私ハ宜シクナイト思フ、法律論ヲ別ト致シマシテモ、實際ニ於テ結果ニ重キヲ置ク方カラ、武藤君ハ此點ニ對シテ如何ナル御所見ガアリマスカ、之ヲ承リタイ、最後ニ武藤君ハ頻ニ能率ノ事ヲ仰セニナル、私ハ武藤君ヲ仰セニナツタ此帝國議會云々ト云フ意見ハ申上ゲマセヌガ、議會ニ於テ議事ノ進行ヲ多少滑カナラシムル能ハザルモノガアリ、若クハ進行ニ多少妨害ガアルモノトシマスルナラバ、或ハ近時確信ナキ提案ガドン、出ルコトハ、議事ノ進行ヲ妨ゲルト思フ、昨日ドナタカノ提案ニ係ル法律案ノ御説明ヲ聽クト、政府ノ參考ノ爲ニ此法律案ヲ出シタト提案者ガ説明シテ居ル、法律案ヲ提出スル、宜シク確信ヲ以テヤルベシ、此法律案ヲ通過シテ、此法律ニ以テ支配ヲシヤウト云フ確信ヲ以ッテ御出デナサイ、政府參考ノ爲ニ議員

武藤山治君ノ應答

只今板野君ノ御質問ハ、憲法第三十八條ニ牴觸シヤセヌカト云フ御質問デアッタヤウデアリマス、是ハ少シモ牴觸シナイト考ヘマス、次ニ常設委員ガ幾ラモ出來ヤセヌカト云フコトヲ仰セラレタヤウデアリマス、併シソレハ意見ノ相違デアリマス、詰リ私ノ解釋ニ依リマスレバ、憲法ハ議院ガ繼續委員ヲ設ケテ、立法事項ヲ審査スルト云フコトガ、毫モ差支ナイト云フコトヲ信ズルモノデアリマス、而シテ次ノ御質問ハ、常置委員ヲ澤山拵ヘタナラバ、今日ノ經費ガ反對ニ増シハセヌカト云フ御尋デアッタト思ヒマス、私ノ提案ハ常置委員ヲ澤山拵エヤウト云フ意味デナクシテ、一箇ノ常置委員ヲ、或ハ二十名ナリ、或ハ四十名ナリ任命シテ置カウト云フノデアリマス、其詳細ハ此議會ノ議事規則ヲ以テ細目ヲ以テ定メヨト云フコトガ書イテアルノデアリマス、此點ニ付キマシテ私ガ板野氏ニ御答ヲシタイノハ、板野氏ハ繼續委員ガ出來レバ、濫リニ經費ノ增加ヲ來スト御考ニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、ソレハ一ニ繼續委員ニ任命サレル人ニ依ルノデアリマシテ、繼續委員ヲ設ケテ此政府ノ財政行政ノ整理緊縮ニ協力ヲ與ヘルト云フコトモ出來ルノデアルト信ズルノデアリマス、故ニ此點ニ於キマシテハ、板野氏ノ誤解デアルト思フノデアリマス、他ニ何カアリマシタカ

板野友造君ノ再質疑

私ハ再ビ問返スコトヲ甚ダ遺憾トシマスガ、今ノハ失禮ナガラ答辯ニナツテ居リマセヌ、私ハ是ガ

憲法違反ニナラヌカ、私ハ之ヲ何故ナルカト云フト、先ニ質問シタ通り、議會トシテハ政府ガ既ニ提案シタル法律案、若クハ議員ガ提出シタル法律案、ソレヲ議決スルノダ、所ガ此案ハサウデナクシテ、提案ヲスルマデニ色々立法事項ガ有ルカ無イカ、或ハ改正スル事ガ有ルカ無イカ、或ハ建議スル、質問スル事ガ有ルカ無イカ、斯ウ云フヤウナ準備ヲシヤウト云フノデアアルカラ、左様ナ事ハ憲法ガ許シテ居ラヌ、憲法ハ既ニ政府若クハ議員カラ適法ニ提出サレタ議案ニ對シテ決議權ヲ認メル、其提出以前ノ行為、衆議院トシテ、若シクハ貴族院トシテ、院トシテ爲スト云フコトハ認メテ居ナイノデアアル、勿論吾々衆議院議員若シクハ貴族院議員タル個人ノ各議員ガ、色々ノ調査ヲスルト云フコトハ、ソレハ當然デアアル、議會閉會中デアッテモ、吾々ハ四六時中調査ヲ怠ルベカラザルモノデアアル、ソレハ衆議院議員武藤山治或ハ板野友造トシテヤルノデアアル、衆議院若シクハ貴族院トシテ法律ヲ出ス準備行為ヲスルナドト云フコトハ、我ガ憲法ハ認メテ居ナイ、我ガ憲法ノ認メル所ハ、既ニ適法ニ提出サレタ法律案、即チ提出後ノモノデアアル、然ルニ其以前ノ事マデヲ議院トシテ、衆議院トシテ、貴族院トシテヤルト云フコトハ、我ガ憲法ハ認メザル所デアアルト思フノデアリマスガ、アナタハドウ思ウカ斯ウ云フコトデアアル、ソレカラ若シ此案ガ通過シタ時ノ結果ノ事ニ付テ御考ヘテ願ヒタイ、衆議院ニ現在アル所ノ懸案ヲ御覽ナサイ、連モ此案ガ通ッタ日ニハ、二ツヤ三ツヤ四ツノ繼續委員ヲ置イテ満足出來ルモノデナイ、殊ニ色々ヲ持ッテ居ル、サウスルト蓋シ惟フニ幾ツカノ委員ガ出來ルコトニナル、結果ニ於テ洵ニ是ハ行政整理ノ趣旨ニ反スル事ニナル、此點ニ付テドゥツ明確ノ御答辯ヲ願ヒマス

武藤山治君ノ應答

只今板野サンノ御質問ニ御答ヲ致シマス、私ノ信ズル所デハ、我ガ憲法ハ私ハ繼續委員ヲ常置シタ場合ニハ繼續委員ガ此立法事項ニ付テ調査ヲスル、其準備行為ハ認メテ居ルト私ハ信ズルモノデアリマス、又次ニ私ガ御答シタイノハ、此繼續委員ヲ設ケル爲ニ國費ヲ増スト云フコトノ御考ハ私ハ、反對デアリマス、何トナレバ歴大ナル議案其他多數ノ事項ヲ審査スル爲ニ、議會ハ三二

箇月間ニ於テ唯キ議案ニ向フノデアリマス、故ニ平時繼續委員ヲ設ケテ十分調査ヲシテ置キマシタナラバ、議會ニ提出サレル議案ハ遙ニ穩健ナモノニナルト云フコトヲ信ジマシテ、繼續委員ヲ設ケテ十分ニ調査スルト云フコトハ、其結果私ハ國家ノ爲ニナルト信ズルノデアリマス

右終ルヤ作間耕逸君ハ左ノ如キ意見ヲ述ヘ即時否決ノ動議ヲ提出ス

本案ハ繼續委員ノ權能ガ濫ニ廣汎ニ過グルノ嫌モアリマスルシ、衆議院ノ權能ヲ發揮スル上ニ於キマシテモ、差當リ現行ノ法制ヲ以テ足レリト考ヘラレマス、且ツ憲法トノ關係カラ申シマシテモ、俄ニ本案ノ通りノ改正ヲスルコトヲ不可ナリト信ジマス、殊ニ委員ノ手當ノ増加ニ至リマシテハ、今日適當ノ時機デアアリマセヌ、政費ノ節減ヲ旨トスベキ折柄、遠慮スベキヲ至當ナリト信ジマス、仍テ本案ハ即決ヲ以テ否決セラレンコトヲ望ミマス

次テ採決ニ入り起立表決ノ結果第二讀會ヲ開カサルコトニ決セリ

六 所得稅法中改正法律案

所得稅法中左ノ通改正ス

第十六條第一項中「不具廢疾者」ノ下ニ「又ハ中學程度以上ノ學校在學者」ヲ加ヘ、同項第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

一 所得千圓以下ナルトキ

年齡十八歲未滿若六十歲以上ノ者又ハ不具廢疾者 一人ニ付百圓

中學程度以上ノ學校在學者

一人ニ付二百圓

二 所得二千圓以下ナルトキ

同

一人ニ付七十圓

同

一人ニ付百五十圓

三 所得三千圓以下ナルトキ

同

一人ニ付五十圓

同

一人ニ付百圓

右ハ十三年七月九日菊池謙二郎君之ヲ提出ス七月十五日日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

近時少年、青年ガ優越觀念ヨリ、或ハ向學心ヨリシマシテ、中學校、若クハ是ト同等ノ學校並ニソレ以上ノ學校へ入學スルコトガ非常ニ多クナリマシタ、此趨勢ハ抑ヘントシテモ抑ヘルコトガ出來マセズ、又舊來日本ノ風トシマシテ、向學ノ子弟ニ衣食ヲ節シテモ之ニ學資ヲ給助スルト云フコトガ美風デアリマス、然ルニ目下物價ガ非常ニ高クアリマシテ、又之ニ要スル學資モ非常ニ多イノデアリマス、假令物價ノ低廉ナル地方ニ於キマシテハ、中學生ノ學資ト云フモノガ、約平均三十圓内外デアリマス、父兄ノ負擔ト云フモノハ決シテ輕クナイノデアリマスカラシテ、ドウカ其負擔ヲ輕減シタイト云フヤウナ希望カラ、所得稅法第十六條ニ改正ヲ加ヘマシテ、千圓以下ノ所得ニ對シマシテ、若シ本人並ニ子弟ガ中學以上ノ學校ニ入學スル者ガアリマシタトキハ、一人ニ付テ二百圓、二千圓以下ノ所得者ニ對シマシテハ同ジク百五十圓、三千圓以下ノ所得者ニ對

シマシテハ同ジク百圓ト云フ額ヲ控除シマシテ、所得稅ヲ或ハ免ジ、或ハ輕減スルト云フコトニシタイト云フ目的デアリマス、御承知ノ通り所得稅ノ中ニハ委託生ト留學生トカ云フ者ノ學資金ハ、所得額ヨリ業ニ既ニ控除サレルコトニナツテ居リマス、此權衡カラ見マシテモ、本案ヲ提出スルノハ實際ノ上ニ於テモ最モ理由ノアルコト、考ヘルノデアリマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ成立スルヤウニ御願致シマス

次テ本案ハ森田金藏君提出營業稅法廢止法律案(三)委員ニ併セ付託シ且委員ノ數ヲ十八名ニ増加スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラザリキ

七 清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法ハ之ヲ廢止ス

右ハ十三年七月十五日柏田忠一君外一名之ヲ提出ス七月十八日本案ノ第一讀會ヲ開キ提出者(柏田忠一君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單ニ此席カラ説明ヲ致シマス、該法律ハ今ヲ距ルコト三十八年前、明治二十九年四月ニ制定サレタモノデアリマス、其法律ノ内容ハ當時日清戰爭直後デアリマシテ、支那ニ於ケル領事裁判制度ガ未ダ確定セズ、尙ホ戰慄ノ後ヲ承ケテ、日本人ガ朝鮮並ニ支那ニ向ツテ續々參リマシタ結果、アノ地方ニ於ケル治安ヲ妨害シタリ、公安良俗ヲ害スル者ガ續々トシテ出ルヤウナ始末ニナツタノデ、領事館ノ職務ヲ規定スル法律ガナカッタガ爲ニ、已ムヲ得ズ該法律ヲ以テ其地方ニ在留シテ居ル邦人ヲ取締ツタノデアリマス、其内容トスル所ハ領事館ニ一年乃至三年ヲ限リト致シマシテ邦人ノ在留ヲ禁止スルト云フ權限ヲ與ヘタノデアリマス、是ガ行政處分ヲ以テドシクヤラ

レルト云フ風ナ始末デアリマシタガ、今ヲ去ル三十餘年前ニ於テハ其必要ガアッタノデアリマスガ其後時勢ガ變遷致シマシテ、朝鮮國ハ我國ノ領土トナリ、該法律執行ノ範圍カラシテ除去サレルコトニナリマシタ、今日ト致シマシテハ、僅カ支那ノ區域ニ限ラレテ居ルデアリマス而シテ其後明治三十二年ニナリマシテ、法律第七十號ヲ以テ領事官ノ職務ニ關スル權限ヲ擴張シテ領事裁判權ヲ與ヘ、茲ニ立法權ヲ與ヘ、ソレカラ行政權ヲ與ヘルコトニナリマシタノデ、領事官ノ權限ハ舊來ヨリハ非常ニ廣汎ナモノニナリマシテ、裁判、立法、行政ノ三權ヲ併セテ許スコトニ相成ッタノデアリマス、今日ト致シマシテハ明治二十九年前三制定サレタ法律ノ存在ノ必要ハナインデアリマス、然ルニ唯是ガ領事ノ手ニ在リマスルト云フト、若モ己ノ命令ニ從ハヌ者デアラナラバ行政處分ヲ以テ在留ヲ禁止スルト云フコトモ出來ルノデ、在留邦人ノ一大脅威デアルデアリマス、爾來之ニ威サレ、或ハ脅カサレマシテ、餘程支那ニ於ケル邦人ノ發展ガ阻碍サレルト云フヤウナ嫌ガアッタノデアリマス、併ナガラ在留邦人ト致シマシテハ、若シ領事ノ意思ニ反スルヤウナ行動ヲ執リマスト睨マレテ居ルガ最後、甚ダ不利益デアアル爲ニ敢テ是ガ廢止ヲ主張シタル者ガ無イト云フヤウナ有様デアッタノデアリマス、今日トナリマシテハ殆ド其必要ヲ認メマセヌノデ、私ハ此全部ヲ廢止シヤウト云フ爲ニ提案シタノデアリマス、揚子江沿岸ハ素ヨリ支那内地一般ノ在留邦人ハ其廢止ヲ希望シテ居リマス、最近私ハ外務當局ニ向ヒマシテ其存在ノ理由ヲ求メマシタ所ガ、外務當局ノ言明スル所ニ依リマス、厦門邊ニマダ臺灣ノ人民ガアル、約三千人許リアル、ソレ等ガ動モスレバ在留邦人ニ迫害サレル虞アルガ爲ニ、是等ノ取締上必要トスルト云フ辯明デアリマス、若シサウデアルトスレバ、明治二十一年ノ領事官ニ關スル權利ト云フモノハ、僅カ三千ノ臺灣人民ヲ保護取締ル所ノモノデアッテ、在鮮二十萬ノ同胞ヲ犠牲ニスルト云フコトニナリマス、該法案ハ全部撤廢スルコトニ致シタイト思フノデアリマス、ドウゾ滿堂ノ諸君、御賛成ノ上直ニ該法律ヲ廢止セラルルコトニ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ即日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

第五項 上奏案及建議案

第一 上奏案

一 開院式 勅語奉答文

右議案ノ經過ハ第二章第一節ニ詳記セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

第二 建議案

一 小樽港鐵道省第二期工事速成ニ關スル建議案

鐵道省ハ夙ニ小樽港ノ使命ニ鑑ミ埠頭工事ヲ計畫シ既ニ其ノ第一期工事ヲ竣リタリト雖續テ第二期工事ヲ完成スルニ非サレハ其ノ效果完キヲ得ヘカラス依テ政府ハ速ニ豫定計畫ヲ實行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二 小樽港海陸聯絡設備完成ニ關スル建議案

小樽港ハ曩ニ防波堤工事ノ完成ニ依リテ一大港灣トシテ輪廓ヲ備フルニ至リ港勢ノ進展逐年著シキモノアリト雖港内海陸聯絡ノ設備ニ至リテハ何等ノ見ルヘキモノナシ今ヤ日露ノ國交親善ニ復ラムトスルノ時本港ノ使命益重且大ナルモノアリ政府ハ本港將來ノ使命ニ鑑ミ速ニ完全ナル海陸聯絡ノ設備ヲ施サレムコトヲ望ム
右建議ス

右兩案ハ孰レモ大正十三年六月三十日山本厚三君外六名之ヲ提出ス七月五日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(山本厚三君)ハ兩案ニ付左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

小樽港ハ御承知ノ如クニ北海道ノ樞要ナル港デアリマスルガ、此北海道ノ拓殖ハ近來非常ニ進展ヲ致シマシテ、生産額ニ於テモ既ニ五億ニ垂ミトシテ居リ、總テ木材、石炭、農産物ト云フガ如キ、悉ク生活ノ必需品デアリマスルガ、殊ニ米作ノ如キハ今日ノ未墾地ヲ開墾致シマスレバ、尙ホ五百萬石ノ多クヲ産スルノ餘地ガアルヤウナ譯デ、植民地ノ點カラ申シマシテモ東北ト同ジ密度ニ於テ五百萬人ノ多クヲ植エルコトガ出來ル、即チ今日ヨリ三百萬人ノ人ヲ植エルコトガ出來ルト云フヤウナ重要ナ地位ニ立ツテ居ルノデアリマス、小樽港ハ此方面ニ於テ全體ノ四分ノ三ヲ占メル所ノ商業上ノ勢力圈ヲ持ツテ居リマシテ、其港灣ノ形勢ヲ簡單ニ申上ゲマシテモ、最近ニ於テ十箇年ノ船舶ノ出入噸數、又出入ノ貨物ノ噸數ノ如キモ十箇年ヲ以テ倍加スルト云フヤウナ形勢ニナツテ居リマス、殊ニ北日本方面ノ對露ノ關係ガ解決ヲ致シマスル曉ニハ、此港ハヨリ以上ニ緊要ナ立場ニナルト考ヘテ居リマスル、然ルニ此重要ナル港ノ設備ヲ見マスルト云

フト、國家ノ事業ト致シマシテ築港ノ計畫ハ既ニ完成ヲ致シテ、所謂防波堤ノ工事ハ完成ヲ致シマシタガ、海陸聯絡ノ設備ニ於テ何等ノ著手シテ居ル所ガナイノデアリマス、舊來ノ組織ニ依リマシテ唯船ヲ以テ——一箇年四百三十何萬噸ト云フヤウナ大キナ貨物ヲ、船ヲ以テ取扱ッテ居ルト云フヤウナ極ク初歩ノ状態ニ在ルノデアリマス、申スマデモナク斯ノ如キ設備ニ於キマシテハ、食糧品等ニ係ル所ノ經費ノ重加、自然物價騰貴ト云フヤウナ關係モアリマスルノデ、是ガ延イテハ北海道ノ拓殖ニモ重大ナ關係ガアルコトハ申スマデモアリマセヌ、茲ニ提案ヲ致シマシタ第一ノ鐵道省第二期工事速成ト申シマスルノハ、十五年以前ニ既ニ二十四萬坪ノ埋立其他岸壁等ノ設計ヲ爲サシメマシタガ、色々ノ都合ガアツテ今日マデ工事半バニシテ御進行ニナリマセヌ、又第二ノ海陸聯絡設備完成ニ關スル建議案モ其趣意ニ書イテアリマスル通りニ、港灣ノ海陸聯絡設備ト云フモノガ極メテ幼稚デアツテ、何等國家ノ莫大ナル經費ヲ投ジテ造リマシタ此築港工事ニ相對スル所ノ設備ヲ爲サラナイヤウナ狀況ニナツテ居リマス、是ハ國家トシテモ非常ナ損害デアリ、又近キ將來ニ於テ貨物船舶ノ非常ナ増加ニ伴ヒマシテ、之ヲ收容スルコトガ出來ヌヤウナ困難ヲ生ズルコトハ明カデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、此二ツノ案ヲ提出致シマシテ、速ニ是等ノ事ヲ御實行ヲ願ヒタイ、以上ガ私ノ本案ヲ提出致シマシタ大體ノ理由デゴザイマス、願クバ十分御審議ノ上デ御贊成アラントラ希望致シマス

次テ兩案ハ議長指名(九名)ノ同一委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月七日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

七月十八日兩案及(四)、(七)、(八)、(一一)乃至(一四)、(一六)、(二二)乃至(二四)、(二六)、(三一)及(三二)ノ十七案ヲ一括シテ議題ト爲シ院議委員長ノ報告ヲ省略スルニ決シ兩案及(四)、(七)及(八)、(一

一乃至一三三、(一一一)、(一一二)、(一一三)、(一一四)、(一一六)、(一一七)案ノ十三案ハ孰レモ委員會報告ノ通之ヲ可決シ(一一四)、(一一六)、(一一七)、(一一八)、(一一九)案ノ四案ハ之ヲ修正議決ヲ爲シ即日全部ヲ政府ニ呈出セリ

三 金鷄勳章年金令改正ニ關スル建議案

勳章ノ制定ナキ封建時代ニ於テハ武功ノ表彰ハ一ニ其ノ優劣ニ應シ祿高ヲ給賜シタリ現在金鷄勳章年金令ニ於テ武功ノ拔群者ニ對シ名譽ノ勳章ト相俟テ年金ヲ加賜セララルルハ名實相伴ヒ誠ニ深遠ナル御思召ニ依ル恩賞方法ナリ而シテ制定當時ノ功七級年金百圓ハ米三十俵ノ價格ニ相當シ又巡查ノ年俸給額ニ相當セリ然ルニ制定後將ニ三十年ニ垂トスル今日尙此ノ儘ニ放置シテ顧ミサル如キハ一ハ名實伴ハズシテ御制定當時ノ趣旨ニ反シ一ハ最近改正増額セラレタル一般恩給ニ比シ均シク國家ノ功勞者ヲ遇スル上ニ於テ失當ニシテ殊ニ軍縮ニ依ル退職者ノ一時賜金ノ利潤ニモ及ハサル如キハ假令年金ノ性質彼此異ナルト雖戰場ニ馳驅シタル殊勳者ニ對シ物質的優遇ノ途ヲ誤リ最高勳章ノ權威ヲ失墜シ延テ將來ノ國民思想上ニ動搖ヲ來シ愛國ノ觀念ニ一大缺陷ヲ生セムコトヲ恐ル故ニ速ニ金鷄勳章年金令ヲ改正シ以テ其ノ年金ヲ相當増額セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十三年七月一日三木武吉君外三名之ヲ提出ス七月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(松井郡治君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本令ハ諸君モ御承知ノ通り明治二十七年ノ創設ニ係ッタモノデアリマス、當時金鷄勳章ノ功七級ハ六十五圓デアリマシタ、一級ハ九百圓デアッタニ拘ラズ、日清戰爭ノ結果物價ガ頻ニ騰貴シタ爲ニ、翌二十八年ニ於キマシテ直ニ此規定ニ修正ヲ加ヘマシテ、七級ハ金百圓、一級ハ千五百圓ニ修正ヲサレタノデアリマス、爾來三十年此法律ガ施行サレタノデアリマスガ、日露ノ大戰ヲ經、歐洲ノ大戰ヲ經マシタ今日、物價ノ騰貴ハ諸君ノ御承知ノ通りデアアルノデアリマス、言フマデモナク金鷄勳章年金令ハ戰場ニ於テ殊勳ヲ奏シマシタ所ノ人々ニ對シマスル名譽ト人格ヲ尊重スル意味ニ於キマシテ、本令ノ制定セラレマシタ事ハ言フマデモナイコトデアアルノデアリマス、今日ハ當時ノ物價ト非常ナル懸隔ガアルノデアリマスカラ、此規定ニ修正ヲ加ヘマシテ相當ノ改正ヲ爲スト云フコトハ頗ル時宜ヲ得タルモノデアアルト信ズルノデアリマス、今ヤ世界ノ大勢ハ人類ノ平和ヲ企劃シテ居ルノデアリマスカラ、併ナガラ何時如何ナル機會ニ於キマシテ、豫テ勃發致シマシタ歐洲ノ大戰ノ如キ悲シムベキ結果ヲ惹起スコトガ無イトモ限ラヌノデアリマス我ガ日本ノ國民性ハ此機會ニ於キマシテ尙ホ益獎勵シ、助長スル必要ガアルノデアリマスカラ、名譽アル金鷄勳章ノ制度ヲ存スルハ勿論、更ニ物質的ニ是等ノ人達ヲ待遇スルト云フコトハ最モ現代ノ要求ニ應ズルモノト信ジマシテ、茲ニ此案ヲ提出シタ譯デアリマス、私ハ簡單ニ提案理由ヲ述ベテ諸君ノ贊成ヲ希フ譯デアリマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月七日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案及後ニ付託セラレタル(六)、(九)及(一五)ノ四案ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ「金鷄勳章年金令改正ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ七月

十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

金鵒勳章年金令改正ニ關スル建議

今ヤ物價ハ騰貴シ貨幣ノ價值ハ低落シ金鵒勳章年金ノ如キハ零碎ナル賜金ニ位スル感ナシトセ
ス斯ノ如キハ忠勇ナル軍人ヲ遇スル所以ニ非ス仍テ政府ハ速ニ年金増加ノ途ヲ講セラルヘシ
右建議ス

七月十八日本案及(六)、(九)及(一五)ノ四案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長古川清君ハ委員會ノ經
過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

本案ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、ソレニ先タチマシテ、大正十二年十二月末調ベノ金鵒勳章
ノ拜受人員及金額ヲ一寸御報告致シマス、功一級ノ人員ガ六人、此金額ガ九千圓、功二級ガ四十八
人、此金額ガ四萬八千圓、功三級ガ三百十人、此金額ガ二十一萬七千圓、功四級ガ一千四百八十八
人、此金額ガ七十四萬圓、功五級ガ五千三百七十五人、此金額ガ百六十一萬二千五百圓、功六級ガ三
千百人、此金額ガ六十二萬圓、功七級ガ五萬八千五百六十人、此金額ガ五百八十五萬六千八百圓、
合計六萬八千八百八十七人、此金額九百十三萬三千三百圓デアリマス、サウシテ最近五年ノ死亡
率ガ平均五百七十七人ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、此案ニ付キマシテ内閣當局デハ、扶助
料及恩給令トハ性質ヲ異ニシテ居ルカラ、同意ガ出來ヌト云フコトデアリマス、併ナガラ大ニ同
情ハスベキ點ガアル、又陸海軍ニ於カレマシテモ其趣旨デアリマスガ、陸海軍ニ於カレマシテハ

大ニ同情スベキ點ガアルカラ好意ヲ以テ研究ヲスル、斯ウ云フ言明ヲ得マシテ、委員會ニ於キマ
シテハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、右御報告ヲ致シマス

右ニ對シ蟻川五郎作君ハ反對、中林友信君ハ贊成ノ演說ヲ爲ス

蟻川五郎作君ノ反對演說

私ハ遺憾ナガラ本案ニ付テハ反對ノ意見ヲ表明スルヲ已ムヲ得ナイノデゴザイマス、成程金鵒
勳章年金令ハ至ッテ不備ナ所ハゴザイマス、又極ク不道理ナ所モアルト思ヒマス、又一例ヲ申シマス
レバ、明治二十七八年ノ戰役ニ於キマシテ、殊勳ニ次グ者ニハ旭日章ニ年金ヲ附ケテ與ヘテ居リマ
ス、サウ致シマシテ日露ノ戰役ニ於テ再ビ殊勳ヲ重ネマシタル者ハ、其金鵒勳章ノ年金ト云フモ
ノハ其前ノ分ハ差引カレテ、新シク手柄ヲ立テタ者モ、二回重ネテ立テタ者モ、其受クル所ノ金
額ニ於テハ差ガナイノデゴザイマス、然ルニ二十七八年ノ戰役ニ於キマシテハ、殊勳ニ次グ者ト
シテ旭日章ヲ貰ヒマシタル者ハ、却テ旭日章ノ年金ト新ニ受ケタ所ノ金鵒勳章ノ年金トヲ併セテ
受ケテ居ルノデゴザイマス、私ハ洵ニ斯ウ云フ道理ハナイ、是ガ不道理デアアル、若シ私ヲシテ金
鵒勳章ノ年金令ニ付テ先ツ改正ヲスルヤウナ所ヲ指摘シロト言ハレマシタナラバ、是等ノモノ
ヲ以テ第一ニ數フルノデゴザイマス、然ルニ本建議ニ於キマシテハ、此點ニ付テハ別ニ御論ジニ
ナラヌヤウデゴザイマスガ、是ハ別ニドウ斯ウト申ス譯デハゴザイマセヌ、唯私共ヲシテ言ハシ
ムレバ、此點アタリガ改正ヲスル要點デアルト申スニ止マルノデアリマス、次ニハ金鵒勳章ノ年
金ナルモノヲ増額シロト云フコトニ付テデゴザイマス、成程此年金ヲ定メラレマシタ當時ヨ
リハ物價ハ甚シク騰貴シテ居リマスルケレドモ、今日ニ於テ其當時ノ年金ヲ其儘ニシテ置クト
云フコトハ誠ニ不合理ナヤウデゴザイマスガ是ハ恩給等トハ全ク其性質ヲ異ニスルニ依テ已ム
ヲ得ナイ、私ハ斯ウ思ウノデアリマス、即チ此恩給ナルモノハ或ル程度マデ隱退後ノ其人ノ生活
ヲ保障シテ居リマスモノデアリマスガ故ニ、是ハ物價ノ騰貴ニ伴ッテ相當ニ改メラレルハ固ヨリ

當然ノ事デアアルノデアリマス、併シ此金鵝勳章ノ年金ナルモノハ、生活ヲ保障シタル意味ハ少シ
 モ無イト私ハ信ズルノデアリマス、即チ此金鵝勳章ナルモノハ、全ク無形ノ名譽ヲ以テ、之ヲ無上
 ノ名譽トシテ定メラレタルモノデアアッテ之ニ附加ヘラレテアリマス所ノ年金ハ、是ハ謂ハハ景物
 デアルト私ハ思ッテ居ル、即チ之ニ就テ斯ク申サナケレバナラヌ、恩給ヲ増シタカラ此年金ヲモ増
 額シロト云フ所ノ議論ハ、恰モ十數年前ニ致シマシタ貯金ニ對シテ、其元金ヲ物價ノ騰貴シタル
 今日ノ金額ニ換算シテ書換ラシテ吳レト云フノ類デアアルト私ハ思フノデアアル、次ニ此年金令ハ
 制定以來約三十年ノ間、何等改メラレテ居ラナイト云フ御議論ヲ段々聞キマスガ、日露ノ戰役ニ
 於キマシテハ殊勳ヲ甲乙ト分ケマシテ、其殊勳ノ著シキ者ニハ一等上ツテ居ル所ノ勳章ヲ授ケラ
 レテ居リマス、即チ下士兵卒ニ對シマシテ初メテ功ヲ立テマシタトキニハ、功七級ニナル、是ガ
 當前デアリマスガ、殊勳甲、此場合ニ於キマシテハ、功六級ヲ授ケラレテ居ル、斯ノ如キ所カラシ
 テ、兵卒ニシテ既ニ一級上ノ一舉ニ二百圓ノ年金ヲ受ケテ居ル者ガ相當ニアリマス、即チ此手
 ニ依テ、既ニ此勳章ト云フモノハ相當ニ時勢ニ適應スルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、次ニ
 ハ此年金ヲ改正増額致シマシタナラバ、其及ボス所ノ影響ハ如何デアアルカト云フコトヲ私ハ氣
 遣フノデアアル、即チ戰場ニ於テ殊勳ヲ奏シマシテ斃レマシタ戰死者ノ遺族ハ如何デゴザイマス、
 凡ソ軍人トシテ戰死ヲ致シマス以上ハ、是以上ノ殊勳ト云フモノガゴザイマセウカ、是以上ノ盡
 シ方ガゴザイマセウカ、然ルニ今日幸ニシテ生キテ居リマス者ガ増額ヲセラレ、サウシテ若シ此
 遺族ガ其儘ニ置カレマシタナラバ如何デゴザイマス、私ガ慮レマス所ハ、洵ニ此勳章ノ年金ヲ増
 シテ貰フト云フコトハ、寧ロ軍人ト致シマシテ皆様ニ對シテハ感謝ヲ致サナケレバナラヌケレ
 ドモ、洵ニ其困ル所ノ事ハ唯此約合ノ點デゴザイマス、ソレカラシテ次ニ甚ダ申シ難イガ、中
 野君ニ又不謹慎ト言ハレルカ知レマセヌケレドモ、此金鵝勳章ノ勳ト功トノ間デゴザイマス、即
 チ戰場ニ於キマシテモ、大砲ノ音ヲ遠ク遠雷ノ如ク聞クヤウナ所ニ居ツテ勤務ヲ致シマスル者、或
 ハ内地ノ工場ニ於テ勤務ヲ致シマスル者、或ハ内地ノ役所ニ於テ勤務ヲ致シマスル者ノ間ニ於
 テ全ク全國民ニ一人、或ハ二人ト云フヤウナ者ハ存ジマセヌガ、其他ニ一體殊勳ト云ヒ、勳功ト

云フテ萬人ガ萬人トモ首肯スルヤウナ區別ハ立テラレルノデゴザイマセウカ、然ルニ之ヲ棄テ
 措イテ、殊勳ニ叙セラレテ居ル者ハ亦尠クナイノデアリマス、即チ此關係ヨリシテ若シ金鵝勳章
 ノミヲ増額致シマシタナラバ、勳功以下一時金ヲ頂戴致シマシタ者ハ、必ズ相當ノ不平ヲ鳴シ出
 スデアラウト云フコトヲ私ハ深ク信ジテ心配スルノデゴザイマス、ソレカラ今中野君ガ貴様
 金鵝勳章ヲ返セト云ハレタコトニ付テ、已ムヲ得ズ私ハ茲ニ一言シナケレバナラヌノデアアル、一
 將功成ツテ萬骨枯ルト云フヤウナコトヲ段々言フ者モゴザイマスルガ、昔ノ將ノ部下ハ私ノ物デ
 ゴザイマス、自己ノ物デアアル、今日ノ將校ガ指揮スル所ノ兵ハ、天皇陛下ノ兵デゴザイマスル
 將校モ、下士モ、兵モ、皆君國ノ爲ニ盡シテ居ルノデアリマス、一將功成ツテ萬骨枯ルト云フガ如
 キハ、唐人ノ寢言デアアル、今日ノ軍隊ニハ全ク筋違ノ言デゴザイマス、而シテ我國ニ於キマシテ、上
 官ハ部下ノ御陰デ勳章ヲ貰フ理窟ハゴザイマセヌ、更ニ言換ヘマスレバ、上官ハ天皇ノ軍隊ノ統
 帥權ノ一部ヲ代行シタルニ止マルノデアリマス、兵ハ其義務ヲ盡シタニ止マルノデアリマス、
 兩者ノ間ニ君國ノ爲ニ盡ス意味ニ於テ何ノ差異ガゴザイマス、ソレカラ次ニ金鵝勳章ノ上下
 ノ區別甚シイト言ウテ非難サレル者ガゴザイマス、一應尤モニ感ズル尤ノ言ノ如クゴザイマス
 ルガ、私ハ之ニ就テハ多大ノ疑問ヲ懷ク、即チ百萬ノ兵ヲ敵前ニ進メテ、國家ノ盛衰興亡ヲ兩肩
 ニ擔ツテ居ル元帥大將モ、一挺ノ銃ヲ肩ニスル所ノ兵モ一體同ジ者デゴザイマスガ、此間ニ相當差
 ノアルト云フコトハ寧ロ私ハ理ノ當然デアアルト信ジマス、我國金鵝勳章ノ制度ハ上下ノ差別
 ト云フモノハ至ッテ少ウゴザイマス、即チ兵ガ假ニ功六級ニ叙セラレマシタト致シマスルトキ
 ニ、此年金ハ二百圓デゴザイマシテ、大將、元帥ハ如何ニ殊勳甲デゴザイマシテモ、千五百圓以上
 ノ年金ヲ受ケルコトハ出來マセヌ、是ガ極度デアリマス、然ル時ニハ兵士ノ七人半分デアアル、百
 萬ノ兵ヲ指揮スル元帥大將ハ兵七人半分以上ハ受ケナイノデゴザイマス、私ハ是程差別ノ少ナ
 イモノハ容易ニ他ノ類ヲ索ムルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、併ナガラ年金ヲ増シマ
 シテ、殊ニ下級勳章ノ分ヲ増シマシテ、サウシテ之ニ厚ウスルト云フコトニ於キマシテハ、又此
 下級者ニ同情ヲ致シマスル點ニ於キマシハ、私ハ決シテ人後ニ落ツル者デハゴザイマセヌ、併ナ

ガラ今日ノ生者ニ之ヲ増スト云フコトニナリマスレバ、戦死者ノ遺族ニモヤラナケレバナラス、旭日章ヲ賞ッテ居リマスル所ノ一時賜金ノ者ニモ此釣合ヲ圖ラナケレバナラス、サウシテ是ガ我國二十七八年ノ戰役以來、三十七八年日露戰役ト云フガ如ク、陸續トシテ是ガ續イテ居リマスル若シ之ヲ溯ルト致シマシタナラバ、何所マデ溯リマス、到頭切ル所ハナイノデアアル、然ル時ニ於テハ行賞ヲ全クヤリ替ヘルト云フコトニナラナケレバ、公平ノ維持ハ出來ナイノデアリマス、私ハ此點ニ於キマシテ、全クドウモ下級勳章ヲ持ッテ居ラル、御方ニ對シマシテハ同情ニ堪ヘマセヌ、私ハ唯行賞ノ公平ヲ維持シタイト云フコトノ此一念カラシテ之ニ反對ヲ致スノデアリマス、ドウゾ一ツ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

中林友信君ノ賛成演説

同ジ日露戰爭ニ軍人トシテ參謀官デアリ、更ニ論功行賞ノ考査員タリシ蟻川前少將、現代議士蟻川君ヨリ此反對ノ御議論ヲ伺ヒマシタコトハ、洵ニ遺憾ト思フノデアリマス、諸君、私ハ簡單ニ申シマスレバ、此勳章ノ年金ガ恩給ト違フトカ、生活ノ保障デアルトカ云フ簡單ナ問題デアアルマイト私ハ思フノデアリマス、明治二十三年立憲制度ヲ起サレ、我ガ議會ガ始メテ開カレマシタ其時ニ明治大帝陛下ガ此金鷄勳章令ヲ御出シニナッタノデアッテ、二十七年ニ是ガ極ッタルデアアル、而シテ二十八年ノ戰ニ於テ初メテ金鷄勳章ノ、實行ガ出來、初メテ年金ヲ頂戴致シタノデアアル、諸君、此年金ヲ恩給ト同ジ性質ノモノト思ハレルコソ、間違ッテ居ルノデアリマシテ、即チ此年金ハ或ル論者ハ褒賜ノ意味デアルト申シマスルガ、褒賜ノ意味デアルトスルナラバ、年金ニ非ラズシテ一時賜金デ然ルベキデアアルノデアリマス、年金トシテアル以上ハ、其年金ヲ頂戴スル者ガ、必ズ其年金ニ依テ自分ノ生活ノ保障マデハ行カナクテモ、勳章ヲ漬サザルダケノ地位ハ保タナケレバナラヌモノデアルト私ハ思フノデアリマス、然ルニ金鷄勳章ヲ有スル者ガ或ハ泥捧ヲ爲シ、或ハ物貫ヲシテ勳章ヲ下ゲテ歩ケマスカ、我國ノ思想ガ追ミト惡化シテ來ル時代ニ於テ、國民ノ思想ヲ涵養シ國民ノ思想ヲ善導スルコトハ非常ニ必要デアアル時代ニ於テ、此金鷄勳章ノ

年金ニ對シテ反對スルガ如キハ、國民ノ精神ヲ涵養スル所以ニアラズ、在郷軍人ノ士氣ヲ鼓舞スル所以ニアラズ、地方青年團ノ精神ヲ養フ所以ニアラズ、隨テ小學校教育ノ國民精神ニモ大關係ヲ有シテ來ル問題デアラウト思フノデアリマス、而モ憲政會ヨリモ、革新俱樂部ヨリモ、政友會ヨリモ、而シテ政友本黨ヨリモ、殆ド各政黨派ガ是程國民ノ輿論タル問題ハナカラウカト思フ位、各政黨派ノ問題ニナッテ居ルデアリマス、其反對ハ反對ニ非ラズシテ、蟻川君ノ御議論ニ一種ノ冷笑的反對デアッタノデアリマス、諸君、殊ニ前々議會ニ於テ此問題ニ反對シタル者ハ、大阪府ニ於ケル南代議士ト森下前代議士ノ二人デアッタノデアアル、此二人ガ美事落選シテ居ル點カラ見マシテモ、天下ノ輿論ガ此問題ニ向テ大歡迎シテ居ルト云フコトハ明カデアルト思ヒマス、私ハ多クヲ語リマセヌ、唯此意味ニ於テ國民ノ精神ヲ涵養スル意味ニ於テ、及軍人ノ士氣ヲ鼓舞スル上ニ於テ、此問題ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ念ノ爲ニ申上ゲテ置キタイノデアリマス

院議異議ナク委員會報告ノ通修正議決ヲ爲シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

四 越中島線鐵道速成ニ關スル建議案

東京ニ於ケル荷物輻輳ハ逐年増加シ現在ノ隅田川秋葉原汐留其ノ他ノ貨物驛ノミニテハ多少ノ擴張改良ヲ爲スモ其ノ運輸機能ヲ完全スルコトヲ得ヌ加フルニ災害地復興ニ要スル貨物ト將來都市計畫ニ伴ヒ商工業ノ發展ニ對シ貨物輸送ノ敏活ト水陸連絡設備ヲ爲シ以テ配達料輕減ヲ計リ産業ノ振興ト物價調節ニ資スル爲本鐵道ヲ延長シテ越中島ニ大停車場ヲ建設シ以テ貨物集散ノ設備ヲ爲シ運輸交通ノ便ヲ計ルハ目下ノ急務ナリ政府ハ速ニ之カ完成ヲ期セラレムコトヲ望

右建議ス

右八十三年七月二日太田信治郎君外三名之ヲ提出ス七月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(太田信治郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ鐵道ノ線路延長ノ速成ニ關スル建議案デアリマスカラ、地方問題ノ如クニ御考ノ方ガ御有リニナルカモ知レマセヌガ、決シテ此鐵道ハ一地方ノ利害關係ニ重キヲ置イテアル鐵道デアリマセヌ、南葛飾郡ヲ經マシテ京橋ノ月島ノ隣地ニ、即チ越中島地先ニ大貨物停車場ヲ建設致シマシテ、東京市及此附近ノ貨物集散ノ任ニ當ラシメ、尙ホ海陸聯絡ノ爲ニ此大停車場ヲ設ケルト云フコトハ既定ノ計畫ニナツテ居リマス、而シテ其用地ノ買収モ終リマシテ、工事モ一旦著手セラレテ、半バニシテ如何ナル御都合デアリマシタカ殆ド休止狀態デ居ルノデアリマス、爾カ致シマシテ唯今東京及此附近ニ貨物ノ集散ノ爲ニ設ケテアル停車場ハ大ナルモノガ五箇所アリマス、ソレハ隅田川停車場、秋葉原停車場、汐留ノ停車場ニ、更ニ新宿ト飯田町ノ此五箇所ガ多ク集散ノ驛ニナツテ居リマスルガ、此五驛ガ出來マシタ當時ノ大正三年頃ニ取扱ヒマシタ所ノ貨物ハ僅ニ三百萬噸、若クハ三百五十萬噸内外デアリマシタ、然ルニ大正十一年ニ至リマシテハ、一躍致シマシテ六百九十萬噸ト云フ大數量ニ相成リマシタ、今日ニ至リマシテハ既ニ一千萬噸ニ近ク、著荷ト送荷ヲ此狭イ停車場ニ於テ取扱ッテ居ル始末デアリマス、之カ爲ニ時々貨物ノ停滯ヲ來シテ、貨車止メト云フヤウナ不幸ニ遭遇スルコトガ屢アルノデアリマス、此五驛ニ多少ノ擴張ヲ加ヘマシタ所デ、其擴張ニ依テ此益將來發展ヲ致シテ參リマスル所ノ大都市ノ生活必需品其他ノ買物ヲ吞吐スルト云フコトハ、到底現在ノ停車場ニ於テハ出來ナイノデアリマス、之ガ爲ニ

鐵道省ニ於テハ先ニ見ル所アリマシテ、此越中島へ大停車場ヲ造ルト云フコトガ決定セラレテ居ルノデアリマス、尙御承知ノ通り東京市ノ都市計畫法ニ依リマシテモ、又今回ノ災害ニ依リマシテ、更ニ區劃整理ヲ斷行セラレルヤウナ場合ニ立至リマスレバ、益此土地ハ發展致シマシテ、而シテ貨物ノ集散ハ愈頻繁ヲ加ヘルノデアリマス、由來東京市ハ決シテ住宅ノミノ都市ニ非ズシテ、一面ニハ商工業ノ都市デアリマス、而シテ最モ全國ノ貨物ヲ需要スル所ノ需要地デアルト共ニ東北、北陸、其他東海方面ニ向ッテモ貨物ヲ輸送スベキ所ノ製造地、又供給地デアリマス、而シテ海外カラ來ル荷物ハ橫濱驛ヨリ直ニ東京ニ一旦輸送サレテ、ソレニ加工サレテ、地方ニ集散スルト云フコトニ相成リマス、爾カ致シマスレバ一層ノ海陸聯絡、水陸聯絡ノ設備ト云フモノハ今日急務中ノ急務ト信ズルモノデアリマス、之ガ爲ニ本鐵道ヲ速成セラレテ、一面ニ於テハ物價調節ノ爲ニ、一面ニ於テハ生活ノ必需品ノ給配ト云フコトニ付テ、鐵道ノ責任ヲ全フスル上ニ於テ、此大停車場ノ建設ハ一日遅クスルコトガ出來ナイ、最大急務中ノ急務ト信ジテ此案ヲ提出致シタ次第デアリマス、詳シイ事ハ他日委員會ニ於テ述ベマスコト、致シマシテ、大體ノ趣旨ヲ茲ニ述ベテ、何卒諸君ノ御賛同アランコトヲ切望致スノデアリマス

次テ本案ハ山本厚三君外六名提出小樽港鐵道省第二期工事速成ニ關スル建議案(一)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ七月十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會並議事ノ經過及結果ハ本項(一)參看)

五 農村振興ニ關スル建議案

農村ノ興廢ハ國運ノ消長ニ關スル最大ナルモノアリ然ルニ今ヤ疲弊其ノ極ニ達セリ國家ノ爲洵

ニ深憂ニ堪ヘス本院ハ曩ニ農村振興ノ建議ヲ爲シ切ニ其ノ對應施設ヲ望ミタルニ現内閣施政ノ方針中一言ノ農村ニ及フナシ政府ハ速ニ適當ノ對策ヲ樹テ之カ振興ノ實ヲ擧クヘシ
右建議ス

右ハ十二年七月二日床次竹二郎君外十七名之ヲ提出ス七月十五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(川原茂輔君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本問題ニ對シマシテハ、曩ニ内閣ノ施政方針ニ對スル質問ノ場合ニ於テ、又豫算討議ノ場合ニ於テ其他幾多ノ場合ニ於テモ、此農村振興ノ必要ニシテ缺クベカラザル所ノ應答及辯論ハ凡ソ盡シテ居ルノデ特アリマス、ニ說明ヲ申上ゲル事モアリマセヌケレドモ、大體ニ於テ二三ノ點ニ付テ提案ノ理由ヲ說明シテ、諸君ノ御贊同ヲ願ヒタイト存ジマス、明治維新以來幾多ノ問題ニ對シマシテハ、或ハ保護獎勵ヲ爲シ、若クハ多大ノ國帑ヲ費シテ以テ、其ノ事業ノ進展ヲ圖リマシタコトハ、多クアルノデアリマス、而シテ特ニ此農村ノ問題ニ對シマシテハ、遺憾ナガラ他ノ問題ト比較スレバ甚ダ冷淡デアッタト云フコトハ事實デアアル、近頃或ル博士ノ說ナゾニ依リマスレバ、今ヨリ二十五年ノ後、即チ大正三十八年頃ニ至レバ、從來ノ生産者ノ比較ヨリシテ段々生活上ノ問題ニ移リマシテ、今六十萬石乃至七十萬石アレバ國民ノ生活ニ必要ナル數字デアリマスケレドモ、此在來増加ノ率ヨリシテ三十七八年ノ頃ヲ論ズレバ、一億萬石ト云フ米ヲ作ラナケレバナラヌト云フ議論モアルノデアリマス、然ラバ如何ニシテ國民ノ生活ノ安定ヲ維持シセメルカト云フコトハ、今ヨリ大ニ國家ノ問題トシテ討究ヲセナケレバナラヌコト、存ズルノデアリマス、口ヲ聞ケバ農村ハ疲弊ノ極點ニ達シテ居ル、之ヲ救済スルコトガ必要ナリト云フコトハ何人モ論ズル所、而シテ今日ノ農村ノ實際ヲ調べマスレバ、口先バカリノ宣傳デ以テ、農家ノ疲弊ヲ醫スルコトハ出來ナイノ

デアリマス、故ニ繪ニ描イタル美酒佳肴ヲ以テ、農村生活ノ安定ヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ實際ニ之ヲ行ヒ、而シテ眞ニ農村ノ疲弊ヲ救済セナケレバナラヌノデアリマス、農務省ノ獨立ノ如キハ數年來ノ懸案デアアル、又農家ノ副業ヲ獎勵スルト云フコトモ是モ年來ノ懸案トシテ、之ヲ實行シナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、今ヤ農家ノ副業中ニ於テモ特ニ乳牛ノ如キハ、年々歳々増加ノ一方ニ傾イテ居ルノデアアル、然ルニ此間ノ關稅改正案ノ如キハ、即チ農家ノ副業タル乳牛ノ獎勵ノ一大頓挫ヲ與ヘル結論ヲ呈スルナドト云フコトハ、所謂繪ニ描イタル美酒佳肴、口先バカリノ宣傳デ、眞ニ農家ノ疲レ切タル此現狀ヲ救済スルノ意思アリヤヲ疑フノ已ムヲ得ザルニ至ッタノハ、遺憾トスルノデアリマス、曩ニ申上ゲ、又此本案ノ說明中ニモ書イテアリマスル通り、現内閣ノ施政ノ方針ノ中ニ於テ、一言ノ此事ニ及バザリシハ甚ダ遺憾千萬デアアル、又此建議案ハ即チ七月二日ニ提出シタノデアリマス、然ルニ延ビ、ニナツテ、今日ノ最早會期剩ス所三日ノ今日マデ付議セラレヌデ來ラレタト云フコトハ、即チ進行ヲ圖ル所ノ與黨諸君ノ責任トシテ、斯カル遷延ヲシテ此問題ノ實現ヲ遅カラシメタコトハ、政府トシテ即チ與黨諸君トシテ負ハナケレバナラヌノデアアル、若シ諸君ニシテ眞ニ意思アレバ、既ニ是マデノ中ニ屢機會ハ到來シタノデアアル、是ハ議長トシテ其處置ノ不當ヲ遺憾トシ、與黨諸君ガ此問題ニ冷淡ナルコトヲ遺憾トスルノデアアル、今日ノ問題ハ即チ國家ノ問題トシテ、是ヨリ大事ナ問題ハ無イ、之ニ向ッテ眞ニ熱烈ニ此問題ノ進展ヲ圖ラントスルモノハ、即チ我黨ガ魁ヲシテヤツテ行カナケレバナラヌノデアリマス、滿場一致トハ行クマイガ、セメテ過半数ノ贊成ヲ得テ本案ノ通過ニ努力セラレンコトヲ希望シマス

右ニ對シ浦野謙朗君ハ左ノ如ク贊成演說ヲ爲ス

私ハ本建議案ニ對シマシテ、贊成ノ意見ヲ努メテ簡單ニ附加ヘタイト思ヒマス、我國ハ古來農業ヲ以テ立國ノ大本ト致シマシテ居リマスコトハ、今更私共ガ喋々ヲ要セザルコトデアリマスガ、農業ハ有ユル總テノ産業ノ基礎デアリマシテ、國家經濟ノ原動力デアアルト思ヒマス、故ニ其消長

ハ直ニ國家ノ隆替ニ關スルモノデアリマス、農業ノ發達ニ伴ヒマシテ、商工業ノ隆盛ヲ促シ、此
 雙者ガ相對峙シテ、立國ノ鞏固ヲ確立スルト云フコトガ、最モ適當ナル國是デアラウト考ヘマ
 ス、殊ニ農業ハ國民食糧ノ供給者タル重大ナル任務ヲ持ッテ居リマス、食糧ヲ自給シ得ザル國民、
 食糧供給ノ獨立ヲ爲シ得ザル國家程危險ナルモノハ無イカト存ジマス、彼ノ歐洲ノ大戰亂ニ於
 テ、獨逸國ノ全敗ヲ御覽ナサイ、又其食糧ノ大部分ヲ國外カラ供給シテ居ッタ所ノ英國ガ中途自
 給策ニ焦慮致シマシタノヲ見マシテモ、實ニ明白ナル事實デアリマス、翻ッテ我國ノ主要食糧タ
 ル米ノ産額ヲ見マスルニ、年々三百萬石乃至五百萬石ノ不足ヲ告ゲテ居ルデアリマス、然ルニ
 其價格ハ依然トシテ低位ニ在リマシテ、農家經濟ノ收支ヲ償フコトガ出來マセヌ爲ニ日一日農
 村ハ不振、農村荒廢ノ聲ヲ高クシテ居ルデアリマセヌカ、農家ハ難儀ヲシテ米ヲ作り、而シテ
 財産ヲ減ラシ、負債ヲ増スト云フ今日ノ状態デアリマス、近來農民ガ豊年ヲ呪フト云フヤウナ現
 象ヲ呈シマスノハ、國家ノ爲ニ由々シキ大事デアラウト考ヘマス、諸君農村ノ状態ハ十年一日ノ
 如ク何等ノ發展ヲ見ザルノミナラズ、却ッテ衰亡ニ走リツ、アルノデアリマス、然ルニ都市ノ膨
 脹ハ如何、商工業ノ發達ト共ニ文化的施設ハ獨リ都市ニ於テ行ハル、ガ故ニ、農村ノ子弟モ都市
 ノ物質的文明ニ誘ハレテ、年々農村ヲ棄テ、都市ニ走ル者ノ多キ傾キヲ漸次増加致シマシテ、農
 村ハ愈荒廢スルデアリマス、私ガ十年前ニ斯様ナル俗語ヲ聞イタコトガアリマス、「田舎見ル
 ナラ今出テ見ヤレ、今ニ野トナリ山トナル」ト云フ俗語ヲ聞イタコトガアリマス、ソレガ今日實
 現シテ居ルデアリマス、彼ノ美田ガ草原トナリ、或ハ山林トナリツ、アルノデアリマス、今ニ
 於テ、是ガ根本救濟策ヲ施サナカッタナラバ、遂ニハ國家ヲ危殆ニ導クモノデアラウト信ジマス、
 現農商務大臣高橋氏ハ、曾テ農務省ノ獨立ヲ言明シ、食糧ノ自給ヲシタイト申サレタヤウニ聞イ
 テ居リマス、又過般ノ總選舉ニ於キマシテ、何レノ黨派タルヲ問ハズ、農村ニ關係ノアル代議士
 諸君ハ、其主義政見ヲ發表スルニ當リマシテ、農村振興ノ急ナルコトヲ發表サレテ、選舉區ニ誓
 ハレタコト、信ジテ居リマス、而シテ今回有力ト稱スル聯立内閣ガ出來、就中元總理大臣高橋氏ハ主
 義ノ爲ニ私情ヲ捨テ、農相ノ椅子ニ甘ンゼラレタコトヲ聞キマシタル吾々農民ハ、頗ル

敬意ヲ以テ——農村ノ爲ニ多大ナル期待ヲ以テ臨ンダノデアリマス、然ルニ特別議會ノ劈頭ニ
 於テ施政ノ方針中ニ、一言モ農村振興ニ及バナカッタト云フコトハ吾人其意外ニ驚カザルヲ得ナ
 イノデアリマス、今日疲弊困憊、其極ニ達シテ居ル農村、而モ國家社會上ニ、宗教上ニ、教育上ニ
 モ、將タ財政ノ上ニモ、重大ナル關係ヲ有スル此農村問題ニ一言モ及バナカッタト云フコトハ、洵
 ニ長大嘆息ヲ禁ズル能ハザル者デアリマス、諸君、大震災復興ノ費用ハ實ニ十數億圓ヲ計上サ
 レテ、御互ハソレヲ協賛シタノデアリマス、固ヨリ帝都並ニ國家ノ重大ナル諸機關ノ復興ヲ計ル
 費用デアリマスガ故ニ、國民ハ忍ンデ之ニ服從スル者デアリマス、恰モ急性病タル震災ノ復興ハ
 之ヲ救濟シ、慢性病タル農村復興ハ之ヲ捨テ、顧ミザルト云フガ如キハ、國家ノ爲ニ實ニ重大ナ
 ル事デアリマス、之ヲ速ニ是ガ救濟策ヲ講ゼラレントスル此建議案ニ對シテ、衷心ヨリ賛成ノ意
 ヲ表スル所以デアリマス

次テ本案ハ議長指名(二十七名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十六日委員
 會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ニ著手シタルモ報告ヲ爲スニ至ラサリキ

六 金鵝勳章年金増加ニ關スル建議案

今ヤ物價ハ騰貴シ貨幣ノ價值ハ低落シ金鵝勳章年金ノ如キハ零碎ナル賜金ニ位スル感ナシトセ
 ス斯ノ如キハ忠勇ナル軍人ヲ遇スル所以ニ非ス仍テ政府ハ速ニ年金増加ノ途ヲ講セラルヘシ
 右建議ス

右ハ十三年七月二日土井權大君之ヲ提出ス七月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯

明セリ

是ハ只今既ニ詳シク御説明ニナッタコトデアリマスガ故ニ、私ハ固ヨリ詳細ニ述ベル必要ハナイ
ノデアリマス、即チ此金鷄勳章ノ沿革、ソレカラ金鷄勳章ガ制定サレタル當時ト今日トノ物價騰
貴ノ状態、貨幣價値ノ低落、ソレ等ノ事ニ付テハ詳シク既ニ御話ニナッタ通りデアリマス、斯様ナ
事情ヨリ眺メマスルト、今日金鷄勳章ヲ貰ッテ居ル所ノ人ハ洵ニ零細ナル賜金ヲ賜ッテ居ル
同ジ事ニ相成リマシテ、丁度昔ノ言葉ニ狡兔死シテ走狗烹ラルト云フコトガアリマスガ、金鷄勳
章ヲ貰ッタ者ハ丁度サウ云フヤウナ境遇ト相成ッテ居ルデアリマス、今ヤ思想ハ御承知ノ通り
悪化シツ、アリマス、而モ君國ノ爲ニ盡シタル此軍人ガ、斯ノ如キ薄キ待遇ヲ受ケルト云フガ如
キニ至リマシテハ、此忠勇ナル軍人ニ對シ、ソレ等ノ人ノ思想ヲモ悪化スル虞ナシトシナイ、仍
テ此際金鷄勳章ノ年金ヲ増加シ、思想悪化ヲ豫防シ、更ニ治ニ居テ亂ヲ忘レズ、其御精神ニ依テ
速ニ御賛同アラントラフ希フ次第デアリマス

次テ本案ハ三木武吉君外三名提出金鷄勳章年金改正ニ關スル建議案(三)委員ニ併セ付託スルニ
決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

七 部落有林野統一緩和ニ關スル建議案

政府ハ曩ニ部落有林野統一ニ關スル獎勵方針ヲ確立シ以來地方廳ハ專ラ其ノ意ヲ體シ部落有林
野ノ統一ヲ強制シ往往ニシテ部落ノ共同心又ハ愛郷心ヲ破壊シ或ハ往往ニシテ部落民生活ノ基

礎ヲ破壊ス斯ノ如キハ徒ニ農村振興ノ本末ヲ顛倒シ農村ノ美風良俗ヲ破壊スルモノト謂ハサル
ヘカラス仍テ政府ハ速ニ統一緩和ニ關スル途ヲ開カルヘシ

右建議ス

八 小麥及小麥粉輸入稅率引上ニ關スル建議案

小作爭議頻出ノ原因種々アリト雖小作農業者生活不安ノ如キハ其ノ一大原因ナリト謂ハサルヘ
カラス然ルニ二毛作地ニ於ケル小作農業者唯一ノ收入タル小麥ハ年々輸入増加ニ基因シ其ノ價
格ハ下落シ益彼等ヲシテ困憊ニ陥ラシムル現状ナリ仍テ政府ハ茲ニ小麥及小麥粉輸入稅率ヲ引
上ケ小作農保護ノ途ヲ開カルヘシ

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十三年七月二日土井權大君之ヲ提出ス七月十六日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出
者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

第一ハ部落有林野統一緩和ニ關スル建議デアリマス、政府ハ夙ニ部落所有ノ林野ヲ統一スベシ
ト云フ方針ヲ樹テラレタデアリマス、由來地方廳ハ其方針ニ基キマシテ、部落所有ノ林野ヲ統

一スルト云フコトニ汲々ト致シテ居ルノデアリマス、私ハ敢テ部落有林野統一ト云フ此理想、此方針ニ反對スル者デハアリマセヌ、併ナガラ、實際此方針ヲ實行スル上ニ於テ、往々不便ヲ感ジテ居ル部落ガアルノデアリマス、ソレハ、ドウ云フ不便ヲ感ジテ居ルカト申セバ、丁度維新以前部落ガ林野ヲ所有致シテ居リマシタ、其形ハ部落ノ所有デアルカノ如クアッタデアリマセウガ、其實質ハ入會山デアルトカ、或ハ部落ニ居住致シテ居リマス所ノ人民ノ共有山デアッタノデアリマス、ソレガ爲ニ部落ノ人民ハ自由ニ其林野ニ入りマシテ、林野ヨリ上ガル所ノ物産ニ依テ生活ヲ維持致シ、所謂山稼ヲ致シテ居ッタノデアリマス、所ガ維新以來各種ノ制度ノ改革ノ結果知ラズ識ラズ入會山ナル個人ノ共有山ガ部落所有ト云フコトニ相成リ、而モ其時ニ當リ之ヲ町村ニ統一シナケレバナラヌト云フガ如キコトニ今日相成ッタノデアリマス、ソコデ部落ニ住ンデ居ル人ガ其林野ニ依テ生活ヲ致シ、或ハ山稼ヲ致サウト思ヒマシテモ、昔ノヤウニ其山ヲ自由ニ處理スルコトガ出來ナイ、必ス統一ヲセヨ、斯ウ云フ按排ニ地方長官ハ言フガ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ統一ト云フコトニ一種ノ強制ヲ致スノデアリマス、是非強制的統一ヲシナケレバナラヌ、部落ニ於テ自由ニ處理スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ言出シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ斯ノ如キ部落ハ耕作地、所謂米麥ヲ作ル所ノ土地ハ一戸當リ三段シカナイ、其他ハ山稼ニ於テ生活ヲ致シテ居ッタ、然ルニ此山稼ヲ致サウト致シテモ、強制統一ノ爲ニ自由ニ山稼ヲスルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ル部落ガアルノデアリマス、ソレガ爲ニソレ等ノ部落ハ往々ニシテ生活ノ基礎ニ脅威ヲ與ヘラレ、又入會山デアルトカ、或ハ共同デヤルト云フ昔ノ習慣ガアッタ其習慣ヲ打壞サレテ、共同ノ美風ヲ打壞サレナケレバナラヌト云フ状態ニ今日相成ッテ居ルノデアリマス、其共同ノ美風ヲ打壞サレナイハ第二ト致シマシテ、兎ニ角生活ガ出來ナイ、山稼ニ依テ生活ヲスルコトガ出來ナイ、一方耕ス所ノ土地ガ無イト云フガ如キ状態ニ陥ッテ困ッテ居ル所ノ部落ガ多イノデアリマス、統一ノ理想ニハ賛成スルノデアリマス、ケレドモ、斯ノ如キ困ッテ居ル所ノ部落ハ、何等カノ方法ヲ以テ救済シナケレバナラナイ、即チ此統一ト云フコトニ關シ、何等カノ緩和ノ方法ヲ執ッテ戴キタイト云フノガ建議ノ趣意デアリマ

ス、ソレカラ第二ハ小麥及小麥粉ノ關稅率引上ニ關スル建議デアリマス、御承知ノ通り今ヤ農村ハ疲弊困憊ノ極ニ陥リマシテ、各種ノ農村社會問題ガ惹起シツ、アルノデアリマス、就中小作ノ爭ト云フ問題ノ如キハ最モ重大ナ問題デアリマス、其小作爭議ノ原因ハ何レニ在ルカト云フコトヲ探究致シマスルニ、要ハ小作業者ノ收入減少ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、即チ小作業者ハ働イテモ、稼ゲドモ生活ガ安穩ニ出來ナイ、收入ガ少ナイ、此事ニ原因ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ此小作業者ハ如何ナル仕事ヲ致シテ居ルカト申セバ、御承知ノ通り日本全國トハ申シマセヌガ、多クハ二毛作——夏ハ米ヲ作り、冬ハ小麥、或ハ大麥ヲ作ルト云フコトニ相成ッテ居リマシテ、主ニ冬作ノ收入ヲ樂ミニ致シ、夏取レマシタ所ノ米ヲ年貢米トシテ地主ニ收メマシテ、幾分シカ殘ラナイケレドモ、此冬作ヨリ得ル所ノ小麥、大麥、是等ガ、十分取レ、而モ其小麥、大麥ノ價格ト云フモノガ相當維持サレマシタナラバ、取リモ直サズ其小作業者者ノ收入ト云フモノガ相當ニ入ルコトニ相成ッテ居リマスガ故ニ、生活不安ト云フコトハ無カッタノデアリマス、所ガ近時小麥ト云フモノガ段々ト外國カラ多量ニ輸入サレルコトニ相成ッタノデアリマス、ソレガ爲ニ段々ト此日本内地ノ小麥ノ値段ト云フモノガ安ク相成リマシテ、今日ノ統計ヲ眺メマスルト、年々小麥ノ作付段別ト云フモノガ減少シツ、アル状態ニ相成ッテ居ルノデアリマス、又小麥ノ收穫ヲ致ス其收穫モ少ク相成ッテ居ル、是ハドウ云フ譯デアアルカト申セバ、輸入ノ小麥ト云フモノガ内地ノ小麥ヲ壓迫致ス所ノ結果デアリマス、若シ此儘放任致シマシタナラバ、段々ト小麥ヲ作ル所ノ人ガ少ク相成リマシテ、小作業者ノ收入ガ段々ト減ッテ來ル、已ムヲ得ズ小作爭議ガ多ク相成ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、今日現ニ小作爭議ノ最モ盛ニ起キテ居ル方面ハドウ方面デアアルカト申セバ、此二毛作、小麥、大麥ヲ冬ニ於テ作ル土地デアリマス、而モソレ等ノ收入ガ少イ土地ガ小作爭議ガ多イト云フコトニ相成ッテ居リマスノデアリマス、仍テ此際小作業者ノ收入増加、更ニ此農業労働者ノ福利増進ト云フ考ヲ以チマシテ、小麥及小麥粉ト云フモノニ對シテ相當ナ保護政策ヲ執ラナケレバナラヌ時代ニ相成ッテ居ルト私ハ考ヘルノデアリマス、仍テ政府ハ速ニ關稅定率法ニ改正ヲ加ヘ、小麥及小麥粉ノ關稅引上ヲ

爲サルベシト云フ建議デアリマス、何卒農村振興ノ爲ニ御賛成アランコトヲ御依頼致シマス
次テ兩案ハ孰レモ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十七日委
員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ即日(第一案)、同
十八日(第二案)夫々報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會並議事ノ經過及結果ハ本項(一)參看)

九 金鵄勳章年金改正ニ關スル建議案

凡ソ國家カ國家ニ對スル勳功者又ハ勳勞者ヲ遇スルニ於テ其ノ恩賞ノ方法ニニアリ一ハ一定ノ
徽章ヲ設ケテ其ノ名譽ヲ表彰シ一ハ相當金圓ヲ給賜シテ之ニ酬ユルニ在リ而シテ其ノ二ツナカ
ラ併賜スル如キハ至高至大ナル勳功勳績ノ場合ニ限レリ乃チ我カ國ニ於テ金鵄勳章ノ制定及年
金付給勳ノ如キ即チ之ナリ而シテ併賜セサレハ即チ已ム荷モ併賜スル以上時勢ニ適應シタル金
圓タルヲ要ス然ラサレハ却テ恩賞ノ光輝ヲ失墜シ延テ恩賞ノ制度ヲ無意義タラシムヘシ斯ノ如
キハ邦家前途ノ爲寒心セサルヘカラス而シテ金鵄勳章ノ制定ハ明治二十三年ニシテ今ヤ時代ノ
趨勢ニ伴ハサル激シ依テ速ニ其ノ年金令ヲ改正シ相當増額セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十三年七月二日中林友信君外三名之ヲ提出ス七月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(中林友信君)
ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ今國民ノ思想ト、我ガ國家ノ忠勇ナル武勳拔群ナル人ニ向ッテノ金鵄勳章年金改正令ノ極
ク深刻ナル説明ヲセントスルニ當テ、其前ニ於テ意外ナル餘興ヲ承ツタコトヲ私ハ大ニ遺憾トス
ルノデアリマス、諸君併ナガラ此眞面目ナル問題デアリマスルガ故ニ、私ハ委員會ニ於テ詳シク
申スコトニ致シテ、此場合ニ於テハ至極簡單ニ申上ゲタイト云フコトハ既ニ憲政會ヨリモ、革新
俱樂部ヨリモ、此案ニ對スル御説明ハアッタデアリマス、唯私ハ之ニ蛇足ヲ加ヘルノ必要ハナ
イヤウデアリマスルガ、本案ハ前ニ説明ガアリマシタ如ク、長クモ明治大帝陛下ガ二十三年神武
天皇二千五百年ノ紀元ヲ好機ト致サレマシテ金鵄勳章ノ御制定ヲ致サレタ、而シテ二十七年
ノ十月ニ此御發令ニナリマシテ、功七級ノ一番末等ガ六十五圓デアッタノヲ、二十八年ノ日清戰
争ノ際ニ於テ甚ダ物價ガ騰貴致シテ、却テ武功拔群ナル者ヲ表彰スルニ其價值少シトシテ、二十
八年ノ十二月ニ更ニ功七級ヲ百圓ニ増額サレタノデアリマス、而シテソレヨリ以來三十年間他
ノ恩給及戰時ニ於ケル一時賜金ハ増額サレタニモ拘ラズ、金鵄勳章ノミハ其儘デアアルノデアリ
マス、諸君、金鵄勳章ノ事柄ニ付テハ更ニ私ハ詳シク委員會デ申スコトニ致シマスルガ、一時賜
金——凡ソ人ヲ表彰スルニハ精神的表彰ト物質的表彰ト二ツアリマス、精神的表彰ニハ記章ヲ
與ヘマス、物質的表彰ニハ金ヲ與ヘマス、金鵄勳章ノ如キハ精神的物質的ノ二ツノ表彰デアアル、
然ルニ此物質的ノ分ダケガ他ノ恩賜金ト其數額ヲ異ニスルト云フコトハ思想ヲ惡化シ、我ガ思
想ノ動搖セントスル場合ニ於テハ、諸君ト共ニ、政府者モ共ニ治ニ居テ亂ヲ忘レザルノ心ヲ持タ
ナケレバナラヌト思ヒマスルガ故ニ、私ハ茲ニ本案ヲ提出致シマシテ、金鵄勳章ノ年金令ヲ改正
ヲ致シタイト云フノデ、茲ニ發案致シタ所以デアリマス

次テ本案ハ三木武吉君外三名提出金鷄勳章年金改正ニ關スル建議案(三)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ(委員會並議事ノ經過及結果ハ本項(三)參看)

一〇 大學令中改正ニ關スル建議案

現行大學令ハ道及府縣ニ限リ公立大學ノ設立ヲ認メ市ヲ除外シタルハ時勢ノ進運ニ應スル所以ニ非ス仍テ政府ハ本令ニ改正ヲ加ヘ北海道府縣ノ下ニ「文部大臣ノ指定スル市」ヲ追加セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十三年七月二日武内作平君外十一名之ヲ提出ス七月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(武内作平君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

現行大學令第五條ニ依リマスルト、特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道及府縣ニ限ツテ公立大學ヲ設立スルコトヲ得ト云フコトニナツテ居テ、都市ハ除外サレテアルノデアリマス、デアリマスカラシテ道立大學、府縣立大學ト云フコトハ今日ニ於テ設置スルコトガ出來マスルガ、市立大學ヲ設置スルコトハ、今日ニ於キマシテハ不可能デアリマス、デアリマスルカラシテ此北海道及府縣

ニ限ツテ斯ウアル所ヘ、北海道及府縣並ニ文部大臣ニ於テ指定サル、市ニ限リ設置スルコトヲ得ト云フコトニ改正ヲシテ戴キタイト云フノガ本案ノ目的デアリマス、本大學令ヲ制定致シマスル準備トシテ開カレマシタ臨時教育會議ノ案ニハ、斯様ナ制限ハアリマセナンダ、市ニ於キマシテモ矢張設置スルコトガ出來ルコトニナツテ居タノデアリマスガ、此勅令ガ成文ニナリマスル際ニドコデ變リマシタカ兎モ角モ只今申上ゲマシタ制限ガ附セラレマシテ、當局者ニ付キマシテ、何故ニ斯様ナ制限ヲ附シタノデアアルカト云フコトヲ質シテ見マスルト、町村ニ於テハ小學教育ヲヤリ、郡ニ於テハ中學ヲヤリ、府縣ニ於テハ大學ヲヤル、斯ウスルトキツバリシテ形體ガ整頓ヲシテ宜シイト云フコトガ一ツノ理由、二ツニハ此國民教育ヲ始メ、其他市町村ガ負擔シテ居リマスル國家ニ屬スル義務ガ澤山アル、其上ヘ尙ホ此大學ノ如キ費用ヲ澤山要スルモノヲ許可スルコトニスレバ、總テノ事ガ行届カヌヤウニナル、ソレ故ニ此市町村ニ對シテハ、之ヲ除外ヲシタノデアアル、斯ウ説明ヲサルノデアリマスルガ、此理由ハ何事モ階級ニ依テ總テノ事物ノ處理ヲシヤウト云フヤウナル、所謂古イ思想ニ因ハレマシタ謬見ナノデアリマス、餘リ私ガ詳シイ事ヲ申上ゲルマデモナク、府縣ト市ヲ比較致シテ見マスルナラバ、成程多數ノ市ハ府縣ニ及バヌカモ知レマセヌケレドモ、六大都市ノ如キニ至リマシテハ、其中ニ府縣ヨリモ餘程大キナモノガアルノデアリマス、實例ヲ大阪ニ取リマスルト、大阪市ニ於キマシテハ大正十一年以來、商業大學ヲ設置シタイト云ツテ市モ市民モ熱望致シマシテ、其計畫ヲシテ居ルノデアリマス、此計畫ガ成立致シマスルト、ドレ程ノ費用ヲ要スルカト云ヒマスルト、僅ニ市ハ年々五萬圓ノ負擔ヲスルニ過ギナイノデアリマス、是ハ御承知ノ通り從來ニ於キマシテモ、専門學校令ニ依ル高等商業學校ガアルンデアリマスルガ、之ニ併置スルト云フ計畫デアリマス、サウ致シマスルト僅ニ五萬圓ノ費用ヲ要スルニ過ギナイ、而モ此計畫アルコトヲ開キマシテ、大阪市民ノ中ニハ既ニ今日マデニ於テ寄附ヲ申込シテ參リマシタモノガ六十二萬圓アルノデアリマスルカラ、此六十二萬圓ノ金ヲ基金ト致シマスルナラバ、只今申上ゲマシタヤウニ、大阪市ニ大學ヲ設置スルコトニ付テ増額スル費用ノ如キモノハ、之ニ依テ支辨スルコトガ出來ルノデアリマス、加之、話ガ前ニ返リマシテ、從

來ノ當局者ガ辯明致シマスル通り、市ト府縣ノ比較デアリマスルガ、御承知ノ通り此府縣ノ中ニハ一年ノ歳出歳入ガ或ハ八百萬圓位ノモノモアリマス、或ハ多イノデドレ程ニナルカ知レマセヌガ、千五百萬圓ナド、云フノヲ私ハ聞イテ居リマスガ、大阪ノ一年ノ歳出歳入ハ一億二千萬圓位ニナツテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラシテ府縣へ許シテモ宜イモノヲ市町村ハ小サイモノデアアルカラ、之ニハ減多ニ許サレナイ、市町村へ許セバ其負擔ノ爲ニ市町村ノ負擔ヲシテ居ル所ノ設備ガ不行届ニナルナド、云フコトハ、全然問題ニナラヌト考ヘルノデアリマス、所ガ斯ウ云フヤウナ不完全ナ規定ガアリマス爲ニ、大阪ニ於キマシテハ既ニ十一年以來市會ニ於キマシテモ、商業會議所ニ於キマシテモ、其他有志ノ團體ニ於キマシテモ、大學ノ設立殊ニ商業都市トシテノ商業大學ノ設立ヲ希望致シマシテ、種々手ヲ盡シテ居リマスケレドモ、此規則ノ爲ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ヌ、所謂此目的ノ爲ニ非常ナ市民ノ熱望ガ拒否サレテサウシテ文化ノ進運ガ阻碍サル、コトニナルノデアリマスカラシテ、此際ニ於テ、一日モ速ニ此案ヲ改正ヲスルト云フコトハ、最モ機宜ニ適スルコト、信ジマシテ、本案ヲ提出致シマシタ、宜シク御審議ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ本日幸ニ文部大臣ガ御出席ニナツテ居リマスルカラシテ、此點ニ對スル御意見ヲ拜承スルコトヲ得ルナラバ、非常ナ光榮デアルト信ジマス

右ニ對シ岡田文部大臣ハ政府ノ所見ヲ述フ

只今説明ニナリマシタ建議案ニ付キマシテハ、當局ト致シマシテハ大體異議ハゴザイマセヌ、此段ヲ御答申上ゲマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ同月七日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ即日報告書ヲ議長ニ提出セリ

七月十一日本案ヲ院議ニ付シ委員長山本芳治君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

本案ハ委員會ニ於キマシテ慎重審議ヲ致シマシタ、各員カラ熱心ナル賛成意見ガ出マシテ、其要領ヲ申上ゲマスト云フト、市ニ於テモ其財力ニ於テ遙ニ府縣ヲ凌駕スルモノガアル、斯様ナ大都市ニ於テハ大學ヲ設置シ、經營スル上ニ於テ少シモ差支ナイノデアアル、然ルニ現行法ニ於キマシテハ府縣又ハ道デナケレバ大學ヲ設置出來ナイト云フノハ、文化ノ普及ノ上ニ甚ダ遺憾デアルト云フ意見デアッタノデアリマス、總テノ委員ガ此意見ニ一致致シマシテ、結局滿場一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、ドウカ委員會ノ決議通りニ御賛成アランコトヲ希望致シマス

院議異議ナク原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一一 國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案

地方財政ノ窮乏至ラサルナキ現狀ニ於テ國有林野ノ面積四百三十七萬町歩ニ對シ地方公共團體カ此ノ地籍ニ何等歳入ヲ計ルノ途ナキハ地方振興策ノ上ニ於テ誠ニ遺憾トスル所ナリ而シテ本問題ハ近年毎議會政府ニ於テ同意ヲ表シ年年一定ノ金額ヲ國庫ヨリ交付スヘク屢聲明セラレタル所ナリ故ニ政府ハ近ク行政財政ノ整理ヲ斷行セムトスルニ當リ先ツ本問題ヲ解決シ地方振興ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十三年七月三日八田宗吉君外二名之ヲ提出ス七月十六日本案ヲ院議ニ付シ提出者(八田宗吉君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本建議案ハ度々本員ヨリ提案致シマシテ、毎回本會ニ於テ通過ヲ致シ、又政府モ之ニ同意ヲ表明シテ居ル議案デアリマシテ、既ニ加藤友三郎子爵ノ内閣ニ於キマシテハ、昨年豫算編成期ニ當リマシテ、國有地ニ對スル交付金下付ノ名義ヲ以テ内務省所管ニ之ヲ編入致シマシテ、費用ヲ計上スルコト二百萬圓カト聞及ンデ居リマス、當時之ヲ新聞紙上ニ發表致シマシタノデアリマス、本員ハ此事ガ能クモ加藤子爵ノ内閣ガ斷行スルニ至ッタト云フコトニ付キマシテハ、非常ナル喜ビヲ以テ見テ居ッタノデアリマスガ、不幸ニシテ加藤子爵ハ薨去サレ、續イテ政變來リ、大震災、斯様な事ノ爲ニ未ダ之ガ實行致サヌ次第トナツテ居ルコトハ、頗ル遺憾ニ堪ヘザル次第デアアルデアリマス、元來我國ノ國有林野ナルモノ、性質ヲ調ベテ見マスト云フト、是ハ恐ラク國家ガ本當ニ國ノ土地デアルトシテ唱ヘ得ベキダケノ土地ハ僅カナ部分デアアル、多クハ其地方ノ最モ縁故深キ民有地デアルトコトハ、彼此レ皆然リト云フコトヲ斷言シテ憚ラヌノデアリマス、今日北海道方面ノ移住者ニ對シテ、政府ガ土地ヲ無償デ與ヘテ、サウシテ移住民ヲ獎勵シテ居ルガ如ク封建時代ニ於テ各藩主ハ山間僻地ニ對シテ之ニ獎勵ヲ與フル一端ト致シマシテ、其山其樹ハ其地方ノ人民ガ自由ニ伐採シ、且又之ニ保護ヲ加フベキモノデアルト云フヤウナ特殊ノ取扱方ヲ以テ、此山其木ヲ或ハ何右衛門ノ山デアルトカ、何兵衛ノ山デアルトカ云フヤウニ、各自之ヲ實際ニ於テ所有致シテ居ッタノデアリマス、恰モ平坦地ノ田畑ニ對シテ百姓ガ年貢ヲ納メテ居ッテ、是ガ今日ノ土地所有權トナツテ居ルガ如ク、多クノ國有林野ト云フモノハ其地方ノ部落民トハ非常ナ關係ガアツテ、民有地ト何等異ラザル性質ノモノデアルト云フコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ今日國有林ニナツテ居ル原因ヲ調ベテ見マスト、多クハ山間僻地ニ在ル所ノ人民ハ、知識ノ乏シイガ爲ニ、明治六七年頃ノ地租改正ノ際ニ當リマシテ、官吏ノ勸ムルニ委セテ、其土地ヲ官ニ納メタ方ガ此土地ハ却テ動カナインデアアル、山ハ又自由ニ伐ルコトガ出來ルト云フヤ

ウナ勸メニ依ツテ彼等ガ進ンデ土地ト山トヲ提供シタモノガ今日國有林野ニナツテ居ルノデアアルカ、ルガ故ニ此國有林野ナルモノハ、僻陬地ニ到ル程澤山アルノデアリマス、之ヲ全國ニ分ツテ見マスト云フト、北海道ヲ除イテ、國有林野ノ面積ハ四百三十萬町歩アルノデアリマス、其中此僻陬地ノ東北六縣ニ於テハ四百三十萬町歩ノ中、二百三十萬町歩ガ國有林野ノ面積デアリマス、勿論鹿兒島縣、宮城縣、熊本縣ト云フヤウナ僻陬地モ、矢張全縣下ノ面積ノ約半數ハ國有林野ノ面積デアルト云フ程、僻陬地ニ到ルト云フト國有林野ガ縣下ニ左様ナ面積ヲ有シテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ一々其數字ヲ申上ゲルコトハ其煩累ヲ省キマスケレドモ、試ニ一例ヲ舉ゲテ申シマスト云フト、我が福島縣下ノ如キニ於キマシテハ、國有林野ノ面積ガ四十九萬二千町歩アリマス、サウシテ全縣下ノ面積ガ百三十萬町歩デアアル、カルガ故ニ我が福島縣下ハ四十二パーセント、百町歩ニ於テ四十三町歩ナルモノガ國有林野ノ面積デアツテ、之ニハ何等賦課ヲ爲シ能ハザル状態ニナツテ居ルノデアリマス、岩手縣ノ如キ、青森縣ノ如キ——青森縣ニ至リマスト、云フト、全縣下ノ土地ノ面積ノ六十四パーセント「方國有林野デアアルノデアリマス、皆斯様な僻陬地ニ到ル程澤山ノ面積ガ國有林野ノ面積トナツテ居ル、而シテ是ガマダ全國ヲ調ベマスト云フト、東京府ガドウナツテ居ルカ、東京府ハ僅カ十五町歩シカナイ、神奈川縣ハ一町七段歩シカナイ又少シモナイ所ハ静岡縣、愛知縣、山梨縣、斯様な所ハ、國有林野ノ面積ガ一町歩モ無イノデアリマス、斯様な所ハドウナツテ居ルカ、山ハ無イ譯デナイノデアリマス、民有地ニナツテ居リ、又御料林ニテツテ居ル所ガ頗ル多イ、然ラバ御料林ニ對シテハ宮内省ハ如何ナル取扱ヲ爲シテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見マスト云フト、御料林ハ既ニ數年前ヨリシテ一町歩ニ對シテ一圓或ハ五十錢、斯様な交付金ヲソレ——市町村ニ與ヘテ居ルノデアリマス、故ニ御料林ノ所在地ノ市町村ハ——府縣ニハ及ボシテ居ラヌヤウデアリマスガ——市町村ハソレヲ歲入ニ充テ、豫算ノ上ニ斯様な歲入ヲ計上スルノ幸福ヲ享有シツ、アルノデアリマス、然ルニ國有林野ノ殆ド全縣下ノ半數ニ當ル大面積ヲ有スル東北各縣ニ於テハ、イトハ疲弊ヲ極メテ居ル場合ニ於テ、何等酬ユラル、コトハナイ是ハ見遁スベカラザル大問題デアルト考ヘルノデアリマス、外國ノ例ヲ調ベマ

スト、外國ニ於キマシテハ歐羅巴ノ如キハ、國家ノ土地ニ對シテハ自治團體ガ賦課ヲ爲シ得ルノ權利ヲ與ヘラレテ居ル、即チ國ノ土地ニ對シテ市町村府縣ガ賦課ヲ爲スノ權利ヲ有シテ居ル、斯様ニナツテ居ルノデアリマス、又亞米利加ハ我國ノ市町村ノ團體トモ稍々比スベキ「カウンチー」ニ對シテ、年々其地方部カラシテ收入スル所ノ——林野カラ這入ッテ來ル收入ノ一部ヲ割イテ、或ハ土木費トカ、教育費トカノ費目ヲ指定シテ、之ヲソレト「カウンチー」ニ交付シテ居ルト云フ實例ノアルコトヲ聞イテ居ル、各國既ニ然リ、御料林マデ之ヲ交付シテ居ルトキニ當ッテ、何故我國ノ國有林野ノ所在地ハ何等國ヨリ酬キラル、コトナクシテ居ルノデアルカ、國有林野ハ收入ニ於キマシテハ、一年ニ三萬圓モ國家ガ收入シツ、アル程、國有林野ハ國ノ爲ニ寄與シツ、アルノデアアル、サウシテ國有林野ガ左様ナル收入ヲ得ルニ付テ、其地方ノ部落民ガ如何ニ此山ニ對シテ、如何ニ此土地ニ對シテ援助ヲ與ヘツ、アルカ、山火事ト云ヘバ其地方ノ部落民ハ皆舉ッテ消防ニ當リ、或ハ道路ヲ開發シテ運輸ノ便ヲ講ズル等、町費ヲ以テ支辨シテ居ル、斯様ナル犧牲ヲ拂ッテ國有林野ノ收入ヲ國家ガ年々二千萬圓モ取ッテ居ルニモ拘ラズ、又外國ニ於テモ交付シテ居ルニ拘ラズ、尙ホ宮内省ガ交付シテ居ルニモ拘ラズ、何故國ガ之ヲ拋擲シテ構ハヌノデアアルカ、是ハ私ハ洵ニ怪シカラヌト思ウテ居ル問題デアリマス、私ハ何故我國ガ此方法ヲ講ゼズシテ打棄ッテ居ッタカト云フコトハ、實ニ怪シカラヌ政治ノ致方デアルト申サ、ルヲ得ナイト思フノデアリマス、畢竟我國ノ農民ハ封建時代ノ因襲尙ホ去ラズ、上ヨリ壓迫シ付ケラル、ニ慣レ來ッタル結果ハ、自分ノ境遇ヲ進展シ、一轉シテ往クヤウナ向上的ノ知識ガ乏シイノデアリマス、又其勇氣モ無イノデアリマス、求ムル傳手ヲ知ラナイノデアリマス、求メヨ然ラバ與ヘラレン、求ムルコトヲシナイ故ニ遂ニ拋棄セラレ、今日彼等ハ政治上ニ於テ閑却セラレ、生活ノドン底ニ陥ッテ、洵ニ斯様ナル叫聲ヲ揚グル餘裕モナキ程、彼等ハ悲惨ナル生活ヲ爲シツ、アルノデアリマス、禽獸ト擇ブ所ナキ程生活ノドン底ニ陥ッテ敢テ自己ノ生活ヲ進展シ、首ヲ伸ベテ高イ人ニ要望スルノ力モナイ程憫レナル境遇ニ在ルコトヲ私ハ悲ムノデアリマス、今ヤ農村振興問題ハ政黨政派ヲ超越シテ、各黨各派何レモ之ヲ重大問題ト致シテ參リマシタ、洵ニ吾々ハ喜ビニ堪ヘナイ

由來我國ノ政治ナルモノハ、從來兎角都市中心主義ノ下ニ運バレテ、實際地方ヲ閑却シテ居ッタコトハ明カナル事實デアリマス、例ヘバ今日普通選舉論ガ全國ノ輿論トナツテ參ッテ居リマスガ、小ナル都市ハ獨立選舉區トナツテ人口僅カ三四萬ト雖モ、斯様ナ都市ガ一名ノ代議士ヲ議會ニ送ッテ居ルノデアリマス、然ルニ郡部ハ十三萬人ノ基準ノ下ニ一名ノ代議士シカ出スコトガ出來ナイ、斯様ナル差別待遇スラモ彼等ハ甘シク受ケテ居ルノデアアル、斯様ナル不公平ナル都市ト郡部ト區別アル政治ハ世界中何處ニアリマスカ、我が日本國ノミデアルト云フコトヲ吾々ハ實ニ慨嘆ニ堪ヘナイノデアリマス、斯様ナル差別待遇ヲ與ヘテ居ル缺陷アル選舉法ハ先以テ斯様ナ所ヨリ改正ヲ要スルト思フ、平デナイ所ヲ平ニスルコトガ急務デアルト信ズルノデアアル、從來ノ政治ガ都市中心主義ニ運バレタ所ノ活キタル證據ハ、之デアルト云フコトヲ申上ゲルニ躊躇セザル者デアリマス、今日農村問題ガ議會ノ問題トナリマシタガ、最早農民ガ堪ヘ切レナイ、苦痛ノ叫聲ガ此議會ヲ動カシテ斯様ナ大問題トナツタト考ヘルノデアリマス、本問題即チ國有林野所在地ニ交付金ヲ下付スルト云フ問題ハ、實ハ農村振興問題中ニ於キマシテ、最モ行ヒ易キ手近ニ在ル問題デアルト考ヘルノデアリマス、東北方面ニ於キマシテハ一村ニ於テ一萬町以上モアル國有林野ヲ有スル村ガ大分アルノデアリマス、斯様ナ僻陬ノ地ニ一年ニ五千圓デアルトカ、四千圓デアルトカ云フ交付金ガ參リマシタナラバ、始メテ都市ノ文明ニ追隨シ得ル所ノ教育ノ施設、トカ土木トカ斯様ナ事ヲ爲シテ行クコトガ出來ルノデアラウト私ハ考ヘル、サウシテ斯様ナ問題ヲ早ク實現シテ、此哀レナル所ノ地方ノ僻陬地ノ農村ヲ救ウテ行カナケレバナラヌト私ハ考ヘル、現政府ハ近ク行政財政ノ大整理ヲ爲サレルコトヲ聞イテ居リマスガ、私ハ非常ニ喜ブノデアリマス、願クバ、徹底的行政財政ノ整理ヲ希望スル者デアリマスガ、私ハ此ニ至ッテ考ヘマス、整理トハ斯様ナル不公平ナルコトヲ平ニスルト云フコトガ整理デアアル、從來不公平デアッタノヲ其儘ニシテ置イテ、經費ヲ減ラシタカラト云ッテ是ハ整理ト云フベキモノデナイ、出テ居ルモノハ削ルベシ、低イ所ニハ入レベシ、平ニスルノガ即チ公平デアリマス、不幸ナル從來五十年間モ此不公平ニ苦ンデ居ッタ東北民ニ對シテ、幸福ナル政治ヲ——今ヤッタ所ガ平カデナイ位デアアル、先以テ行政財政

ノ整理ト共ニ斯様ナル問題ヲ實行スルニ非ズンバ、焉ンゾ之ヲ行政ノ整理ト云ヘマセウガ、公平ナル政治ノ運ビト云フコトハ出來マイト本員ハ信ジテ居ルノデアリマス、不公平ヲ公平ニスルノガ政治ノ眼目デアアル、吾々ハ行政整理ヲ爲スニ當ツテ先以テ常ニ望ム所ハ地租委譲ヲ斷行スルコトデ、之ヲ政府ニ向ツテ要望スル者デアリマス、何故カナレバ、吾々東北民カラ申シマス、地租ノ如キハ戊辰ノ戰亂ニ於テ逆境ニ立チタル東北各縣ハ、藩閥政府ノ政治ニ依ツテ不幸ナル取扱ヲ蒙ツテ居ル、一毛作ノ田地モ、一毛作ノ田地モ、一律一體ニ地租ヲ置キマシタノガ、明治六七年頃藩閥政府ノ爲シタル地租ノ今日アル所以デアリマス、之ヲ一々數字ヲ以テ申シマシタナラバ、驚クベキ状態ニ行ツテ居ルノデアリマスガ數字ヲ申述ベルコトハ之ヲ省略シマス此不公平ヲ公平ナラシメントスルニハ、先以テ、斯様ナ不公平ナルモノ、而モ五十年間モ東北民ガ泣イテ重税ニ苦ンデ居ッタノヲ救フ爲ニモ、地租ヲ委譲シテ各縣其地方々々デヤツテ行ツタナラバ、始メテ公平ナル地租ヲ設定スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、單ニ地租委譲ヲ以テ地方ニ獨立ノ財源ヲ與ヘルコトヲ以テ、農村振興策ニ加ヘルト云ケコトヲ賛成スルノミナラズ、私ハ斯様ナル不公平ナル事ヲ公平ニセシムルト云フ行政整理ノ大眼目タル見地ヨリシテ、先以テ地租委譲ヲ斷行スベシ、然ラザレバ數字ノ示ス所、一毛作シカ出來ナイ田畑地帯ニ於ケル東北民ノ如キハ堪切レザル悲哀ヲ段々ニ覺エルモノデアツテ、社會上ノ由々シキ問題デアルト者ヘル者デアリマス、斯様ナルガ故ニ私ハ先以テ地租委譲ヲ欲スル者デアリマスケレドモ、國難來トモ稱スベキ所ノ大震火災、帝都復興、斯様ナル問題ハ吾々地方民ト雖モ一年トカ半年トカノ辛抱ハ——犧牲ハ甘ンジナケレバナラヌト思ヒマスガ、セメテハ此國有林野所在地ニ對シテ交付金ヲ下付スルト云フ位ノコトハ、此ノ政府ガ斷行セザルベカラザル所ノ問題デアルト信ジテ疑ハザル者デアリマス、而シテ又此政府ガ斯様ナル問題ヲ解決シ能ハザル所ノ無力ナル内閣デモナイト信ジテ、確ニ現内閣ハ之ヲ斷行スルモノデアルト云フコトヲ期待シテ、此要望ヲ提ゲテ諸君ニ御賛同ヲ仰グ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ土井權大君提出部落有林野統一緩和ニ關スル建議案(七)委員ニ併セ付託スルニ決ス委

員會ハ審查ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ翌十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(委員會議事ノ經過及結果ハ本項(一)參看)

一一 飛行事業擴張ニ關スル建議案

政府ハ速ニ左ノ事業ニ著手シ其ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

- 一 陸海軍ノ航空施設ヲ擴張スルコト
 - 二 首要都市間ニ航空路ヲ設クルコト
 - 三 航空機製造獎勵法ヲ制定スルコト
 - 四 空中輸送會社ノ設立ヲ獎勵シ之ニ相當ノ補給利子ヲ下付スルコト
 - 五 航空行政中央統一機關ヲ設立スルコト
- 右建議ス

右ハ十三年七月三日長岡外史君之ヲ提出ス七月十六日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ政府並議會ニ向ヒマシテ訴ヘナケリヤナラヌ事ハ山程ゴザイマスルガ、本日ハ私ノ建議案

ヲ極ク簡單ニ其趣意ヲ説明申上ゲタイト考ヘマスル、第一ハ陸海軍ノ航空施設ヲ擴張ヲシテ費ヒタイト云フコトデゴザイマス、日本ガ初メテ航空ノ研究ニ手ヲ染メマシタノガ明治ノ四十二年デゴザイマスル、桂内閣ノ陸相寺内氏ガ、ドウモ飛行機ガ軍用トシテ物ヲ言ヒサウダ、我國ノ都市ガ木造カラ成立ツ所ノ特別ナル事情ニ鑑ミテ、ソロソロ研究ヲシタイト相成ルタイト云フノデ、六十萬圓ノ豫算ヲ貫テ歸ラレマシテ、航空ニ關係ヲ致シマスル研究會ガ開ケマシタノデアリマス、此年ハ妙ナ年デ獨逸政府ニ於キマシテモ矢張表向ニ航空ニ關スル研究所ガ出來マシタノデアリマス、故ニ日本ノ飛行機ニ關係ヲ致シマスル研究ハ、敢テ各國ニ後レタリトハ申サレマセヌ、然ルニ其後歐羅巴各國殊ニ獨逸、佛蘭西ニ於キマシテハドンク豫算ヲ増シマシテ、非常ナル進歩發達ヲ遂ゲマスルニ對シテ、賢明ナル我が陸軍ノ歷代ノ大臣ハ自ら進ンデ豫算ノ減額ヲサレマシテ、大正ノ三年ニハ六十萬ノ半分、タツタ三十萬圓ニナリマシタノデゴザイマス、海軍ガタツタ十萬圓デゴザイマス、之ヲ以テ世界戰爭ニ帝國ハ臨ミマシタノデゴザイマス、儲テ戰爭四年間、交戦ノ各國ハ飛行機ノ善シ惡シガ戰爭ノ勝敗ニ關係ヲスル、一國興亡ノ關係スル所デアルトシテ、金力智力ノアラン限リヲ盡シテ研究ヲ致シマスル其結果ト致シマシテ、非常ナル進歩デゴザイマス、其事ヲ一々申上ゲマス、下手ナ講釋師ヨリハ面白イノデゴザイマス、是モ略シマシテ、唯其結果ノミヲ申上ゲマスル曰ク將來ノ飛行機ハ戰爭ヲ始メルモノデアアル、換言致シマスレバ、將來ノ戰爭ハ飛行機ニ依テ始メラレル曰ク、戰爭ヲ繼續シテ行クモノモ、戰爭ヲ命令シ、指揮シテ行クモノモ飛行機デアアル、是ハ通信、觀測、偵察等ニ依ルモノデゴザイマス、曰ク最後ノ一年間飛行機ノ發達ガ非常ナ著イ爲ニ、將來ノ戰爭ハ飛行機ガ決戰的武器デアアルマイカ、斯ウ云フニツデゴザイマス、日本ニ取リマシテ最モ怖イモノガ所謂燒夷彈ト申スモノデゴザイマス、木造ノ都市ヲ燒盡サウト云フ爲ニ拵ヘラレマシタモノデゴザイマス、是ハ極ク小サイ物デゴザイマシテ、此「コップ」ヨリモマダ小ナナ物デゴザイマス、徑ガ一寸ニ長サガ三寸、コソナモノデゴザイマス、是デ必ズ火ガ附キマスルガ、附キマシタラ最期、攝氏ノ三千度ノ熱度ヲ出スモノデゴザイマス、鉛モ鐵モ一緒ニナツテボツ／＼ト燃エマスルノデゴザイマス、水位チ

ヨイチヨイ御掛ケニナツタツテ消エルモノデヤゴザイマセヌ、之ヲ一ツノ飛行機ガ唯積メト云フナラバ七千積メマスガ、浦鹽斯德カラ東京マデ幾ラ積ンデ來ルカト申シマスルト、一千箇積ンデ參リマスル、是ハ長岡ノ計算デハゴザイマセヌ、昨年十二月ニ航空局ノ樓上ニ、東京ノ航空界ノ權威者ニ悉ク御集リヲ願ヒマシテ決メテ貫タ數字デゴザイマス、一千箇積ンデ參リマスル、然ラバ敵ノ飛行機十艘ハ一萬デゴザイマス、諸君、昨年ノ九月一日並ニ二日ノ火元ハ百三四十箇所デゴザイマス、ソレデ東京ノ七割、五百三十何萬坪ト云フモノヲ燒キ盡シタノデゴザイマス、是ガ若シ火元一萬箇所デゴザイマシタナラ如何デゴザイマセウ、其大ナル慘害ハ諸君ノ御判斷ニ任セマス、此次ニ參リマス——是ガ第一回ノ敵ノ攻撃、第二回ノ攻撃ニ於テ敵ハ爆彈ヲ持テ參リマス、亞米利加ノ「バーリントン」ト云フ羽ガ三段ニナツテ居リマスル飛行機ハ總重量ガ十二噸デゴザイマス、而シテ二噸二百疋ノ爆彈ヲ積ンデ參ルコトガ出來ルノデゴザイマス、若シ十艘參リマスレバ二十二噸以上ノモノヲ積ンデ參リマス、此目的ハ前ニ燒ケ殘テ居タ所ノ中央銀行、或ハ三菱銀行其他主ナル建築物ヲ叩キ壞スノガ此爆彈ノ目的デゴザイマス、是ト同時力或ハ第三回ニナリマスルカノ攻撃ハ、無論機關銃並ニ毒瓦斯ノ攻撃デゴザイマス、日本ニハ地下室モゴザイマセヌ、地下鐵道モゴザイマセヌ、是ガ爲ニ市民ノ大多數ハ今度取擴ゲラレマスル所ノ公園其他ノ廣場ヘ集マルノデゴザイマス、之ヲ叩キ壞サウト云フノデゴザイマス、諸君ノ御承知ノ通り只今ハ機關銃ヲ十二挺積ンデ參リマス、一分間ニ何萬發ヲ雨霰トナク市民ノ頭ノ上ニ叩キ付ケルノデゴザイマス、尙ホ怖イノハ諸君御承知デゴザイマセウガ、世界中ニ毒瓦斯ノ隊ヲ持テ居リマスルノハ亞米利加ダケデゴザイマス、此毒瓦斯ハ今日ノ所デ理想的ニ進歩ヲ致シテ居リマスル、種々ノモノガゴザイマシテ或ハ無暗ニ涙ガドロ／＼出テ、到頭人體ヲ渴カシテシマフモノ、咳ガ無暗ニ出テ呼吸器ヲ害シテ僅カノ時間ニ死ンデシマフモノ、或ハ一滴人體ニ觸ルレバ直ニ全身ノ糜爛スルモノ等種々ゴザイマス、亞米利加ノ飛行機ハ之ヲ一噸ハ積ンデ參リマス、一噸ソソレノ力ハ五町以内ヲ全ク有毒地帯ト致シマシテ、總テノ人畜ガ悉クヤラレシマフモノデゴザイマス、即チ被服廠跡ノ今日申上ゲテモ殘酷千萬ナル所ノアノ有様ガ、東京市内數

十箇所ニ直ニ展開サレルノデゴザイマスル、斯ノ如クニ飛行機ハ進ンデ居リマスル、此隊ガ幾ラアルカ、英吉利ノ航空年鑑「ゼーム」ト云フモノ、發表ニ依リマスルト、昨年ノ七月一日亞米利加ノ飛行隊ガ五百九十三隊ゴザイマシタノハ、過少ナリトシテ九百十三隊ニ増加サレテ居リマスル、將校ノ數ガ陸軍ガ八千八、海軍ガ五千二百二十六人、合計デ一萬七千人デゴザイマスル、是ハ飛行將校デゴザイマスル、此數ハ私カラ考ヘマスルト、餘程内輪ニ亞米利加ガ見積タモノデゴザイマスル、休戦ノ當時英吉利ノ飛行將校ノ數ハ、二萬二千、下士以下ガ十六萬人ニ對シマスルトマダ餘程少ナイ數デゴザイマスル、亞米利加ガ遲延ニ參戰ヲ致シマシテ二萬臺ノ飛行機ヲ以テ之ニ參加シヤウト云フノデ、六十億以上ノ金ヲ費シマシテ、獨逸ノ兵隊ヲ叩キ殺スト云フヤウナ客ナ考デヤナイ、獨逸其ノモノヲ根柢カラ叩キ殺シテシマハウト云フ大ナル希望テ持テ掛リマシタ、ソレニ較ベマスレバ、今度ノ動員計畫決定メマシタル所ノ員數ハ、マダ小サイ數デゴザイマスル、英吉利ハ如何昨年ノ六月ノ二十九日空中「ベーチエント」——空中劇トデモ申シマセウカ、非常ナル「サオリ」所謂飛行機ノ芝居デゴザイマスル、特等ガ七十圓、三等一圓デゴザイマシテ、十萬ノ切符ガ直ニ賣切レテシマツテ、皇帝、皇后、御親臨ノ上ニ行ハレマシタ所ノ大空中劇ノ翌日ニ、從來英吉利ノ本土ノ飛行隊ハ僅カ十八中隊デゴザイマシタノヲ、三十五中隊ノ増加、空軍ノ大擴張ノ議案ガ下院ニ出マシタ、其時ニ於テ下院大多數ノ贊成、上下兩院モ容易ク通過致シマシテ、只今ハ五十三隊デゴザイマスルガ、尙ホ之ヲ増加ノ計畫中ニアルノデゴザイマス、昨日受取リマシタ手紙ニ依リマスルト、佛蘭西ニ於キマシテモ此空中劇ヲ致シマシテ、大ナル成功ヲ收メテ、其觀覽者ノ數ガ七萬以上デアッタト云フコトノ報告ヲ得マシテゴザイマス、英佛ノ國民ガ飛行ニ對シテノ熱心ハ斯ノ如キモノデゴザイマスル、露西亞ノ飛行機ノ勢力ハ十分ニ分リマセヌガ、七十隊以上デアルト推算シテモ間違ガアルマイト考ヘマスル、斯ノ如キ勢力ニ對シマシテ、私ハ隨分大膽ニ何デモ御話ヲスル性質デゴザイマスルガ、之ヲ我國ノ飛行勢力ト較ベマシテ、此處デ御話スルダケノ勇氣ハ持テ居リマセヌ、殊ニ空中ニ對シマスル直接ノ防禦、譬ヘテ言ヒマスルト敵ノ飛行機ノ來ルノヲ聽キマスル聽音機、直ニソレヲ見セテ吳レル所ノ「サーチライト」、之ヲ撃ツ所ノ

飛行機砲、市民ニ敵ノ空中襲撃ヲ知ラスル所ノ通信ノ機械、何等ゴザイマセヌ、諸君、吾々ハ世界平和來、國際ノ信義ニノミ依賴致シマシテ、空中ニハ戸モ閉メズ障子モ閉メズニ安樂ニ寐テ居ラレマセウカ、如何デゴザイマセウカ、ドウカ此陸ニ於キマスル所ノ陸砲、水ニ於キマスル海砲ト相俟チマシテ、空ニ對シマシテモ急ニ相當ノ御處置ヲ御執リ下サイマシテ、水、陸、空、此三體ノ國防ヲシテ鼎立ノ状態ニ立至ラシメラレンコトヲ希望シテ已マナイ次第デゴザイマスル、第二ハ航空路ト云フコトデアリマス、之ヲ開イテ貫ヒタイト云フノデアリマス、コンナ極リ切タコトヲ晝日中——尤モ電燈ハ點イテ居リマスケレドモ、晝日中ニ此演壇ニ立テ御話ヲスルト云フノ、何ト云フ恥カシイ事デアリマセウ、國辱演說トデモ申シテ宜イカモ知レナイ、航空路ト申シマスト申スマデモナク重要ナル所ニ飛行場ヲ設ケ、其兩飛行場ヲ連接スル所ノ通信ノ機關ヲ造リ、其中間ニ信號ノ機關或ハ標識、是等ヲ設ケルコト、ソナニ錢ノ掛カルモノデヤゴザイマセン、是ガ未ダ日本ニハ一ツモゴザイマセヌノデ、萬國ノ航空聯盟ニ這リマシタル所ノ此日本帝國、之ニ一ツノ國際ノ飛行場ガ無イ、先般モ英吉利、亞米利加、佛蘭西カラ參リマシテ、オ前ノ所ニハ國際飛行場ガ無イガドウダト問ハレマシタ時ニ、私ハ冷汗ガ出タノデアリマス、斯ノ如クニアノ人達ハ日本ヲ妙ニ考ヘテ居ル、各國共ニ此航空路ハ國內ハ無論ノコト、國際間ニ於テ今盛ニ開イテ居リマスルノデ、近日ハ「アルゼンチン」カラモ參リマセウ、葡萄牙カラモ參リマスノデ、而シテ其參リマシタ御客ヲ迎ヘルノガ海軍ノ飛行場、或ハ陸軍ノ飛行場、マア、云フ人ガ脱稅ナドヲ圖ラヌカラ結構デゴザイマスガ、空中稅關ト云フモノハ日本ニハ一ツモナイノデゴザイマス、斯ノ如キ有様デゴザイマス、各國共ニ此空中ノ航路ヲ設ケル——航空路ヲ設ケルト云フコトニハ、非常ニ方ヲ注イデ居リマスル、亞米利加ノ昨年夏ノ調査ニ依リマスルト、合衆國ニ飛行場ガ驚ク勿レ二千三百三十三箇所デゴザイマスル、今年ハ無論ソレヨリ増加シテ居リマス、尙ホ振テ居ルノハ人家ノ二千三百以上ノ處ニハ自治團體ノ力ニ依テ飛行場ヲ設ケル、サモナクバ飛行郵便ヲ届ケテヤラヌ云フコトニナツテ居リマス、是ガ爲ニ各町村デ「バンドン」今ヤツテ居リマス、雷ニ晝間ノ航空路ヲ開クナド、云フコトハ今日野暮デゴザイマス、亞米利加デハ夜ノ航空路ヲ今頻ノ開イテ居リマス、

紐育トソレカラ桑港トノ間ニ不夜ノ地帯ヲ拵ヘヤウト云フノデ、市俄古外四箇所ニ大キナ「アー
ク」燈ヲ點ケマシタ、其燭力ガ四億五千萬燭光デゴザイマス、タッタ一ノ「アーク」燈ノ燭光ガモウ
一度申上ゲマス四億五千萬燭光デゴザイマス、尙ホ其外ハ小サナ「アーク」燈ト云ヒマスカラドシ
ナモノカト思ヒマスルト五萬燭光ノ「アーク」燈ヲ三四箇所ニ點ケマス、其他三哩毎ニ五千燭光
ノ「アセチリン」瓦斯ヲ點ケマシテ、不夜ノ地帯ヲ桑港並ニ紐育間ニ拵ヘマスルノデゴザイマス、
ル、「バナマ」運河ノ出來マシタ時ニハ、世界ノ問題トナリマシガ、憂國ノ志士ハ此大西洋ノ聯
絡ハ將來ニ大ナル亞米利加ノ勢力ヲ發展スルト云フノデ非常ナ問題ニナリマシタガ、今度ハ如
何デゴザイマスルカ、西英吉利ヲ望ミ、東日本ヲ望ム所ノ不夜ノ地帯ガ出來マスルノデゴザイマ
スル、「バナマ」運河ノ開通ヨリハ一層ニ世界ノ近世ニ變動ヲ與ヘル所ノモノデアルト私ハ確ク
信ズルノデゴザイマスル、日本ノ政治家及國民ニ於キマシテハ何等御話ヲ承リマセヌ、或ハ政治
家諸君ニ於テモ初メテ御聽キニナッタコトデアルカモ知レヌト思フノデアリマス、兎ニ角今日ハ
餘程遅レテ居ルノデゴザイマス、ドウカ政府並ニ議會ノ御盡力ニ依リマシテ、此航空路ノ速ニ設
置サレンコトヲ希望スル者デゴザイマスル、第三ハ此航空機ノ製造ヲ御獎勵ヲ願ヒタイト云フ
案デゴザイマスル、飛行機ト申シマスモノハ、科學ノ粹ヲ集メマシテ成立ツモノデ、非常ニムツ
カシイモノデゴザイマスル、其職工ニハ殆ド技師的職工ヲ要スルモノデゴザイマス、隨テ金ガ非
常ニ掛カリマス、而シテ賣レナイ、今三菱、川崎ノ製造所、或ハ愛知船渠、若クハ中島ノ飛行場等
ニ於テ造テ居リマスガ、何レモ皆損デゴザイマスル、唯々彼等ガ犠牲的ニヤツテ居ルニ過ギマセ
ヌノデゴザイマスル、妙ナ御話ヲ致シマスルガ、私ガ英吉利ヘ參リマシタ時ニ、能ク此飛行機工
場ヲ見テ貫ヒタイト云フコトデゴザイマシタ、見ニ參リマシタガ「ハルトンキャンブ」ト云フ所
ニゴザイマス、職工ノ生徒ガ一箇年二千五百名、二年ノ職業デゴザイマスノデ五千人が定員
デゴザイマス、其設備ノ大ナルコトニハサウ驚キマセヌデゴザイマシタガ、ドウカ是カラ飛行場
ヲ見テ貫ヒタイ、是ハオカシイデヤナイカ、是ハオ前サン職工ヲ育テル所ダ、飛行場ハ附イテ居
ナイデヤナイカ、斯ウ申シマスルト、サアソコガ面白イ、若モ職工ガ飛行機ヘ乗タナラバ、彼等ノ

持ツ所ノ「ハンマー」ニ力ガ入ルデアラウ、斯ウ云フ關係カラ乗リタケレバ乗セテヤル、斯ウ言ウ
タ所ガ、子供ダカラ二千五百名皆志願者、然ラバ來年ニハ五千二人ナル、其設備ヲ急ニシタノダ
カラ、マア兎モ角長岡サン見テ吳レト云フノデ見マシタノデゴザイマス、所澤以上ノ設備ガシテ
ゴザイマスル、斯ノ如ク飛行機ト云フモノ、製造ハ非常ニムツカシイモノデゴザイマスル、乘レ
バ落ル、落レバ死ヌト云フヤウナ機械ヲ造ルノハ譯ハゴザイマセヌガ、是デハ平時ノ交通ノ上ニ於キ
マシテモ相濟マスコトデゴザイマスルガ、之ヲ軍器ト致シマシテ、日本ノ如キ貧乏國ニ於ハ數ヲ
以テ敵ヲ制スルコトハ出來マセヌノデス、實ニ於キマシテ敵ニ勝タナケレバナラヌト云フ責ヲ
持テ居リマス、此國ニ於テ殊ニ金屬工業ノ發達シナイ日本ニ於テハ、大々的ノ御獎勵ガゴザイマ
セスケレバ、到底成立ツモノデハゴザイマセヌノデアリマス、嘗テ日清戰爭ノ當時時ノ運送力ハ
僅ニ十七萬噸デゴザイマス、ソレモ加賀丸ト云フノヲ入レマシテ、今ハゴザイマセヌガ、木曾丸ト
カ宇治丸トカ云フビー、シタ船ヲ入レマシテ、十七萬噸、戰後時ノ政府ガ出シマシタ造船獎勵
法ハ非常ナ造船界ノ發達ヲ促シタノデゴザイマス、サウシテ今日ノ海運界ノ隆盛ヲ見マシタノ
デゴザイマスル、飛行機ノ獎勵ハ是レ以上デゴザイマスル、儲カラナイモノヲ義務ヲ造レ、商賣
ヲ造レト云ウテモ出來マセヌノデゴザイマス、國家ガ之ヲ獎勵スルノハ當然デゴザイマス、ドウ
カ此點ニ付キマシテ政府ノ十分ナル御奮發ヲ願ヒタイモノデゴザイマス、其次ハ輸送會社ノ設
立ヲ御獎勵下サツテ、之ニ相當ノ補給利子ヲ與ヘテ貫ヒタイト云フコトデゴザイマス、是モ決リ
切タコトデゴザイマスル、詳シイ説明ハ避ケマシテ、此各國共ニ今日ハ國內ハ無論デゴザイマス
ガ、前申ス通り國際的ニ平時交通ヲヤツテ居リマス、其本ハ何カト申シマスルト、是ハ國防ト云フ
コトデゴザイマス、故ニ殆ド國營的ニ此平時ニ於ケル通信勤務ニ力ヲ入レテ居リマスルノデゴ
ザイマス、嘗テ「ハンドレー」ペーヂト云フ、是ハ英吉利ニ於ケル所ノ大成金、大飛行成金ノ會社
デゴザイマスガ、是ガ戰ニ二年目ニ倫敦、巴里ノ定期輸送航空路、是ハ到底算盤ガ取レナイカラ
止メルト云フ廣告ヲ出シマシタル所、其翌日ニ於キマシテ、英國ノ下院ハ近來稀ニ見ル所ノ大騷
動、政府ノ怠慢竝ニ不注意ヲ甚シク苛責致シタモノデゴザイマス、私ハ英國下院ノ其態度涙ガ溢